EPSON
EXCEED YOUR VISION

PX-M7070FX

ユーザーズガイド

NPD5573-03 JA

目次

マニュアルの見方 7

マニュアルの種類と内容 8
Web動画ガイドのご案内 8
マニュアルの使い方と情報の探し方 8
マークの意味 10
マニュアル記載の前提 10
OS表記 10
マニュアルのご注意 11

プリンターの基本情報 12

各部の名称と働き 13
操作パネル 17
画面の見方と使い方 18
画面に表示されるアイコン 19
タッチパネルの操作 20
文字入力の仕方 20
ジョブ/状態画面の見方 21
操作手順を動画で見る 22

プリンターの準備 23

印刷用紙のセット 24
対応用紙とセット可能枚数 24
用紙カセットに印刷用紙をセットする 29
背面MPトレイに印刷用紙をセットする 31
ハガキのセット方法 33
封筒のセット方法 35
長尺紙のセット方法 36
セットした用紙の種類を設定する 37
検知できる用紙サイズの一覧 38
原稿のセット 38
自動検知できる原稿サイズ 38
ADFにセットできる原稿 39
ADFに原稿をセットする 39
原稿台に原稿をセットする 42
外部記憶装置のセット 44
外部記憶装置のセットと取り出し 44
コンピューターから外部記憶装置へのアクセス 44
アドレス帳を管理する 45
アドレスを登録または編集する 45
アドレスをグループにする、グループを編集する 46
よく使うアドレスをすぐ選択できるようにする（常用登録） 47
コンピューターからのアドレス帳登録 48
アドレス帳のバックアップ 48
お気に入りの設定を登録する 48
お気に入りメニューの説明 49
設定メニューの説明 49
本体設定メニューの説明 49
印刷ページ数の確認メニューの説明 56
消耗品情報メニューの説明 57
プリンターのお手入れメニューの説明 57
言語選択/Languageメニューの説明 58
情報確認/印刷メニューの説明 58
アドレス帳管理メニューの説明 59
ユーザー設定メニューの説明 59
認証装置ステータスメニューの説明 59
Epson Open Platform情報メニューの説明 60
省電力設定 60
省電力設定をする - 操作パネル 60

印刷 61

Windowsからプリンタードライバーで印刷する 62
プリンタードライバーの開き方 62
基本の印刷 62
両面に印刷する 64
複数ページを1ページに印刷する 65
ページ順に印刷する（逆順印刷） 65
拡大縮小して印刷する 66
複数用紙に分割して拡大印刷する（ポスター） 67
ヘッダーやフッターを入れて印刷する 73
透かしを入れて印刷する（透かし印刷） 74
印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン） 75
データにパスワードを設定して印刷する 75
複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント） 76
カラーユニバーサルデザイン（CUD）で印刷する 77
色を補正して印刷する 77
細い線を鮮明に印刷する 78
バーコードのにじみを抑えて印刷する 79
印刷を中止する 79
プリンタードライバーのメニュー説明 79
WindowsからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する 83

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明 84
印刷を中止する 88
Mac OS Xからプリンタードライバーで印刷する 89
基本の印刷 89
両面に印刷する 90
複数ページを1ページに印刷する 91
ページ順に印刷する（逆順印刷） 92
拡大縮小して印刷する 92
印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン） 93
色を補正して印刷する 93
印刷を中止する 94
プリンタードライバーのメニュー説明 94
Mac OS Xプリンタードライバーの動作を設定する 101
Mac OS XからPostScriptプリンタードライバーで印刷する 102
PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明 103
印刷を中止する 108
外部メモリーのデータを印刷する 108
外部メモリー内のJPEGデータを印刷する 108
外部メモリー内のPDF、TIFFデータを印刷する 110
外部メモリーから印刷時のメニューの説明 110
スマートデバイスから印刷する 113
Epson iPrintを使う 113
AirPrintを使う 116
印刷中または待機中の印刷ジョブを中止する .116

コピー 118

基本のコピー 119
用紙の両面にコピーする 120
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする 120
コピー時の基本設定メニュー 120
コピー時の応用設定メニュー 122

スキャン 125

操作パネルからスキャンする 126
スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTPサーバーに保存 126
スキャンした画像をメールに添付する 141
コンピューターに登録した設定でスキャンする（Document Capture Pro） 144
スキャンした画像を外部メモリーに保存する 147
スキャンした画像をクラウドに保存する 150
コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2） 152
利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する 154
スマートデバイスからスキャンする 155
スマートデバイスからWi-Fi Directで接続する .. 155
Epson iPrintをインストールする 156
Epson iPrintでスキャンする 156
NFCマークにスマートデバイスをタッチしてスキャンする 157

ファクス 159

ファクスの準備 160
電話回線に接続する 160
ファクスの基本設定 165
プリンターからファクスを送信する 170
ファクス送信の基本操作 170
便利な送信方法 174
プリンターでファクスを受信する 180
受信モードを設定する 180
いろいろな受信方法 181
受信した文書の保存と転送（条件なし保存・転送） 185
特定の相手や時間に受信した文書の保存と転送（条件保存・転送） 190
コンピューターからファクスを送信する 197
アプリケーションソフトで作成した文書を送信する（Windows） 197
アプリケーションソフトで作成した文書を送信する（Mac OS X） 199
コンピューターでファクスを受信する 200
受信ファクスをコンピューターに保存する（Windows） 201
新着ファクスを確認する（Windows） 201
受信ファクスをコンピューターに保存する（Mac OS X） 203
新着ファクスを確認する（Mac OS X） 203
ファクスボックスを使用する 204
受信ボックスを使用する 204
親展ボックスを使用する 205
待機文書送信ボックスを使用する 206
ポーリング送信ボックスを使用する 207
掲示板ボックスを使用する 208
その他のファクス機能を使う 209
各種ファクスレポートやリストを印刷する 209
ファクスのセキュリティーを設定する 210
ファクスジョブを確認する 210
ファクスメニューの説明 212

宛先 212
ファクス設定 213
応用 215
ファクス設定メニューの説明 216
クイック操作ボタン 216
送信設定 217
受信設定 218
レポート設定 222
基本設定 222
セキュリティー設定 224
ファクス診断 225
ファクス設定ウィザード 225
ユーザー設定メニューの説明 225
ファクスボックスメニューの説明 225

インクパックなど消耗品の交換 227

インクパック取り扱い上のご注意 228
インクパックを交換する 229
メンテナンスボックス取り扱い上のご注意 232
メンテナンスボックスの交換 233
消耗品の回収 233

プリンターのメンテナンス 234

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする .235
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - 操作パネル 235
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Windows 236
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Mac OS X 236
罫線のズレを調整する 236
給紙経路をクリーニングする 237
給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき） 237
給紙経路をクリーニングする（背面MPトレイから正しく給紙されないとき） 238
給紙経路をクリーニングする（用紙カセットから正しく給紙されないとき） 238
ADFをクリーニングする 239
原稿台をクリーニングする 241

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内 243

文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2） 244
スキャナーの追加方法 244
コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Document Capture Pro） 245
ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility） 245
ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー） 246
ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config） 247
WebブラウザーからWeb Configを起動する 247
WindowsからWeb Configを起動する 248
Mac OS XからWeb Configを起動する 248
ソフトウェアの更新ツール（Software Updater） 248
最新のソフトウェアをインストールする 249
PostScriptプリンタードライバーをインストールする 250
PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Windows 250
ネットワーク接続でインストールする -Mac OS X 250
ソフトウェアをアンインストール（削除）する 251
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows 251
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS X 252
ネットワークサービスを使って印刷する 253

困ったときは 254

プリンターの状態を確認する 255
プリンター画面のメッセージを確認する 255
ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する ..257
プリンターの状態を確認する - Windows 262
プリンターの状態を確認する - Mac OS X 262
ソフトウェアの状態を確認する 262
詰まった用紙を取り除く 263
正しく給紙、排紙ができない 263
印刷用紙が詰まる 263
斜めに給紙される 264
重なって給紙される 264
増設カセットユニットから給紙できない 264

用紙なしのエラーが発生する 265
ADFから給紙できない 265
用紙が順番通りにならない、バラバラに重なる .. 266
排紙の向きが思い通りにならない 266
電源、操作パネルのトラブル 267
電源が入らない 267
電源が切れない 267
使用中に電源が切れてしまう 267
プリンターの画面が暗くなった 267
プリンターの画面が反応しない 267
操作パネルから操作できない 268
コンピューターから印刷できない 268
iPhoneやiPadから印刷できない 270
印刷が中断される 270
印刷結果のトラブル 270
印刷トラブルを解決する 270
用紙ごとに印刷トラブルを解決する 271
印刷結果がかすれる、出ない色がある 272
印刷結果にスジ（線）が入る、色合いがおかしい 272
約3.3cm間隔で色の付いたスジが入る 272
印刷結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる 273
印刷品質が悪い 273
印刷用紙が汚れる、こすれる 274
自動両面印刷すると印刷用紙が汚れる 275
写真印刷するとインクがベタベタする 275
画像や写真が意図しない色合いになる 275
ハガキに縦長の写真を印刷すると宛名面と上下が逆になる 276
印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない .. 276
文字が正しく印刷されない、文字化けする 276
画像が反転する 277
モザイクがかかったように印刷される 277
コピー結果にムラやシミ、斑点、線が出る 277
コピー結果にモアレ（網目状の陰影）が出る 277
コピーすると裏写りする 278
印刷結果のトラブルが解決しない 278
印刷時のその他のトラブル 278
印刷速度が遅い 278
連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった 279
Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない ... 279
PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル 279
PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない 279
PostScriptプリンタードライバー使用時に正しく印刷できない 280
PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷品質が悪い 280
PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷速度が遅い 280
スキャンできない 280
スキャン品質のトラブル 281
原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる 281
ADFからスキャンするとき直線が現れる 282
画質が粗い 282
原稿の裏面が写る 282
文字がぼやける 282
モアレ（網目状の陰影）が現れる 283
原稿台で正しい範囲でスキャンできない 283
検索可能PDFに保存するとき、文字が正しく認識されない 283
スキャン品質のトラブルが解決しないときは 284
操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない 285
プリンターのメッセージを確認 285
保存に時間がかかる 286
プライベートネットワークとパブリックネットワークを切り替える 287
スキャン時のその他のトラブル 291
スキャン速度が遅い 291
スキャンした画像をメールで送信できない 292
PDF/Multi-TIFF形式でスキャンすると動作が止まる 292
ファクス送受信のトラブル 292
ファクスの送信も受信もできない 292
ファクスを送信できない 294
特定送信先にファクスを送信できない 294
指定時間にファクスを送信できない 295
ファクスを受信できない 295
外部メモリーに受信文書を保存できない 296
メモリー不足のメッセージが表示された 296
きれいに送信できない 297
原稿サイズと違うサイズで送信された 297
きれいに受信できない 297
A3ファクスを受信できない 298
受信ファクスが印刷されない 298
受信ファクスの2ページ目が白紙または数行だけ印刷される 298
ファクス時のその他のトラブル 298
プリンターに接続した外付け電話機で通話できない 298
留守番電話が応答しない 299
ナンバーディスプレイ機能が働かない 299
受信文書に相手先のファクス番号が表示されない、またはファクス番号が間違って表示される .. 299
その他のトラブル 299
プリンターに触れたときに電気を感じる 299
動作音が大きい 300
日時、時刻がずれている 300
外部メモリーが認識されない 300
外部メモリーにデータを保存できない 300
パスワードを忘れた 301
ソフトウェアがセキュリティーソフトにブロックされる（Windowsのみ） 301
写真の選択画面で「！」と表示される 301

付録 302

プリンターの仕様 303

プリンター部の仕様 303
スキャナー部の仕様 304
インターフェイスの仕様 305
ファクス部の仕様 305
ネットワーク機能一覧 306
無線LANの仕様 307
有線LANの仕様 308
セキュリティーのプロトコル 308
PostScript Level 3との互換性 308
対応している他社サービス 309
外部記憶装置の仕様 309
対応ファイルの仕様 309
外形寸法、質量の仕様 310
電気的仕様 310
動作時と保管時の環境仕様 311
設置場所と設置スペース 311
対応OS 313

フォント情報 313

対応フォント（PostScript 3） 313

規格と規制 315

電源高調波 315
瞬時電圧低下 315
電波障害自主規制 315
著作権 315
複製が禁止されている印刷物 315

製品のご注意 316

本製品の不具合に起因する付随的損害 316
外部記憶装置に関するご注意 316
液晶ディスプレイの特性 316
タッチパネル使用上のご注意 316
揮発性物質の放散 317
電波に関するご注意 317
無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意 318
セキュリティーに関するご注意 318
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意 318
本製品の使用限定 319
本製品の保存情報の消去 319

プリンターの移動 319

プリンターを移動する 320
キャビネット付きのプリンターの移動 322

商標 322

サービスとサポートのご案内 324

保守サービスのご案内 324
お問い合わせ先 325

マニュアルの見方

マニュアルの種類と内容 8
Web動画ガイドのご案内 8
マニュアルの使い方と情報の探し方 8
マークの意味 10
マニュアル記載の前提 10
OS表記 10
マニュアルのご注意 11

マニュアルの種類と内容

プリンターには以下のマニュアルが用意されています。マニュアル以外にも、いろいろなヘルプがプリンター本体やソフトウェアに組み込まれているのでご活用ください。

- 製品使用上のご注意（紙マニュアル）
  製品を安全に使用するための注意事項を記載しています。
- セットアップガイド（紙マニュアル）
  プリンターの開梱から、本体のセットアップ、コンピューターとの接続までの手順を説明しています。
- 使い方ガイド（紙マニュアル）
  プリンターの基本的な使い方やお勧め機能の使い方、よくあるご質問の対処方法などを説明しています。
- ユーザーズガイド（電子マニュアル）
  本書です。プリンターの使い方全般や、メンテナンス方法、トラブルへの対処方法などを説明しています。
- システム管理者ガイド（電子マニュアル）
  システム管理者向けに管理の仕方やプリンターの設定方法を説明しています。

マニュアルの最新版は以下から入手できます。

- 紙マニュアル
  エプソンのウェブサイトからダウンロードします。
  http://www.epson.jp/support/
- 電子マニュアル
  コンピューターでEPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）を起動します。EPSON Software Updaterは、エプソンのウェブサイトにアクセスして更新可能なソフトウェアや電子マニュアルの一覧を表示します。一覧の中に電子マニュアルがあったらダウンロードしてください。
  電子マニュアルは、以下のサイトの［サポート］ページからダウンロードすることもできます。
  http://epson.sn/

関連情報

➡ 「ソフトウェアの更新ツール（Software Updater）」248ページ

Web動画ガイドのご案内

コピーの仕方、封筒に印刷する方法、メンテナンスボックスの交換などの操作手順を『動画ガイド』の実写動画でご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。動画の内容は変わることがあります。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

マニュアルの使い方と情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

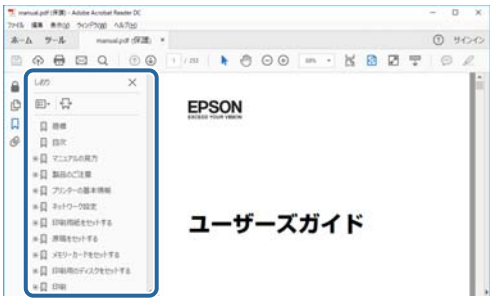
キーワードで検索する

［編集］メニューの［高度な検索］をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、［検索］をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。［+］をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

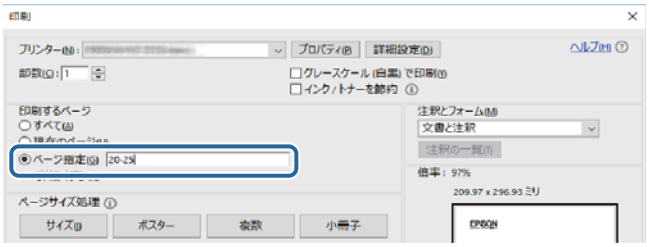
- Windows：Altキーを押したまま←キーを押します。
- Mac OS X：commandキーを押したまま←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。［ファイル］メニューの［印刷］をクリックし、［印刷するページ］の［ページ指定］で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
  例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
  例：5,10,15



マークの意味

⚠注意　この内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考　補足情報や参考情報を記載しています。

➡ 関連情報
関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- プリンタードライバーとEpson Scan 2（スキャナードライバー）の画面は、Windows 10またはMac OS X v10.11.xでの表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- プリンターのイラストは一例です。 機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- プリンター画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system日本語版

Mac OS X

本書では、OS X El Capitanを「Mac OS X v10.11.x」、OS X Yosemiteを「Mac OS X v10.10.x」、OS X Mavericksを「Mac OS X v10.9.x」、OS X Mountain Lionを「Mac OS X v10.8.x」と表記しています。また、「Mac OS X v10.11.x」「Mac OS X v10.10.x」「Mac OS X v10.9.x」「Mac OS X v10.8.x」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.8」の総称として「Mac OS X」を使用しています。

マニュアルのご注意

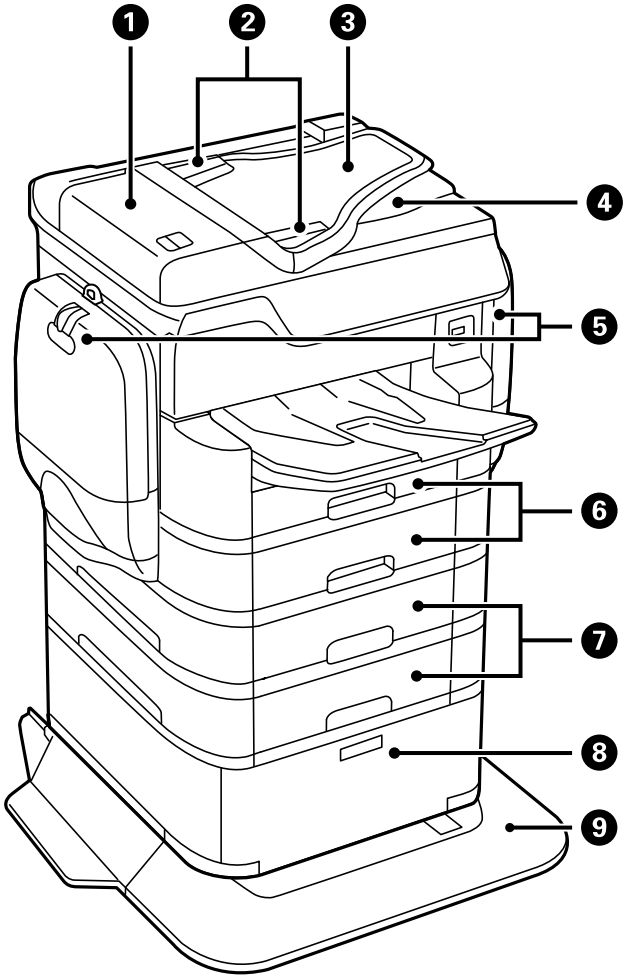
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2016 Seiko Epson Corporation

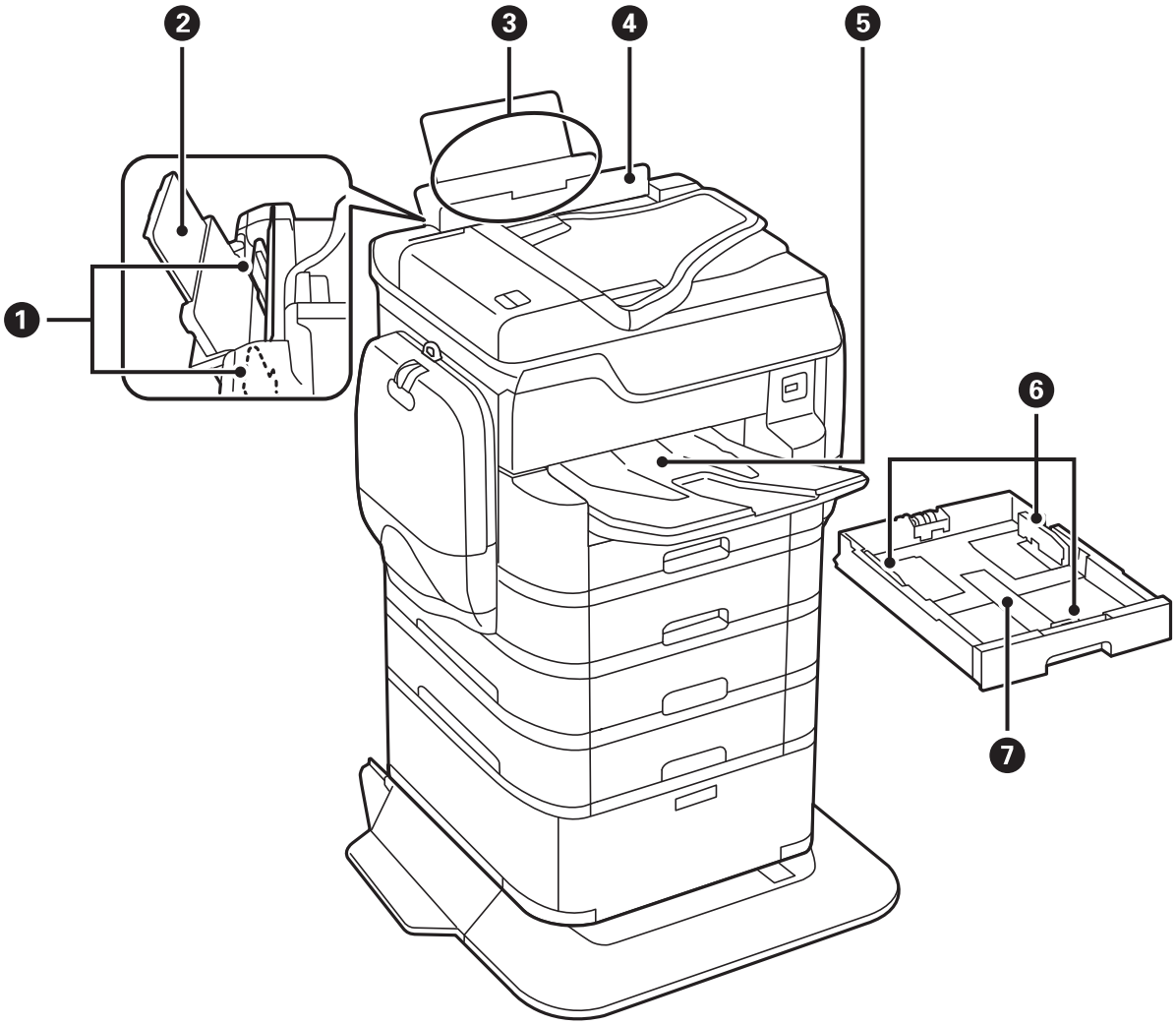
プリンターの基本情報

各部の名称と働き 13
画面の見方と使い方 18
操作手順を動画で見る 22

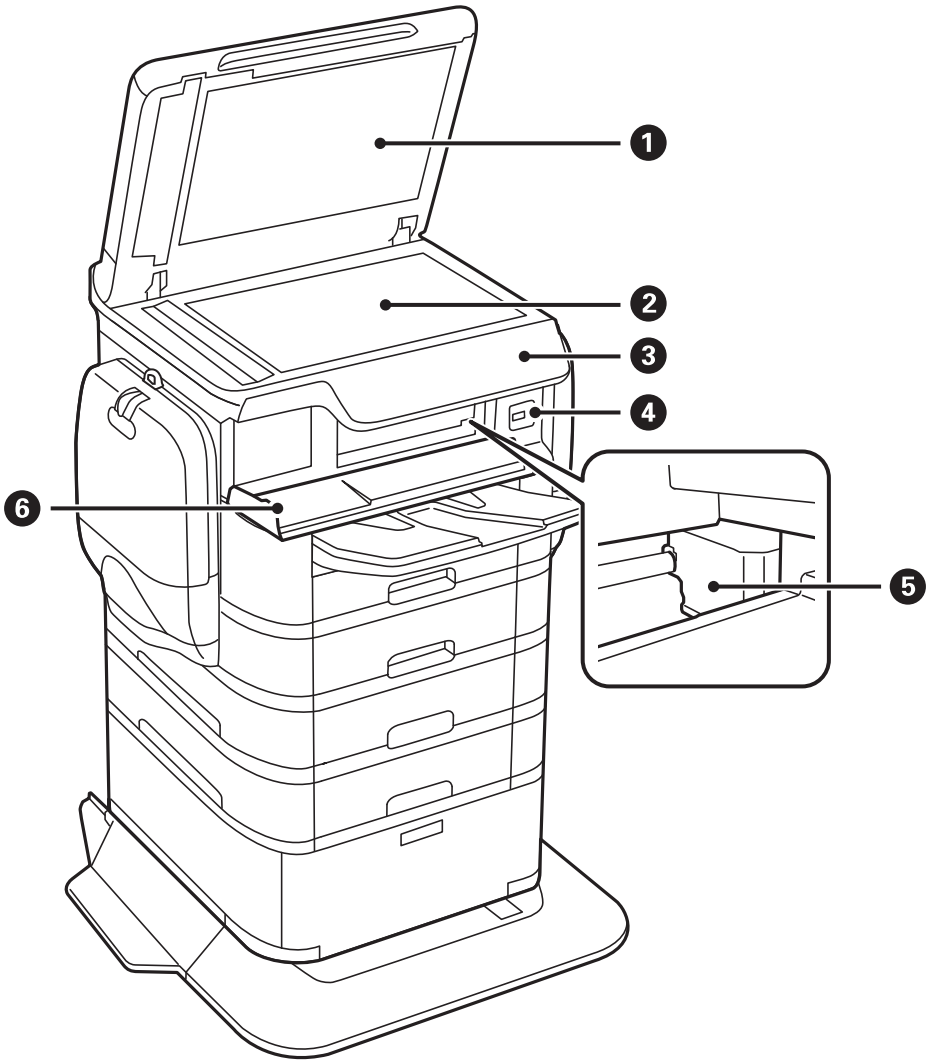
各部の名称と働き



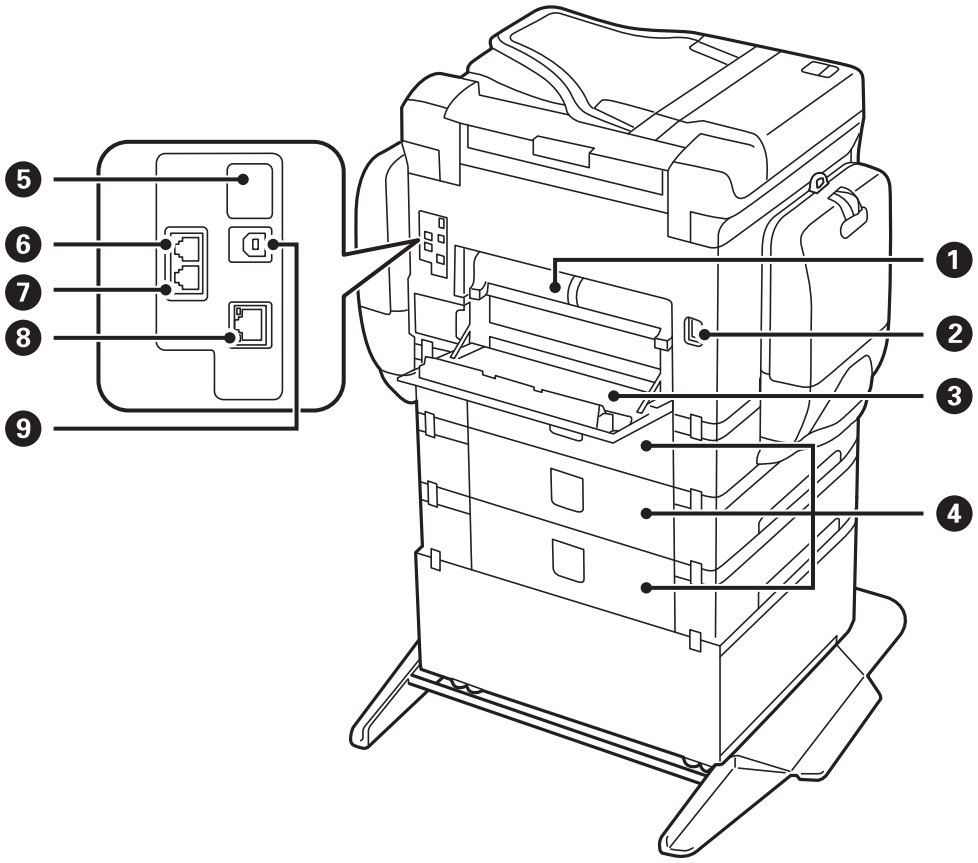
❶	ADF（オートドキュメントフィーダー）カバー（F）	ADFに詰まった原稿を取り除くときに開けます。
❷	ADF原稿ガイド	原稿をまっすぐ送るためのガイドです。原稿の側面に合わせてください。
❸	ADF給紙トレイ（F）	原稿を自動で送ります。
❹	ADF排紙トレイ	ADFから排出された原稿を保持します。
❺	インクケース（P1、P2）	インクパックをセットします。
❻	用紙カセット1、用紙カセット2（C1、C2）	印刷用紙をセットします。
❼	用紙カセット3、用紙カセット4（C3、C4）	（取り付け契約された場合のみ）印刷用紙をセットします。
❽	キャビネット	（取り付け契約された場合のみ）印刷用紙や消耗品などが収納できます。
❾	転倒防止脚	プリンターが倒れないように支えます。 プリンターを動かすときは、前方のカバーを外して、キャビネットのロックを解除してください。



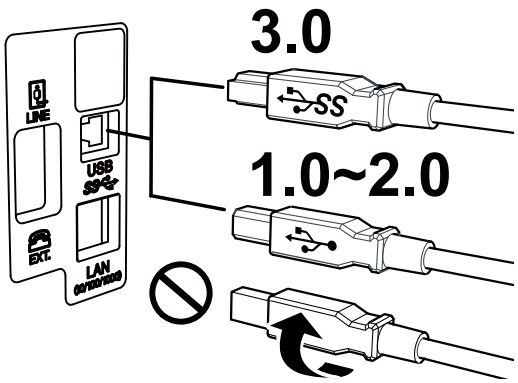
❶	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
❷	用紙サポート	セットした印刷用紙を支えます。
❸	背面MPトレイ（B1）	印刷用紙をセットします。
❹	給紙口カバー	内部に異物が入ることを防ぎます。通常は閉めておいてください。
❺	排紙トレイ	印刷された用紙を保持します。 順番どおりに排紙されないときや用紙がバラバラに重なるときは、中央のレバーを手前に引くと改善することがありますが、排紙容量は少なくなります。
❻	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
❼	用紙カセット	印刷用紙をセットします。



❶	原稿カバー	原稿の読み取り時に外部の光を遮ります。
❷	原稿台	原稿をスキャンします。
❸	操作パネル	プリンターの状態を表示したり、メンテナンスや設定をしたりします。
❹	外部機器接続用ポート	外部メモリーを挿入します。
❺	プリントヘッド	インクを吐出します。
❻	前面カバー（A）	内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。



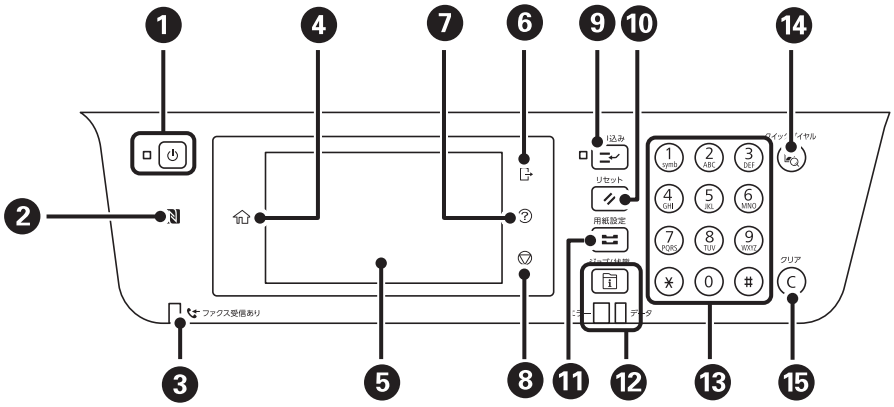
!重要 1.0および2.0のUSBケーブルを使用するときは、挿入する向きにご注意ください。プリンターを損傷するおそれがあります。



❶	背面ユニット（D2）	詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
❷	電源コネクター	電源コードを接続します。
❸	背面カバー（D1）	メンテナンスボックスの交換や詰まった用紙を取り除くときに開けます。
❹	背面カバー（E）	（取り付け契約された場合のみ）増設カセットユニットのカバーです。 詰まった用紙を取り除くときに開けます。

❺	サービス用ポート	通常は使用しません。 シールを剥がさないでください。
❻	LINEポート	（ファクス契約された場合のみ）電話回線を接続します。
❼	EXT.ポート	（ファクス契約された場合のみ）外付け電話機を接続します。
❽	LANポート	LANケーブルを接続します。
❾	USBポート	コンピューターと接続するためのUSBケーブルを接続します。

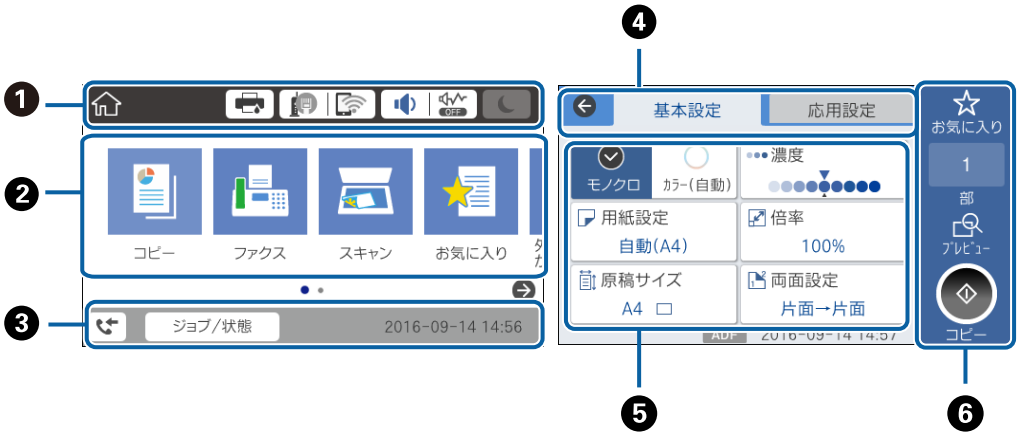
操作パネル



❶	電源を入/切します。 電源コードを抜くときは、電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。
❷	スマートデバイスをこのマークにかざすと、スマートデバイスから印刷やスキャンができます。
❸	未処理（未読や印刷してない、未保存など）の受信文書があるときに点灯します。
❹	ホーム画面を表示します。
❺	項目やメッセージを表示します。 画面をタッチすると項目の選択ができます。画面をなぞるとスクロールできます。
❻	［利用者制限］が有効なときは、プリンターからログオフします。 ［利用者制限］が無効のときは表示されません。
❼	［ヘルプ］画面を表示します。 困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順が確認できます。
❽	動作を中止します。
❾	実行中の印刷ジョブを中断して、他の印刷ジョブを割り込んで実行します。ただし、コンピューターから新しい印刷データを割り込ませることはできません。 割り込み動作終了後に押すと、中断した動作を再開します。
❿	操作中の設定を変更前の状態に戻します。

⓫	［用紙設定］画面を表示します。給紙装置ごとに用紙のサイズと用紙の種類が設定できます。
⓬	［ジョブ/状態］画面を表示します。プリンターの状態やジョブ履歴が確認できます。 エラーランプ（左）はエラー発生時に点滅または点灯します。 データランプ（右）はデータ処理中に点滅します。待機中のジョブがあると点灯します。
⓭	数字やアルファベット、記号を入力します。
⓮	アドレス帳の検索画面を表示します。登録番号を指定すると、その宛先を登録したモード（スキャンやファクス）を表示します。
⓯	コピー部数などの数値設定をクリアします。

画面の見方と使い方



❶	プリンターの状態がアイコンで表示されます。タップすると、現在の設定の確認や各設定のメニューにアクセスできます。
❷	各モードが表示されます。モードの追加や並び順の変更もできます。 アイコンがグレーアウトされているときは、管理者により機能が制限されています。をタップして登録された利用者を選択し、パスワードを入力すると有効になります。
❸	実行中のジョブやプリンターの状態が表示されます。表示されたメッセージをタップすると、［ジョブ/状態］メニューが表示されます。 プリンターが動作していないときやエラーが発生していないときは、日付と時間が表示されます。
❹	タブを切り替えます。
❺	設定項目の一覧が表示されます。設定や設定を変更するときは、各項目をタップします。 グレーアウトの項目は設定できません。タップすると、設定できない理由が確認できます。
❻	現在の設定で実行します。項目は各モードによって異なります。

画面に表示されるアイコン

プリンターの状況に応じたアイコンが画面に表示されます。

		［プリンター状態］画面を表示します。 インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。
		ネットワークの接続状態を示しています。 アイコンを選択すると現在の設定の確認や変更ができます。以下のメニューのショートカットです。 ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［無線LAN接続設定］
		有線LAN非接続、ネットワーク未設定
		有線LAN接続中
		無線LAN（Wi-Fi）無効
		SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または悪い
		無線LAN（Wi-Fi）接続中 線の数は電波の状態を示します。線の数が多いほど、電波の状態は良好です。
		Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続無効
		Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続有効
		［機器出力音設定］画面を表示します。［ミュート］と［動作音低減モード］が設定できます。 この画面から［音の設定］メニューを表示することもできます。以下のメニューのショートカットです。 ［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［音の設定］
		［動作音低減モード］になっているかいないかを示しています。プリンターの動作音は抑えられますが、印刷速度は遅くなります。ただし、選択した用紙種類や印刷品質によっては、動作音が変わらないことがあります。
		［ミュート］になっていることを示しています。
		アイコンを選択すると、スリープモードに移行します。アイコンがグレーアウトしているときは、スリープモードにできません。
		利用者が制限されていることを示します。アイコンを選択するとログオン画面が表示されます。ユーザー名を選択して、パスワードを入力してください。ログオン情報は、プリンターの管理者に確認してください。
		利用を許されているユーザーがログオン状態であることを示します。 アイコンを選択してログオフします。
		［ファクスデータ情報］画面を表示します。
		ユーザーデフォルト設定や出荷時の設定から、設定が変更されたことを示します。
		補足情報があるときに表示されます。アイコンを選択すると、補足情報が確認できます。
		その項目に問題があることを示します。アイコンを選択すると、対処方法を確認できます。

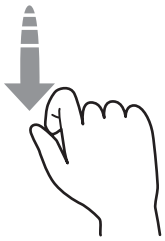
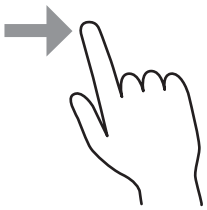
1	未処理のデータがあるときに表示されます。数字は未処理のデータの数を表します。

関連情報

- 「ネットワーク設定」55ページ
- 「音の設定：」49ページ

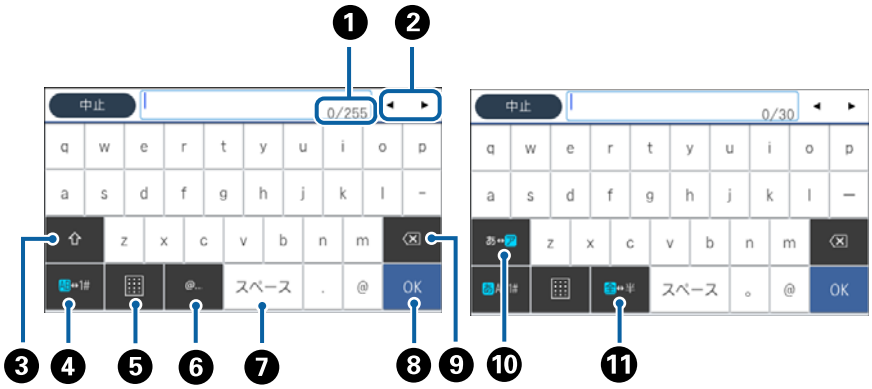
タッチパネルの操作

本製品の液晶ディスプレイは以下のタッチ操作に対応しています。

タップ		ボタンや項目を、押すまたは選びます。
フリック（はじく）		画面を素早くスクロールします。
スライド（なぞる）		項目を押したまま上下左右に移動します。

文字入力の仕方

アドレス帳やネットワーク設定などでの文字や記号の入力は、文字入力画面で行います。

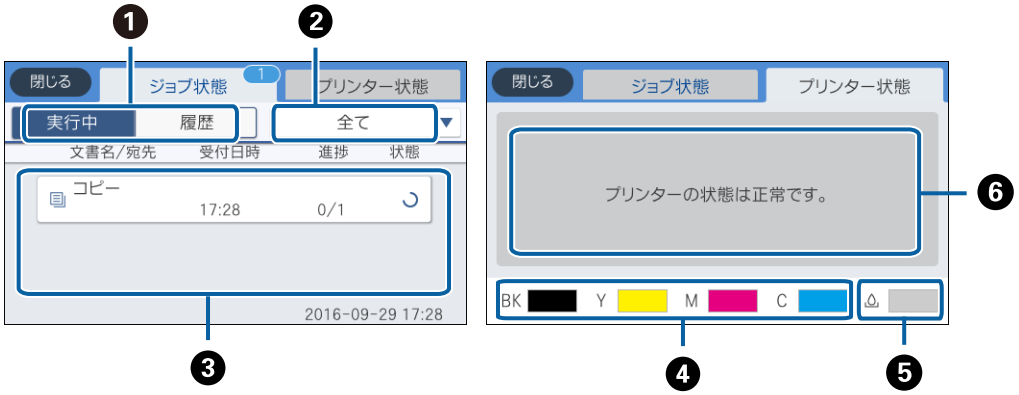


参考　設定する項目によって表示されるアイコンは異なります。

❶	文字数を表します。
❷	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
❸	アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。
❹	文字種を切り替えます。 あ：ローマ字入力 、かな文字入力 AB：アルファベット入力 1#：数字と記号入力
❺	キーボードの表示を切り替えます。
❻	メールアドレスやURLでよく使われるドメイン名（@やwww.の後）を表示します。ドメイン名を選択するだけで簡単に入力できます。
❼	スペースを入力します。ひらがな入力時は、［変換］に変わります。
❽	入力した文字を確定します。
❾	入力した文字を削除します。
❿	カタカナとひらがなを切り替えます。
⓫	全角と半角を切り替えます。

ジョブ/状態画面の見方

ボタンを押して［ジョブ/状態］メニューを表示します。プリンターの状態やジョブの確認ができます。



❶	表示するリストを切り替えます。
❷	機能別にジョブを絞ります。
❸	［実行中］は、実行中または予約中のジョブを表示します。 ［履歴］は、ジョブ履歴を表示します。 ジョブのキャンセルや、失敗したジョブのエラーコードを履歴で確認できます。

❹	インク残量を示します。
❺	メンテナンスボックスの空き容量を示します。
❻	プリンターに発生したエラーを表示します。エラーメッセージを表示させるには、リストからエラーを選択してください。

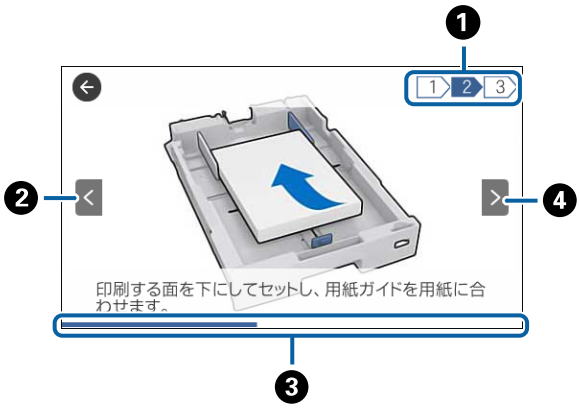
関連情報

➡ 「ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する」257ページ

操作手順を動画で見る

印刷用紙のセットや詰まった用紙の取り除き方は、操作パネルの画面で動画を見ながら操作できます。

- 画面の右側に点灯している?をタップする：ヘルプ画面が表示されます。［操作方法が知りたい］をタップして、見たい項目を選択します。
- 操作中の画面下部に表示される［操作方法を見る］をタップする：状況に応じた動画が表示されます。



❶	動画を構成する手順の総数と、現在表示している手順が何番目かを示します。 この画面の例では、全3手順中の2番目の手順を表示していることを示します。
❷	1つ前の手順に戻って再生します。
❸	1手順の進行状況を表示します。プログレスバーが右端に達すると、手順の最初に戻って再生します。
❹	次の手順を再生します。

プリンターの準備

印刷用紙のセット 24
原稿のセット 38
外部記憶装置のセット 44
アドレス帳を管理する 45
お気に入りの設定を登録する 48
設定メニューの説明 49
省電力設定 60

印刷用紙のセット

対応用紙とセット可能枚数

以下は2016年11月現在の情報です。
よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙（純正品）のご使用をお勧めします。

エプソン製専用紙（純正品）

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			両面印刷
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	背面MPトレイ	
ビジネス普通紙	A3ノビ	–	–	50	手動*1
	A3	用紙ガイドの三角マークが示す線まで		50	自動、手動*1
	A4			85	
両面上質普通紙＜再生紙＞	A3	200	400	40	自動、手動*1
	A4			50	
写真用紙クリスピア＜高光沢＞	A3ノビ、A3、四切	–	–	10	–
	A4、六 切、2L判、KGサイズ、L判	–	–	20	–
写真用紙＜光沢＞	A3ノビ、A3、四切	–	–	10	–
	A4、六 切、2L判、ハイビジョン、KGサイズ、L判	–	–	20	–
写真用紙＜絹目調＞	A3ノビ、A3	–	–	10	–
	A4、2L判、L判	–	–	20	–
写真用紙ライト＜薄手光沢＞	A3ノビ、A3	–	–	10	–
	A4、2L判、KGサイズ、L判	–	–	20	–
フォトマット紙	A3ノビ、A3	–	–	10	–
	A4	–	–	20	–
スーパーファイン紙	A3ノビ、A3	–	–	50	–
	A4	–	–	70	–

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			両面印刷
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	背面MPトレイ	
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	–	–	1	–
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	–	–	30	手動
両面マット名刺用紙*2	A4	–	–	1	手動
長尺用紙（LPCCJY2 ）	297×1200 mm	–	–	1	–

*1　手動両面印刷は背面MPトレイのみ対応、片面印刷済みの用紙は30枚まで

*2　両面マット名刺用紙のレイアウトに対応したアプリケーションソフト（Windowsのみ対応）が必要です。詳しくはエプソンのウェブサイト「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。
http://www.epson.jp/support/faq/
製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「両面マット名刺」などのキーワード入力で検索できます。

参考　エプソン製専用紙（純正品）をユーザー定義サイズで印刷するときは、印刷品質は［標準］のみとなります。ただし、一部のドライバーでは高品質の印刷設定を選択できますが、その場合も［標準］の品質で印刷されます。

市販の印刷用紙

<table>
<tr><th rowspan="2">用紙名称</th><th rowspan="2">対応サイズ</th><th colspan="3">セット可能枚数</th><th rowspan="2">両面印刷</th></tr>
<tr><th>用紙カセット1</th><th>用紙カセット2～4</th><th>背面MPトレイ</th></tr>
<tr><td rowspan="6">普通紙
コピー用紙
レターヘッド
再生紙
色つき用紙
印刷済み用紙</td><td>A3ノビ</td><td>–</td><td>–</td><td>50</td><td>手動*3</td></tr>
<tr><td>A3、B4</td><td colspan="2" rowspan="2">用紙ガイドの三角マークが示す線まで</td><td>50</td><td rowspan="2">自動、手動*2*3</td></tr>
<tr><td>Legal*1、Letter*1、A4、Executive*1、B5、A5</td><td>85</td></tr>
<tr><td>A6、B6</td><td>用紙ガイドの三角マークが示す線まで</td><td>–</td><td>85</td><td>手動*2*3</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義サイズ（mm）*1
55×127～329×1200</td><td>–</td><td>–</td><td>1</td><td>手動</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義サイズ（mm）*1
100×148～297×431.8</td><td>用紙ガイドの三角マークが示す線まで</td><td>–</td><td>–</td><td>–</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義サイズ（mm）*1
148×210～297×431.8</td><td colspan="2">用紙ガイドの三角マークが示す線まで</td><td>50</td><td>自動、手動*2*3</td></tr>
</table>

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			両面印刷
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	背面MPトレイ	
厚紙（91～150 g/m²）	A3、B4、Legal*1	150	250	20	自動、手動*2
	Letter*1、A4、Executive*1、B5、A5		300	40	
	A6、B6	150	–	40	手動*2
	ユーザー定義サイズ（mm）*1 55×127～329×1200	–	–	1	手動
	ユーザー定義サイズ（mm）*1 100×148～297×431.8	150	–	–	–
	ユーザー定義サイズ（mm）*1 148×210～297×431.8	150	250	20	自動、手動*2
厚紙（151～200 g/m²）	A3、B4、Legal*1	120	200	15	手動*2
	Letter*1、A4、Executive*1、B5、A5		250	30	手動*2
	A6、B6	120	–	30	手動*2
	ユーザー定義サイズ（mm）*1 55×127～329×1200	–	–	1	手動
	ユーザー定義サイズ（mm）*1 100×148～297×431.8	120	–	–	–
	ユーザー定義サイズ（mm）*1 148×210～297×431.8	120	200	15	手動*2

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			両面印刷
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	背面MPトレイ	
厚紙（201～256 g/m²）	A3、B4、Legal*1	-	-	10	手動
	Letter*1、A4、Executive*1、B5、A5、A6、B6	-	-	20	
	ユーザー定義サイズ（mm）*1 55×127～329×1200	-	-	1	
往復ハガキ*1*4	往復ハガキ	-	-	15	手動
郵便ハガキ*4	ハガキ	50	-	30	手動*2
郵便ハガキ（インクジェット紙）*4	ハガキ	50	-	30	手動*2
長形封筒*5	3号、4号	-	-	10	-
洋形封筒*6	1号、2号、3号、4号				
角形封筒*5	2号、20号	-	-	1	-

*1　コンピューターまたはスマートデバイスからの印刷のみ対応
*2　手動両面印刷は背面MPトレイのみ対応
*3　手動両面時に片面印刷済みの用紙をセットするときは30枚まで
*4　日本郵便株式会社製（郵便ハガキ<インクジェット写真用>は非対応）
*5　Mac OS Xは非対応
*6　宛名面のみ対応

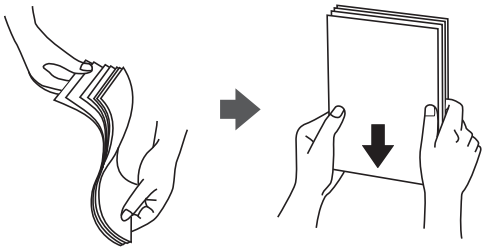
関連情報

➡ 「各部の名称と働き」13ページ

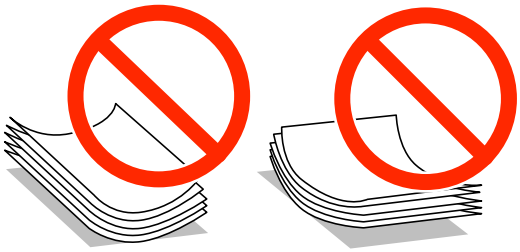
印刷用紙取り扱い上のご注意

- 印刷用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項を確認してください。
- エプソン製専用紙にきれいに印刷するには、印刷用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている環境で使用してください。
- 用紙幅が105 mm未満で横目の紙は、使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

- 印刷用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



- 印刷用紙が反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。反った印刷用紙は紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。



- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている、厚過ぎる、薄過ぎる、シールなどが貼ってある用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

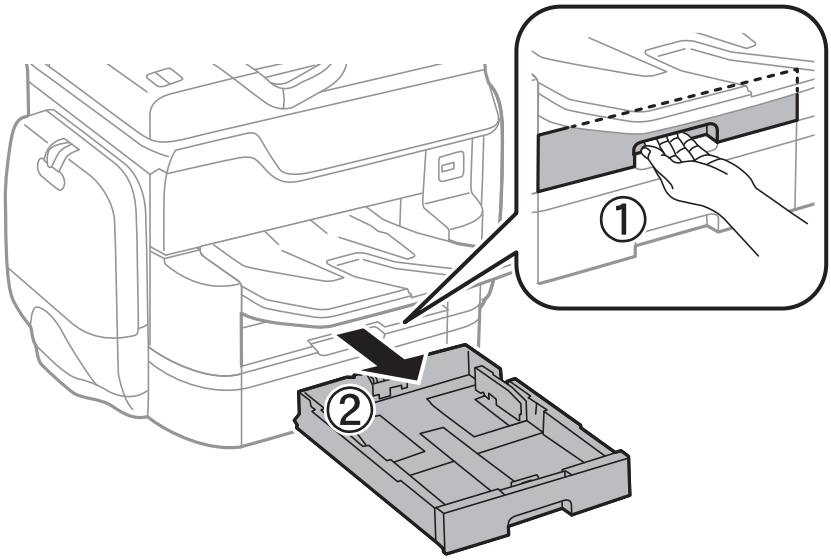
関連情報

➡ 「プリンター部の仕様」303ページ

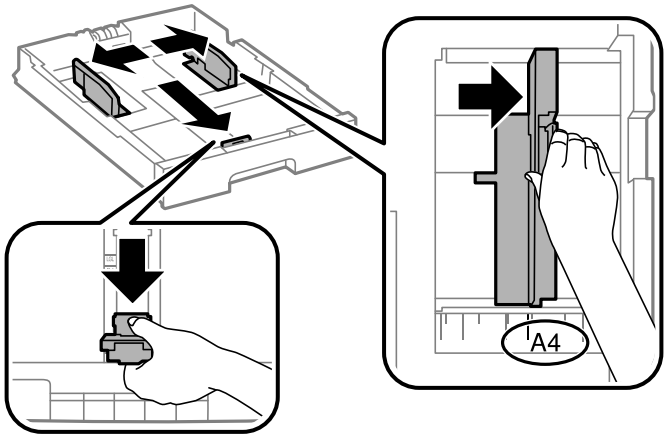
用紙カセットに印刷用紙をセットする

参考　キャビネットと増設カセットユニット装着時は、複数段の用紙カセットを同時に引き出さないでください。

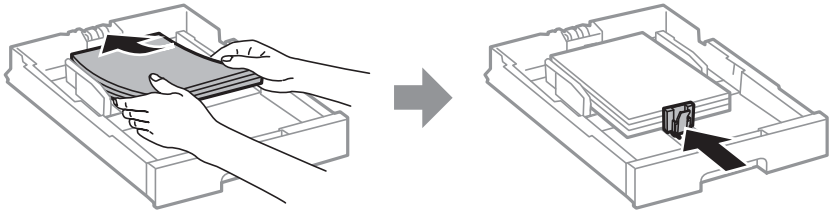
1. プリンターが動作していないことを確認して、用紙カセットを引き抜きます。



2. 手前の用紙ガイドはいっぱいまで広げて、左右の用紙ガイドはセットする印刷用紙のサイズに合わせます。

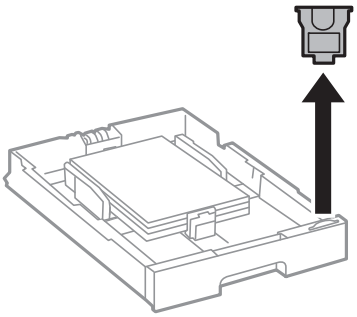


3. 印刷する面を下にしてセットして、手前の用紙ガイドを用紙に合わせます。



!重要 印刷用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。

4. 用紙カセットにセットした用紙サイズが、用紙サイズラベルと一致していることを確認します。一致していないときはホルダーを取り外してラベルの表示を変えます。



5. 用紙カセットを奥までセットします。

6. 前回と異なる用紙種類をセットしたときは、操作パネルで用紙種類を設定します。

   ボタンを押して用紙をセットした用紙カセットを選択し、セットした用紙種類を設定してください。

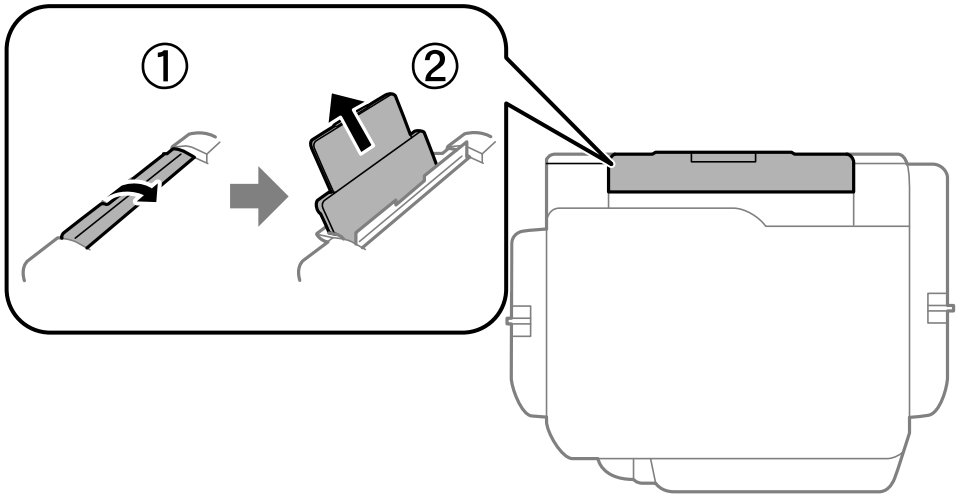
   参考 以下の用紙サイズ以外をセットしたときは、用紙サイズの設定も必要です。
   A3、B4、A4、B5、A5、B6、ハガキ

関連情報

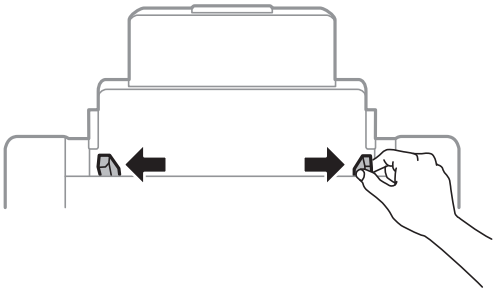
- 「印刷用紙取り扱い上のご注意」28ページ
- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
- 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
- 「ハガキのセット方法」33ページ
- 「検知できる用紙サイズの一覧」38ページ

背面MPトレイに印刷用紙をセットする

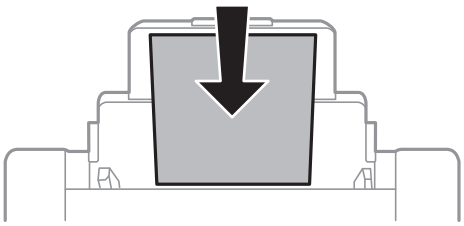
1. 給紙口カバーを開けて、用紙サポートを引き出します。



2. 用紙ガイドを広げます。



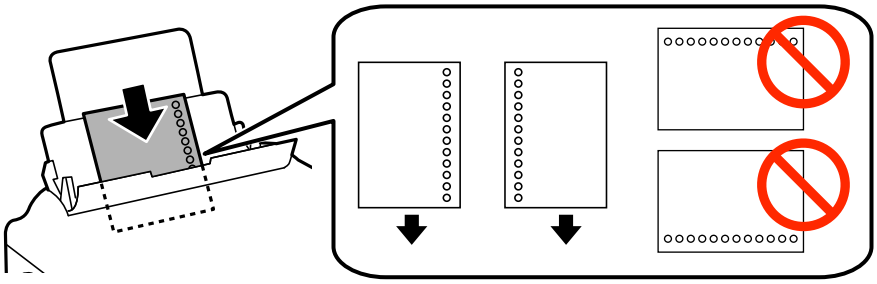
3. 印刷する面を手前にして、背面MPトレイの中央にセットします。



！重要

- 印刷用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。
- 用紙は縦長にセットします。ただし、ユーザー定義サイズで、用紙の長辺を用紙幅として設定した用紙は横長にセットしてください。

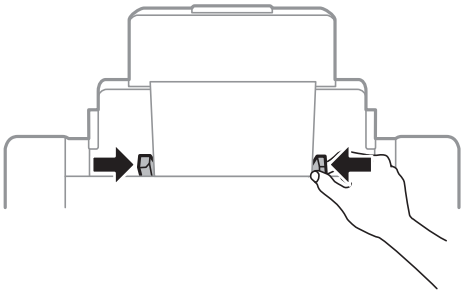
- 穴あき用紙



参考

- 定形サイズで普通紙の穴あき用紙に対応しています。
- 印刷データが穴位置にかからないように調整してください。
- 自動両面印刷はできません。

4. 用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。



5. 背面MPトレイにセットした用紙のサイズと種類を操作パネルから設定します。

参考

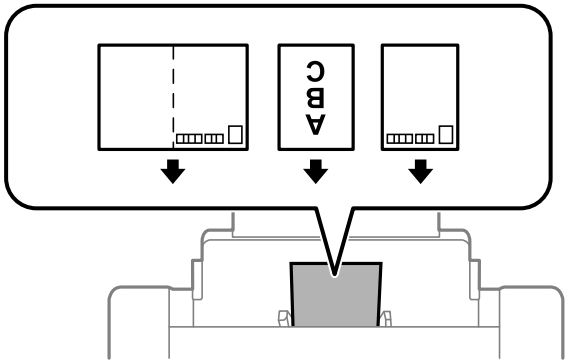
- 用紙サイズと用紙種類の設定画面は、操作パネルの ボタンを押しても表示できます。
- 印刷用紙の残りはパッケージに入れて保管してください。プリンターにセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因になります。

関連情報

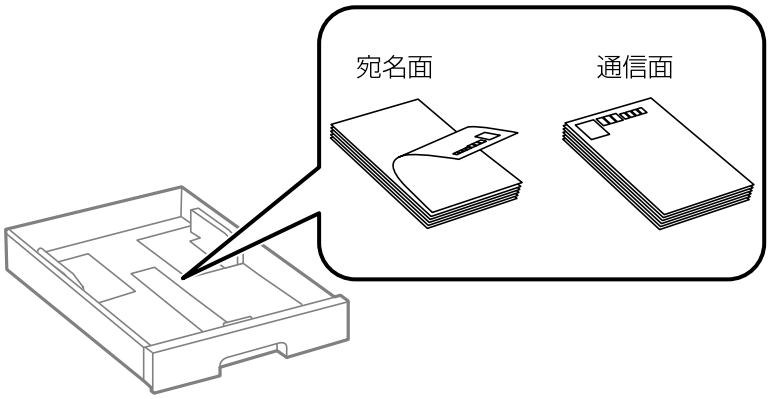
- 「印刷用紙取り扱い上のご注意」28ページ
- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
- 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
- 「ハガキのセット方法」33ページ
- 「封筒のセット方法」35ページ
- 「長尺紙のセット方法」36ページ

ハガキのセット方法

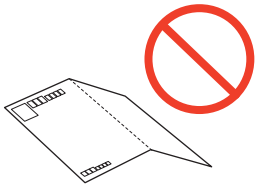
背面MPトレイにセットするときは、印刷する面を手前にして中央にセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



用紙カセットにセットするときは、印刷する面を下にしてセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



- 両面に印刷するときは、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。印刷こすれや汚れを防ぐ ために、宛名面から先に印刷することをお勧めします。
- 折り跡のある往復ハガキや写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキは使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

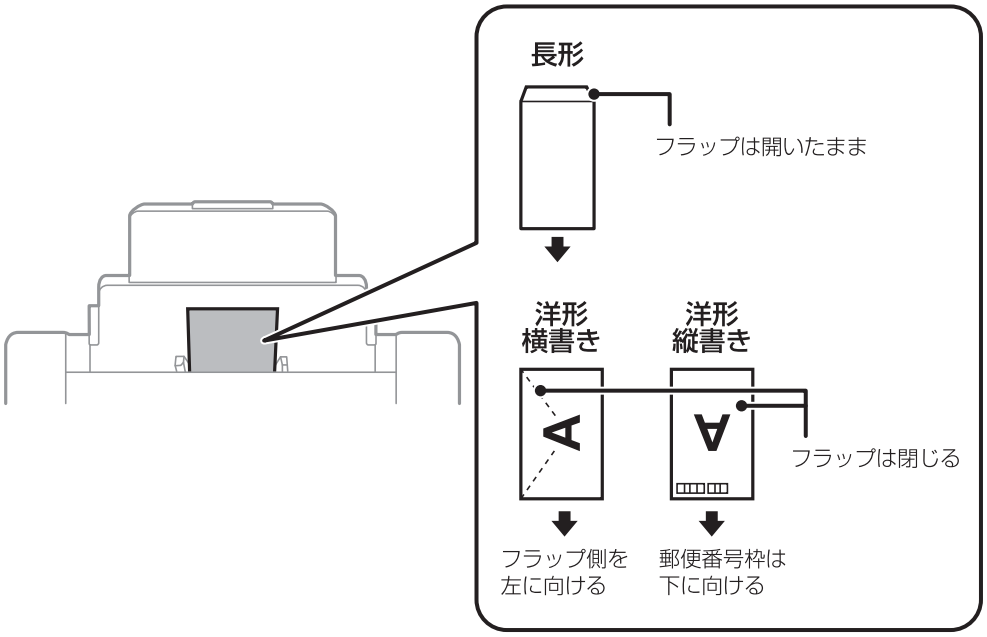


関連情報

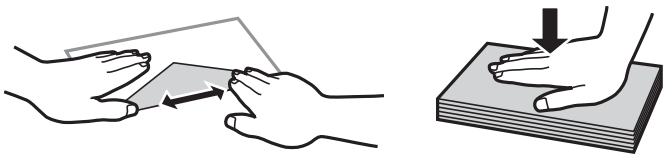
➡ 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
➡ 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ
➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ

封筒のセット方法

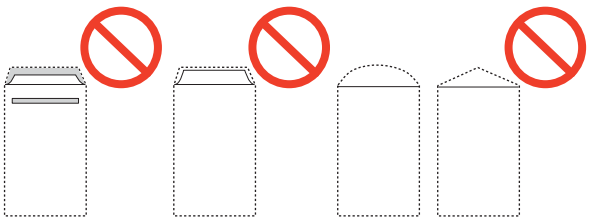
背面MPトレイにセットするときは、印刷する面を手前にして中央にセットし、用紙ガイドを封筒に合わせてください。



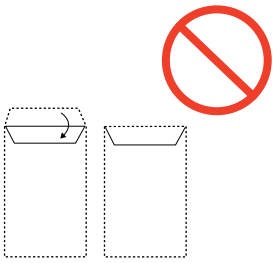
- 封筒は、よくさばいて側面を整えてください。封筒の束が膨らんでいるときは平らになるように手でならして、膨らみを取り除いてください。



- のり付けおよび接着の処理が施された封筒や二重封筒、フラップ（封を閉じる折り返しの部分）が円弧や三角形状の長形封筒や角形封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



- フラップを一度折った長形封筒や折り跡のある封筒、反った封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



- 薄い封筒は使わないでください。印刷中に丸まる可能性があります。
- 窓付き封筒を印刷すると、後から排紙された封筒が窓枠に引っかかり紙詰まりになることがあります。排紙された封筒は1枚ごと取り除くことをお勧めします。

参考　封筒に印刷する手順は、『動画ガイド』の実写動画でわかりやすくご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

関連情報

➡「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
➡「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ

長尺紙のセット方法

長尺紙は、用紙の先端を丸めて背面MPトレイにセットしてください。用紙サイズの設定は［ユーザー定義サイズ］を選択してください。

- 長尺紙は排紙トレイで保持できません。箱などを準備して用紙が床面に落ちないようにしてください。
- 給排紙中の用紙に触らないでください。手を傷つけたり、印刷品質が悪くなることがあります。

関連情報

➡ 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
➡ 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ

セットした用紙の種類を設定する

最適な印刷結果を得るために、以下の用紙種類を設定してください。
以下は2016年11月現在の情報です。

用紙名称	用紙種類		
	操作パネル	プリンタードライバー	PostScriptプリンタードライバー
両面上質普通紙＜再生紙＞	普通紙	普通紙	普通紙
写真用紙クリスピア＜高光沢＞	写真用紙クリスピア	EPSON 写真用紙クリスピア	EPSON 写真用紙クリスピア
写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞	写真用紙	EPSON 写真用紙	EPSON 写真用紙
写真用紙ライト＜薄手光沢＞	写真用紙ライト	EPSON 写真用紙ライト	EPSON 写真用紙ライト
フォトマット紙	フォトマット紙	EPSON フォトマット紙	EPSON フォトマット紙
スーパーファイン紙 スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙
両面マット名刺用紙	両面マット名刺用紙	EPSON 両面マット名刺用紙	EPSON 両面マット名刺用紙
長尺用紙 LPCCJY2	厚紙1	厚紙1	厚紙1
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面:EPSON スーパーファイン紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ(IJ)	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
往復ハガキ 郵便ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ
厚紙 （91～150 g/m²）	厚紙1	厚紙1	厚紙1
厚紙 （151～200 g/m²）	厚紙2	厚紙2	厚紙2
厚紙 （201～256 g/m² ）	厚紙3	厚紙3	厚紙3

検知できる用紙サイズの一覧

［用紙サイズの自動検知］を有効にすると、用紙カセットにセットした以下の用紙サイズを自動で検知します。
A6、B6、A5、Half letter、B5、A4、Letter、B4、Legal、A3、Ledger
A4とLetterのように、同じようなサイズは誤検知されることがあります。Half letter、Letter、Legal、LedgerがA5、A4、B4、A3と検知されたときは、ボタンを押して正しいサイズを指定してください。
自動検知できないサイズは、ボタンを押して［用紙サイズの自動検知］機能を無効にし、セットした用紙のサイズを指定してください。

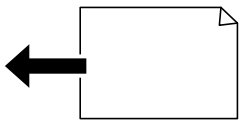
原稿のセット

原稿は原稿台またはADFにセットします。
ADFにセットすると、複数の原稿や両面の原稿を一度の操作でスキャンできます。

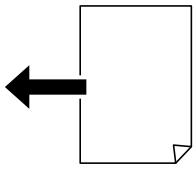
自動検知できる原稿サイズ

原稿サイズの設定を［自動検知］にすると、以下のサイズが自動で検知されます。

- 縦置き：A3、B4、A4、B5、A5（原稿台のみ）
  原稿の短辺を、ADFの給紙口または原稿台の左側に向けてセットします。



- 横置き：A4、B5、A5
  原稿の長辺を、ADFの給紙口または原稿台の左側に向けてセットします。



参考 以下の原稿はサイズが正しく検知されないことがあります。原稿サイズが自動検出されない場合は、操作パネルで原稿サイズを設定してください。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

ADFにセットできる原稿

対応原稿サイズ	A6横～A3/Ledger (最大 297×431.8 mm)
用紙種類	普通紙、上質紙、再生紙
紙厚（坪量）	52～128g/m²
セット可能枚数	50枚または5.5mm

ADFにセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによって通紙できないことがあります。また、読み取り品質に影響を及ぼすこともあります。

！重要 写真や、貴重な原稿はADFにセットしないでください。給紙エラーによって、原稿にしわが入ったり損傷したりすることがあります。原稿台を使ってスキャンしてください。

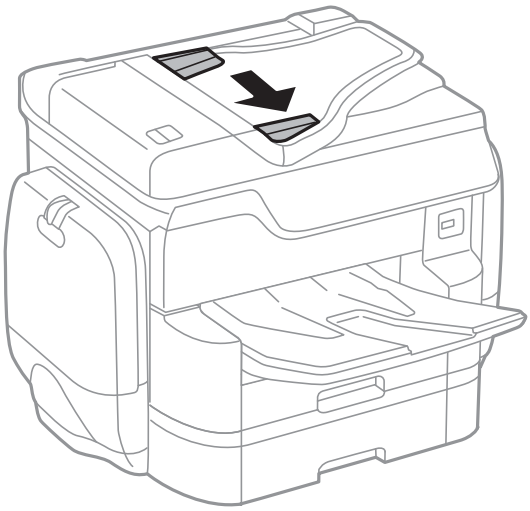
以下のような原稿をADFにセットすると紙詰まりの原因になります。これらの原稿は原稿台にセットしてください。

- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿
- シールやラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- とじられて（製本されて）いる原稿
- 透明や半透明な原稿（OHPシートなど）、感熱紙や裏カーボンのある原稿

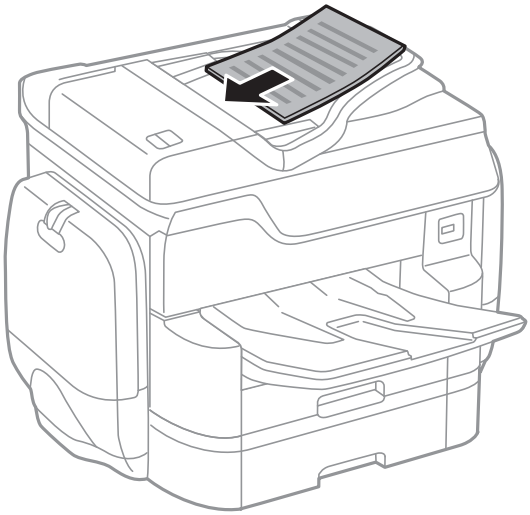
ADFに原稿をセットする

1. 原稿の側面を整えます。

2. ADF原稿ガイドを広げます。

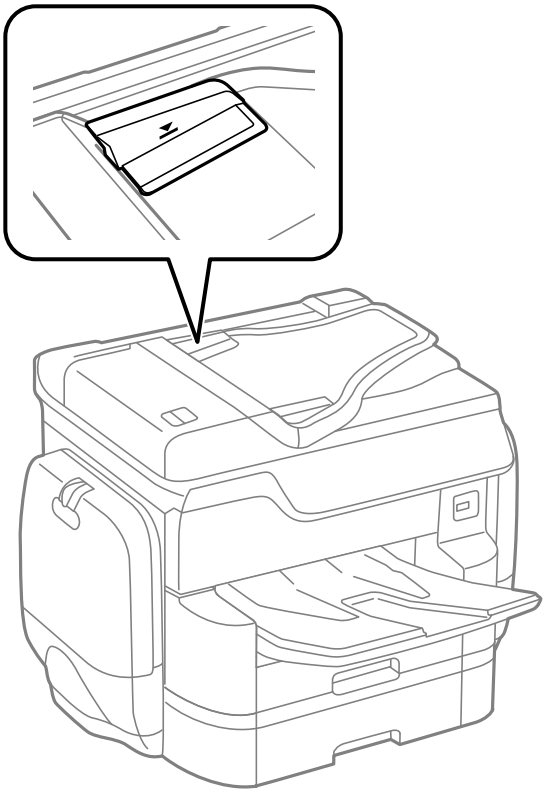


3. スキャンする面を上にして中央に原稿をセットします。



!重要

- ADF原稿ガイドの三角マーク下の線を越えてセットしないでください。

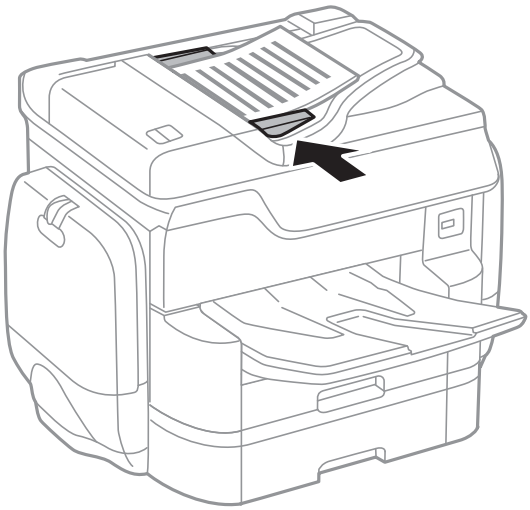


- スキャン中に原稿を追加しないでください。

参考 A4より小さい原稿は、ADFの給紙口に長辺が差し込まれる向きでもセットできます。

4. ADF原稿ガイドを原稿の側面に合わせます。

   原稿サイズが自動検知されます。



参考 自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

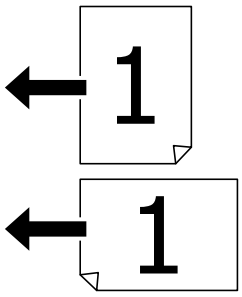
関連情報

➡ 「自動検知できる原稿サイズ」38ページ
➡ 「ADFにセットできる原稿」39ページ

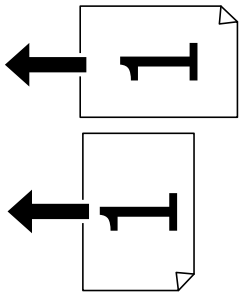
2面割り付けコピー時のADFへの原稿セット方法

図の向きに原稿をセットして、向きを設定してください。

- 上向きにセット：操作パネルの以下のメニューで［上向き］を選択します。
  ［コピー］-［応用設定］-［原稿セット方向］-［上向き］
  矢印の向きに原稿をセットします。



- 左向きにセット：操作パネルの以下のメニューで［左向き］を選択します。
  ［コピー］-［応用設定］-［原稿セット方向］-［左向き］
  矢印の向きに原稿をセットします。

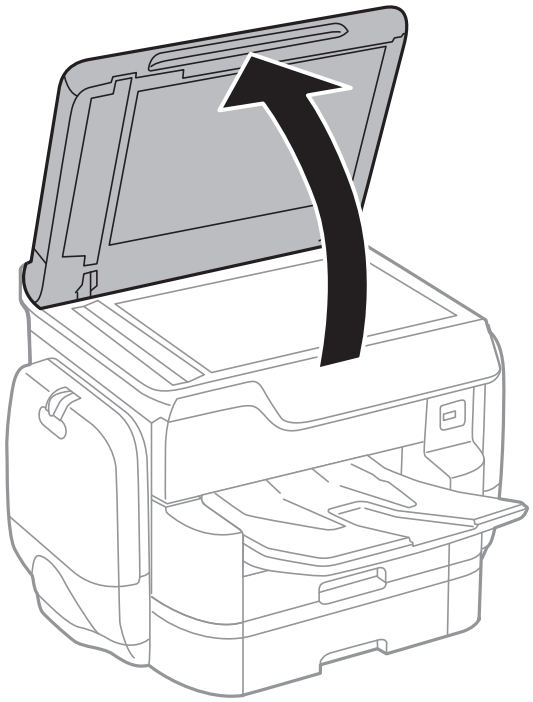


原稿台に原稿をセットする

⚠注意　原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

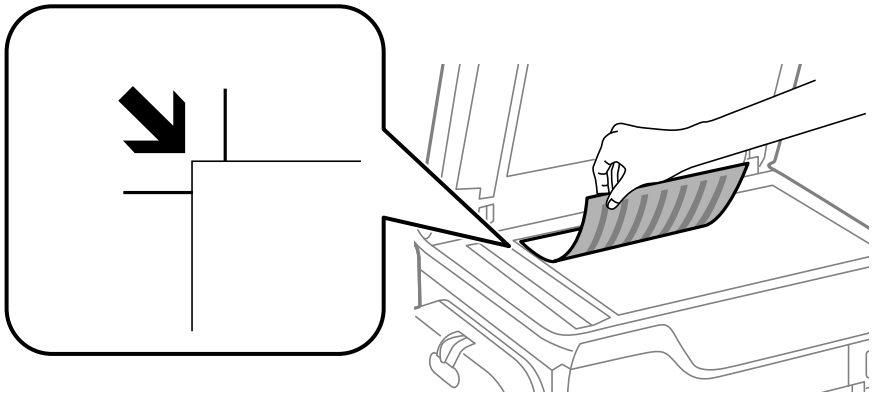
!重要　本などの厚い原稿をセットするときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。

1. 原稿カバーを開けます。



2. 原稿台のゴミや汚れを取り除きます。

3. スキャンする面を下にして、原点マークに合わせて原稿を置きます。



参考
- 原稿台の上端から1.5mm、左端から1.5mmの範囲はスキャンできません。
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

4. 原稿カバーをゆっくり閉めます。

原稿サイズが自動検知されます。自動で検知されないときは、原稿をセットし直してください。

！重要　原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

参考　自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

5. 原稿の読み取りが終わったら、原稿を取り出します。

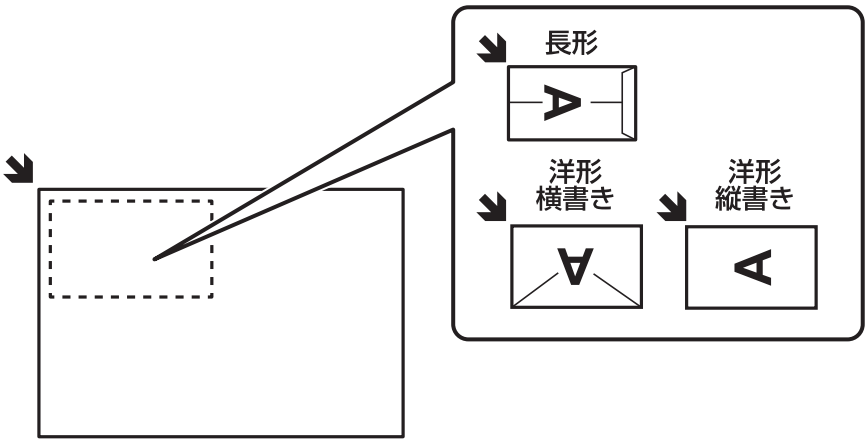
参考　長時間セットしたままにすると、原稿台に貼り付くことがあります。

関連情報

➡「自動検知できる原稿サイズ」38ページ

封筒コピー時のセット方法

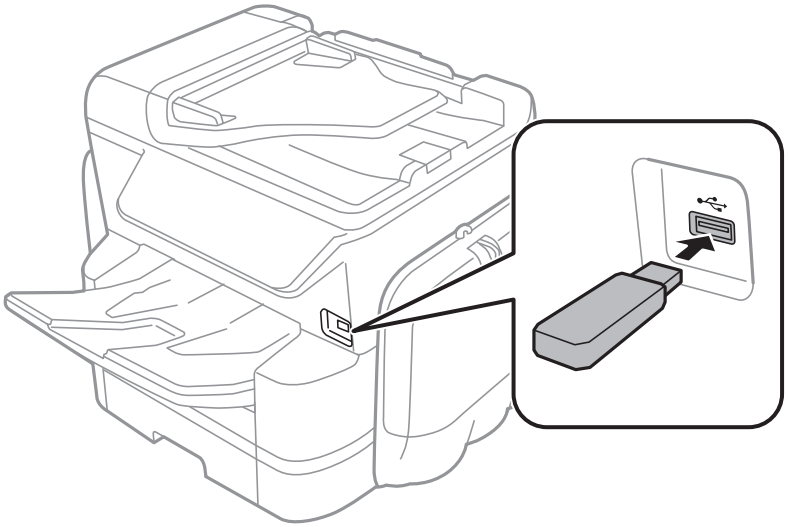
コピーする面を下にして、原点マーク（↘）に合わせて図の向きに封筒を置いてください。



外部記憶装置のセット

外部記憶装置のセットと取り出し

1. 外部記憶装置をプリンターにセットします。



2. 印刷などが終わったら、外部記憶装置を取り出します。

参考 プリンターにセットした外部記憶装置にコンピューターからアクセスした場合は、コンピューターから取り外しの操作をしてから外部記憶装置を取り出します。

関連情報

➡「外部記憶装置の仕様」309ページ
➡「コンピューターから外部記憶装置へのアクセス」44ページ

コンピューターから外部記憶装置へのアクセス

プリンターにセットされたUSBフラッシュメモリーなどの外部記憶装置に、コンピューターからアクセスしてデータを書き込んだり読み込んだりできます。

!重要 USB 接続とネットワーク接続されたコンピューターでプリンターの外部記憶装置を共有する場合、優先設定された接続方法のコンピューターからのみデータの書き込みができます。外部記憶装置に書き込むときは、プリンターの操作パネルで以下の手順に従い接続方法を選択してください。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［外部メモリー設定］-［ファイル共有］の順にタップします。

参考 HDDが接続可能な機種で、2TBのHDDなど大容量の外部記憶装置をファイル共有すると、コンピューターから認識するのに時間がかかることがあります。

Windows

［コンピューター］（または［マイコンピューター］）で対象の外部記憶装置を選択します。外部記憶装置のデータが表示されます。

参考 付属のソフトウェアディスクやWeb Installerを使わずにプリンターをネットワーク接続した場合は、プリンターのUSBポートをネットワークドライブとして割り当てます。［ファイル名を指定して実行］を起動し、［名前］に¥¥XXXXX（プリンター名）または¥¥XXX.XXX.XXX.XXX（プリンターのIPアドレス）を入力します。表示されたデバイスアイコンを右クリックしてネットワークドライブの割り当てをしてください。割り当てたネットワークドライブは、［コンピューター］（または［マイコンピューター］）内に表示されます。

Mac OS X

対象のデバイスアイコンを選択します。外部記憶装置のデータが表示されます。

参考
- 外部記憶装置を取り出すときは、デバイスアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップします。これをせずに取り出すと、別の外部記憶装置をセットしたときに、共有ドライブの内容が正常に表示されないことがあります。
- 外部記憶装置にネットワーク経由で接続するときは、デスクトップのメニューから［移動］-［サーバへ接続・・・］の順に選択します。［サーバアドレス］欄に、cifs://XXXXXXまたはsmb://XXXXX（「XXXXX」はプリンター名）を入力して［接続］をクリックします。

アドレス帳を管理する

アドレス帳に登録しておくと宛先入力が簡単にできます。2,000 件まで登録でき、ファクスでの宛先入力や、スキャンした画像をメールで送信したり、ネットワークフォルダーに保存したりするときの宛先入力に利用できます。
また、LDAPサーバーで管理しているアドレスを利用することもできます。
LDAPサーバーで管理しているアドレスの利用について、詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

アドレスを登録または編集する

参考 メールアドレスを登録するには、事前にメールサーバーの設定が必要です。
詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。

2. ［アドレス帳管理］をタップして、［アドレス帳登録・変更］をタップします。

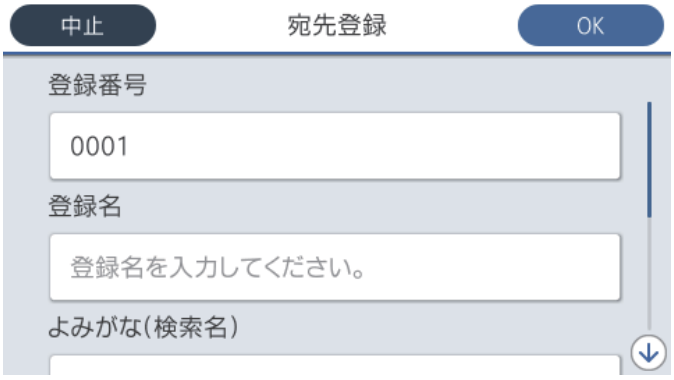
3. 目的に合わせて操作します。
   - 新しいアドレスを登録するとき：［宛先登録］をタップして、［宛先を作成］をタップします。
   - アドレスを編集するとき：対象のアドレスを選択して、［編集］をタップします。
   - アドレスを削除するとき：対象のアドレスを選択し、［削除］をタップして、［はい］をタップします。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。

   参考 LDAPサーバーに登録されているアドレスを、プリンター内部のアドレス帳に登録できます。アドレスを表示して、［アドレス帳に登録］をタップします。

4. 新しいアドレスを登録するときは、アドレスの種類を選択します。アドレスを編集するときは、この手順をスキップして、5に進んでください。
   - ファクス：ファクス送信時の宛先（ファクス番号）を登録
   - メール：スキャンした画像をメールに添付して送信するときのメールアドレスを登録
   - フォルダー：スキャンした画像を保存するネットワークフォルダーを登録

   参考 パスワードの入力画面が表示されたら、管理者に連絡してください。

5. 必要な設定をします。



   参考 PBX（構内交換機）で外線発信番号が必要な環境では、ファクス番号の先頭に外線発信番号を入れてください。［接続回線］設定で外線発信番号を登録してあるときは、外線発信番号の代わりにシャープ（#）を入力してください。また、ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときはハイフン（-）を入力します。

6. ［OK］をタップします。

アドレスをグループにする、グループを編集する

アドレスをグループにすると、複数のアドレスに同時にファクス送信またはスキャンした画像のメール送信ができます。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。

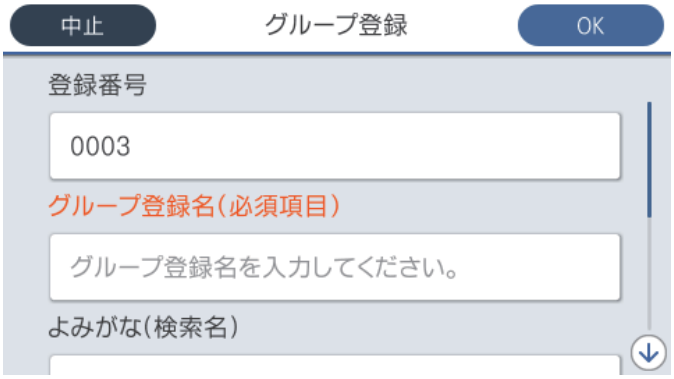
2. ［アドレス帳管理］をタップして、［アドレス帳登録・変更］をタップします。

3. 目的に合わせて操作します。
   - 新しいグループを登録するとき：［宛先登録］をタップして、［グループを作成］をタップします。
   - グループを編集するとき：対象のグループを選択して、［編集］をタップします。
   - グループを削除するとき：対象のグループを選択し、［削除］をタップして、［はい］をタップします。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。

4. 新しいグループを登録するときは、グループの種類を選択します。グループを編集するときは、この手順をスキップして、5に進んでください。
   - ファクス：ファクス送信時の宛先（ファクス番号）を登録
   - メール：スキャンした画像をメールに添付して送信するときのメールアドレスを登録

参考 パスワードの入力画面が表示されたら、管理者に連絡してください。

5. ［グループ登録名］を入力または編集します。



6. ［グループに入れる宛先］をタップします。

7. グループに登録するアドレスを選択しします。

参考
- 200件まで登録できます。
- 選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。

8. ［閉じる］をタップします。

9. その他の項目を設定します。
   - 登録番号：グループの登録番号を設定します。
   - よみがな(検索名)：グループのふりがなを設定します。
   - 常用指定：グループをよく使うときに選択します。アドレスを指定するときのトップ画面に表示されるようになります。

10. ［OK］をタップします。

よく使うアドレスをすぐ選択できるようにする（常用登録）

アドレスを常用登録すると、アドレス指定する画面のトップに表示され、すぐに選択できるようになります。

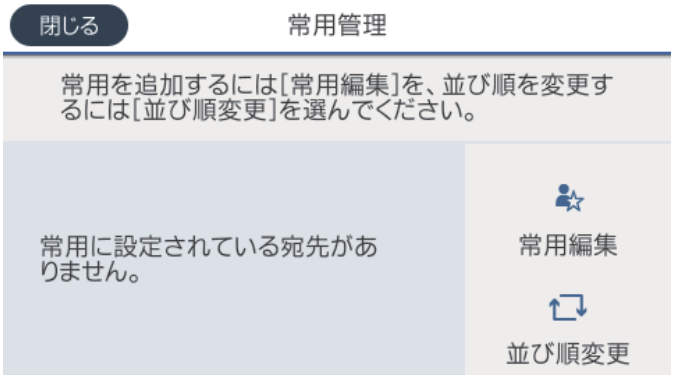
1. ホーム画面で［設定］をタップします。

2. ［アドレス帳管理］をタップして、［常用管理］をタップします。

3. 登録するアドレスの種類を選択します。

参考 パスワードの入力画面が表示されたら、管理者に連絡してください。

4. ［常用編集］をタップします。



参考 すでにアドレスを常用登録しているときは、［並び順変更］をタップすると順番を入れ替えることができます。

5. 常用登録するアドレスを選択して、［OK］をタップします。

参考
- 選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。
- アドレス帳からアドレスを検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

6. ［閉じる］をタップします。

コンピューターからのアドレス帳登録

アドレス帳はEpsonNet ConfigまたはWeb Configでも作成でき、作成したアドレス帳をプリンターに登録することもできます。
詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

アドレス帳のバックアップ

プリンターに登録されているアドレス帳は、EpsonNet ConfigまたはWeb Configでコンピューターにバックアップできます。
詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。
プリンターの故障などでアドレス帳のデータが消失する可能性があります。アドレス帳の更新時にバックアップすることをお勧めします。本製品の保証期間内であっても、データの消失または破損について弊社はいかなる責も負いません。

お気に入りの設定を登録する

コピーやファクス、スキャンでよく使う設定値をお気に入りとして50件まで登録できます。お気に入りの編集や登録ができないときは、管理者によって機能が制限されている可能性があります。プリンターの管理者に問い合わせてください。
登録は、ホーム画面で［お気に入り］をタップし、［新規登録］をタップして登録するモードを選択します。各項目を設定し、☆をタップして名前を設定してください。

登録されているお気に入りを使用するには、リストからお気に入りを選択します。

各モード画面で☆をタップしても、現在の宛先や設定がお気に入りに登録できます。

登録した設定値を変更するときは、各モード画面で設定を変更して☆をタップします。［お気に入りに登録］をタップして、上書きしたい対象を選択します。

お気に入りメニューの説明

登録したお気に入りの › をタップして、登録情報の詳細を表示します。詳細画面で保存した名称をタップすると、名称が変更できます。

🗑：

登録したお気に入りを削除します。

追加/消去：

登録したお気に入りを、ショートカットとしてホーム画面に追加したり削除できます。

この設定を使用する：

登録したお気に入りを読み込みます。

設定メニューの説明

操作パネルのホーム画面で［設定］をタップすると、プリンターのいろいろな設定ができます。

本体設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［基本設定］

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。

音の設定：

音量や音の種類を設定します。

ミュート：

［オン］にすると、操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音を出しません。（初期値は［オフ］）

通常時 ：

- 着信音
  ファクスが着信したときの音の大きさを設定します。（初期値は［5］）
- 受信完了音
  ファクスの受信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は［5］）
- 受信印刷完了音
  ファクス受信して印刷が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- ダイヤル中スピーカー音
  ファクス送信中のダイヤル音の大きさを設定します。（初期値は［5］）
- 送信完了音
  ファクスの送信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- 操作音
  操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音の大きさを設定します。（初期値は［5］）
- エラー音
  エラーの発生を知らせる音の大きさを設定します。（初期値は［5］）
- 音の種類
  音の種類を選択します。（初期値は［パターン1］）

動作音低減モード時：

- 着信音
  ファクスが着信したときの音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- 受信完了音
  ファクスの受信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- 受信印刷完了音
  ファクス受信して印刷が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- ダイヤル中スピーカー音
  ファクス送信中のダイヤル音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- 送信完了音
  ファクスの送信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- 操作音
  操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- エラー音
  エラーの発生を知らせる音の大きさを設定します。（初期値は［0］）
- 音の種類
  音の種類を選択します。（初期値は［パターン1］）

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は［1分］）

自動電源オフ：

プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切ります。切るまでの時間は任意に設定できます。（初期値は［設定しない］）

日付/時刻設定：

- 日付/時刻
  現在の日時を入力します。
- 時差
  協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。（初期値は［日本語］）

初期モード：

プリンターの電源を入れたときや無操作タイマー設定を有効にしたときに、初期画面として表示させるモードを指定します。（初期値は［ホーム］）

ホーム画面編集：

操作パネルの画面で表示するアイコンの配置を変更します。アイコンの追加、削除、移動ができます。（レイアウトの初期値は［1行］）

ホーム背景色設定：

操作パネルの画面の背景色を変更します。（初期値は［ホワイト］）

無操作タイマー設定：

［オン］にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。利用者制限の利用者として操作しているときは、メッセージが表示されて自動的にログオフされて初期画面に戻ります。（初期値は［オン］）

ジョブ/状態の初期画面：

ボタンを押したときに表示する情報を選択します。（初期値は［ジョブ(実行中)］）

関連情報

➡「省電力設定」60ページ
➡「文字入力の仕方」20ページ

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］

給紙装置設定：

用紙設定：

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。［用紙サイズの自動検知］を有効にすると、プリンターが自動的に、給紙装置にセットされた用紙サイズを判別します。（初期値は各給紙装置ともに用紙サイズ［A4］、用紙種類［普通紙］、用紙サイズの自動検知［オン］）

MPトレイ優先：

［オン］を選択すると、背面MPトレイからの給紙を優先します。（初期値は［オフ］）

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。（初期値は［オフ］）

給紙口自動選択：

コピー、ファクス、その他（印刷全般）で使用する給紙装置を設定します。複数の給紙装置を有効にすると、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動的に給紙します。（初期値は各給紙装置ともに［オン］）

エラー通知：

有効にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。（初期値は用紙サイズエラー［オン］、用紙種類エラー［オン］）

設定画面自動表示：

有効にすると、給紙装置に用紙をセットしたときに［用紙設定］を表示します。（初期値は［オン］） この設定を無効にすると、iPhoneやiPadなどからAirPrintを使った印刷ができません。

印刷言語：

USBまたはネットワーク接続時の印刷言語を選択します。（初期値は［Auto］）

外部機器(PC)印刷設定：

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。

上オフセット設定：

用紙の上側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

左オフセット設定：

用紙の左側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

裏面上オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

裏面左オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。（初期値は［0.0］）

紙幅チェック印刷：

［オン］にすると、印刷前に用紙幅をチェックします。用紙サイズ設定の間違いなどで用紙から印刷がはみ出すなどのトラブルを回避できます。（初期値は［オフ］）

白紙節約モード：

印刷データ内の白紙ページを無視して印刷します。（初期値は［オフ］）

PDL印刷設定：

PostScript印刷時の設定ができます。

共通設定：

- 用紙サイズ
  PostScript印刷時の用紙サイズを選択します。（初期値は［A4］）
- 用紙種類
  PostScript印刷時の用紙種類を選択します。（初期値は［普通紙］）
- 用紙方向
  PostScript印刷時の印刷方向を選択します。（初期値は［縦］）
- 印刷品質
  PostScript印刷時の印刷品質を選択します。（初期値は［標準］）
- インクセーブモード
  ［オン］を選択すると、印刷濃度を薄くしてインクを節約します。（初期値は［オフ］）
- 印刷順序
  正順印刷：
  1ページ目から印刷します。（初期値）
  逆順印刷：
  最終ページから印刷します。
- コピー枚数設定
  コピー枚数を選択します。（初期値は［1］）
- とじ位置
  用紙のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）
- 自動排紙設定
  ［オン］を選択すると、途中で印刷が停止したページを自動で排紙します。（初期値は［オフ］）
- 両面印刷
  ［オン］を選択すると、用紙の表裏に印刷します。（初期値は［オフ］）

PS設定：

- PS3エラーシート
  ［オン］を選択すると、PostScript印刷またはPDF印刷時にエラーが発生したときに、エラー状態を記載したシートを印刷します。（初期値は［オフ］）
- Coloration
  PostScript印刷のカラーモードを選択します。（初期値は［カラー］）
- Image Protect
  ［オフ］を選択すると、プリンターのメモリーが不足したときに自動で解像度を下げて印刷します。（初期値は［オフ］）

- Binary
  バイナリー形式の画像が含まれるデータの印刷時に［オン］を選択します。ドライバーの設定がASCIIになっていてもアプリケーションがバイナリーデータを送ってしまうことがありますが、この設定を有効にすると印刷できます。（初期値は［オフ］）
- Text Detection
  この設定は印刷言語が［PS3］に設定されているときのみ有効です。テキストファイルをPostScriptファイルに変換して印刷します。（初期値は［オフ］）
- PDF印刷 用紙サイズ
  PDFファイルを印刷するときの用紙サイズを選択します。［自動］を選択すると、印刷データの最初のページの用紙サイズに合わせて印刷します。（初期値は［自動］）

自動エラー解除：

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。（初期値は［オフ］）

- オン
  両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
  エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

外部メモリー設定：

- 外部メモリー：
  ［有効］を選択すると、プリンターに挿入した外部メモリーに接続することを許可します。［無効］にすると、プリンターに挿入した外部メモリーへのデータ保存を禁止します。機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しを未然に防ぎます。（初期値は［有効］）
- ファイル共有：
  USB接続されたコンピューターまたはネットワーク接続されたコンピューターのどちらから、プリンターに挿入された外部メモリーに書き込みできるかを選択します。（初期値は［USB接続優先］）

こすれ軽減：

有効にすると印刷時のこすれを軽減します。ただし、印刷速度が遅くなることがあるため、印刷結果にこすれがあるときだけ有効にしてください。（初期値は［しない］）

動作音低減モード：

有効にすると、印刷時の動作音が低減されます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。用紙種類や印刷品質の設定によっては、動作音が変わらないことがあります。（初期値は［オフ］）

両面印刷待ち時間：

両面印刷時の乾燥時間を設定します。両面印刷では、片面を印刷後、乾燥のための時間を少しおいてからもう一方の面を印刷します。印刷結果がこすれて汚れるときは、この時間を長めに設定してください。（初期値は［標準］）

双方向印刷：

有効にすると、プリントヘッドが左右どちらの方向に移動するときも印刷します。無効にすると罫線のズレが改善されることがありますが、印刷に時間がかかります。（初期値は［する］）

コンピューターのUSB接続：

［有効］にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。［無効］にすると、ネットワークを経由しない印刷やスキャンなどを禁止できます。（初期値は［有効］）

USB I/Fタイムアウト時間設定：

USB接続したコンピューターからPostScriptプリンタードライバーを経由した印刷で、ジョブを受信してからUSB接続を切断するまでの時間を指定します。PostScriptプリンタードライバーを経由したジョブは、データの終わりが不明瞭のため、送信が終了してもUSB接続が切断されないことがあります。そのため、指定した時間が経過した後に自動で通信を遮断してジョブを終了させます。0（ゼロ）に設定すると通信の切断は行いません。（初期値は［６０分］）

関連情報

- 「印刷用紙のセット」24ページ
- 「外部メモリー内のJPEGデータを印刷する」108ページ
- 「外部メモリー内のPDF、TIFFデータを印刷する」110ページ

ネットワーク設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］

無線LAN接続設定：

無線LANでプリンターをネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。

- ルーター
- Wi-Fi Direct

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- デバイス名
- TCP/IP
- プロキシサーバー
- メールサーバー

- IPv6アドレス（初期値は［有効］）
- MS Network共有（初期値は［有効］）
- NFC（初期値は［有効］）
- Link Speed & Duplex（初期値は［自動］）
- HTTPをHTTPSにリダイレクト（初期値は［有効］）
- IPsec/IPフィルタリングの無効化
- IEEE802.1Xの無効化

Webサービス設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［Webサービス設定］

Epson Connect設定：

Epson Connect サービスへの登録状態を表示します。
登録すると以下の設定ができます。

- サービスの一時停止/再開
- 登録削除

Epson Connect サービスへの登録や利用の詳細は、以下のポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

Google クラウド プリント設定：

Google クラウド プリントにプリンターが登録および接続されているかを確認します。
登録しているときは、以下の設定を変更することができます。

- サービスの有効/無効
- 登録削除

Google サービスへの登録やサービス利用の詳細は、以下のポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

関連情報

➡ 「ネットワークサービスを使って印刷する」253ページ

管理者用設定設定

管理者向けの設定です。詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

印刷ページ数の確認メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［印刷ページ数の確認］

プリンター購入時からの総印刷数、モノクロ印刷数、カラー印刷数を表示します。［シートを印刷］をタップすると印刷します。
［本体情報を送信］アイコンが表示される場合は、締め日以降に印刷したページ（面）数を表示します。

消耗品情報メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［消耗品情報］

インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。
！マークは、インクまたはメンテナンスボックスの交換時期が近づいていることを示します。 x マークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。

プリンターのお手入れメニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［プリンターのお手入れ］

印刷トラブル解決：

印刷結果に問題があるときにこの設定を選択してください。プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認し、必要に応じてヘッドクリーニングを実施します。また、印刷品質を改善するためにパラメーターの調整を行います。

プリントヘッドのノズルチェック：

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、チェックパターンを印刷します。

プリントヘッドのクリーニング：

プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。

縦罫線ずれの改善：

線の調整をして、縦線のガタつきを解消させます。

内部ローラークリーニング：

内部のローラーにインクが付着したときに選択します。普通紙を給紙して内部のローラーをクリーニングします。

紙片取り除き：

詰まった用紙を取り除いた後、プリンター内部にまだ紙片が残っているときに選択します。プリンターのヘッドと通紙面の距離を広げて紙片を取り除きやすくします。

給紙ローラー情報：

- 状態確認
  選択した用紙カセットの給紙ローラーの状態を表示します。

- カウンターリセット
  給紙ローラーを交換した際は、交換した用紙カセットのカウンターをリセットしてください。

用紙ごとの印刷トラブル解決：

用紙種類によってインクのにじみ方に違いがあります。特定の用紙種類で色合いがおかしかったり印刷ズレがあるときに使用してください。

関連情報

- 「印刷トラブルを解決する」270ページ
- 「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」235ページ
- 「罫線のズレを調整する」236ページ
- 「用紙ごとに印刷トラブルを解決する」271ページ
- 「給紙経路をクリーニングする」237ページ

言語選択/Languageメニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［言語選択/Language］

画面に表示する言語を選択します。

情報確認/印刷メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［情報確認/印刷］

本体ステータスシートの印刷：

プリンター情報シート：

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート：

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート：

プリンターの使用履歴を印刷します。

PS3フォントリスト：

PostScript印刷で使えるフォントリストを印刷します。

ネットワーク：

現在のネットワーク設定の内容を表示します。

アドレス帳管理メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［アドレス帳管理］

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン to Eメール 機能、スキャン to フォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。

ユーザー設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［ユーザー設定］

以下のメニュー項目の初期値を設定できます。

- スキャン to フォルダー 機能
- スキャン to Eメール 機能
- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- コピー設定
- ファクス

認証装置ステータスメニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［認証装置ステータス］

認証装置の状態を表示します。（初期値は［非接続］）

Epson Open Platform情報メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［Epson Open Platform情報］

Epson Open Platformの情報を表示します。（初期値は［非接続］）

省電力設定

プリンターが動作していない状態が続いたときに、指定した時間でスリープ（省電力）モードに移行するように設定できます。また、電源を切るように設定もできます。

省電力設定をする - 操作パネル

1. ホーム画面で［設定］をタップします。

2. ［本体設定］-［基本設定］の順にタップします。

3. ［自動電源オフ］または［スリープ移行時間設定］を選択して、設定値を設定します。

印刷

Windowsからプリンタードライバーで印刷する 62
WindowsからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する 83
Mac OS Xからプリンタードライバーで印刷する 89
Mac OS XからPostScriptプリンタードライバーで印刷する 102
外部メモリーのデータを印刷する 108
スマートデバイスから印刷する 113
印刷中または待機中の印刷ジョブを中止する 116

Windowsからプリンタードライバーで印刷する

プリンタードライバーの設定が変更できないときは、管理者によって使用可能な機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

プリンタードライバーの開き方

コンピューターのコントロールパネルからプリンタードライバーを表示して設定を変更すると、全てのアプリケーションソフトに設定を反映させることができます。

コントロールパネルからの表示方法

- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして［印刷設定］を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして［印刷設定］を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。
プリンターアイコンをクリックして、［プリンター設定］を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同様の印刷設定画面が表示されます。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示されます。

参考　タスクバーにプリンターアイコンが表示されないときは、プリンタードライバーの画面を表示させ、［ユーティリティー］タブの［通知の設定］をクリックして、［呼び出しアイコンをタスクバーに登録する］をチェックしてください。

基本の印刷

参考　アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

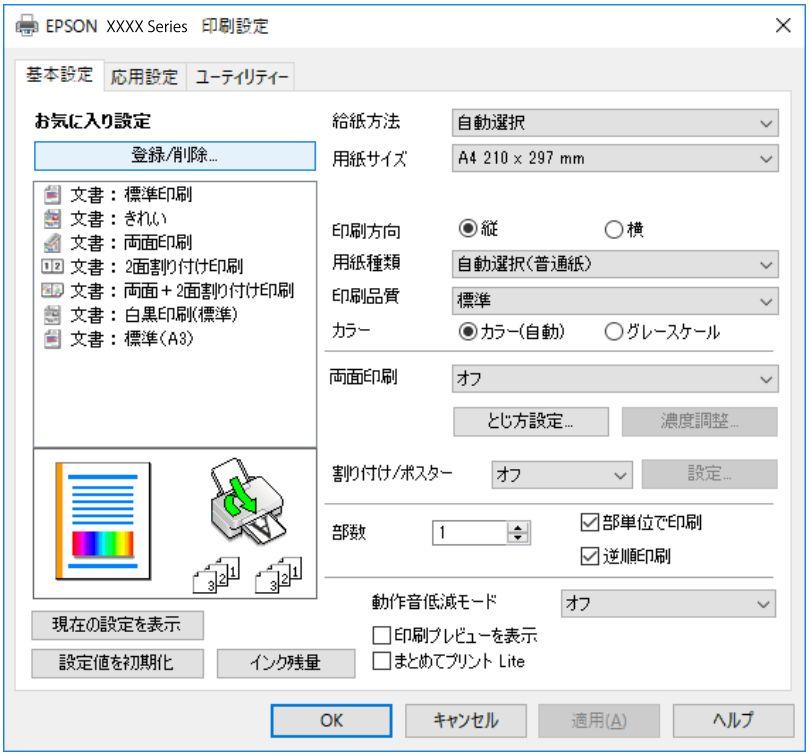
1. 印刷するファイルを開きます。

   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［印刷］（または［プリント］など）を選択します。

3. プリンターを選択します。

4. ［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックして、プリンタードライバー（詳細な印刷設定）の画面を表示させます。



5. 必要に応じて設定を変更します。

   各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

   参考
   - 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると［ヘルプ］が表示されます。
   - ［印刷プレビューを表示］にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。

6. ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。

7. ［印刷］をクリックします。

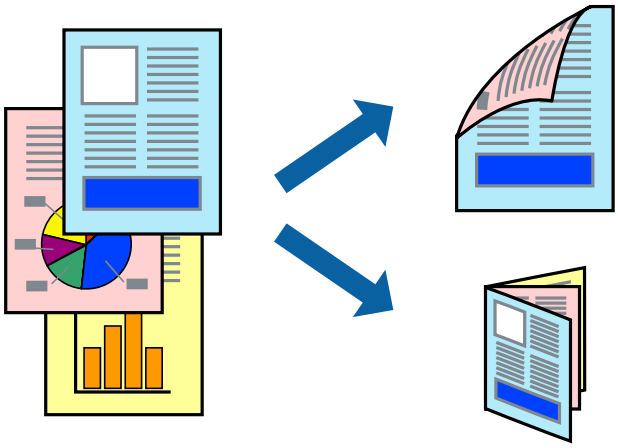
   参考 ［印刷プレビューを表示］にチェックしていると、プレビュー画面が表示されます。設定を変更する場合は、［キャンセル］をクリックして手順2からやり直してください。

関連情報

- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
- 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
- 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ
- 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
- 「基本設定タブ」80ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます 。また、折り上げたときに冊子になるように、ページを並べ替えて印刷することもできます。



参考
- 両面印刷は、自動も手動もできます。手動両面印刷時は、おもて面の印刷が終了した用紙を裏返してセットしてください。
- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

➡ 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ

設定方法

手動両面印刷は、EPSON プリンターウィンドウ!3が有効になっていないとできません。また、プリンターをネットワーク経由で操作、または共有プリンターとして使用していると、手動両面印刷できないことがあります。

参考 EPSON プリンターウィンドウ!3を有効にするには、プリンタードライバー画面の［ユーティリティー］タブから［拡張設定］をクリックして、［EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する］にチェックしてください。

1. プリンタードライバーで、［基本設定］タブの両面印刷から、両面印刷の方法を選択します。

2. ［とじ方設定］をクリックし、各項目を設定して［OK］をクリックします。

   必要に応じて［濃度調整］を設定してください。手動で両面印刷するときは設定できません。

   参考
   - 冊子を作成するには［ブックレット］ にチェックします。
   - 濃度調整では文書タイプに合わせて濃度を調整できます。
   - 自動両面印刷では、濃度調整画面の［文書タイプ］と［基本設定］タブの［印刷品質］の組み合わせによっては、印刷速度が遅くなります。

3. ［印刷］をクリックします。

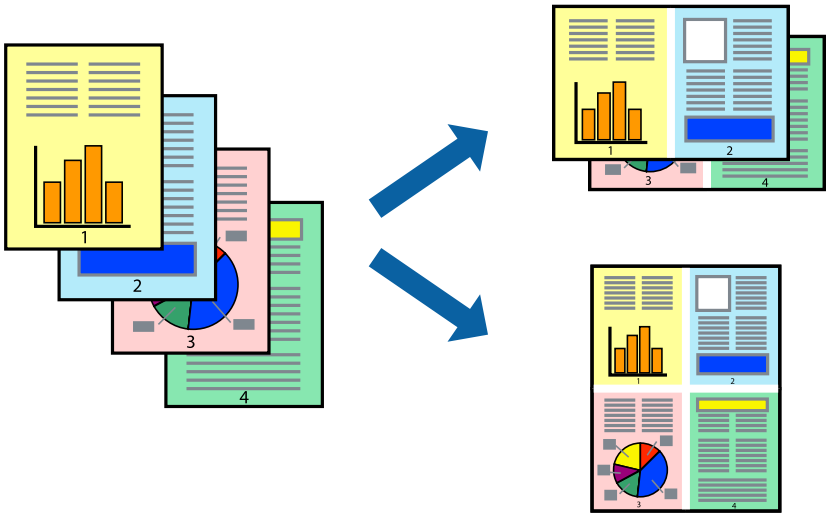
   手動両面印刷では、おもて面の印刷が終了すると案内画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「基本設定タブ」80ページ

複数ページを1ページに印刷する

1枚の用紙に2ページまたは4ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

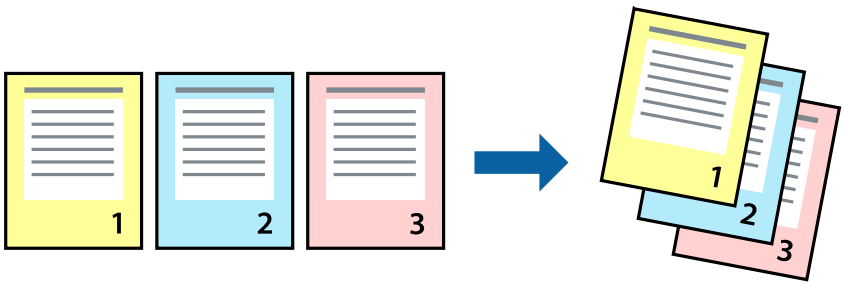
プリンタードライバーで、［基本設定］タブの［割り付け/ポスター］から、［2 ページ割付］または［4 ページ割付］を選択します。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「基本設定タブ」80ページ

ページ順に印刷する（逆順印刷）

最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように印刷できます。



設定方法

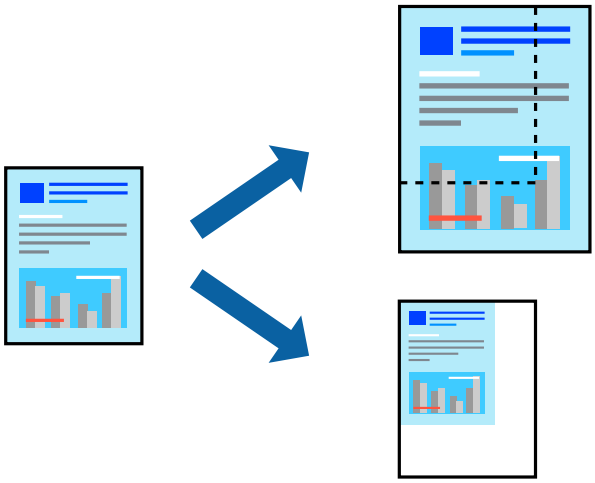
プリンタードライバーの［基本設定］タブで、［逆順印刷］にチェックします。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「基本設定タブ」80ページ

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

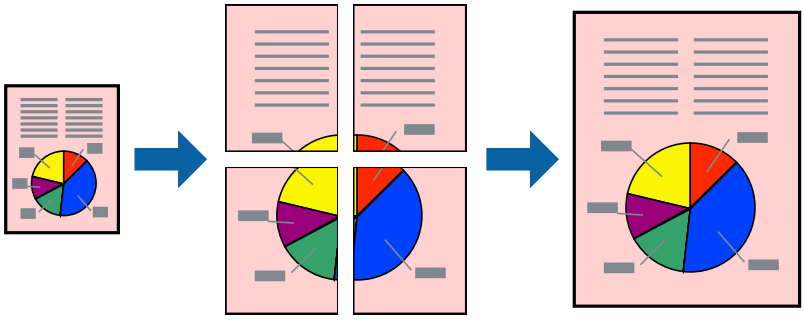
プリンタードライバーで、［応用設定］タブの［用紙サイズ］から、印刷データのサイズを選択します。［出力用紙］で印刷したい用紙サイズを選択します。［拡大/縮小］にチェックして、［フィットページ］か［任意倍率］を選択します。
［任意倍率］を選択したときは、倍率を入力します。
［中央合わせ］にチェックすると、出力用紙に余白ができるときに用紙の中央に印刷されます。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「応用設定タブ」81ページ

複数用紙に分割して拡大印刷する（ポスター）

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせると、ポスターのような大きな印刷物ができます。



設定方法

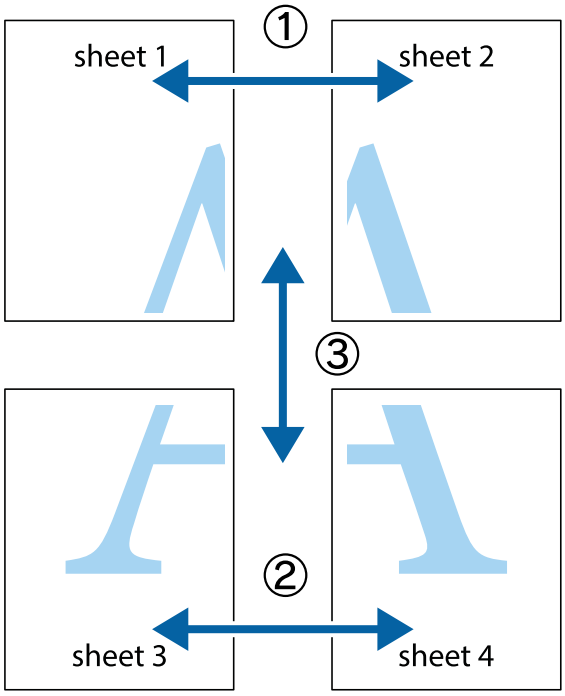
プリンタードライバーで、［基本設定］タブの［割り付け/ポスター］から、［2×1 ポスター］、［2×2 ポスター］、［3×3 ポスター］、［4×4 ポスター］のいずれかを選択します。［設定］をクリックすると、印刷しないページや貼り合わせ時のガイドを印刷するかどうかが選択できます。

関連情報

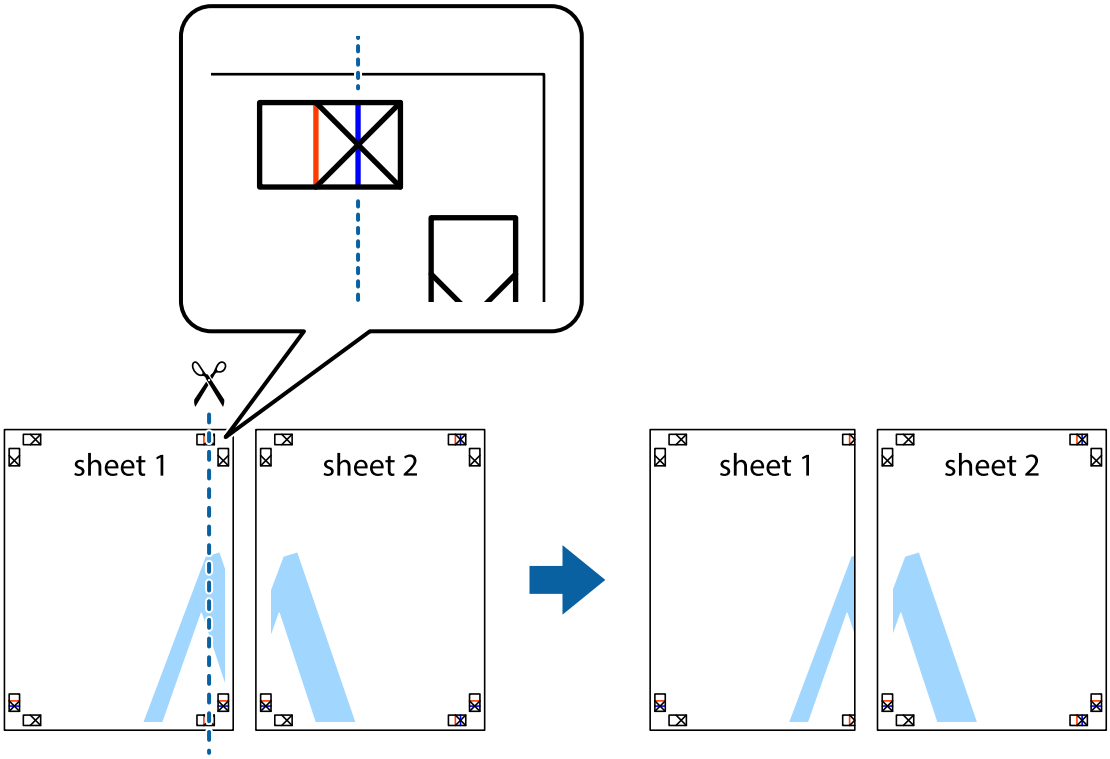
➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「基本設定タブ」80ページ

「貼り合わせガイドを印刷」を使ってポスターを作る

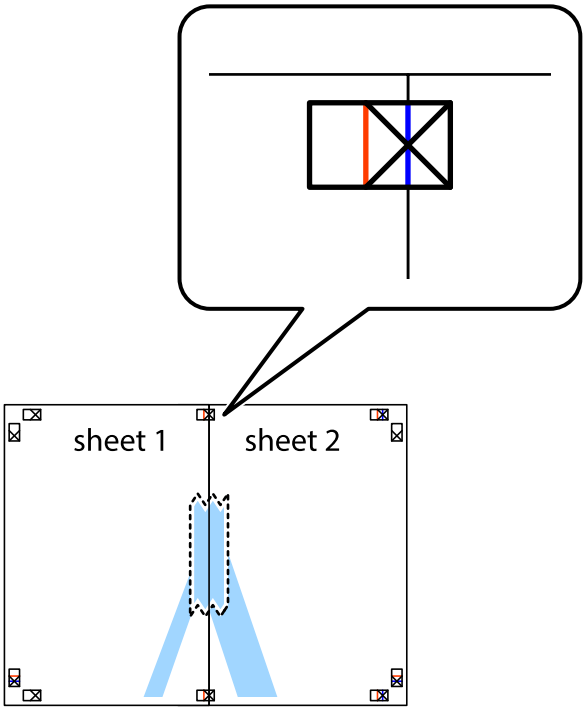
ここでは［2×2 ポスター］を選択して、［ガイド印刷］を［貼り合わせガイドを印刷］にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



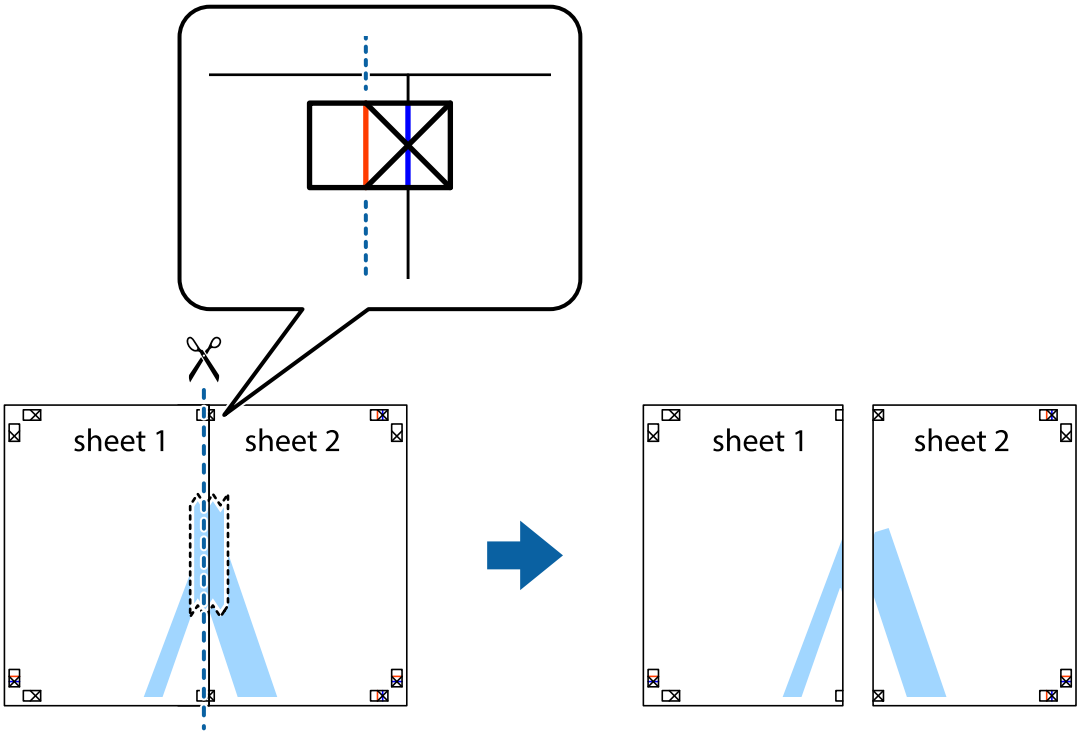
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切ります。



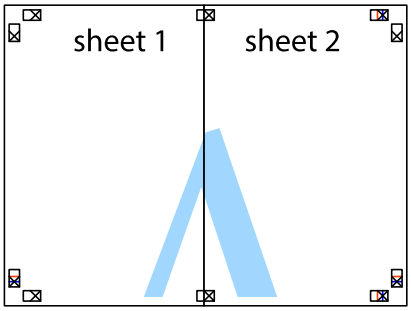
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切ります。

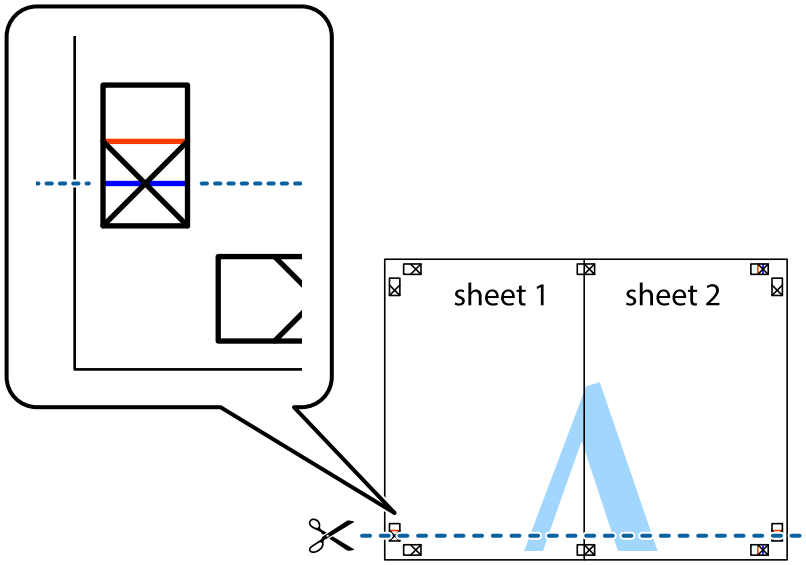


4. 裏面にテープを貼って合わせます。

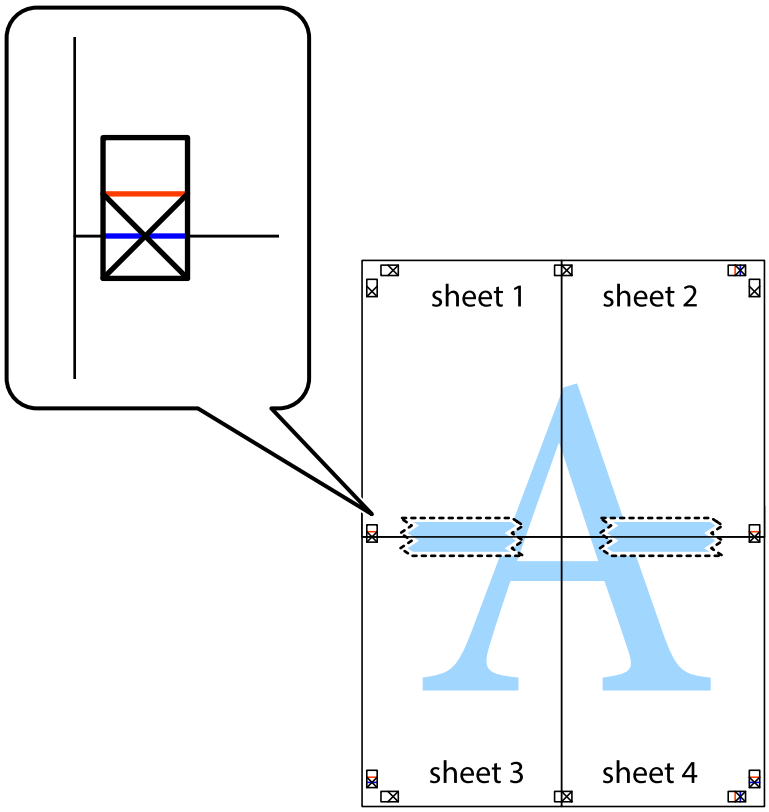


5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。

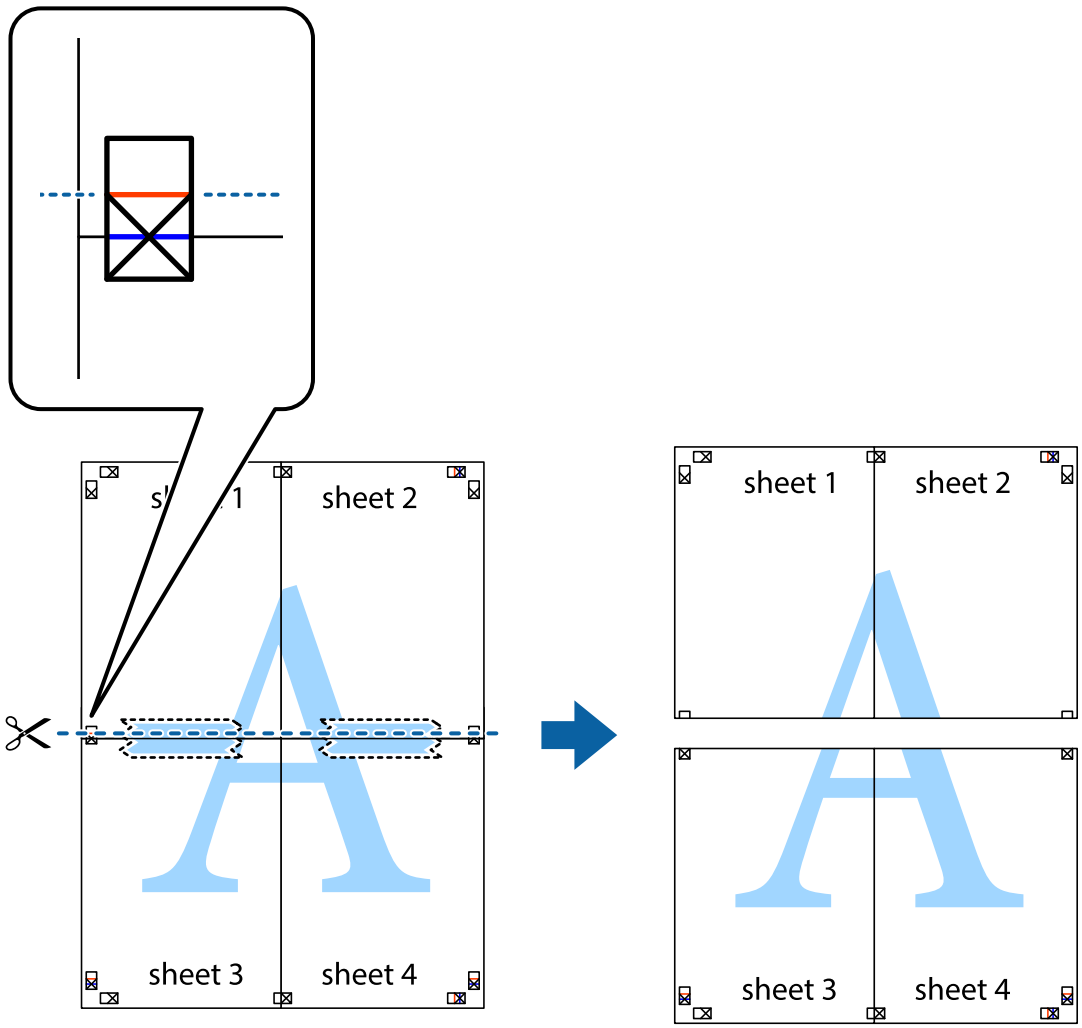
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切ります。



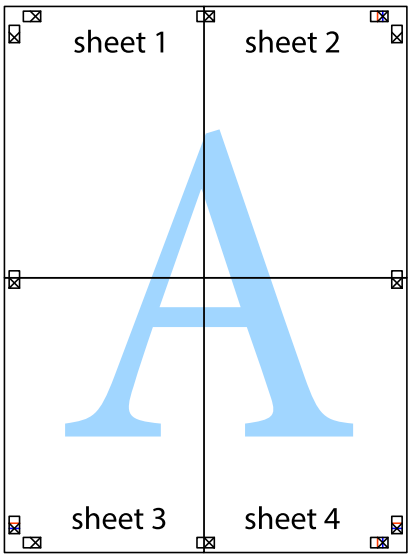
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



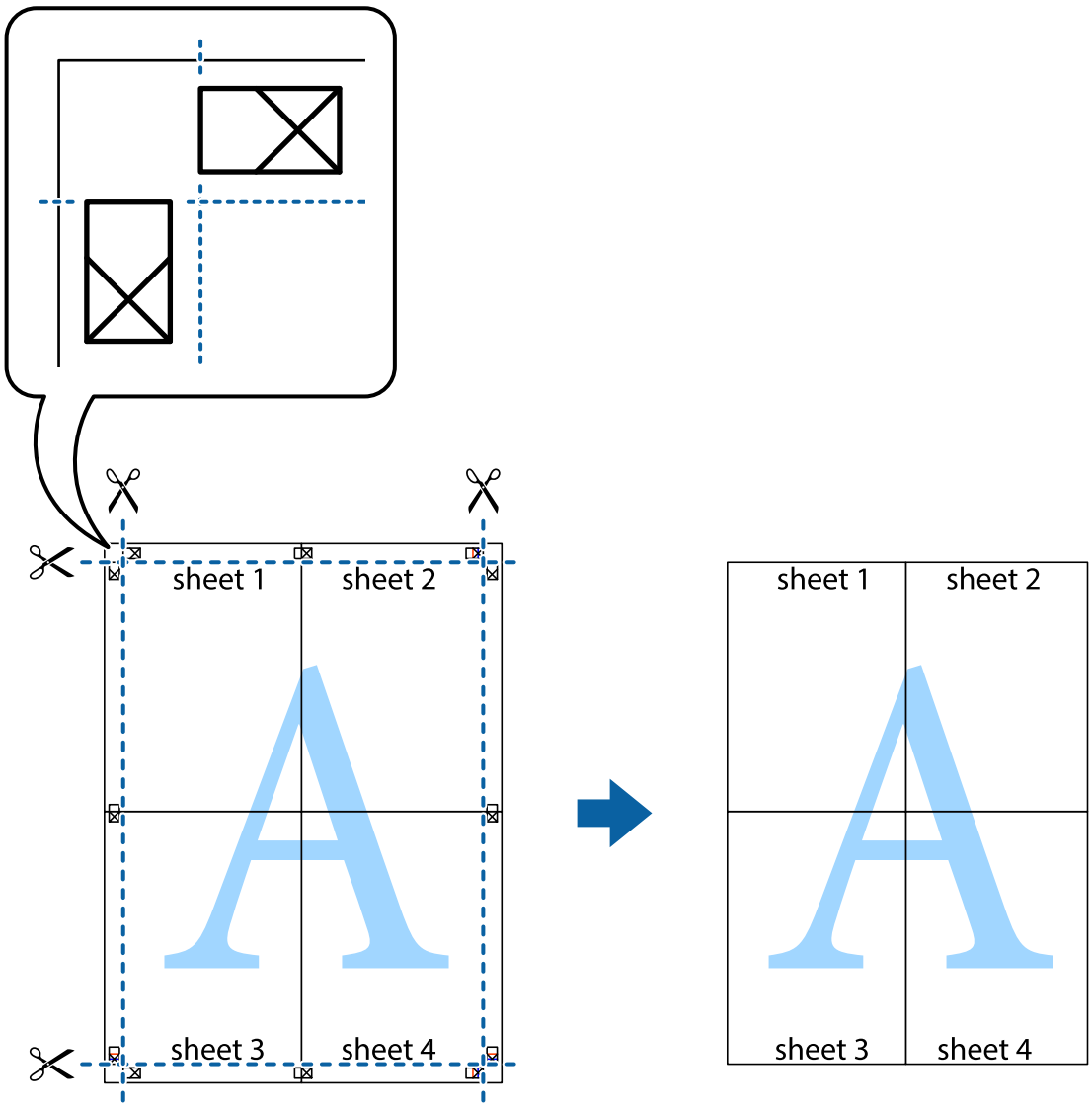
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

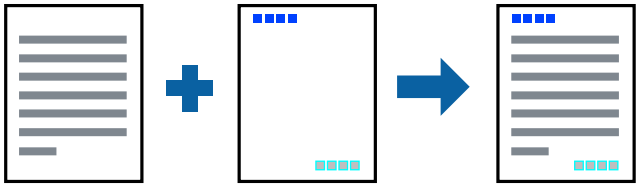


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

用紙のヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



設定方法

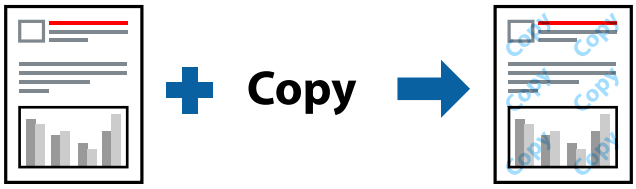
プリンタードライバーの［応用設定］タブで［セキュリティー設定］をクリックして、［ヘッダー/フッター］にチェックします。［設定］をクリックして印刷する項目を選択します。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「応用設定タブ」81ページ

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙、ビジネス普通紙
- 印刷品質：標準
- 自動両面印刷：無効
- フェイスダウン：無効
- 色補正：自動
- 再生紙の印刷こすれを軽減する：無効

参考　任意のマークや透かし文字も登録できます。

設定方法

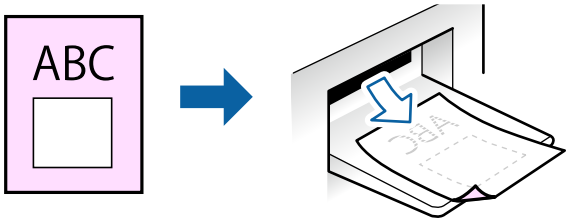
プリンタードライバーの［応用設定］タブ で［セキュリティー設定］をクリックして、透かし印刷やスタンプマークの種類を選択します。［設定］をクリックすると、透かしのサイズ、濃度、位置などが変更できます。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「応用設定タブ」81ページ

印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン）

用紙を下向きに排紙することで、印刷結果を他人に見られないようにできます。



フェイスダウンは、以下の用紙でのみ有効にできます。
普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙 、印刷済み用紙、ビジネス普通紙

参考　通常よりも印刷時間がかかります。

設定方法

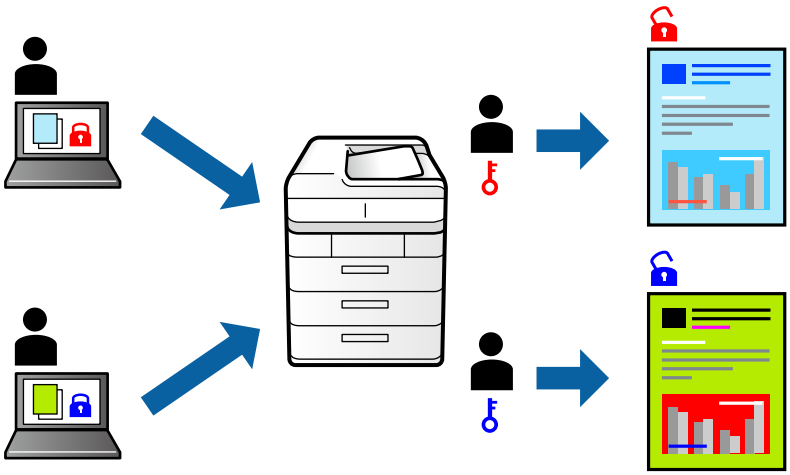
プリンタードライバーで、［基本設定］タブの［両面印刷］から［フェイスダウン］を選択します。［濃度調整］を クリックすると、文書タイプに合わせて濃度を調整し、裏写りを防止できます。

関連情報

- 「基本の印刷」62ページ
- 「基本設定タブ」80ページ

データにパスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



設定方法

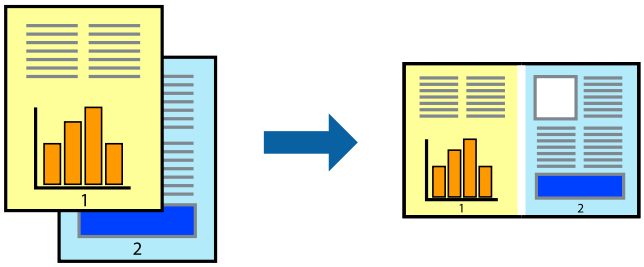
プリンタードライバーの［応用設定］タブで［パスワード印刷］をチェックして、パスワードを入力します。
印刷するには、プリンターのホーム画面で［パスワード印刷］をタップします。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「応用設定タブ」81ページ

複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント）

まとめてプリントLiteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて、割り付け印刷や両面印刷ができます。



設定方法

プリンタードライバーの［基本設定］タブで、［まとめてプリントLite］をチェックします。印刷を開始すると、まとめてプリントLite画面が表示されます。画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。
まとめてプリントLite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。
［ファイル］メニューの［印刷］をクリックして印刷を開始してください。

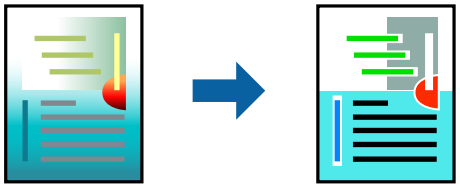
参考　全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリントLite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。［ファイル］メニューの［保存］で作業の保存ができます。ファイルの拡張子はeclです。
保存されたファイルを開くには、プリンタードライバー画面の［ユーティリティー］タブから［まとめてプリントLite］をクリックし、まとめてプリントLite画面を表示します。［ファイル］メニューの［開く］から対象のファイルを選択します。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「基本設定タブ」80ページ

カラーユニバーサルデザイン（CUD）で印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙、ビジネス普通紙
- 印刷品質：［標準］以上の高品位
- 印刷の色：［カラー］
- Microsoft® Office 2007以降のアプリケーションソフト
- 96pt以下の文字

設定方法

プリンタードライバーで、［応用設定］タブの［色補正］から［画像処理設定］をクリックします。カラーユニバーサルプリントの種類を選択します。［装飾の設定］をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。

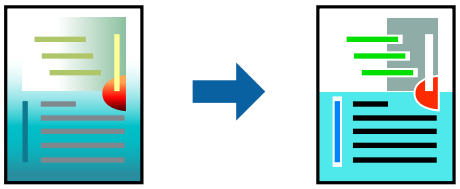
参考
- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「±」に見えるなど）。
- アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
- 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
- カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「応用設定タブ」81ページ

色を補正して印刷する

画像などの色を補正して印刷できます。



参考　元データは補正しません。

設定方法

プリンタードライバーの［応用設定］タブの［色補正］で［ユーザー設定］を選択します。［設定］をクリックして色補正の方法を選択してください。

参考

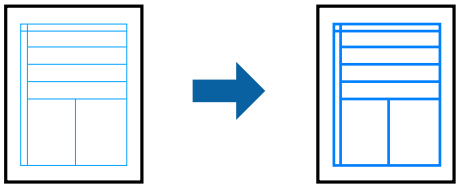
- 通常は、設定しなくても常に［自動］が選択されています。用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
- オートフォトファイン!EXは、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、オートフォトファイン!EX以外のモードで印刷してください。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「応用設定タブ」81ページ

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



設定方法

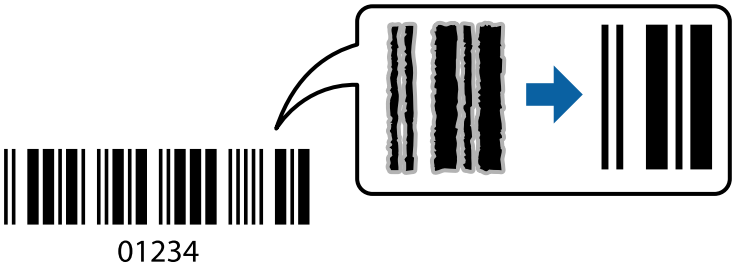
プリンタードライバーで［応用設定］タブの［色補正］から［画像処理設定］をクリックします。［細線を鮮明にする］にチェックします。

関連情報

➡ 「基本の印刷」62ページ
➡ 「応用設定タブ」81ページ

バーコードのにじみを抑えて印刷する

インクのにじみを抑えて、バーコードを読み取りやすくします。印刷したバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。



このモードは以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙、ビジネス普通紙、厚紙（紙厚91～256g/m²まで）、郵便ハガキ、封筒
- 印刷品質：［標準］、［きれい］（紙厚151～256g/m²までの厚紙は非対応）

参考　お使いのアプリケーションによっては、バーコードが読み取りやすくならないことがあります。

設定方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［拡張設定］をクリックして、［バーコードモード］にチェックします。

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。プリンターにジョブが送られたものは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

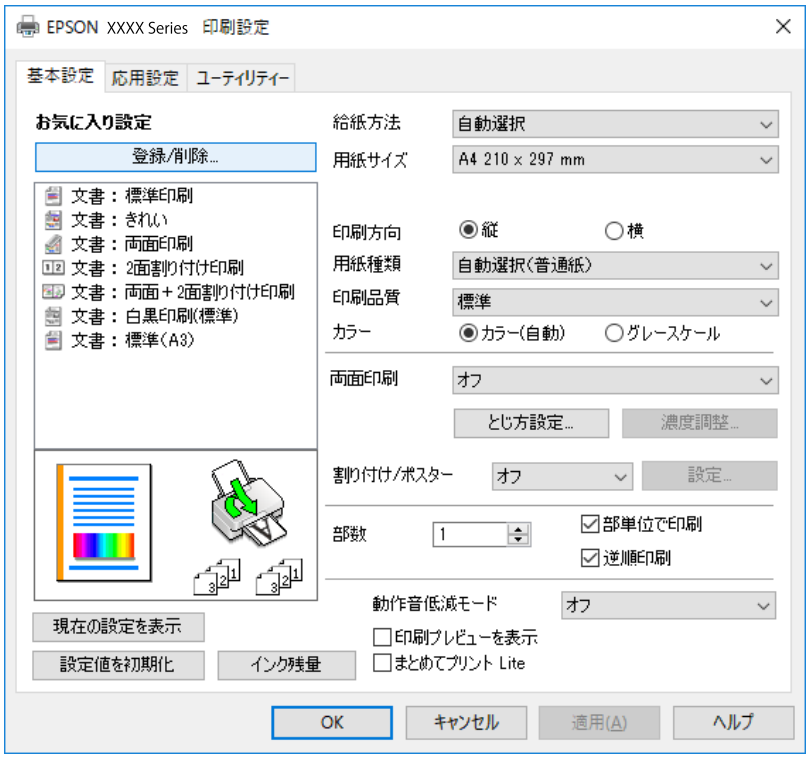
コンピューターの［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）で、お使いのプリンターを右クリックします。［印刷ジョブの表示］をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、［キャンセル］を選択します。

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考　項目は選択した内容によって異なります。

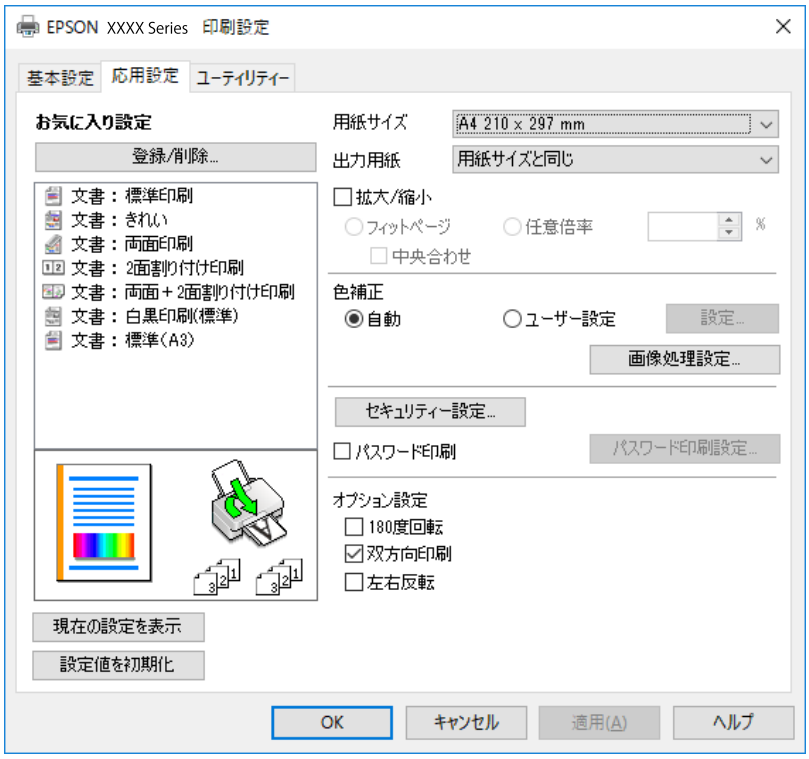
基本設定タブ



お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
現在の設定を表示	基本設定タブや応用設定タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。 初期化は、応用設定タブにも適用されます。	
インク残量	プリンターのインク残量を表示します。	
給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。	
用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。［ユーザー定義サイズ］は、用紙の幅と長さを入力します。	
印刷方向	データを印刷する向きを選択します。	
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。	
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。［詳細設定］は、任意で品質を設定できます。	
カラー	印刷する色を選択します。	
両面印刷	両面印刷やフェイスダウン排紙を有効にします。	
	とじ方設定	出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面（片面）から印刷するかを選択できます。
	濃度調整	印刷する文書のタイプを選択することで、インクの濃度を調整し裏写りを防止します。［ユーザー設定］を選択すると、任意で濃度を調整できます。

割り付け/ポスター	割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。設定では、ページの配置順などが設定できます。	
部数	印刷する部数を設定します。	
	部単位で印刷	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。
	逆順印刷	複数ページのデータを最後のページから印刷して、ページ順に仕上げます。
動作音低減モード	動作音を静かにします。有効にすると、印刷速度が遅くなることがあります。	
印刷プレビューを表示	印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。	
まとめてプリントLite	まとめてプリントLite機能を使って印刷したいときに選択します。	

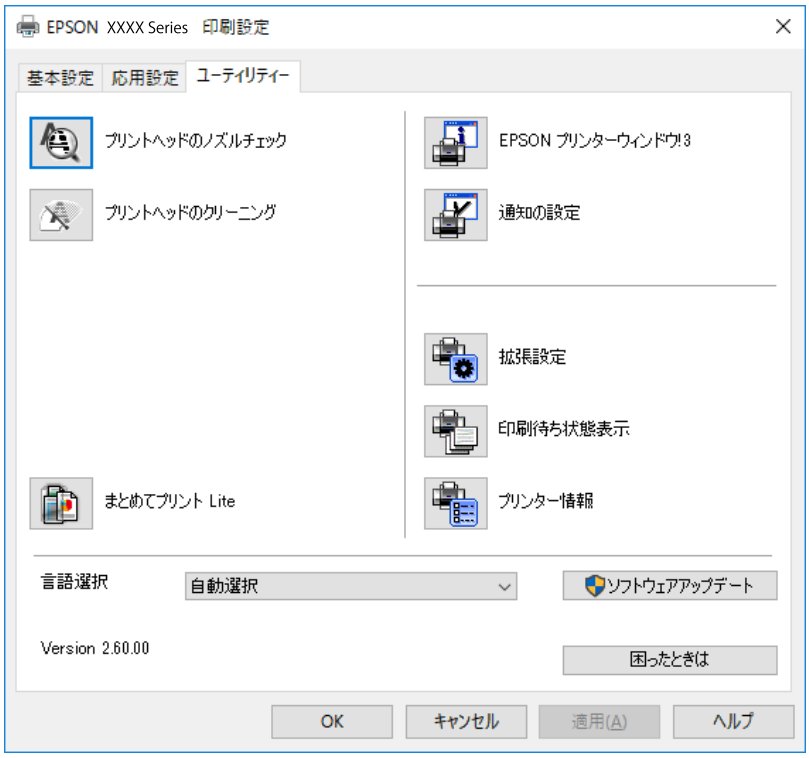
応用設定タブ



お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
現在の設定を表示	基本設定タブや応用設定タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、基本設定タブにも適用されます。	
用紙サイズ	印刷するデータのサイズを選択します。	
出力用紙	出力する用紙サイズを選択します。用紙サイズと出力用紙のサイズが異なるときは、拡大/縮小が自動で選択されます。拡大、縮小印刷をしないときは、選択する必要はありません。	

拡大/縮小	拡大、縮小印刷を有効にします。	
	フィットページ	出力用紙のサイズに合わせて自動で拡大、縮小印刷します。
	任意倍率	任意の倍率で拡大、縮小印刷します。
	中央合わせ	選択しておくと、用紙の中央にデータを印刷します。
色補正	自動	画像などの色を自動で補正して印刷します。
	ユーザー設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。［設定］を選択すると、色補正の詳細な方法が選択できます。
	画像処理設定	カラーユニバーサルプリントや赤目補正を有効にしたり、細い線を鮮明に印刷する設定をしたりします。
セキュリティー設定	透かし印刷やスタンプマークの設定をします。	
パスワード印刷	印刷ジョブにパスワードを設定します。パスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。［パスワード印刷設定］で、入力した内容の変更ができます。	
オプション設定	180度回転	データを１８０度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに有効です。
	双方向印刷	ヘッドの行きだけでなく帰りにもインクを吐出して印刷します。印刷速度は向上しますが、印刷品質は低下することがあります。
	左右反転	データの左右を反転して印刷します。

ユーティリティータブ



プリントヘッドのノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドに目詰まりがないか確認します。
プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドをクリーニングして目詰まりを改善します。インクを消費するため、ノズルが目詰まりしているときだけ実行してください。
まとめてプリントLite	まとめてプリントLite画面を表示します。作業中のデータの保存や、編集ができます。
EPSON プリンターウィンドウ!3	EPSON プリンターウィンドウ!3の画面を表示します。プリンターの状態やインク残量などが確認できます。
通知の設定	EPSON プリンターウィンドウ!3の画面に表示する項目などを設定します。
拡張設定	より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。
印刷待ち状態表示	印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時中止、再開などが操作できます。
プリンター情報	総通紙枚数の確認や、利用者情報の登録ができます。利用者制限が有効になっているプリンターは、利用者を登録すると印刷できます。
言語選択	プリンタードライバーの言語を変更します。画面を開き直すと言語が変更されます。
ソフトウェアアップデート	EPSON Software Updaterを起動して、インターネット上に更新できるソフトウェアがあるかを自動で確認します。
困ったときは	エプソンのウェブサイト「よくあるご質問（FAQ）」に接続します。

WindowsからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する

PostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

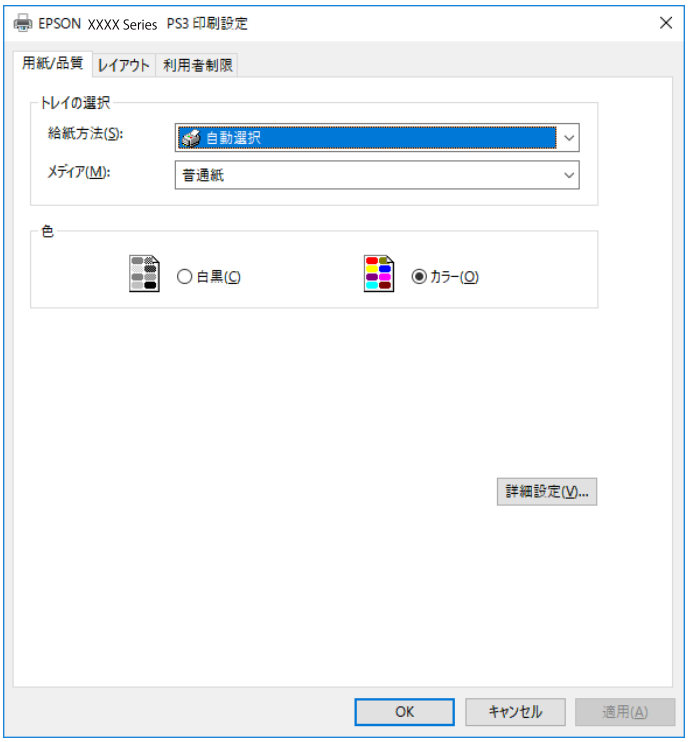
1. 印刷するファイルを開きます。

   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷設定］など）選択してプリント画面を表示させます。

3. お使いのプリンターを選択します。

4. ［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックして、プリンタードライバー（詳細な印刷設定）の画面を表示させます。



5. 必要に応じて設定を変更します。

   各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. ［OK］をクリックしてプリンタードライバーの詳細画面を閉じます。

7. ［プリント］をクリックします。

関連情報

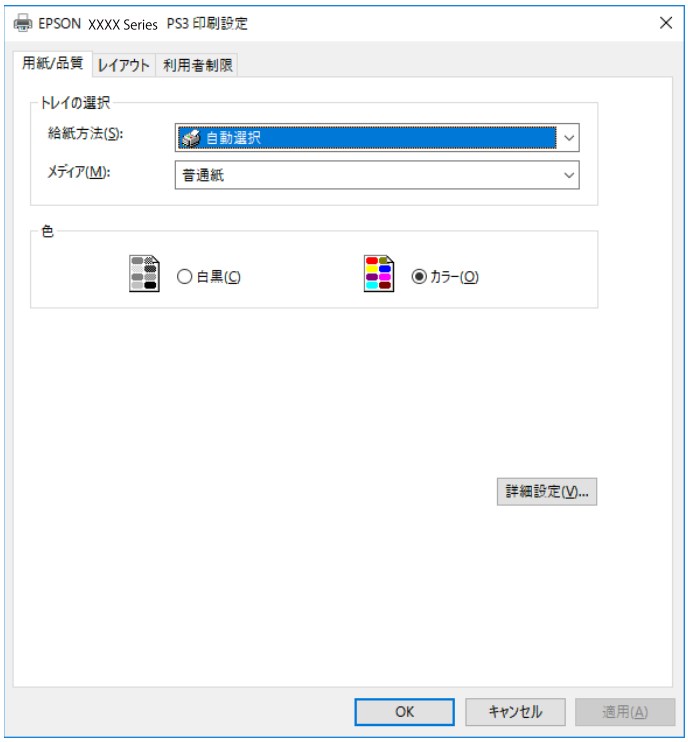
- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
- 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
- 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ
- 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
- 「レイアウトタブ」86ページ
- 「用紙/品質タブ」85ページ

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

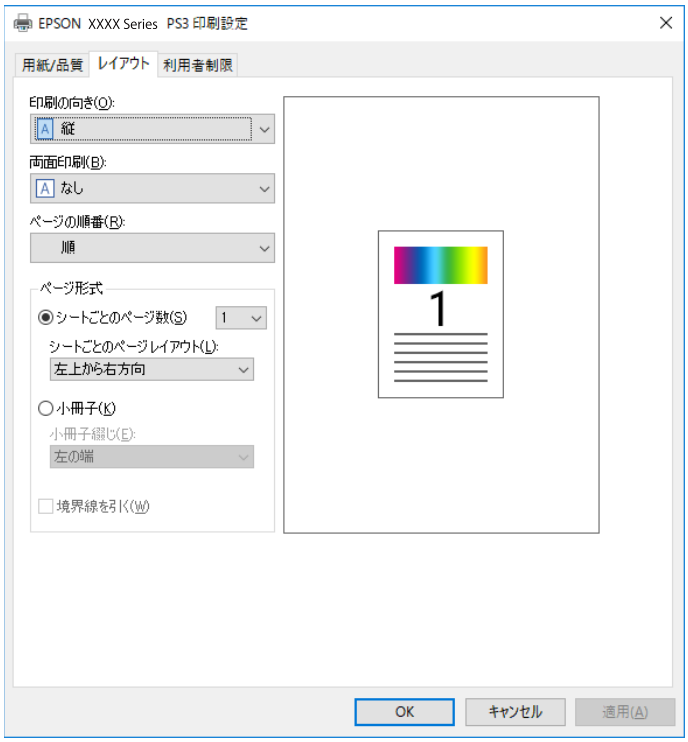
参考 項目は選択した内容によって異なります。

用紙/品質タブ



トレイの選択	給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。 ［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。
	メディア	印刷する用紙の種類を選択します。
色	印刷する色を選択します。	

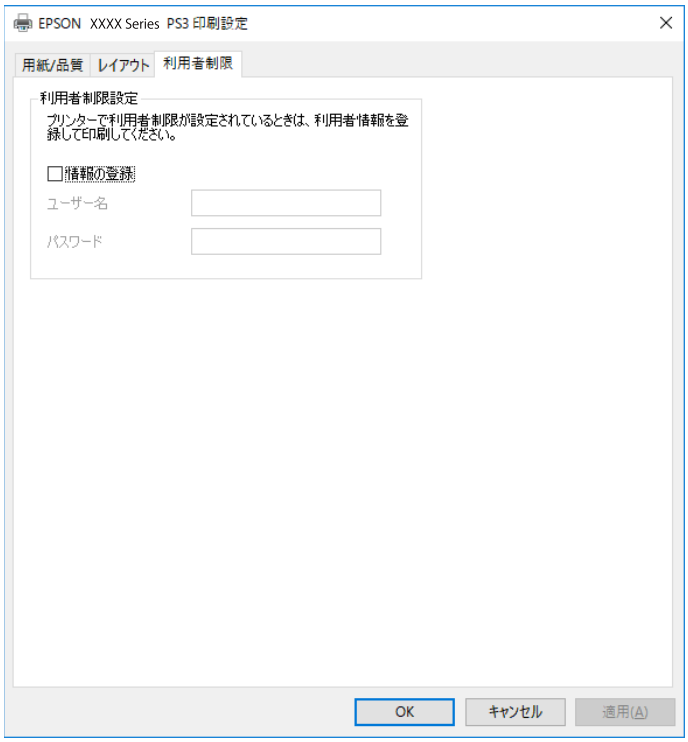
レイアウトタブ



印刷の向き	データを印刷する向きを選択します。		
両面印刷	両面印刷を有効にします。		
ページの順番	複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。［逆］を選ぶとページ順に仕上がります。		
ページ形式	シートごとのページ数	割り付け印刷を有効にします。	
		シートごとのページレイアウト	割り付け印刷時のページの配置順が設定できます。
	小冊子	冊子を作成したいときに選択します。	
		小冊子綴じ	冊子を作成するときの綴じる位置を選択します。

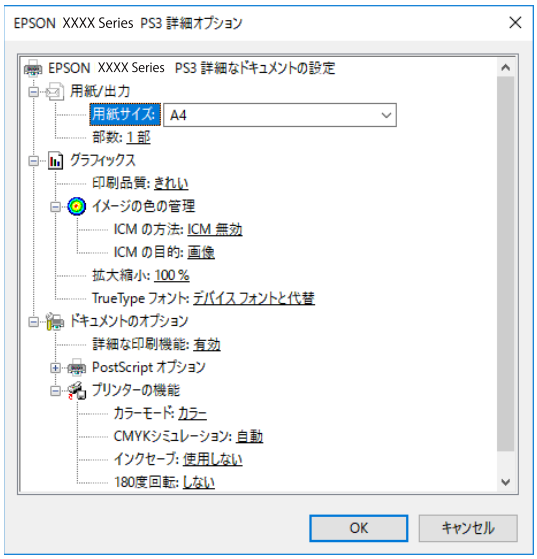
利用者制限タブ

管理者によってプリンターの利用者が制限されていることがあります。許可されているユーザー名とパスワードを、プリンタードライバーに登録しておくと印刷できます。ログオン情報はプリンターの管理者に確認してください。



利用者制限設定	情報の登録	ユーザー名とパスワードの入力を有効にします。
	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
	パスワード	パスワードを入力します。

詳細設定メニュー



用紙/出力	用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。	
	部数	印刷する部数を設定します。	
グラフィックス	印刷品質	印刷したい品質を選択します。	
	イメージの色の管理	ICMの方法や目的を選択します。	
	拡大縮小	拡大、縮小印刷を有効にします。	
	TrueTypeフォント	フォント代替処理をTrueTypeフォントに設定します。	
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	有効にすると詳細な印刷機能が設定できます。	
	PostScriptオプション	オプションの設定ができます。	
	プリンターの機能	カラーモード	カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選択します。
		CMYKシミュレーション	オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。
		インクセーブ	印刷濃度を薄くしてインクを節約します。
		180度回転	印刷データを180度回転して印刷します。

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。プリンターにジョブが送られたものは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

コンピューターの［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）で、お使いのプリンターを右クリックします。［印刷ジョブの表示］をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、［キャンセル］を選択します。

Mac OS Xからプリンタードライバーで印刷する

基本の印刷

参考　アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. 印刷するファイルを開きます。

   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択してプリント画面を表示させます。

   詳細設定が隠れているときは、［詳細を表示］（または ▼）をクリックして詳細設定画面を開いてください。

3. プリンターを選択します。

4. ポップアップメニューの［印刷設定］を選択します。

参考 Mac OS X v10.8.x以降で［印刷設定］メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。

メニューの ［システム環境設定］－［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。

http://epson.sn

5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

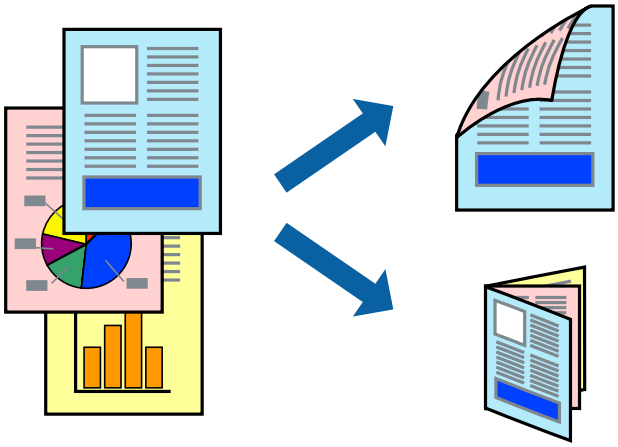
6. ［プリント］をクリックします。

関連情報

- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
- 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
- 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ
- 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
- 「印刷設定メニュー」99ページ

両面に印刷する

用紙の両面に自動で印刷できます 。



参考
- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ

設定方法

ポップアップメニューから［自動両面印刷設定］を選択します。両面印刷の方法を選択して、文書タイプを設定します。

参考

- 文書タイプによっては印刷速度が遅くなります。
- 写真やグラフなど濃度の高いデータを印刷するときは、文書タイプの［テキスト/イラスト］または［テキスト/写真］を選択してください。それでも印刷結果の汚れや裏写りが気になるときは、［詳細設定］で印刷濃度や追加乾燥時間を調整してください。

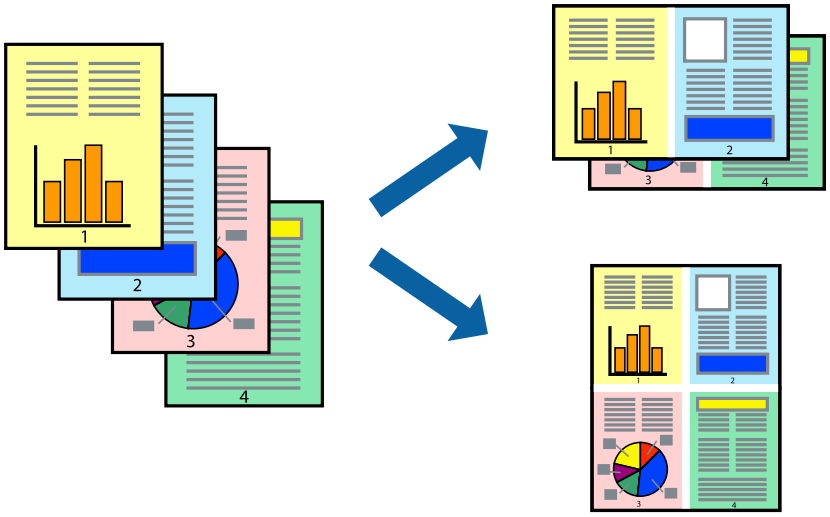
関連情報

➡ 「基本の印刷」89ページ

➡ 「自動両面印刷設定メニュー」101ページ

複数ページを1ページに印刷する

1枚の用紙に2ページまたは4ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

ポップアップメニューから［レイアウト］を選択します。ページ数/枚、レイアウト方向、境界線を設定します。

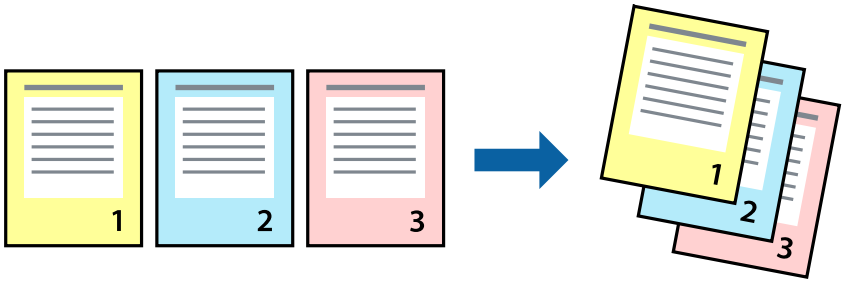
関連情報

➡ 「基本の印刷」89ページ

➡ 「レイアウトメニュー」95ページ

ページ順に印刷する（逆順印刷）

最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように印刷できます。



設定方法

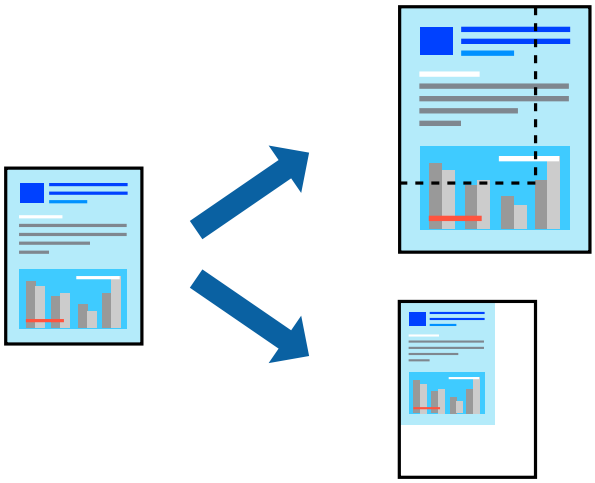
ポップアップメニューから［用紙処理］を選択します。［ページの順序］で［逆送り］を選択します。

関連情報

➡ 「基本の印刷」89ページ
➡ 「用紙処理メニュー」97ページ

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

用紙のサイズに合わせて拡大縮小印刷するときは、ポップアップメニューから［用紙処理］を選択して、［用紙サイズに合わせる］をチェックします。［出力用紙サイズ］でプリンターにセットした用紙のサイズを選択します。縮小印刷するときは、［縮小のみ］にチェックします。

任意の倍率で印刷するときは、アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［ページ設定］を選択します。［対象プリンタ］と［用紙サイズ］を設定し、［拡大縮小］に倍率を入力して［OK］をクリックします。

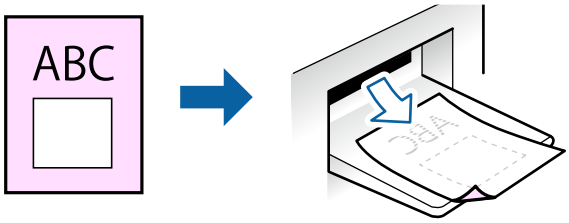
参考　用紙サイズは、印刷するデータのサイズを選択します。

関連情報

- 「基本の印刷」89ページ
- 「用紙処理メニュー」97ページ

印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン）

用紙を下向きに排紙することで、印刷結果を他人に見られないようにできます。



フェイスダウンは、以下の用紙でのみ有効にできます。
普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙 、印刷済み用紙、ビジネス普通紙

参考　通常よりも印刷時間がかかります。

設定方法

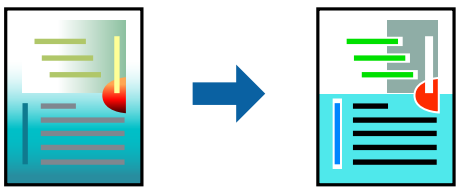
ポップアップメニューから［自動両面印刷設定］を選択し、［フェイスダウン印刷］にチェックします。文書タイプを選択すると、文書タイプに合わせて 濃度が調整できます。

関連情報

- 「基本の印刷」89ページ
- 「自動両面印刷設定メニュー」101ページ

色を補正して印刷する

画像などの色を補正して印刷できます。



参考　元データは補正しません。

設定方法

ポップアップメニューの［カラー・マッチング］から、［EPSON Color Controls］ を選択しておきます。ポップアップメニューから［カラーオプション］を選択して、色補正の種類を選択してください。［詳細設定］でさらに詳細な色補正の方法が選択できます。

関連情報

- 「基本の印刷」89ページ
- 「カラー・マッチングメニュー」96ページ
- 「カラーオプションメニュー」100ページ

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。プリンターにジョブが送られたものは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

Dock内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。

- Mac OS X v10.8.x以降
  プログレスメーター横の をクリックします。
- Mac OS X v10.6.8～v10.7.x
  ［削除］をクリックします。

プリンタードライバーのメニュー説明

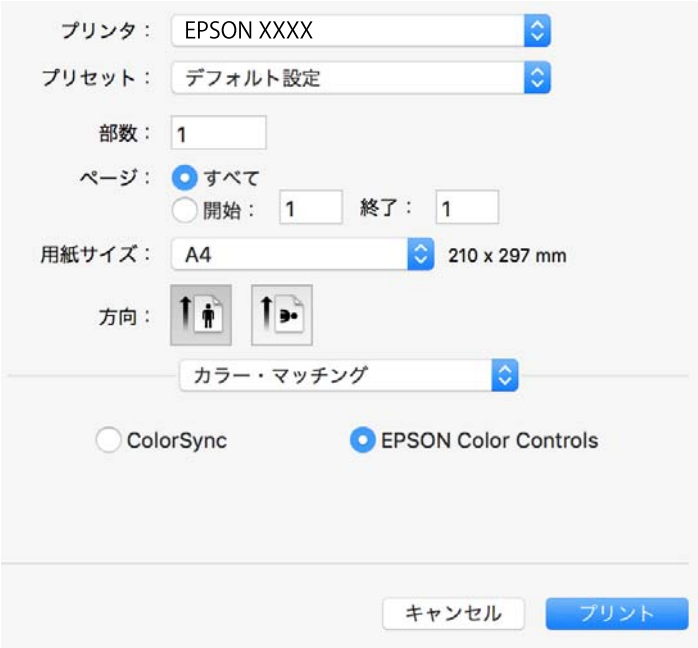
アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考　項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

ページ数/枚	用紙1枚に対し、貼り合わせたいページ数を選択します。
レイアウト方向	ページを貼り合わせる並べ方を選択します。
境界線	ページを区切る境界線の設定をします。
ページの方向を反転	データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー



ColorSync	色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。
EPSON Color Controls	

用紙処理メニュー

丁合い	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。	
プリントするページ	印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。	
ページの順序	印刷するページの順序が選択できます。	
用紙サイズに合わせる	出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。	
	出力用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	縮小印刷時に選択します。

表紙メニュー

表紙をプリント	表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、書類の後を選択します。
表紙のタイプ	表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー

給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。給紙装置が1つだけの機種では表示されません。［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。
グレースケール	白黒で印刷したいときに選択します。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラーオプションメニュー

手動設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。詳細設定では、色補正の詳細な方法が選択できます。
オートフォトファイン！EX	エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。
色補正なし	色補正せずに印刷します。

自動両面印刷設定メニュー

自動両面印刷	自動で用紙の両面に印刷します。
フェイスダウン印刷	印刷した面を下にして排紙します。

Mac OS Xプリンタードライバーの動作を設定する

Mac OS Xプリンタードライバーの動作設定画面の開き方

メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。

Mac OS Xプリンタードライバーの動作設定メニューの説明

- こすれ軽減：印刷こすれを軽減させて印刷します。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。
- 白紙節約する：印刷データの白紙ページを印刷しません。
- 動作音低減モード：印刷時の動作音が静かになります。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。
- 双方向印刷：プリントヘッドが左右どちらに動くときも印刷します。印刷速度は速くなりますが、印刷品質は低下することがあります。

- ファイリングしやすい方向に排紙する：横向きのデータを印刷するときや両面に印刷するときに、ファイリングしやすいように印刷データを回転して排紙します。ハガキと封筒は非対応です。
- ワーニングを通知する：ワーニング（警告）が発生したときにメッセージなどを表示します。
- 印刷時に双方向通信をサポート：通常は［オン］のままにしてください。Windowsで共有されているプリンターなど、プリンターからの情報が取れない場合は［オフ］にします。
- 用紙カセット：増設カセットユニットを給紙装置として選択できるようにします。

Mac OS XからPostScriptプリンタードライバーで印刷する

PostScript プリンタードライバーは、PostScript（ページ記述言語）を使って印刷します。

1. 印刷するファイルを開きます。

   プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. ［ファイル］メニューの［プリント］（または ［印刷］など）を選択してプリント画面を表示させます。

   詳細設定が隠れているときは、［詳細を表示］（または ▼）をクリックして詳細設定画面を開いてください。

3. プリンターを選択します。

4. ポップアップメニューの［プリンタの機能］を選択します。

5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. ［プリント］をクリックします。

関連情報

- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
- 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
- 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ
- 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
- 「プリンタの機能メニュー」107ページ

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

ページ数/枚	用紙１枚に対し、貼り合わせたいページ数を選択します。

レイアウト方向	ページを貼り合わせる並べ方を選択します。
境界線	ページを区切る境界線の設定をします。
両面	両面印刷を有効にします。
ページの方向を反転	データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

ColorSync	色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。
プリンタのカラー	

用紙処理メニュー

丁合い	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。	
プリントするページ	印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。	
ページの順序	印刷するページの順序が選択できます。	
用紙サイズに合わせる	出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。	
	出力用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	縮小印刷時に選択します。

給紙メニュー

すべてのページ	どの給紙装置から給紙するかを選択します。 ［自動選択］にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。 印刷するページごとに給紙装置の選択もできます。
先頭ページのみ、残りのページ	

表紙メニュー

表紙をプリント	表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、書類の後を選択します。
表紙のタイプ	表紙に印刷される内容を選択します。

プリンタの機能メニュー

機能セット	印刷品質	用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。
		解像度	印刷したい品質を選択します。
	カラー設定	カラーモード	カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選択します。
		CMYKシミュレーション	オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。
	その他の設定	インクセーブ	オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。プリンターにジョブが送られたものは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

Dock内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。

- Mac OS X v10.8.x以降
  プログレスメーター横の をクリックします。
- Mac OS X v10.6.8～v10.7.x
  ［削除］をクリックします。

外部メモリーのデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のJPEGやPDF、TIFFデータを印刷します。

外部メモリー内のJPEGデータを印刷する

参考　外部メモリーに999以上の画像が入っていると、画像は自動的にグループ化され、グループ選択画面が表示されます。画像は撮影日順に表示されます。

1. プリンターの外部接続USBポートに外部メモリーを挿入します。

2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］をタップします。

3. ［JPEG印刷］をタップします。

   読み込まれたデータはサムネール表示されます。
   ［画像の並び順］の変更、［全ての画像を選択］、［画像の選択解除］、［グループ選択］の設定をするときは、Menuをタップします。

4. 印刷するファイルをタップします。

選択した画像はチェックマークが付きます。

１つの画像をプレビューするときは、[全画面表示] をタップします。拡大して見たいときは をタップします。前後の画像を見たいときは や をタップします。

5. ［印刷へ進む］をタップして印刷設定をします。

6. ［基本設定］タブで給紙装置やカラーなど印刷設定をします。

7. 必要に応じて［応用設定］タブの設定をします。

設定項目の詳細は、外部メモリーから印刷時のメニューの説明をご覧ください。

8. キーパッドを使って印刷部数を入力します。

9. ◇をタップして印刷を開始します。

10. プリンターから外部メモリーを取り出します。

関連情報

➡ 「JPEG印刷設定」111ページ

外部メモリー内のPDF、TIFFデータを印刷する

1. プリンターの外部接続USBポートに外部メモリーを挿入します。

2. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］-［PDF印刷］または［TIFF印刷］をタップします。

   読み込まれたデータはリスト表示されます。

   をタップするとファイルの表示順を変更できます。

3. 印刷するファイルを開きます。

4. ［基本設定］タブで給紙装置やカラーなど印刷設定をします。

5. 必要に応じて［応用設定］タブの設定をします。

   設定項目の詳細は、外部メモリーから印刷時のメニューの説明をご覧ください。

6. 数字キーを使って印刷部数を入力します。

7. をタップして印刷を開始します。

8. プリンターから外部メモリーを取り出します。

関連情報

➡ 「PDF印刷設定」111ページ
➡ 「TIFF印刷設定」112ページ

外部メモリーから印刷時のメニューの説明

操作パネルのホーム画面で［外部メモリーから印刷］をタップすると、外部メモリー内のデータを直接、簡単に印刷することができます。

JPEG印刷設定

（写真メニュー）：

画像ファイルの表示順、選択や選択解除を設定します。（初期値は［昇順］）

基本設定：

- 用紙設定
  使用する用紙の設定をします。（初期値は［用紙カセット1］）
- カラーモード
  ［カラー（自動）］にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、［モノクロ］を選択してください。（初期値は［カラー（自動）］）

応用設定：

- レイアウト
  JPEGファイルの配置方法を選択します。［1面］は、1枚の用紙に1ファイルを印刷します。［20面］は、1枚の用紙に20ファイルを印刷します。［インデックス］は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は［1面］）
- トリミング
  有効にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱいに印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は［オフ］）
- 印刷品質
  ［きれい］にすると、高品質で印刷できます。ただし、印刷に時間がかかります。（初期値は［標準］）
- 日付表示
  撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は［オフ］）
- 自動画質補正
  エプソン独自の画像解析・処理技術を使って自動的に高画質化します。自動補正をしたくないときは、［自動補正なし］を選択します。（初期値は［オートフォトファイン!EX(自動)］）
- 赤目補正
  有効にすると、赤く撮影された目の色を補正することができます。元のファイルは補正しません。画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうことがあります。（初期値は［オフ］）

PDF印刷設定

外部メモリー内のPDF形式ファイルを印刷するときの設定項目です。

（ファイルの並び順）：

操作パネルの画面で表示するファイルの順番を選択します。（初期値は［昇順］）

基本設定：

- 用紙設定
  使用する給紙装置を指定します。（初期値は［自動］）

- カラーモード
  ［カラー（自動）］にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、［モノクロ］を選択してください。（初期値は［カラー（自動）］）

応用設定：

- 両面設定
  ［オン］にすると両面印刷ができます。また、［開き方向(出力)］も指定できます。初期値は、両面印刷［オフ］　開き方向（出力）［左右開き］
- 印刷順序
  印刷するページの順番が指定できます。（初期値は［正順印刷］）

TIFF印刷設定

外部メモリー内のTIFF形式ファイルを印刷するときの設定項目です。

（ファイルの並び順）：

ファイル名の昇順または降順にファイルを並べ替えます。（初期値は［昇順］）

基本設定：

- 用紙設定
  使用する用紙の設定をします。（初期値は［用紙カセット1］）
- カラーモード
  ［カラー（自動）］にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、［モノクロ］を選択してください。（初期値は［カラー（自動）］）

応用設定：

- レイアウト
  マルチTIFFファイルの配置方法を選択します。［1面］は、1枚の用紙に1ページ印刷します。［20面］は、1枚の用紙に20ページ印刷します。［インデックス］は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は［1面］）
- トリミング
  有効にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱいに印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は［オフ］）
- 印刷品質
  ［きれい］にすると、高品質で印刷できます。ただし、印刷に時間がかかります。（初期値は［標準］）
- 印刷順序
  マルチTIFFファイルの印刷するページの順番が指定できます。（初期値は［正順印刷］）
- 日付表示
  撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は［オフ］）

スマートデバイスから印刷する

Epson iPrintを使う

Epson iPrint（エプソン アイプリント）は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、写真やWebページ、文書などが印刷できるアプリケーションです。プリンターと同じ無線LANに接続したスマートデバイスから印刷するローカルプリントと、インターネット経由で外出先から印刷するリモートプリントがあります。リモートプリントを使うには、プリンターをEpson Connectサービスに登録してください。

関連情報

➡ 「ネットワークサービスを使って印刷する」253ページ

スマートデバイスからWi-Fi Directで接続する

スマートデバイスから印刷またはスキャンするには、プリンターとスマートデバイスを接続する必要があります。
Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続は、アクセスポイントを使わずに直接プリンターと機器を接続する方法です。プリンターがアクセスポイントの役割をします。

！重要 スマートデバイスからプリンターにWi-Fi Direct（シンプルAP）接続した場合、プリンターとスマートデバイスは同じWi-Fiのネットワーク（SSID）に接続され、プリンターとスマートデバイスが通信できます。プリンターの電源が切れると、スマートデバイスは自動で接続可能な別のWi-Fiのネットワーク（SSID)に接続されるため、次回プリンターの電源を入れても接続は戻りません。再度スマートデバイスからプリンターの Wi-Fi Direct（シンプルAP）の SSID に接続してください。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［Wi-Fi Direct］をタップします。

3. ［設定に進む］をタップします。

   既にWi-Fi Direct接続されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。手順5に進んでください。

4. ［設定を開始する］をタップします。

5. プリンターの操作パネルに表示された SSID とパスワードを確認します。スマートデバイスのWi-Fi画面からプリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択し、接続します。

   参考 ウェブサイトで接続方法を確認できます。スマートデバイスからはプリンターの操作パネルに表示されるQRコードを読み取り、ウェブサイトに アクセスして［セットアップ］に進んでください。

6. プリンターの操作パネルに表示されたパスワードをスマートデバイスに入力して接続します。

7. スマートデバイスから接続ができたら、プリンターの操作パネルで［OK］または［閉じる］をタップします。

Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。
http://ipr.to/c

Epson iPrintで印刷する

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。
以下の画面は予告なく変更されることがあります。

❶	起動時に表示されるホーム画面です。
❷	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
❸	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。

❹	写真や文書、Webページなど、印刷したいものを選択します。
❺	用紙サイズや用紙種類などの印刷設定をする画面を表示します。
❻	用紙サイズを表示します。ボタン形状になっているときは、ボタンを押すとプリンターの用紙設定情報を表示します。
❼	選択した写真や文書を表示します。
❽	印刷を開始します。

参考 iOSで動作するiPhone、iPad、iPod touchからドキュメントメニューで印刷するときは、iTunesのファイル共有機能で印刷するドキュメントを転送してからEpson iPrintを起動してください。

NFCマークにスマートデバイスをタッチして印刷する

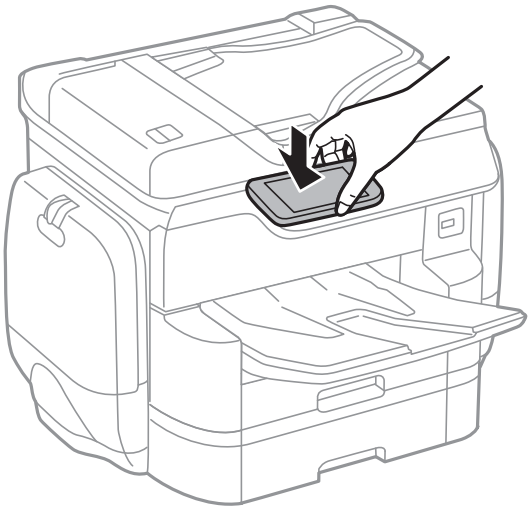
NFC(Near Field Communication)に対応したスマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねるだけで、プリンターと簡単に接続して印刷できます。
以下の設定を事前に済ませてください。

- スマートデバイスでNFCの設定を有効にしてください。
  Android 4.0以降のデバイスのみNFCに対応しています。
  スマートデバイスによってNFCの位置が異なります。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスにEpson iPrintをインストールする。
  スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねてインストールします。
- プリンターのWi-Fi Direct設定を有効にします。
  詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

1. プリンターに印刷用紙をセットします。

2. スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねます。

   Epson iPrintが起動します。



参考
- プリンターのNFCマークとスマートデバイスのNFCの間に金属などの障害物があると、通信できないことがあります。
- プリンターの管理者によって使用制限されているときは、プリンターのNFCマークにスマートデバイスを重ねても音を発するだけでアプリケーションは起動しません。

3. Epson iPrintで印刷するファイルを選択します。

4. 印刷アイコンをタップして表示したプレビュー画面で、再度プリンターのNFCマークにスマートデバイスのNFCを重ねます。

   印刷が始まります。

AirPrintを使う

AirPrintを使うと、最新のiOSで動作するiPhone、iPad、iPod touchや最新のMac OS Xから、簡単に無線で印刷できます。

参考 操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrintは使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連リンクをご覧ください。

1. プリンターに印刷用紙をセットします。

2. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。

   http://epson.sn

3. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。

4. 機器からプリンターに印刷します。

   参考 詳しくはアップル社ウェブサイトのAirPrintのページをご覧ください。

印刷中または待機中の印刷ジョブを中止する

参考 印刷中のジョブは、プリンターの▽をタップしても中止できます。

1. ボタンを押して［ジョブ/状態］を表示させます。

2. ［ジョブ状態］タブの［実行中］をタップします。

   印刷中または待機中のジョブがリストに表示されます。

3. 中止したいジョブを選択します。

4. ［中止］をタップします。

コピー

基本のコピー 119
用紙の両面にコピーする 120
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする 120
コピー時の基本設定メニュー 120
コピー時の応用設定メニュー 122

基本のコピー

ここでは基本的なコピー手順を説明します。

参考 コピー手順は、『動画ガイド』の実写動画でよりわかりやすくご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

1. 原稿をセットします。

   両面コピーなど複数枚の原稿をコピーする場合は、ADFに全ての原稿をセットします。

2. ホーム画面で［コピー］をタップします。

3. ［基本設定］タブの設定を確認します。

   必要に応じて設定項目をタップして変更します。

参考
- ［応用設定］タブをタップすると、［ページ集約］や［原稿種類］などが設定できます。
- ☆をタップすると、よく使うコピー設定をお気に入りに登録できます。
- 用紙に関係する設定の組み合わせが使用できないときは、!が表示されます。アイコンをタップして詳細を確認し、設定を変更してください。

4. コピー部数の数字をタップして、キーパッド画面でコピー部数を入力します。

5. をタップして、スキャン画像と用紙サイズなどの設定を確認します。

6. ◇をタップします。

関連情報

➡「原稿のセット」38ページ
➡「コピー時の基本設定メニュー」120ページ
➡「コピー時の応用設定メニュー」122ページ

用紙の両面にコピーする

複数枚の原稿や、両面の原稿を用紙の両面にコピーできます。

1. ホーム画面で［コピー］をタップします。
2. ［基本設定］タブの ［両面設定］で［片面→両面］または［両面→両面］を選択します。
   原稿のセット方向や開き方向なども指定できます。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. をタップして、コピーのイメージを確認します。
5. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「基本のコピー」119ページ

複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする

2枚または4枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーできます。

1. ホーム画面で［コピー］をタップします。
2. ［応用設定］タブの ［ページ集約］で［2in1］または［4in1］を選択します。
   原稿の割り付け順序とセット方向も指定できます。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. をタップして、コピーのイメージを確認します。
5. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「基本のコピー」119ページ

コピー時の基本設定メニュー

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

カラーでコピーするかモノクロでコピーするか選択します。（初期値は［モノクロ］）

- モノクロ
  原稿をモノクロ（白黒）でコピーします。
- カラー
  原稿をカラーでコピーします。
- カラー(自動)
  ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［カラーカウント］-［コピー］の順にタップして、［自動判別］を選択すると表示されます。
  原稿の色を自動で判別して印刷しますが、カラー原稿の再現性を優先するため、カラー印刷を優先します。
  モノクロ原稿をモノクロで印刷したい場合は［モノクロ］を使用してください。

濃度：

コピー結果が薄いときは濃度を上げます。こすれが発生するときは濃度を下げます。（初期値は［±0］）

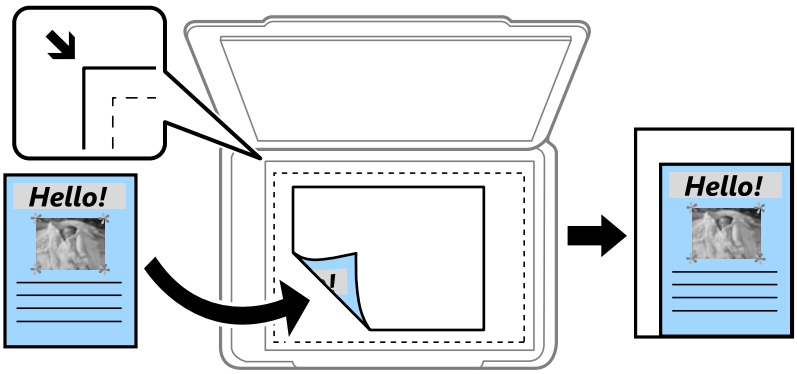
用紙設定：

使用する給紙装置を選択します。［自動］を選択すると、自動で検出された原稿サイズと、設定した倍率から、最適な用紙サイズを自動で給紙します。（初期値は［自動］）

倍率：

拡大または縮小コピーの倍率を設定します。任意の倍率（25～400%）を、数値をタップして指定してください。（初期値は［等倍］）

- 自動
  原稿のスキャン範囲を自動で検出して、用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。原稿の周囲に余白がある場合、原点（↘）からの余白部分はスキャン範囲に含まれますが、原点から反対側の余白部分は切り取られることがあります。



- 小さめフィット
  スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。
  指定した倍率が印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。
- 等倍
  100%の倍率でコピーします。
- A3→A4など
  定形サイズの原稿（スキャン範囲）を、定形サイズの用紙に合わせた倍率で拡大または縮小します。

原稿サイズ：

原稿のサイズを選択します。［自動検知］を選択すると、原稿サイズが自動で検出されます。非定形サイズの原稿をコピーするときは、原稿サイズに近いサイズを選択してください。（初期値は［自動検知］）

両面設定：

両面コピーのレイアウトを選択します。（初期値は［片面→片面］）

- 片面→片面
  原稿の片面を用紙の片面にコピーします。
- 両面→両面
  両面の原稿を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと原稿と用紙の開き方向を選択します。（初期値は［上向き］、［左右開き］）
- 片面→両面
  2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと用紙の開き方向を選択します。（初期値は［上向き］、［左右開き］）
- 両面→片面
  両面の原稿を、2枚の用紙に片面ずつコピーします。原稿の向きと原稿の開き方向を選択します。（初期値は［上向き］、［左右開き］）

コピー時の応用設定メニュー

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

ページ集約：

コピーのレイアウトを選択します。（初期値は［しない］）

- しない
  1ページの原稿を1枚の用紙にコピーします。
- 2in1
  2ページの原稿を、1枚の用紙に2面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。（初期値は［左→右、上→下］、［上向き］）
- 4in1
  4ページの原稿を、1枚の用紙に4面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。（初期値は［左上から横方向］、［上向き］）

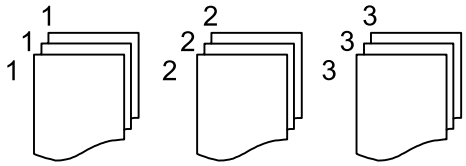
原稿種類：

原稿の種類を選択します。原稿の種類に合わせて最適な品質でコピーします。（初期値は［文字・写真］）

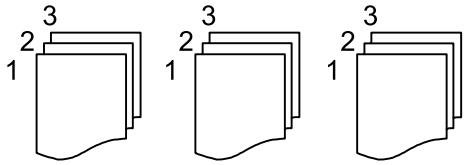
仕上げ：

複数ページの原稿を複数部コピーするときの排紙方法を選択します。（初期値は［グループ(ページごと)］）

- グループ(ページごと)
  ページごとにまとめてコピーします。

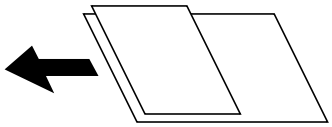


- ソート(1部ごと)
  1部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。



原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。混在させても原稿と同じサイズの印刷用紙に印刷します。セットするときは、図のように用紙の幅をそろえてセットしてください。（初期値は［オフ］）



原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）

見開き→2ページ：

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。（初期値は［オフ］）
スキャンする順番を選択します。（初期値は［右ページ→左ページ］）

詳細画質調整：

画質の設定を調整します。（初期値は［±0］）

- コントラスト
  明るい部分と暗い部分の差を調整します。
- 鮮やかさ
  色の鮮やかさを調整します。
- 色調補正 レッド、色調補正 グリーン、色調補正 ブルー
  各色の濃さを調整します。
- シャープネス
  画像の輪郭を調整します。
- 色相調整
  肌の色味を調整します。＋をタップすると冷たく（グリーンが増す）、－をタップすると温かく（レッドが増す）なります。

- 背景除去
  背景色の濃さを調整します。+をタップすると明るく（白く）、−をタップすると暗く（黒く）なります。

とじしろ：

両面コピー時に原稿のとじ位置、とじ幅、原稿の向きを選択します。（初期値は［オフ］）

小さめフィット：

スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。（初期値は［オフ］）

影消し：

冊子をコピーしたときに中央部に出る影や、厚い原稿をコピーしたときに周りに出る影を消します。（初期値は［オフ］）

パンチ穴消し：

パンチ穴の影を消してコピーします。（初期値は［オフ］）

IDカードコピー：

IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。（初期値は［オフ］）

スキャン

操作パネルからスキャンする 126
コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2） 152
スマートデバイスからスキャンする 155

操作パネルからスキャンする

プリンターの操作パネルからできるスキャンは以下です。

フォルダー

スキャンした画像をネットワーク経由でフォルダーに保存します。宛先には、コンピューターに作成した共有フォルダー（SMBプロトコルを使用したもの）やFTPサーバー上のフォルダーが指定できます。事前に共有フォルダーまたはFTP サーバーの設定が必要です。

メール

スキャンした画像をプリンターから直接メールで送信できます。事前にメールサーバーの登録と設定が必要です。

Document Capture Pro

スキャンソフトウェア「Document Capture Pro」で設定したジョブを、プリンターの操作パネルから実行できます。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブを作成しておき、プリンターでそのジョブを実行すると、スキャンした画像をコンピューターに保存できます。事前にコンピューターにDocument Capture Proをインストールして、ジョブを設定する必要があります。

外部メモリー

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。事前の設定は必要ありません。

クラウド

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。事前にEpson Connectの設定が必要です。

関連情報

- 「スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTPサーバーに保存」126ページ
- 「スキャンした画像をメールに添付する」141ページ
- 「コンピューターに登録した設定でスキャンする（Document Capture Pro）」144ページ
- 「スキャンした画像を外部メモリーに保存する」147ページ
- 「スキャンした画像をクラウドに保存する」150ページ

スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTPサーバーに保存

スキャンした画像をネットワーク経由でフォルダーに保存します。宛先には、コンピューターに作成した共有フォルダー（SMBプロトコルを使用したもの）、またはFTP サーバー上のフォルダーを指定できます。

参考
- プリンターとコンピューターは、同じネットワークに接続されている必要があります。ネットワークの設定確認・変更は、管理者に問い合わせてください。
- FTPサーバー上のフォルダーに保存したい場合は、FTPサーバーの管理者に必要な情報を確認してください。

共有フォルダーに保存するときは、以下の３つを全て行ってください。

- 準備1：コンピューター名を確認・変更する
- 準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する
- 準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録

関連情報

➡ 「準備1：コンピューター名を確認・変更する」127ページ
共有フォルダーを作成するコンピューターの名前を確認・変更します。

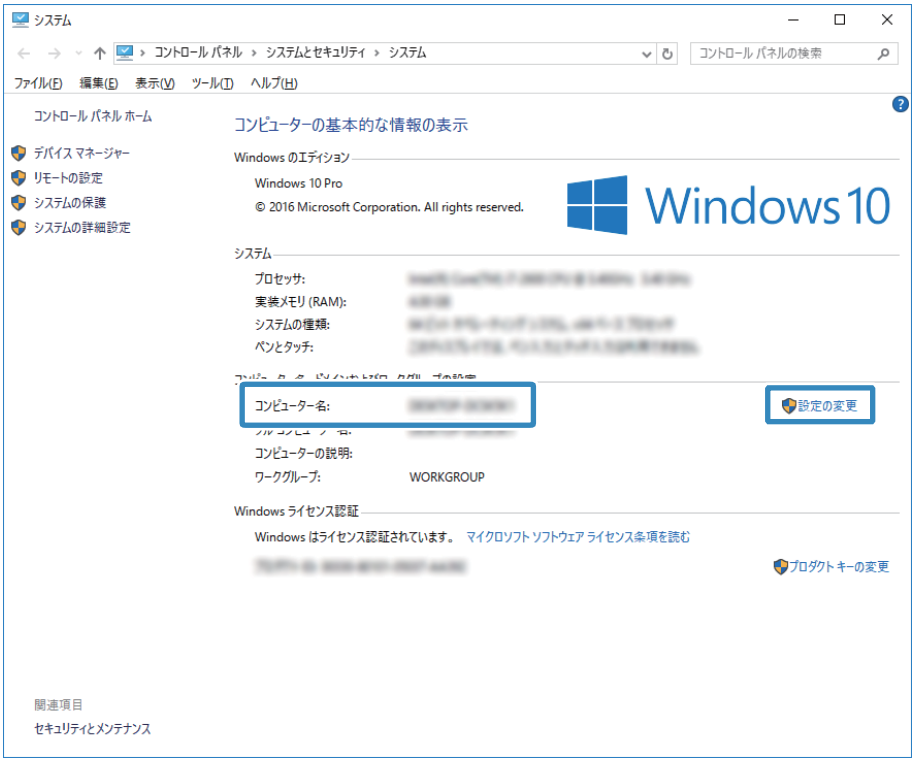
➡ 「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」130ページ
コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。

➡ 「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」134ページ
共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておくと、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。

準備1：コンピューター名を確認・変更する

共有フォルダーを作成するコンピューターの名前を確認・変更します。
コンピューター名には半角英数字および半角記号を使用してください。それ以外の文字が含まれると、プリンターから接続できないことがあります。

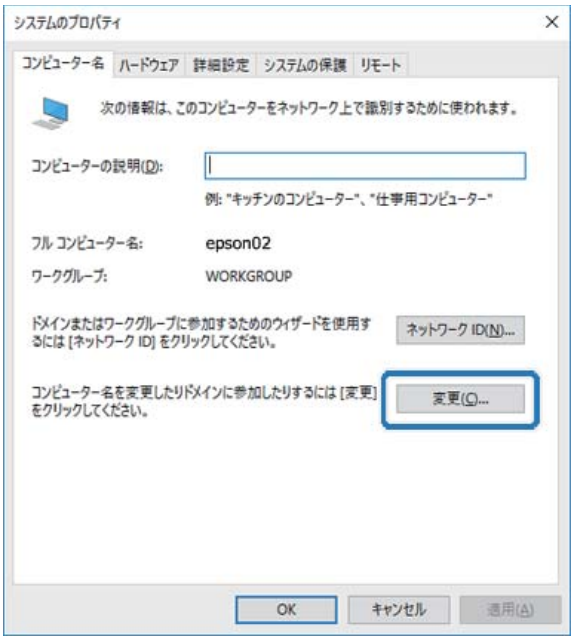
1. コンピューターのシステムの画面を開きます。
   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8:
     キーボードのWindowsキーを押したままXキーを押し、一覧から［システム］を選択します。
   - Windows 7:
     スタートボタンをクリックし、［コンピューター］を右クリックして［プロパティ］を選択します。
2. ［システム］の画面で［コンピューター名］を確認します。コンピューター名を変更するときは、［設定の変更］をクリックします。



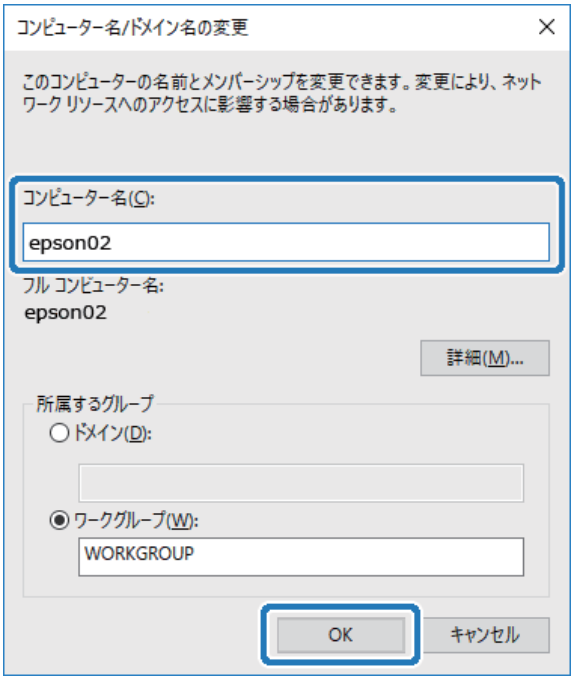
参考

- コンピューター名には半角英数字および半角記号を使用してください。ひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字、全角記号が使用されているときは、［設定の変更］をクリックして変更してください。
- コンピューター名を変更する必要がないときは、画面を閉じてください。以上で「準備1：コンピューター名を確認・変更する」は終了です。次に「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」を行います。

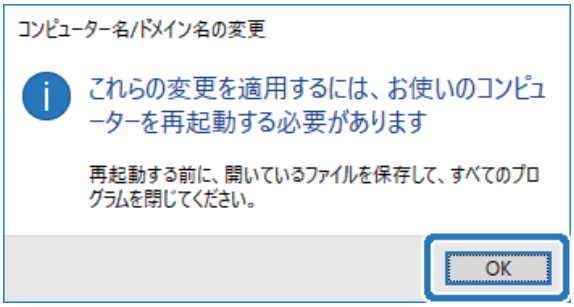
3. ［コンピューター名］タブの画面で［変更］をクリックします。



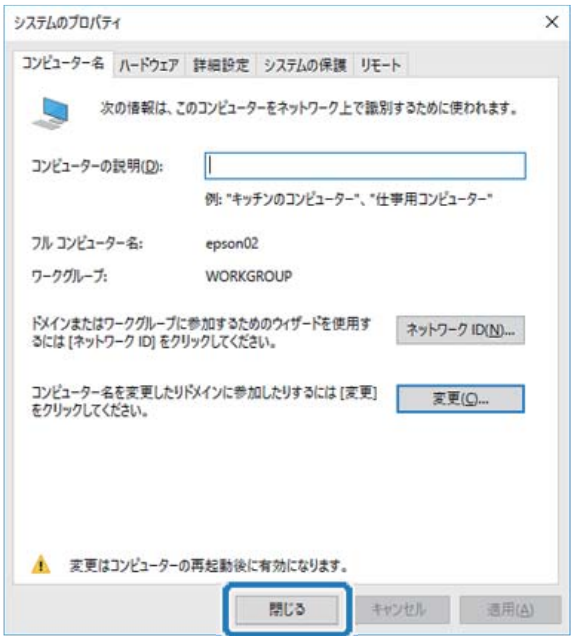
4. コンピューター名を変更したら、［OK］をクリックします。



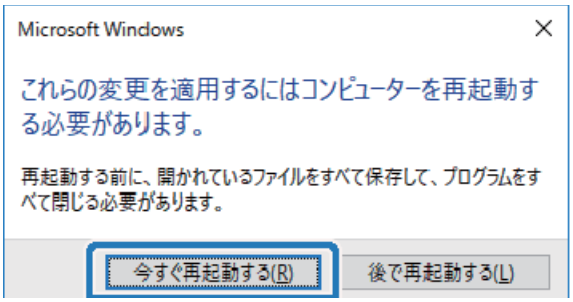
5. コンピューターを再起動するため、全てのファイルを保存して閉じ、［OK］をクリックします。



6. 以下の画面が表示されたら、［閉じる］をクリックします。



7. ［今すぐ再起動する］をクリックし、コンピューターを再起動します。



以上で「準備1：コンピューター名を確認・変更する」は終了です。
次に「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」を行います。

関連情報

➡ 「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」130ページ
コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。

準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する

コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。
ここでは、パスワードが設定されているコンピューターで、デスクトップに「scan」というフォルダーを作成することを例に説明します。
デスクトップやドキュメントフォルダーなどユーザーフォルダー配下のフォルダーは、ログオンしたユーザーとコンピューターの管理者権限を持つユーザーがアクセスできます。

1. エクスプローラーを起動します。

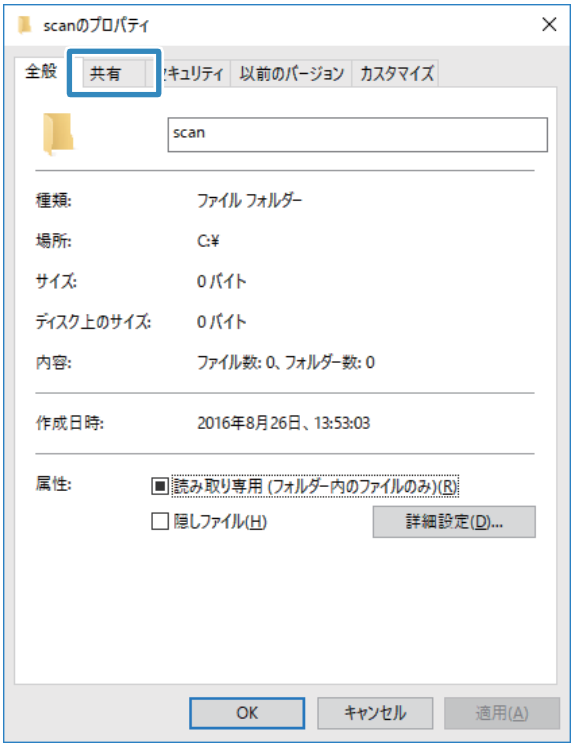
2. デスクトップにフォルダーを作成し「scan」と名前を付けます。

   フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

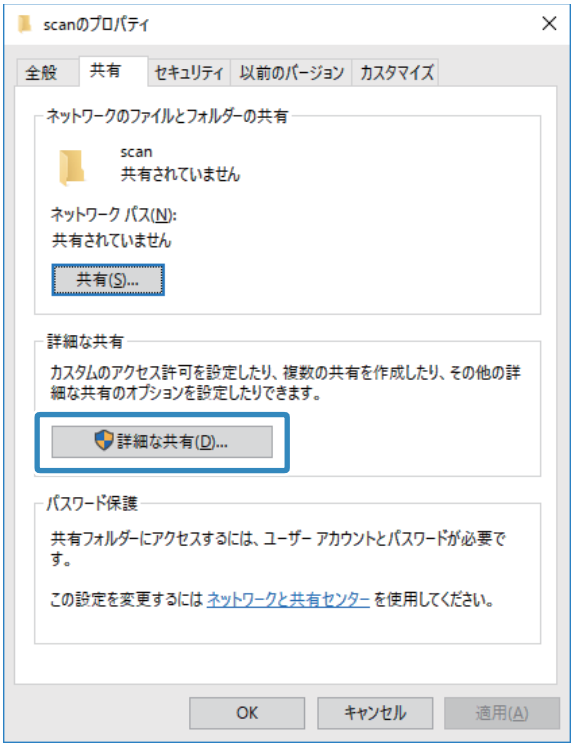
3. 作成したフォルダーを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

   ユーザーアカウントの共有アクセス許可に変更アクセス許可を付与します。ネットワーク経由でアクセスするときに適用されます。

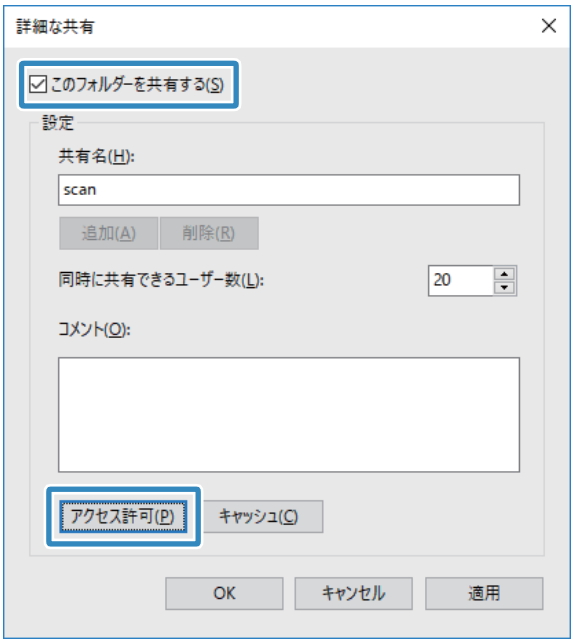
4. ［プロパティ］の画面で［共有］タブを選択します。



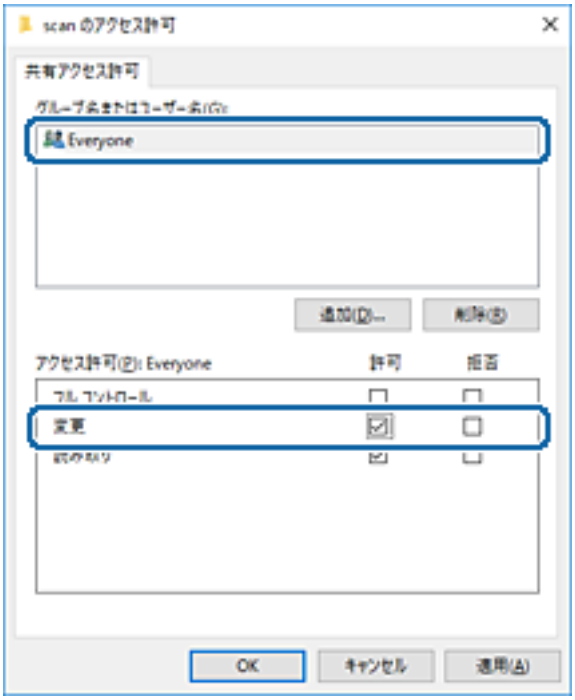
5. ［共有］タブの画面で［詳細な共有］をクリックします。



6. ［詳細な共有］の画面で、［このフォルダーを共有する］にチェックを入れ、［アクセス許可］をクリックします。



7. ［共有アクセス許可］タブの画面で、［グループ名またはユーザー名］の［Everyone］グループを選択して［変更］のアクセス許可にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

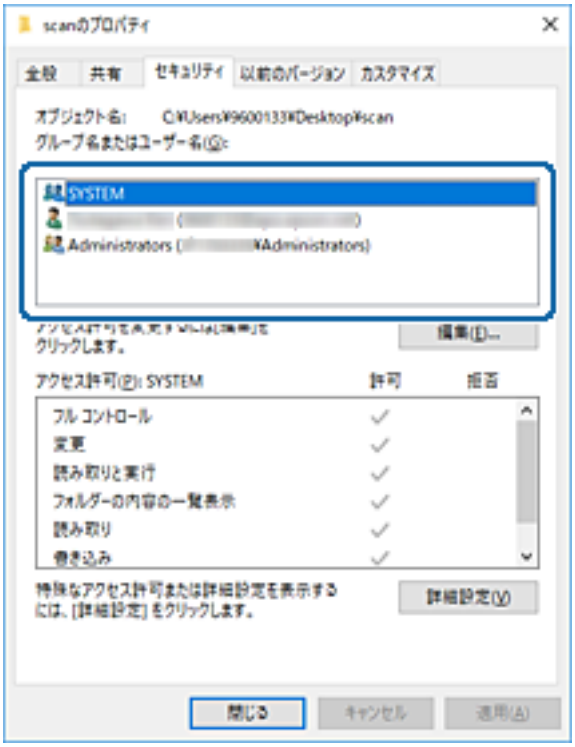


8. ［OK］をクリックします。

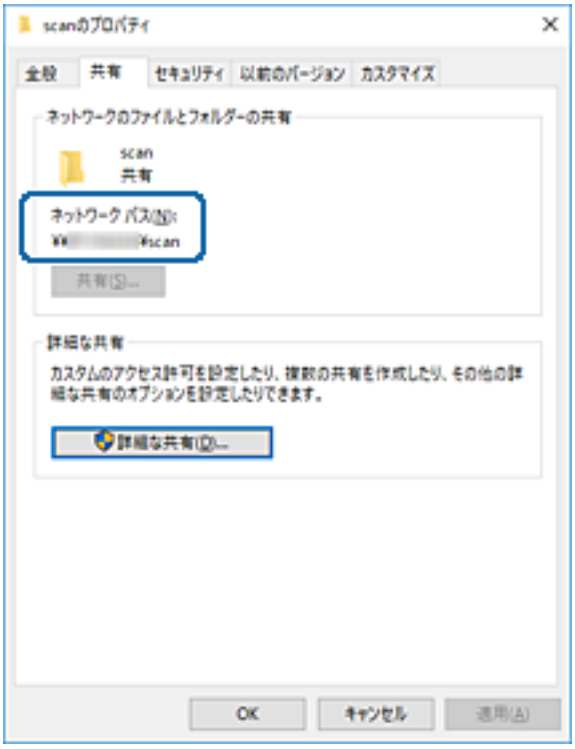
9. ［セキュリティ］タブを選択します。

10. ［グループ名またはユーザー名］にあるグループまたはユーザーを確認します。

ここに表示されているグループまたはユーザーが共有フォルダーにアクセスできます。
この場合はこのコンピューターにログオンしているユーザーとAdministratorが共有フォルダーにアクセスできます。



11. ［共有］タブを選択します。共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。プリンターのアドレス帳の登録で使用するので、メモしておくか、コピーしておいてください。



12. ［OK］または［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。

参考 フォルダーは共有化してもフォルダーのアイコン表示は変わりません。フォルダーを開いた画面の［状況］に［共有］と表示されます。

以上で「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」は終了です。
次に「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」を行います。

関連情報

➡ 「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」134ページ
共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておくと、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。

準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録

共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておくと、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。
アドレス帳に登録するには以下の情報が必要です。

- コンピューターにログオンするときのユーザー名とパスワード
- 共有フォルダーのネットワークパス
- プリンターのIPアドレスまたはプリンター名（コンピューターから登録するときのみ）
- プリンターの管理者パスワード（利用者制限機能が有効になっているときのみ）

アドレス帳に登録する方法は3つあります。どの方法でも登録できる内容は同じです。詳しくは、以下の関連リンクを参照してください。

関連情報

➡ 「プリンターの操作パネルから登録する」134ページ
プリンターの操作パネルからアドレス帳に登録できます。
➡ 「コンピューターからブラウザーで登録する」135ページ
コンピューターから、ブラウザーでプリンターの設定画面（Web Config）にアクセスして、アドレス帳に登録できます。共有フォルダーを作成した後、コンピューター上で引き続き作業できます。
➡ 「コンピューターからEpsonNet Configで登録する」136ページ
コンピューターから、ネットワーク管理ソフトウェア「EpsonNet Config」でアドレス帳に登録できます。

プリンターの操作パネルから登録する

プリンターの操作パネルからアドレス帳に登録できます。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。

2. ［アドレス帳管理］をタップして、［アドレス帳登録・変更］をタップします。

3. ［宛先登録］をタップして、［宛先を作成］をタップします。

4. ［フォルダー］を選択します。

5. 必要な情報を入力します。

- 登録番号：アドレスの登録番号を設定します。
- 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大30文字）。
- よみがな(検索名)：アドレス帳の検索で使用します（最大30文字）。
- 通信モード：SMBを選択します。
- 保存先：共有フォルダーのネットワークパスを255文字以内で入力します。アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。半角文字と全角文字の設定が間違っていると、共有フォルダーに保存できません。
- ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。
- パスワード：コンピューターにログオンするパスワードを入力します。
- 常用指定：アドレス を常用登録します。アドレス指定するときのトップ画面に表示されるようになります。

参考 コンピューターにパスワードを設定しないときは、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

6. ［OK］をタップします。アドレス帳への共有フォルダーの登録は完了です。

以上で「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」は終了です。 操作パネルから共有フォルダーに保存する準備が完了しました。

関連情報

➡ 「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」137ページ

コンピューターからブラウザーで登録する

コンピューターから、ブラウザーでプリンターの設定画面（Web Config）にアクセスして、アドレス帳に登録できます。共有フォルダーを作成した後、コンピューター上で引き続き作業できます。
アプリケーションのインストールは不要です。
ここではInternet Explorerを例に説明します。

1. Internet Explorerを起動します。

2. Internet ExplorerのアドレスバーにプリンターのIPアドレスを入力して、Enterキーを押します。

3. ［このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。］をクリックします。

   Google Chromeでは、［詳細設定］をクリックし、［x.x.x.xにアクセスする。（安全ではありません）］をクリックします。

4. ［管理者ログオン］をクリックします。

   参考 プリンターに管理者パスワードが設定されていないときは、Web Configの管理者ログオン/パスワードの入力は不要です。

5. ［現在のパスワード］を入力して、［確認］をクリックします。

6. ［アドレス帳］をクリックします。

7. アドレス帳の画面で、まだ使用していない番号を探し、［登録］をクリックします。

8. ［種別］で［ネットワークフォルダー（SMB）］を選択し、［次へ］をクリックします。

9. 必要な情報を入力し、［適用］をクリックします。

   - 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大30文字）。
   - 検索名：アドレス帳の検索で使用します（最大30文字）。
   - 保存先：共有フォルダーのネットワークパスを入力します。
   - ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。
   - パスワード：コンピューターにログオンするパスワードを入力します。

   参考 コンピューターにパスワードを設定しないときは、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

10. ［設定が終了しました。］のメッセージが表示されたら、登録は完了です。ブラウザーを閉じてください。

以上で「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」は終了です。 操作パネルから共有フォルダーに保存する準備が完了しました。

関連情報

➡ 「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」137ページ

コンピューターからEpsonNet Configで登録する

コンピューターから、ネットワーク管理ソフトウェア「EpsonNet Config」でアドレス帳に登録できます。
事前にEpsonNet Configのインストールが必要です

1. EpsonNet Configを起動します。

2. EpsonNet Configが起動すると、ネットワーク内のプリンターが検索されて一覧表示されます。設定したいプリンターを選択して、Enterキーを押す、またはダブルクリックします。

3. ［パスワード］の画面で、プリンターの［管理者パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。

   参考 プリンターに管理者パスワードが設定されていないときは、パスワードの入力は不要です。

4. ［共通］ - ［アドレス帳］で、［アドレス帳の編集］の［編集］をクリックします。

5. まだ使用していない番号を選択し、［宛先編集］をクリックします。

6. ［宛先編集］画面で、［種別］で［フォルダー］を選択します。

7. 必要な情報を入力し、［OK］をクリックします。
   - 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大30文字）。
   - 検索名：アドレス帳の検索で使用します（最大30文字）。
   - ファイル共有形式：［MSネットワーク (SMB)］を選択します。
   - フォルダーパス (SMB)：共有フォルダーのネットワークパスを入力します。
   - 認証ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。
   - 認証パスワード：コンピューターにログオンするパスワードを入力します。
   - この宛先を"常用"に追加する：アドレスが操作パネルのアドレスを指定する画面のトップに表示され、すぐに選択できるようになります。

   参考 コンピューターにパスワードを設定しないときは、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

8. 登録するアドレスの入力が終わったら、［宛先編集］画面で［OK］をクリックします。

9. ［アドレス帳 (編集)］画面で［OK］をクリックします。

10. ［デバイスのプロパティー］画面で［送信］をクリックします。

11. 表示されるメッセージを確認し、問題なければ［OK］をクリックします。

12. 送信完了の画面が表表示されたら、プリンターへの登録は完了です。［OK］をクリックして画面を閉じます。

以上で「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」は終了です。 操作パネルから共有フォルダーに保存する準備が完了しました。

関連情報

➡ 「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」137ページ

スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存できます。保存先を直接指定することもできますが、事前にアドレス帳にフォルダー情報を登録しておくと便利です。

参考 事前にプリンターの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

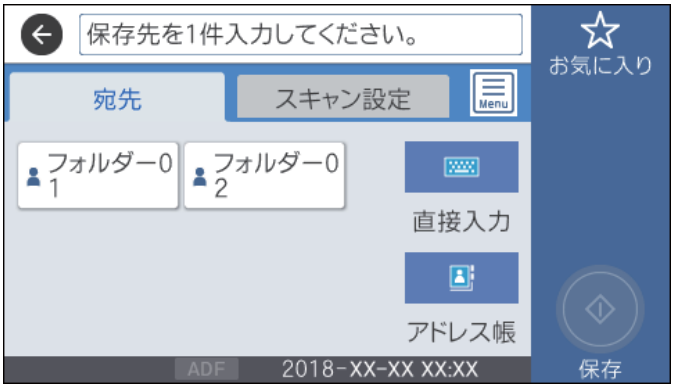
1. 原稿をセットします。

   参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で［スキャン］をタップします。

3. ［フォルダー］をタップします。

4. 保存先を指定します。



- 常用登録した宛先を選択する：表示されているアイコンをタップします。
- 直接入力：［直接入力］をタップします。［通信モード］を選択し、［保存先(必須項目)］に保存先を入力します。必要に応じてその他を設定します。
  保存先は、以下の書式で入力します。
  通信モードがSMBの場合（コンピューター上の共有フォルダーを使用する場合）：￥￥ホスト名（コンピューター名）￥フォルダーパス
  通信モードがFTPの場合（FTPサーバーを使用する場合）：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
- アドレス帳から選択：［アドレス帳］をタップし、宛先を選択して、［閉じる］をタップします。
  アドレス帳からフォルダーを検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

参考 Menu をタップすると、フォルダー保存の履歴を印刷できます。

5. ［スキャン設定］をタップして保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。

参考 ☆ をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

6. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「アドレス帳を管理する」45ページ

➡ 「原稿のセット」38ページ
➡ 「お気に入りの設定を登録する」48ページ

フォルダー保存の設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

保存先編集：

- 通信モード
  通信モードを選択します。
- 保存先(必須項目)
  スキャンした画像を保存するフォルダーのパスを入力します。
- ユーザー名
  認証用のユーザー名を入力します。
- パスワード
  認証用のパスワードを入力します。
- 接続モード
  接続モードを選択します。
- ポート番号
  ポート番号を入力します。

アドレス帳：

スキャンした画像を保存するフォルダーをアドレス帳から選択します。アドレス帳からフォルダーを指定したときは、保存先の設定は不要です。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

- 圧縮率
  スキャン画像をどのくらい圧縮するかを選択します。（初期値は［標準圧縮］）
- PDF設定
  保存形式を［PDF］にすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
  開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は［オフ］）

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）
- 開き方向(原稿)
  原稿のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、［自動キリトリ］を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、［最大範囲］を選択します。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置（初期値は［左端］）
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向（初期値は［上向き］）
  原稿の向きを選択します。

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる：
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる：
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

スキャンした画像をメールに添付する

スキャンした画像を、プリンターから直接メールで送信できます。事前にメールサーバーの登録と設定が必要です。
詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。
頻繁に使用するメールアドレスをアドレス帳に登録しておくと、宛先を素早く指定できます。

参考
- 事前にプリンターの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。
- 操作パネルで［Document Capture Pro］を宛先にすると、この機能と同等の（メールを直接送信する）ことができます。事前にDocument Capture Proでメールを送信するジョブを作成し、コンピューターの電源を入れておく必要があります。

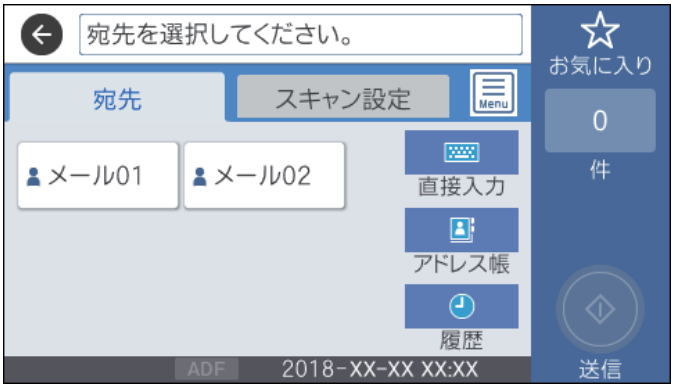
1. 原稿をセットします。

   参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で［スキャン］をタップします。

3. ［メール］をタップします。

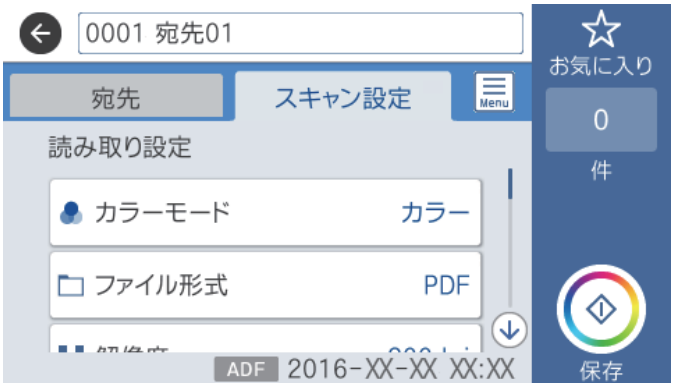
4. 宛先を指定します。



- 常用登録した宛先を選択する：表示されているアイコンをタップします。
- 直接入力：［直接入力］をタップして宛先を入力し、［OK］をタップします。
- アドレス帳から選択：［アドレス帳］をタップし、宛先またはグループを選択して、［閉じる］をタップします。
  アドレス帳から宛先を検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。
- 履歴から選択：［履歴］をタップし、宛先を選択して、［閉じる］をタップします。

参考
- 選択した宛先の数が画面の右側に表示されます。メールは最大10件の宛先（アドレスまたはグループ）に送信できます。
  宛先にグループが含まれるときは、グループ内のアドレスも合計して最大200件のアドレスに送信できます。
- 画面上部のボックスをタップすると、選択したアドレスの一覧を確認できます。
- Menu をタップすると、送信履歴を表示または印刷したり、メールサーバーの設定を変更したりできます。

5. ［スキャン設定］をタップして保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。



参考 ☆をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

6. ◇をタップします。

関連情報

- 「アドレス帳を管理する」45ページ
- 「コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Document Capture Pro）」245ページ
- 「原稿のセット」38ページ
- 「お気に入りの設定を登録する」48ページ

メール添付の設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

- 圧縮率
  スキャン画像をどのくらい圧縮するかを選択します。（初期値は［標準圧縮］）
- PDF設定
  保存形式を［PDF］にすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
  開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は［オフ］）

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）
- 開き方向(原稿)
  原稿のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、［自動キリトリ］を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、［最大範囲］を選択します。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置
  パンチ穴の影を消す位置を指定できます。（初期値は［左端］）
- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）

件名：

メールの件名を半角英数字または記号で入力します。

添付最大ファイルサイズ：

メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。（初期値は5 MB、最大値は30 MB）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる：
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）

- 時刻を入れる：
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

コンピューターに登録した設定でスキャンする（Document Capture Pro）

Document Capture Proでは、スキャン処理の設定を「ジョブ」として登録して使うことができます。登録したジョブは、プリンターの操作パネルから実行できます。
スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブを作成しておき、プリンターでそのジョブを実行すると、スキャンした画像をコンピューターに保存できます。

参考
- スキャンする前に、プリンターの操作パネルで動作モードを設定しておいてください。
- ソフトウェアの操作はバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ 「コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Document Capture Pro）」245ページ

Document Capture Proをインストールする

Document Capture Proは、エプソンのホームページからダウンロードしてインストールしてください。

参考 Document Capture Proをインストールするには、事前にEpson Scan 2（スキャナードライバー）をインストールしておいてください。Epson Scan 2もエプソンのホームページからダウンロードできます。

http://www.epson.jp/support/

ジョブを設定する

Document Capture Proで、お使いのコンピューターにジョブを登録します。登録したジョブは、プリンターの操作パネルから起動できます。

参考 操作方法はバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1. Document Capture Proを起動します。
   - Windows 10の場合
     スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8の場合
     検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
   - Windows 7/Windows Vista/Windows XPの場合
     スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］または［プログラム］-［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。

- Mac OS Xの場合
  ［Finder］-［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Document Capture］の順に選択します。

参考 スキャナーのリストが表示されたら、お使いのプリンター（スキャナー）を選択してください。

2. メイン画面の （［ジョブの設定］）アイコンをクリックします。

   ［ジョブリスト］画面が表示されます。

3. ［ジョブリスト］画面で、Windowsでは［追加］をクリックし、Mac OS Xでは+アイコンをクリックします。

   ［ジョブ設定］画面が表示されます。

4. ［ジョブ設定］画面で以下の設定をします。
   - ［ジョブ名］：ジョブの名前を入力します。
   - ［スキャン］タブ：スキャンの設定をします。
   - ［保存設定］タブ：スキャンした画像の保存形式を設定します。
   - ［転送先］：スキャンした画像の転送先を選択します。

5. ［OK］をクリックして、［ジョブ設定］画面を閉じます。

6. ［ジョブリスト］画面で［OK］をクリックします。

   Document Capture Proにジョブが設定されます。

プリンターの操作パネルに表示するコンピューター名を設定する

Document Capture Proで、プリンターの操作パネルに表示するコンピューター名を半角英数字で設定できます。

参考 操作方法はバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1. Document Capture Proを起動します。

2. メイン画面のメニューバーで、［オプション］-［ネットワークスキャンの設定］の順に選択します。

3. ［ネットワークスキャンの設定］画面で、操作パネルに表示する名前を［コンピューター名（半角英数字）］に入力します。

4. ［OK］をクリックします。

動作モードを設定する

スキャンする前に、Document Capture Proのインストールされたコンピューターに合わせ、プリンターの操作パネルで動作モードを設定します。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。

2. ［本体設定］-［スキャン設定］-［Document Capture Pro設定］の順にタップします。

3. 動作モードを選択します。

- クライアントモード：WindowsまたはMac OS XにDocument Capture Proがインストールされているときに選択します。
- サーバーモード：Windows ServerにDocument Capture Proがインストールされているときに選択します。続いて、サーバーアドレスを入力します。

4. 動作モードを変更したら、設定が正しいことを確認し、［OK］をタップします。

Document Capture Proで設定した内容でスキャンする

スキャンの前に以下を準備します。

- お使いのコンピューター（サーバー）にDocument Capture Proをインストールし、ジョブを作成する。
- お使いのコンピューター（サーバー）をネットワークに接続する。
- 操作パネルで動作モードを設定する。

1. 原稿をセットします。

参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で［スキャン］をタップします。

3. ［Document Capture Pro］をタップします。

4. ［コンピューターを選択してください。］をタップして、Document Capture Proでジョブを作成済みのコンピューターを選択します。

参考
- 操作パネルには、Document Capture Proがインストールされたコンピューターが最大100台表示されます。
- Document Capture ProまたはDocument Captureで［オプション］-［ネットワークスキャンの設定］の順に選択し、［パスワードで保護する］を有効にしているときは、パスワードを入力します。
- 動作モードを［サーバーモード］にしているときは、この手順は必要ありません。

5. ［ジョブを選択してください。］をタップして、ジョブを選択します。

参考
- Document Capture Pro Serverの設定で［パスワードで保護する］を有効にしているときは、パスワードを入力します。
- ジョブを1つしか作成していないときは、ジョブを選択する必要はありません。次の手順に進みます。

6. ジョブ内容が表示されている部分をタップして、ジョブの詳細を確認します。

7. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「原稿のセット」38ページ

スキャンした画像を外部メモリーに保存する

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。

1. プリンターの外部機器接続ポートに、外部メモリーを挿入します。

2. 原稿をセットします。

参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

3. ホーム画面で［スキャン］をタップします。

4. ［外部メモリー］をタップします。

5. ［基本設定］で保存形式などを設定します。

6. ［応用設定］をタップして設定を確認し、必要に応じて変更します。

参考 ☆をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

7. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「各部の名称と働き」13ページ
➡ 「原稿のセット」38ページ
➡ 「お気に入りの設定を登録する」48ページ

外部メモリー保存の基本設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ/カラー：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、［自動キリトリ］を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、［最大範囲］を選択します。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）

ファイル形式：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

- 圧縮率
  スキャン画像をどのくらい圧縮するかを選択します。（初期値は［標準圧縮］）
- PDF設定
  保存形式を［PDF］にすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
  開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は［オフ］）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）
- 開き方向(原稿)
  原稿のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

外部メモリー保存の応用設定項目

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置（初期値は［左端］）
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向（初期値は［上向き］）
  原稿の向きを選択します。

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
  画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（初期値は［未入力］）
- 日付を入れる：
  ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる：
  ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

スキャンした画像をクラウドに保存する

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。この機能を使う前に、Epson Connectの設定をしておいてください。詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

1. Epson Connectの設定が事前に完了していることを確認します。
2. 原稿をセットします。

   参考　複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

3. ホーム画面で［スキャン］をタップします。
4. ［クラウド］をタップします。
5. 画面上部の ⊕ をタップして、宛先を選択します。
6. ［基本設定］で保存形式などを設定します。

7. ［応用設定］をタップして設定を確認し、必要に応じて変更します。

参考 ☆をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

8. ◇をタップします。

関連情報

➡ 「原稿のセット」38ページ

クラウド保存の基本設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ/カラー：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）
- 開き方向(原稿)
  原稿のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）

JPEG/PDF：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、［自動キリトリ］を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、［最大範囲］を選択します。（初期値は［自動検知］）

- 原稿セット方向
  原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）

クラウド保存の応用設定項目

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は［文字］）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅
  スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
  スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置（初期値は［左端］）
  パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向（初期値は［上向き］）
  原稿の向きを選択します。

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）

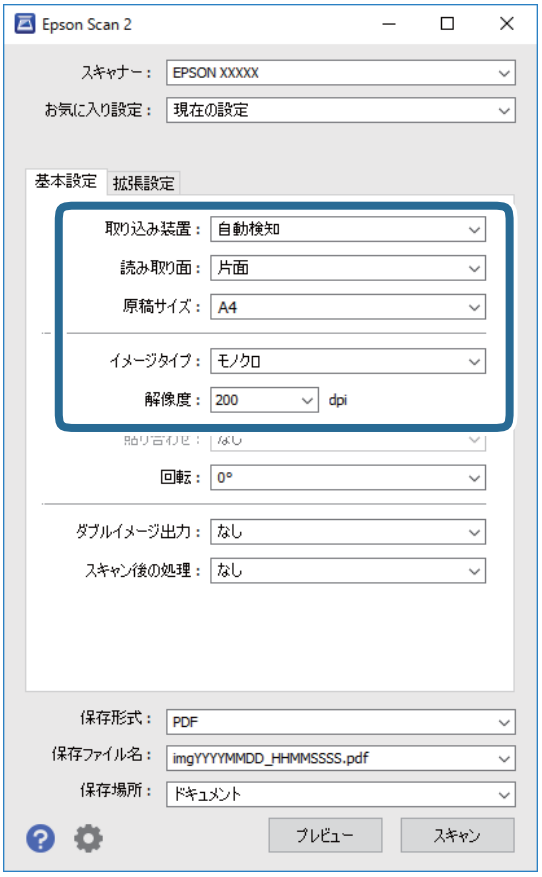
スキャナードライバーEpson Scan 2（エプソン スキャン ツー）でスキャンすると、操作パネルからスキャンするよりも詳細な画質調整ができます。
各設定項目の説明はEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。

1. 原稿をセットします。

   参考　複数枚の原稿をスキャンするときは、全ての原稿をADFにセットしてください。

2. Epson Scan 2を起動します。

3. ［基本設定］タブで以下の設定をします。



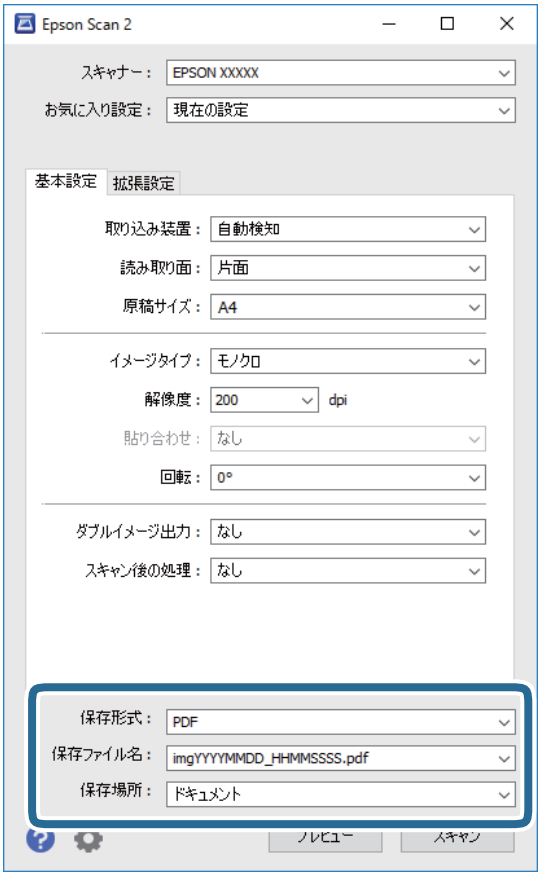
- ［取り込み装置］：原稿をセットした装置を選択します。
- ［読み取り面］：ADFからスキャンする場合に、スキャンする原稿の面を選択します。
- ［原稿サイズ］：セットした原稿のサイズを選択します。
- ［イメージタイプ］：スキャンした画像を保存するときの色を選択します。
- ［解像度］：解像度を設定します。

4. 必要に応じて、その他のスキャン設定をします。

- ［プレビュー］ボタンをクリックすると画像をプレビューできます。プレビュー画面が開き、プレビュー画像が表示されます。
  ADFでプレビューしたときは、ADFから原稿が排紙されます。原稿をセットし直してください。
- ［拡張設定］タブでは、書類に適した以下のような画像調整ができます。
  - ［アンシャープマスク］：画像の輪郭部分を強調してシャープにします。
  - ［モアレ除去］：雑誌などの印刷物のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）を除去します。
  - ［文字くっきり］：ぼやけている書類の文字をくっきりとさせます。
  - ［画像はっきり］：画像付きの書類をモノクロでスキャンするときに、文字部分をくっきりとした白黒に、画像部分をなめらかな白黒にします。
  - ［ドロップアウト］：指定した色をスキャン画像上から除去して、グレーまたはモノクロで保存できます。例えば、マーカーや欄外に書き込んだ色文字を消した状態でスキャンできます。
  - ［色強調］：指定した色をスキャン画像上で強調して、グレーまたはモノクロで保存できます。例えば、薄い色を使った文字や罫線をくっきりとさせることができます。

参考　他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

5.　ファイルの保存設定をします。



- ［保存形式］：スキャンした画像の保存形式を選択します。
  BITMAPとPNG以外は、保存形式の選択後に［詳細設定］を選択すると、詳細な設定ができます。
- ［保存ファイル名］：表示されているファイル名を確認します。
  ［設定］を選択すると、ファイル名の設定を変更できます。
- ［保存場所］：スキャンした画像の保存場所を選択します。
  ［その他］を選択すると、別のフォルダーの選択や新しいフォルダーの作成ができます。

6.　［スキャン］をクリックします。

関連情報

➡「原稿のセット」38ページ
➡「文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2）」244ページ

利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する

利用者制限されているプリンターでは、Epson Scan 2でのスキャン時にユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

1. Epson Scan 2を起動します。

2. Epson Scan 2で、［スキャナー］に選択されているプリンターが正しいことを確認してください。

3. ［スキャナー］で［設定］を選択し、［スキャナーの設定］画面を開きます。

4. ［利用者制限］をクリックします。

5. ［利用者制限］画面で、スキャンの権限を持つ［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

6. ［OK］をクリックします。

スマートデバイスからスキャンする

プリンターと同じ無線LANに接続したスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、Epson iPrint（エプソン アイプリント）で写真や文書をスキャンできます。スキャンしたデータはスマートデバイスやクラウドサービスに保存したり、メールで送信したり、印刷したりできます。

スマートデバイスからWi-Fi Directで接続する

スマートデバイスから印刷またはスキャンするには、プリンターとスマートデバイスを接続する必要があります。
Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続は、アクセスポイントを使わずに直接プリンターと機器を接続する方法です。プリンターがアクセスポイントの役割をします。

！重要 スマートデバイスからプリンターにWi-Fi Direct（シンプルAP）接続した場合、プリンターとスマートデバイスは同じWi-Fiのネットワーク（SSID）に接続され、プリンターとスマートデバイスが通信できます。プリンターの電源が切れると、スマートデバイスは自動で接続可能な別のWi-Fiのネットワーク（SSID)に接続されるため、次回プリンターの電源を入れても接続は戻りません。再度スマートデバイスからプリンターの Wi-Fi Direct（シンプルAP）の SSID に接続してください。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［Wi-Fi Direct］をタップします。

3. ［設定に進む］をタップします。

   既にWi-Fi Direct接続されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。手順5に進んでください。

4. ［設定を開始する］をタップします。

5. プリンターの操作パネルに表示された SSID とパスワードを確認します。スマートデバイスのWi-Fi画面からプリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択し、接続します。

   参考 ウェブサイトで接続方法を確認できます。スマートデバイスからはプリンターの操作パネルに表示されるQRコードを読み取り、ウェブサイトに アクセスして［セットアップ］に進んでください。

6. プリンターの操作パネルに表示されたパスワードをスマートデバイスに入力して接続します。

7. スマートデバイスから接続ができたら、プリンターの操作パネルで［OK］または［閉じる］をタップします。

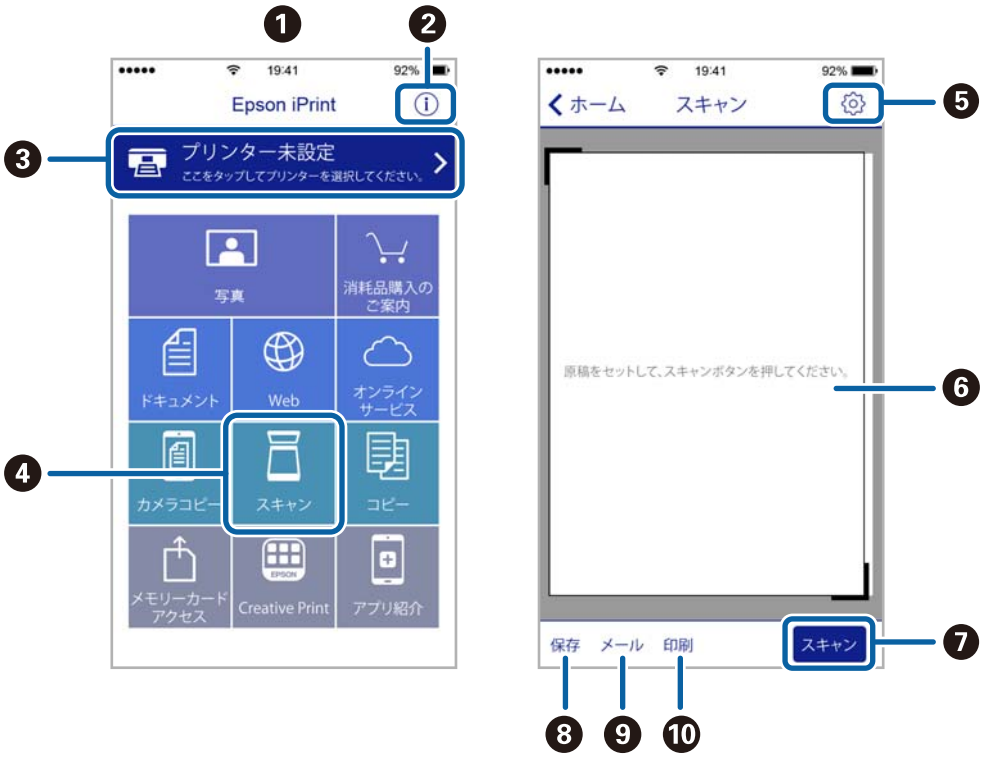
Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。
http://ipr.to/c

Epson iPrintでスキャンする

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。

以下の画面は予告なく変更されることがあります。



❶	起動時に表示されるホーム画面です。
❷	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
❸	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。
❹	スキャン画面を表示します。
❺	解像度などの設定画面を表示します。
❻	スキャンした画像が表示されます。
❼	スキャンを開始します。
❽	スキャンしたデータをスマートデバイスやクラウドサービスに保存する画面を表示します。
❾	スキャンしたデータをメールで送信する画面を表示します。
❿	スキャンしたデータを印刷する画面を表示します。

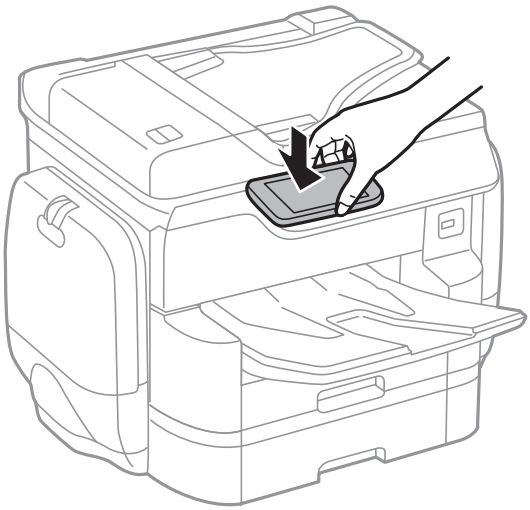
NFCマークにスマートデバイスをタッチしてスキャンする

NFC(Near Field Communication)に対応したスマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねるだけで、プリンターと簡単に接続してスキャンできます。
以下の設定を事前に済ませてください。

- スマートデバイスでNFCの設定を有効にしてください。
  Android 4.0以降のデバイスのみNFCに対応しています。
  スマートデバイスによってNFCの位置が異なります。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。
- Epson iPrintをスマートデバイスにインストールしておいてください。
  スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねてインストールします。
- プリンターでWi-Fi Directを有効にしておいてください。
  詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

1. プリンターに原稿をセットします。

2. スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねます。



参考
- プリンターのNFCマークとスマートデバイスのNFCの間に金属などの障害物があると、通信できないことがあります。
- プリンターの管理者によって使用制限されているときは、プリンターのNFCマークにスマートデバイスを重ねても音を発するだけでアプリケーションは起動しません。

Epson iPrintが起動します。

3. Epson iPrintでスキャンのメニューを選択します。

4. 再度スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねます。

   スキャンが始まります。

ファクス

ファクスの準備 160
プリンターからファクスを送信する 170
プリンターでファクスを受信する 180
コンピューターからファクスを送信する 197
コンピューターでファクスを受信する 200
ファクスボックスを使用する 204
その他のファクス機能を使う 209
ファクスメニューの説明 212
ファクス設定メニューの説明 216
ユーザー設定メニューの説明 225
ファクスボックスメニューの説明 225

ファクスの準備

ファクスを使用するには契約が必要です。保守サービス実施店またはスマートチャージセンターまでお問い合わせください。

電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。
以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- キャッチホンなど各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

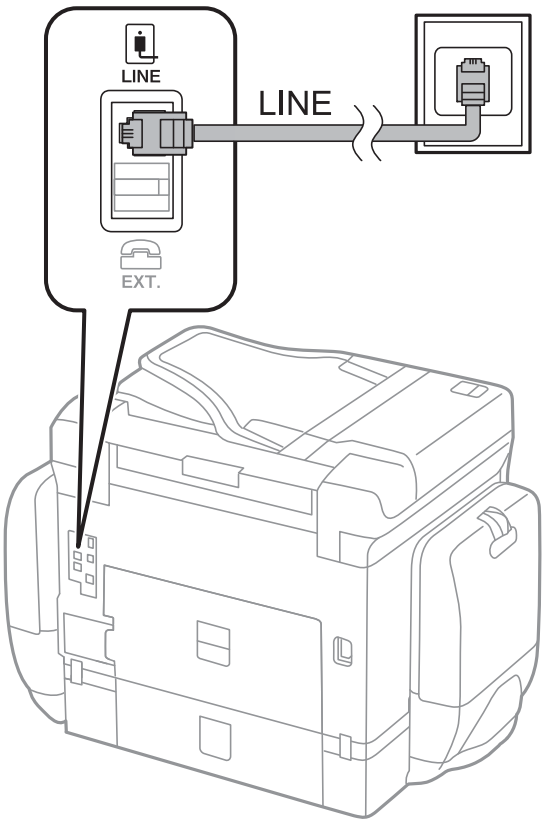
参考　プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

1. プリンター背面部のLINEポートからキャップを取り外します。

2. 電話回線やPBXポートとLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



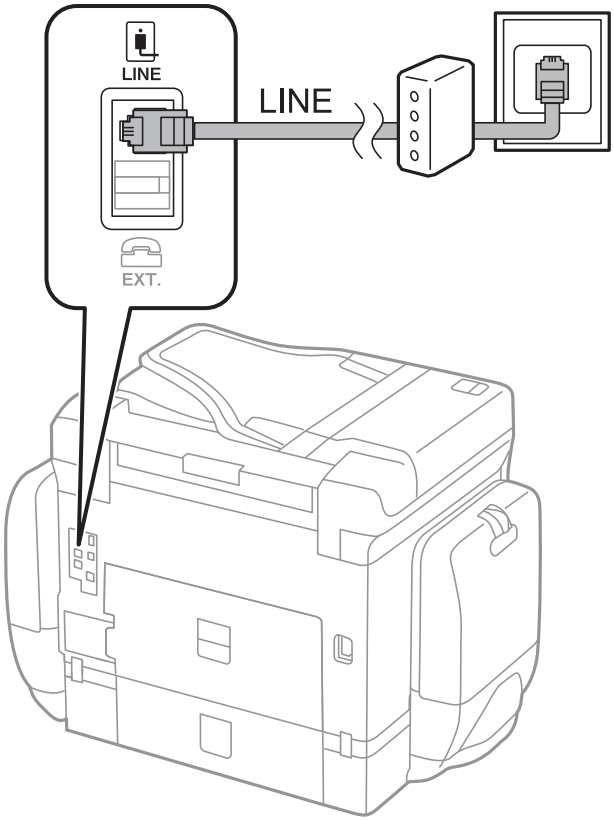
関連情報

➡ 「構内交換機（PBX）を設定する」166ページ

ADSLまたはISDNに接続する

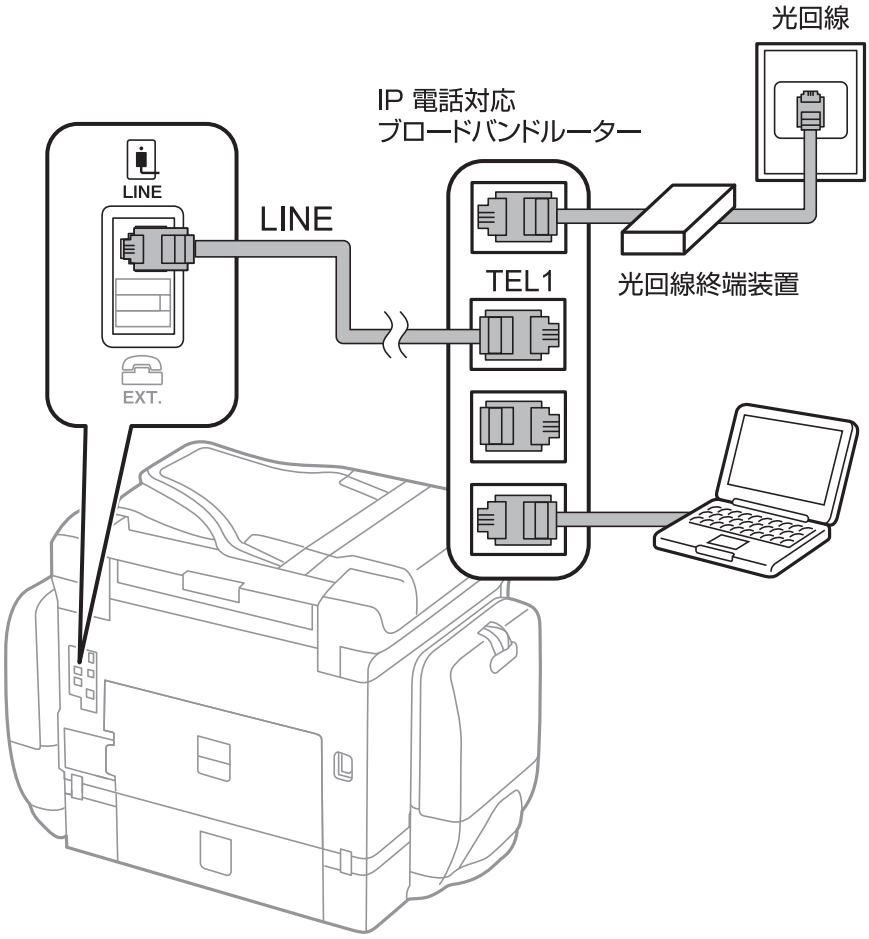
ADSLモデムまたはISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。

参考 ADSLモデムにスプリッターが内蔵されていないときは、スプリッターを接続してください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者に問い合わせてください 。



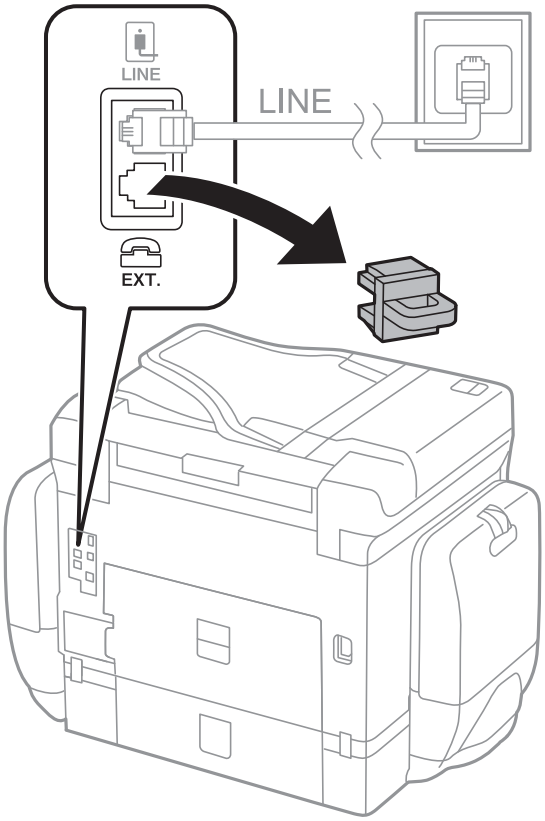
参考 2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

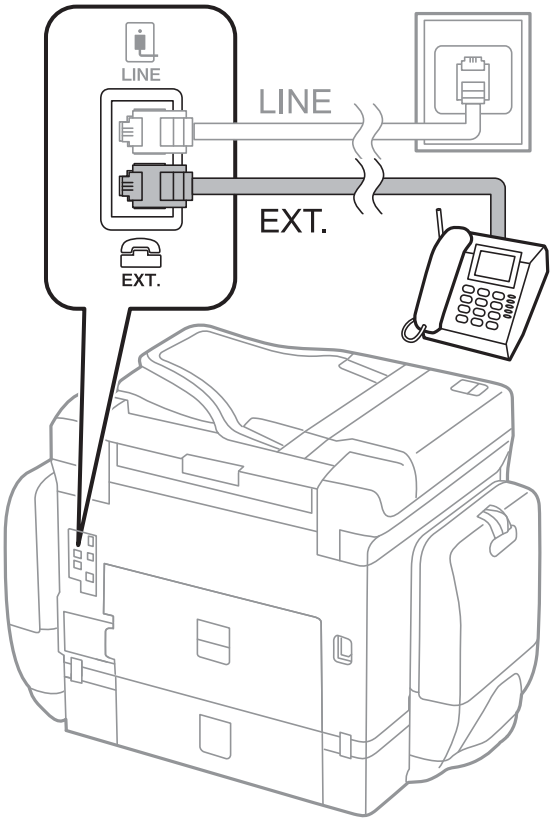
1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

参考
- ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。電話機の機種によってはファクス機能を完全に無効にできないため、外付け電話機として使用できない場合があります。
- 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- ナンバーディスプレイ機能を使うときは、プリンターの［ナンバー・ディスプレイ対応］設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジューラーケーブルで接続します。



参考　１つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

4. 受話器を上げます。

以下のように◇（［送信］）が有効になれば、接続が成功しています。

関連情報

➡「留守番機能付き電話接続時の設定」181ページ
➡「ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定」181ページ

ファクスの基本設定

［ファクス設定ウィザード］で［受信モード］などの基本設定をしてから、その他の必要な設定をします。
［ファクス設定ウィザード］は初回電源投入時に自動で表示されます。一度設定をすれば接続環境に変更がない限り、設定し直す必要はありません。
プリンターに管理者が設定されているときは、管理者のみ設定できます。

ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする

画面の指示に従って基本的な設定をします。

1. プリンターを電話回線に接続します。

参考　最後に接続状態を確認するため、必ずプリンターを電話回線に接続してから始めてください。

2. ホーム画面で［設定］をタップします。

3. ［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス設定ウィザード］の順にタップします。

4. ［確認］画面で、［設定開始］をタップします。

ウィザードが起動します。

5. 発信元名の入力画面で自局の名前（送信者の会社名など）を入力して、［OK］をタップします。

参考 発信元名と発信元番号は、送信文書のヘッダー情報になります。

6. 発信元番号の入力画面で自局（送信者）のファクス番号を入力して、［OK］をタップします。

7. ［受信モード設定］画面で、プリンターに電話機を接続して使うかどうかを選択します。
   - 使う：［はい］をタップして、次の手順に進みます。
   - 使わない：［いいえ］をタップして手順9に進みます。［受信モード］は［自動］に設定されます。

8. ［受信モード設定］画面で、自動受信するかどうか選択します。
   - 自動受信する：［はい］をタップします。［受信モード］は［ファクス/電話自動切替］に設定されます。
   - 自動受信しない：［いいえ］をタップします。［受信モード］は［手動］に設定されます。

9. ［設定確認］画面で設定内容を確認し、［次へ］をタップします。

   修正するときは←をタップしてください。

10. ［診断開始］をタップして、診断結果を印刷するメッセージが表示されたら［印刷開始］をタップします。

    接続状態を確認できる ファクス機能診断レポート が印刷されます。

参考
- レポートにエラーが表示されたら、レポートの指示に従って対処してください。
- ［接続回線選択］画面が表示されたら接続回線を選択してください。
  ・構内交換機（PBX）やターミナルアダプターに接続しているときは、［構内交換機(PBX)］を選択します。
  ・一般加入電話回線（［一般回線(PSTN)］）に接続しているときは、［確認］画面で［無効］を選択します。
  ただし、［無効］にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

関連情報

➡「プリンターを電話回線に接続する」160ページ
➡「受信モードを設定する」180ページ
➡「構内交換機（PBX）を設定する」166ページ
➡「ファクス設定メニューの説明」216ページ

項目を選んでファクスの基本設定をする

ウィザードを使わずに個別に設定もできます。また、ウィザードで設定済みの項目も変更できます。詳しくは、ファクス設定のメニューリストをご覧ください。

関連情報

➡「ファクス設定メニューの説明」216ページ

構内交換機（PBX）を設定する

会社で内線や外線発信番号（0や9などを使用した外線に発信するための番号）を使っているときは、以下の設定をしてください。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。

参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［接続回線］を選択し、［構内交換機(PBX)］を選択します。

4. 外線発信番号の代わりに#を利用して 外線番号にファクス送信したいときは、［外線発信番号］をタップして［使用する］に切り替え、外線発信番号を登録します。

参考
- ダイヤルするときに外線発信番号の代わりに#を入力すると、0や9などの外線発信番号に置き換えます。
  例えば、外線発信番号が「0」、電話番号が「035555ＸＸＸＸ」 の場合、ダイヤル番号は「#035555ＸＸＸＸ」です。アドレス帳に登録する番号も同じです。
- 「0」や「9」などの外線発信番号付きでアドレス帳に登録した宛先は、外線発信番号の代わりに#を使用した番号で登録し直してください。または、［外線発信番号］を［使用しない］に設定してください。

5. ［OK］を選択して設定を保存します。

参考 ［接続回線］の設定が［構内交換機(PBX)］のときに、外線発信番号に続けて電話番号をダイヤルすると、プリンターは次の順番で外信発信しますので、誤接続となるトラブルのリスクを低減できます。
- 構内交換機(PBX)のダイヤルトーンを検出する
- 外線発信番号（［外線発信番号］が［使用する］のときは「#」）をダイヤルする
- 外線のダイヤルトーンを検出する
- 宛先の電話番号（例：「035555ＸＸＸＸ」）をダイヤルする

ファクス受信時の給紙装置を設定する

ファクス受信文書やレポートを印刷する際に使用する給紙装置を限定することができます。初期設定は、全ての給紙装置を使用してファクス印刷できるようになっています。特定の給紙装置は使用せずにファクス印刷したいときは、この設定をします。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。

2. ［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［給紙口自動選択］-［ファクス］の順にタップします。

3. ファクス印刷で使用したくない給紙装置のボックスをタップします。

   選択した給紙装置の設定は［オフ］に変更され、ファクス印刷で使用できなくなります。

送信操作から送信完了までの時間を短縮する

クイックメモリー送信は1ページ目の原稿のスキャンが完了した時点で、ファクスの送信を開始します。通常はスキャンした文書をメモリーに保存してから送信しますが、クイックメモリー送信はスキャンとファクス送信を並行して行うため、送信完了までの時間を短縮できます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［クイックメモリー送信］ボックスをタップして［オン］にします。

関連情報

➡ 「送信設定」217ページ

受信情報の印刷設定をする

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID（#001など） やページ番号（P1など）が含まれます。受付ＩＤで、通信管理レポートの通信履歴やファクスジョブ履歴と照合することができます。ページ番号には、［ページ分割設定］を有効にしていると分割ページ番号も含まれます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［印刷設定］をタップし、［受信情報の付加］ボックスをタップして［オン］にします。

関連情報

➡ 「印刷設定」220ページ

受信文書を両面印刷する

複数ページの受信文書を、両面印刷します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［印刷設定］を選択して、［両面印刷］を選択します。

4. ［両面印刷］ボックスをタップして［オン］にします。

5. ［とじ位置］で、［短辺］ または［長辺］を選択します。

6. ［OK］をタップします。

関連情報

➡ 「印刷設定」220ページ

受信文書をページ分割して印刷する

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページ分割方法を設定します。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順にタップします。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［印刷設定］-［ページ分割設定］-［分割後の印刷破棄］の順にタップします。

4. ページ分割後の印刷データの削除方法を選択します。
   - ［オフ］を選択したときは、［OK］をタップして、手順6に進んでください。
   - ［上を破棄］または［下を破棄］を選択したときは、次の手順に進んでください。

5. ［しきい値］でしきい値を設定して、［OK］をタップします。

6. ［分割時の重ねあわせ］をタップします。

7. ［分割時の重ねあわせ］ボックスをタップして、［オン］にします。

8. ［重ね幅］で幅を設定して、［OK］をタップします。

関連情報

➡ 「印刷設定」220ページ

受信文書を縮小または分割印刷する（代行印刷）

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法の設定をします。

1. ホーム画面で［設定］を選択し、［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

2. ［受信紙宣言］を設定します。

   受信紙宣言で設定した用紙サイズは、受信可能な最大用紙サイズとして、ファクス受信の際に送信側に通知されます。

   例えば、［A3/11x17in］に設定すると送信側にA3を通知します。送信側の原稿がA3サイズのときはA3のまま送信してきます。

［自動］に設定すると、［設定］-［本体設定］-［給紙装置設定］-［給紙口自動選択］-［ファクス］で選択している用紙カセットのなかで最大の用紙サイズを送信側に通知します。

3. ［ファクス設定］に戻り、［受信設定］-［印刷設定］-［代行印刷］の順に選択します。

4. ［代行印刷］のオプションを選択します。

- オフ：この機能を使用しません。
- オン（分割して印刷）：受信したファクス文書を他のサイズに分割して印刷します。例えば、A3サイズのファクスを受信したときに、縮小印刷せずにA4サイズで2枚に印刷します。
- オン（縮小して印刷）：受信したファクス文書を縮小して印刷します。例えば、A3サイズのファクスを受信したときに、A4サイズに縮小して印刷します。
  ただし、保存データや転送データ、受信ジョブ履歴からA3用紙への再印刷は、A3サイズになります。

プリンターからファクスを送信する

ファクス送信の基本操作

カラーまたはモノクロでファクスを送信します。

参考
- モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。
- ［送信失敗文書保存］を有効にすると、送信できなかった文書をプリンターに保存してから再送信できます。

操作パネルからファクス送信する

操作パネルを使ってファクスの宛先を入力して送信することができます。プリンターは宛先にダイヤルしてファクス通信します。
操作パネルからファクス送信する手順（送信の仕方）は、『動画ガイド』の実写動画でよりわかりやすくご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。動画の内容は変わることがあります。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

参考
- モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。
- 電話回線が通話やファクス送受信で使用中でも、モノクロ文書を最大50件まで予約できます。予約文書はで確認や削除ができます。
- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは自動でリダイヤルします。リダイヤル回数やリダイヤル間隔は変更できます。

1. 原稿をセットします。

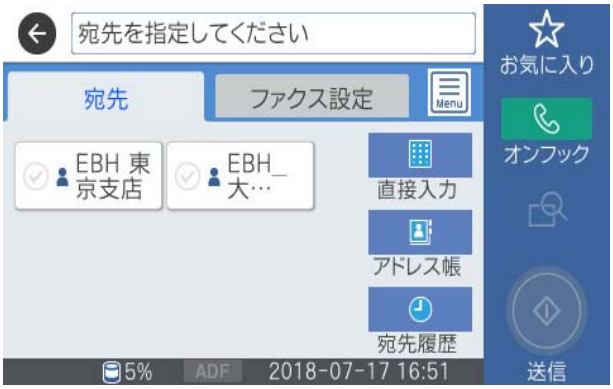
参考 一度に送信できる原稿は100ページまでです。ただし、メモリー残量によっては100ページ以下でも送信できない場合があります。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択jします。

参考 クイックダイヤルでファクス用の登録番号を入力すると、宛先が設定されたファクス画面が表示されます。

3. 宛先を指定します。

モノクロ送信では、宛先として200200件まで入力できます。 カラー送信では1件のみです。



- 直接入力：［直接入力］を選択し、ファクス番号を入力して、［OK］.をタップします。
  ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときはハイフン（-）を入力してください。
  ［接続回線］で外線発信番号を設定したときは、外線発信番号の代わりにファクス番号の先頭に「#」を付けてください。
- アドレス帳から選択：［アドレス帳］を選択し、送りたい宛先を選択します。送信したい宛先が［アドレス帳］に未登録のときは、をタップして登録します。
- 宛先履歴から選択：［宛先履歴］を選択して、宛先を選択します。
- ［宛先］タブから選択：［設定］-［アドレス帳管理］-［常用管理］で登録した宛先を、選択します。

参考
- ［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が［オン］に設定されているときは、アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定できます。直接入力はできません。
- 選択した宛先を解除するときは、画面のファクス番号または選択件数をタップして宛先リストを表示します。選択解除したい宛先をタップして［選択を解除］を選択します。

4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。.

参考
- 両面原稿を送るときは［ADF自動両面］を有効にしてください。ただし、有効にするとカラー送信できません。
- ファクスのトップ画面で（［お気に入り］）をタップすると、宛先を含めた現在の設定を［お気に入り］に登録できます。ただし宛先は直接入力したときなど、入力方法によって登録されないことがあります。

5. ファクスを送信します。

- スキャンした文書をそのまま送信する：（送信）をタップします。

- スキャンした文書を確認してから送信する（モノクロ送信のみ）：ファクスのトップ画面で をタップします。
  そのまま送信してよければ［送信開始］を選択します。それ以外は、［中止］を選択してプレビューをキャンセルし、手順3に戻ります。

- 矢印方向に画面を移動
- 縮小、拡大
- 前ページへ移動 、次ページへ移動

参考
- プレビュー後のカラー送信はできません。
- ［ダイレクト送信］が設定されているとプレビューできません。
- プレビュー中に無操作が20秒以上続くと、自動で送信を開始します。
- 相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質で送信されないことがあります。

6. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

参考
- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは自動でリダイヤルします。リダイヤル回数やリダイヤル間隔は変更できます。
- 送信を中止するときは、をタップします。
- カラー送信は、読み取りながら送信するため時間がかかります。また、カラー送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

- 「送信設定」217ページ
- 「原稿のセット」38ページ
- 「ファクスメニューの説明」212ページ
- 「ファクスジョブを確認する」210ページ
- 「アドレス帳を管理する」45ページ
- 「お気に入りの設定を登録する」48ページ

外付け電話機からダイヤルして送信する

ファクスを送信する前に通話したいときや、自動で切り替わらないファクス機にファクスを送信したいときに、外付け電話機を使って送信できます。

1. 原稿をセットします。

   一度の通信で100ページまで送信することができます。

2. 外付け電話機の受話器を上げて相手先のファクス番号をダイヤルします。

   参考 相手が電話に出たら、通話できます。

3. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

4. ［ファクス設定］タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

5. ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、画面右上の［送受信切替］を選択して［送信］を選択します。

6. （送信）をタップして電話を切ります。

   参考 外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。送信中は他の機能は使用できません。

7. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

関連情報

➡「原稿のセット」38ページ
➡「ファクス設定」213ページ

送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）

プリンターのスピーカーで、ダイヤル中や通信中、通話中の音声を聞きながら送信できます。ファクス情報サービスで音声ガイダンスに従って文書を受信するときにも使えます。

1. 原稿をセットします。

2. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

3. ［ファクス設定］ タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。設定したら、［宛先］タブを選択します。

4. をタップします。

   ボタン表示が[オフフック]に変わり、スピーカーからダイヤルトーンが聞こえます。音量を変えたい場合は、[音量]をタップして調整します。
   発信を止める場合は、[オンフック]をもう一度タップします。

   参考 音量の初期設定をあらかじめ変更しておくことができます。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［音の設定］で以下を設定します。
   -［ミュート］
   ［通常時］-［ダイヤル中スピーカー音］

5. 宛先をダイヤルします。

   以下の方法で宛先を選択できます。

- ［直接入力］
- ［アドレス帳］から選択
- ［宛先履歴］から選択
- ［宛先］タブから選択

6. 相手先のファクスが応答してファクス信号(ピー音)が聞こえたら、画面右上の［送受信切替］を選択して［送信］を選択します。

参考 ファクス情報サービスで音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

7. （送信）をタップします。

8. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

関連情報

➡「操作パネルからファクス送信する」170ページ
➡「ポーリング受信する（ポーリング受信）」182ページ
➡「原稿のセット」38ページ
➡「ファクスメニューの説明」212ページ

便利な送信方法

大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）

モノクロ送信では、スキャンした文書をメモリーに保存します。そのため、大量の文書を読み込むとメモリーが不足して送信できなくなることがあります。外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。［ダイレクト送信］を有効にするとこのトラブルは回避できますが、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。ダイレクト送信時に指定できる宛先は1件のみです。

関連情報

➡「操作パネルからファクス送信する」170ページ

優先して送信する（優先送信）

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。
ホーム画面で［ファクス］を選択して、［ファクス設定］タブを選択します。［優先送信］をタップして［オン］にします。

参考 以下のときには他のファクスの割り込みができないため優先送信はできません。

- ［ダイレクト送信］を有効にしたモノクロ文書
- カラー文書送信中
- 外付け電話機を使って送信中
- コンピューターから送った文書

関連情報

➡ 「操作パネルからファクス送信する」170ページ

指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。
2. 宛先を指定します。
3. ［ファクス設定］タブを選択して、［時刻指定送信］を選択します。
4. ［時刻指定送信］をタップして［オン］にします。
5. ［指定時刻］ボックスをタップし、送信予定時刻を入力して、［OK］を選択します。
6. ［OK］を選択して設定を保存します。

参考 送信を中止するときは から削除します。

関連情報

➡ 「操作パネルからファクス送信する」170ページ
➡ 「原稿のセット」38ページ
➡ 「ファクス設定」213ページ
➡ 「ファクスジョブを確認する」210ページ

発信元情報を選んで送信する

受信相手に合わせて発信元情報を付加してファクス送信できます。あらかじめプリンターに複数の発信元情報の登録が必要です。登録方法は以下です。

発信元情報を追加登録する

発信元情報は21件まで登録できます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［発信元設定］を選択します。

4. ［発信元番号］ボックスをタップし、電話番号を入力して［OK］をタップします。

5. ［発信元名］の下に表示されたボタンの1つをタップし、発信元情報を入力して［OK］をタップします。

関連情報

➡「基本設定」222ページ

発信元情報を選んで送信する

ファクス送信するときに、受信相手に合わせて発信元情報を選択できます。この機能を使用するには、あらかじめプリンターに複数のヘッダー登録が必要です。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. ［ファクス設定］-［発信元情報の付加］の順に選択します。

3. どの位置に発信元名を記載するか選択します。
   - 付加しない：発信元情報を入れずに送信します。
   - 原稿外：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
   - 原稿内：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報がかぶって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。

4. ［発信元名］を選択し、使用したい発信元情報を選択します。

5. 必要に応じて、［追加情報］の1つをタップします。

6. ［OK］を選択して設定を保存します。

関連情報

➡「ファクス設定」213ページ

ファクスの送信結果をメールで送る

ファクスの送信結果をメールで送ることができます。

参考 事前に以下の設定を行ってください。
- プリンターのメールサーバー設定する
- 送信先のメールアドレスを登録する

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. ［ファクス設定］-［送信結果メール通知］の順に選択します。

3. ［送信結果メール通知］をタップして［オン］にします。

4. ［送信先］をタップして宛先を指定します。

ファクス送信時にデータのバックアップをとる

ファクスを送信したときに、自動的に送信内容をスキャンしてプリンターのメモリーに保存します。事前にメールサーバーの設定とアドレス帳にメールまたはフォルダーの登録が必要です。以下のときに使用できます。

- モノクロ（白黒）で送信する
- ［時刻指定送信］で送信する
- ［バッチ送信］で送信する
- ［待機文書蓄積］で送信する

参考 送信に失敗した文書も、再送信できるようにバックアップできます。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. ［ファクス設定］-［バックアップ送信設定］の順に選択します。

3. ［バックアップ送信設定］をタップして［オン］にします。

4. ［バックアップ先］を選択して、宛先を選択します。

関連情報

➡「ファクス設定」213ページ

Fコード(SUB)とパスワード(SID)でファクスを送信する

受信側のファクス機の親展ボックスや中継ボックスにファクスを送信できます。受信相手はボックスごとに、親展ファクスへの受信や特定の相手への転送ができます。
ファクス送信する前に、Fコードとパスワードを［アドレス帳］に登録しておく必要があります。
ホーム画面で［ファクス］を選択します。［アドレス帳］を選択して、Fコードとパスワードを登録した宛先を選択します。［宛先履歴］から、Fコードやパスワード付きで送信した履歴を選択しても、Fコードやパスワード付きで送信できます。

受信側の操作で送信する（ポーリング送信/掲示板ボックス）

1つの文書（最大100ページ）をモノクロで［ポーリング送信］用に蓄積できます。この文書は、相手側のファクス機（ポーリング受信機能付き）からの操作で送信されます。
掲示板は10件まで利用できます。ただし、受信相手のファクス機がFコード通信機能に対応している必要があります。

ポーリング送信/掲示板ボックスを設定する

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択し、［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

2. 設定するボックスを選択します。

- ポーリング送信ボックスを選択したとき：Menuをタップして、次の手順に進みます。
  パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。
- ［未登録の掲示板］と表示されたボックスを選択したとき：以下全て作業します。パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。
  ［登録名(必須項目)］に登録名を入力する
  ［Fコード(SEP)］にFコードを入力する
  ［パスワード(PWD)］にパスワードを入力する

3. 必要に応じて、他の項目（［送信結果メール通知］など）を入力します。

参考 項目［ボックスを開くパスワード］を設定すると、次回ボックスを開くときにパスワード入力が要求されます。

4. ［OK］を選択します。

設定の変更や登録の削除をするには、ホーム画面から［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］を選択し、変更や削除したいボックスを選択します。次に、Menuをタップし画面の指示に従います。

ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する

1. ホーム画面で［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択します。

2. ［ポーリング送信］、または登録済み掲示板のどれか１つをタップします。

   パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。

3. ［文書を登録する］をタップします。

4. ファクス設定画面が表示されたらファクス設定を確認して、◇をタップします。

保存した文書の中身を確認するには、ホーム画面から［ファクスボックス］-［ポーリング送信/掲示板］の順に選択し、確認したい文書の入ったボックスを選択して、［文書を確認する］をタップします。開いた画面では、スキャンした原稿を閲覧、印刷、削除することができます。

関連情報

- 「操作パネルからファクス送信する」170ページ
- 「原稿のセット」38ページ
- 「応用」215ページ
- 「ファクスジョブを確認する」210ページ

宛先を指定しないで送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）

１つの文書（最大100ページ）をモノクロで蓄積できます。1つの文書を頻繁に送るときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. （応用）を選択します。

3. ［拡張ファクス］を選択し、［待機文書蓄積］をタップして［オン］にします。

4. ファクスのトップ画面が表示されるまで［閉じる］をタップします。

5. をタップして文書を蓄積します。

蓄積した文書を表示することができます。ホーム画面でファクスボックス-［待機文書送信］をタップして、表示したい文書の入ったボックスの左をタップします。文書を削除するときは、ボックス右のをタップして画面の指示に従います。

関連情報

- 「操作パネルからファクス送信する」170ページ
- 「原稿のセット」38ページ
- 「応用」215ページ
- 「ファクスジョブを確認する」210ページ

同じ宛先にまとめて送信する（バッチ送信）

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。
ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］を選択します。［バッチ送信］をタップして設定を［オン］にします。

参考
- パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- 時刻指定送信文書は、宛先と時刻が一致したときに有効です。
- 以下は［バッチ送信］の対象外です。
  - ［優先送信］にしたモノクロ文書
  - ［ダイレクト送信］にしたモノクロ文書
  - カラー文書
  - コンピューターから送った文書

異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF連続読込）

サイズが異なる原稿を混在させてセットすると、一番大きな原稿サイズで全ての原稿が送信されてしまいます。サイズごとまたは1枚ずつ原稿をセットすることで、適切なサイズで送信できます。
原稿をセットする前に、次の設定を行ってください。
ホーム画面で［ファクス］を選択して、［ファクス設定］タブを選択します。［ADF連続読込］をタップして［オン］にします。
スキャンされた文書は蓄積されて1つの文書として送信されます。

参考 次の原稿をセットする案内が表示されてから20秒以上操作がないと、蓄積を終了して送信を開始します。

プリンターでファクスを受信する

受信モードを設定する

［受信モード］は［ファクス設定ウィザード］でも設定できます。初めてファクスの設定をするときは、［ファクス設定ウィザード］を使って設定することをお勧めします。［受信モード］だけ変更したいときは以下の手順に従ってください。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［受信モード］の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 使い方に応じて［受信モード］を選択します。

重要 外付け電話機を接続しないときは、必ず［自動］に設定してください。

- 電話回線をファクス専用で使う：
  ［自動］を選択します。
  ［呼び出し回数］で設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。

参考 ［呼び出し回数］を少なく設定するのがお勧めです。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます。（無鳴動着信）

- 1つの電話回線でファクスも電話も使う（ファクスが主）：
  ［ファクス/電話自動切替］を選択してください。
  ［呼び出し回数］で設定した回数の着信音が鳴り終わると、ファクスか音声通話かをプリンターが自動で判断します。ファクスのときは自動で受信を開始し、音声通話のときは外付け電話機を［電話呼び出し回数］で設定した回数鳴らします。

重要
- 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能は使えません。

- １つの電話回線でファクスも電話も使う（電話が主）：
  ［手動］を選択します。
  外付け電話機で電話を受け、音声電話のときは相手と通話でき、ファクスのときはプリンター操作で受信を開始します。

参考
- ［リモート受信］を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能が使えます。

関連情報

➡「ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする」165ページ
➡「手動で受信する」181ページ
➡「外付け電話機の操作で受信する(リモート受信)」182ページ

留守番機能付き電話接続時の設定

留守番機能を使用するには設定が必要です。

- プリンターの［受信モード］を［自動］に設定してください。
- プリンターの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少ないと留守番電話への録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。
- 外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］に設定することをお勧めします。

関連情報

➡ 「基本設定」222ページ

ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定

発信元の電話番号を表示するナンバーディスプレイ機能を使用するときは、以下の手順でプリンターの設定をします。

参考　電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面で ［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ナンバー・ディスプレイ対応］の順に選択します。
3. 設定を選択します。
   - オン：プリンターにのみ電話番号を表示させます。アドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
   - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示させます。

いろいろな受信方法

手動で受信する

外付け電話機を接続して、プリンターの［受信モード］を［手動］に設定しているときは、以下の手順で受信します。

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
2. ファクス信号（ポー音）が聞こえたら、プリンターのホーム画面で［ファクス］を選択します。

   参考　［リモート受信］を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。

3. ［送受信切替］をタップします。
4. ［受信］を選択します。
5. ⊘をタップして、受話器を置きます。

関連情報

➡ 「外付け電話機の操作で受信する(リモート受信)」182ページ
➡ 「受信文書を受信ボックスに保存する （条件なし保存・転送）」185ページ
➡ 「ファクス受信時の給紙装置を設定する」167ページ

外付け電話機の操作で受信する(リモート受信)

手動受信では、受話器を上げた後にプリンターの操作が必要です。［リモート受信］を設定しておくと、外付け電話機の操作だけでファクス受信できます。
［リモート受信］はトーン信号（ピッポッパッ）に対応した電話機で使用できます。

関連情報

➡ 「手動で受信する」181ページ

リモート受信を設定する

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［リモート受信］の順に選択します。

   参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［リモート受信］をタップして［オン］にします。
4. ［起動コード］を選択し、2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力して［OK］をタップします。
5. ［OK］を選択して設定を保存します。

リモート受信を利用する

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
2. ファクス信号（ポー音）が聞こえたら、設定した起動コードを外付け電話機で入力します。
3. プリンターが受信を開始するのを確認してから受話器を置きます。

ポーリング受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取るときに使用します。ただし、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。

参考 音声ガイダンス付きのファクス情報サービスを利用するときは、［オンフック］でダイヤルするか、外付け電話機からダイヤルし、音声ガイダンスに従って外付け電話機やプリンターを操作します 。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. (応用)をタップします。

3. ［拡張ファクス］を選択します。

4. ［ポーリング受信］をタップして［オン］にします。

5. ［閉じる］をタップしてから、［閉じる］をタップします。

6. ファクス番号を入力します。

   参考 ［セキュリティー設定］で［直接ダイヤル制限］が［オン］に設定されているときは、アドレス帳や履歴、クイックダイヤルボタンから宛先を指定できます。直接入力はできません。

7. をタップします。

関連情報

➡「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」173ページ
➡「外付け電話機からダイヤルして送信する」172ページ

掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機の掲示板に蓄積された文書を、Fコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信します。アドレス帳にFコード（SEP）とパスワード（PWD）を設定した宛先をあらかじめ登録してください。

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. （応用）を選択します。

3. ［拡張ファクス］を選択します。

4. ［ポーリング受信］をタップして［オン］にします。

5. ［閉じる］をタップしてから、［閉じる］をタップします。

6. ［アドレス帳］を選択して、相手先の掲示板に一致するFコード（SEP）とパスワード（PWD）を登録した宛先を選択します。

7. をタップします。

関連情報

➡「アドレス帳を管理する」45ページ

迷惑ファクスの着信・受信拒否の設定をする

迷惑ファクスの着信拒否、受信拒否の設定ができます。

関連情報

➡ 「迷惑ファクスの着信拒否の設定をする」184ページ
➡ 「迷惑ファクスの受信拒否の設定をする」184ページ

迷惑ファクスの着信拒否の設定をする

ナンバーディスプレイ機能を使った、迷惑ファクスの着信拒否の設定をします。
迷惑ファクスの着信拒否（迷惑ファクスを受信しない）設定は、『動画ガイド』の実写動画でよりわかりやすくご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。動画の内容は変わることがあります。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

参考　ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面から［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］の順に選択します。

   参考　パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［着信拒否］をタップして、項目を設定します。
   - ［拒否番号リスト］：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
   - ［非通知］：非通知番号の着信を拒否します。

4. 拒否番号リストを使う場合は、をタップして［拒否番号リスト編集］をタップし、拒否番号リストを編集します。

関連情報

➡ 「基本設定」222ページ

迷惑ファクスの受信拒否の設定をする

迷惑ファクスの受信拒否の設定をします。
迷惑ファクスの受信拒否（迷惑ファクスを受信しない）設定は、『動画ガイド』の実写動画でよりわかりやすくご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。動画の内容は変わることがあります。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

1. ホーム画面から［設定］をタップします。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［着信・ファクス受信拒否］の順にタップします。

   参考　パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［ファクス受信拒否］をタップして、項目を設定します。
   - 拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
   - 非通知：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
   - アドレス帳未登録：宛先帳に登録されていない番号の受信を拒否します。

4. 拒否番号リストを使う場合は、をタップして［拒否番号リスト編集］をタップし、拒否番号リストを編集します。

関連情報

➡ 「基本設定」222ページ

受信した文書の保存と転送（条件なし保存・転送）

不特定の相手から受信したファクスを保存・転送します。

参考 特定の相手や時間に受信したファクスを保存・転送するときは、［条件保存・転送］機能を使ってください。

以下の保存・転送機能があります。

- プリンターの受信ボックスに保存する
- 外部メモリーに保存する
- コンピューターに保存する
- 他のファクス機、メールアドレスまたはサーバー上のフォルダーに転送する

参考
- これらは全て同時に処理することもできます。その場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存され、転送先に同じ文書が転送されます。
- 未読または未処理の受信文書があると、ホーム画面の に未処理件数が表示されます。

関連情報

➡ 「受信文書を受信ボックスに保存する （条件なし保存・転送）」185ページ
➡ 「受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）」187ページ
➡ 「受信文書を転送する（条件なし保存・転送）」188ページ
➡ 「受信文書の処理結果を通知する（条件なし保存・転送）」189ページ
➡ 「受信文書が未処理のときの表示」210ページ

受信文書を受信ボックスに保存する （条件なし保存・転送）

受信した文書をプリンターの受信ボックスに200件まで保存できます。 この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。

参考 保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

➡ 「受信ボックスに保存する設定をする（条件なし保存・転送）」186ページ

➡「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）」186ページ
➡「受信ボックスを使用する」204ページ

受信ボックスに保存する設定をする（条件なし保存・転送）

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］をタップします。

   参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［受信ボックスに保存］をタップして［オン］にします。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］を選択します。

4. ［閉じる］をタップします。

5. ［共通設定］を選択します。

6. ［容量限界時の動作］を選択して、受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。
   - 受信して印刷する：受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
   - 受信しない：相手側からの呼び出しに応答しません。

7. 必要に応じて受信ボックスにパスワードを設定します。［パスワード設定］を選択して、パスワードを設定します。パスワード設定をした後に［閉じる］をタップします。

   参考 ［受信して印刷する］を選んだときは、パスワードは設定できません。

受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）

プリンターの画面で受信文書を確認する手順（受信の仕方）は、『動画ガイド』の実写動画でよりわかりやすくご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。動画の内容は変わることがあります。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

   参考 未読の受信文書があると、ホーム画面の に未処理件数が表示されます。

2. ［受信/親展］-［受信ボックス］の順に選択します。

3. 受信ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワードか管理者パスワードを入力します。

4. 確認する文書をリストから選択します。

   文書の内容が表示されます。

- 右に90°回転
- 矢印方向に画面を移動
- 縮小、拡大
- 前ページへ移動 、次ページへ移動
- 保存や転送などをするためのメニューを表示します。
- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると、表示を戻せます。

5. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

> **！重要** プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷したファクスデータは速やかに削除してください。

関連情報

➡ 「受信文書が未処理のときの表示」210ページ
➡ 「ファクス設定メニューの説明」216ページ

受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）

受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。保存と同時に印刷することもできます。

> **！重要** 外部メモリーに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。一時保存の文書件数はホーム画面の に表示されます。

1. 受信文書保存用の外部メモリーをプリンターにセットします。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］を選択します。

   参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

4. ［外部メモリーに保存］を選択します。

5. ［オン］を選択します。保存と同時に自動で印刷をしたいときは、［オン(印刷もする)］を選択します。

6. メッセージを確認して［作成開始］をタップします。

   セットした外部メモリーに、受信文書保存用のフォルダーが作成されます。

関連情報

➡「受信文書が未処理のときの表示」210ページ

受信文書を転送する（条件なし保存・転送）

受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。

参考
- 他のファクス機に転送する場合、カラーの文書は転送できません。転送失敗文書として処理されます。
- 事前に操作パネルの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順に選択します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。
   メッセージが表示されたら確認して［OK］を選択します。

   参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［転送］を選択します。

4. ［オン］を選択します。転送と同時に自動で印刷をしたいときは、［オン(印刷もする)］を選択します。

5. ［宛先を追加］をタップします。

6. アドレス帳の一覧から転送先を選択します。

   参考 転送先は5件まで指定できます。

7. 全ての転送先を指定したら ［閉じる］をタップします。

8. ［転送失敗時の動作］で転送に失敗した文書を印刷するか、受信ボックスに保存するかを選択します。

> **！重要** 受信ボックスがいっぱいになるとファクスの送受信ができません。転送失敗文書を速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。

9. ［OK］を選択します。

   メッセージが表示されたら確認して［OK］を選択します。

10. ［閉じる］をタップします。

11. 転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名が指定できます。［共通設定］をタップして、［転送設定］のボックスをタップしてから、メールの件名を入力します。

   参考
   - ネットワーク上のフォルダーや メールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から［スキャン］-［メール］、または［スキャン］-［フォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンを開始します。
   - ネットワーク上のフォルダーに受信文書が転送されたときに、コンピューター上で通知を出すよう設定できます（Windowsのみ）。設定はFAX Utilityで行います。詳しくはFAX Utilityのヘルプをご覧ください。

関連情報

- 「受信設定」218ページ
- 「アドレス帳を管理する」45ページ
- 「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）」186ページ
- 「受信文書が未処理のときの表示」210ページ
- 「スキャンした画像をメールに添付する」141ページ
- 「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」137ページ
- 「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」245ページ

受信文書の処理結果を通知する（条件なし保存・転送）

受信したファクスの処理結果をメールで通知します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］の順に選択します。

   メッセージが表示されたら確認して［OK］を選択します。

   参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［メール通知設定］を選択します。

4. 目的に応じて以下のオプション設定を有効にします。

参考 以下は全て同時に処理することもできます。

- 受信終了通知：ファクス受信が完了したときに宛先にメールで通知します。
- 印刷終了通知：受信文書の印刷が完了したときに宛先にメールで通知します。
- 外部メモリー保存終了通知：受信したファクスのメモリーへの保存が完了したときに宛先にメールで通知します。
- 転送終了通知：受信したファクスの転送が完了したときに宛先にメールで通知します。

5. ［送信先］のボックスをタップします。

6. アドレス帳から宛先を選択します。

参考 宛先は1件のみ指定できます。チェックマークをタップすると宛先を選択できます。解除するときはもう一度タップします。

7. 宛先を指定したら ［閉じる］をタップします。

8. ［OK］を選択して設定を保存します。

特定の相手や時間に受信した文書の保存と転送（条件保存・転送）

特定の相手や時間に受信したファクスを保存・転送します。 最初に保存と転送の条件を設定してください。

参考 不特定の相手から受信したファクスを保存・転送するときは、［条件なし保存・転送］機能を使ってください。

- プリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存する
- 外部メモリーに保存する
- 他のファクス機、メールアドレスまたはサーバー上のフォルダーに転送する

参考
- これらは全て同時に処理することもできます。その場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存され、転送先に同じ文書が転送されます。
- 未読または未処理の受信文書があると、ホーム画面の に未処理件数が表示されます。

関連情報

➡「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」190ページ
➡「受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）」193ページ
➡「受信文書を転送する（条件保存・転送）」194ページ
➡「受信文書が未処理のときの表示」210ページ

受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）

受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに200件まで保存できます。

参考 保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

- 「受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定をする（条件保存・転送）」191ページ
- 「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件保存・転送）」192ページ
- 「受信ボックスを使用する」204ページ
- 「親展ボックスを使用する」205ページ

受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定をする（条件保存・転送）

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［条件保存・転送］の下にある未登録ボックスの › をタップします。

4. ［名称］を選択して、登録する名称を入力します。

5. ［条件］のボックスを選択して条件を設定します。設定後［閉じる］を選択します。
   - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合にファクスを受信します。
     ［相手先電話番号一致］のボックスをタップして、番号（最大20桁）を入力します。
   - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合にファクスを受信します。
     Fコード(SUB)完全一致を有効にし、［Fコード(SUB)］のボックスを選択して、Fコードを入力します。
   - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合にファクスを受信します。
     パスワード(SID)完全一致を有効にし、［パスワード(SID)］のボックスを選択して、パスワードを入力します。
   - 受信時間の設定：指定した時間帯にファクスを受信します。
     ［受信時間の設定］を有効にして、［適用開始時刻］と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

6. ［保存・転送先］のボックスを選択します。

7. ［ボックスに保存］を選択します。

8. ［ボックスに保存］をタップして［オン］にします。

9. 文書を保存するボックスを選択します。

10. ［OK］を3回選択して保存・転送設定画面に戻ります。

11. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

12. ［共通設定］を選択します。

13. ［容量限界時の動作］を選択して、受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。
    - 受信して印刷する：受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
    - 受信しない：相手側からの呼び出しに応答しません。

14. 必要に応じて受信ボックスにパスワードを設定します。［パスワード設定］を選択して、パスワードを設定します。パスワード設定をした後に［閉じる］をタップします。

    参考　［受信して印刷する］を選んだときはパスワードは設定できません。

関連情報

➡「ファクス設定メニューの説明」216ページ

受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件保存・転送）

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

   参考　未読の受信文書があると、ホーム画面の に未処理件数が表示されます。

2. ［受信/親展］を選択します。

3. 受信ボックスまたは親展ボックスを選択します。

4. 受信ボックスまたは親展ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワード、親展ボックス用のパスワードまたは管理者パスワードを入力します。

5. 確認する文書をリストから選択します。

   文書の内容が表示されます。

- ：右に90°回転
- ：矢印方向に画面を移動
- ：縮小、拡大
- ：前ページへ移動 、次ページへ移動
- ：保存や転送などをするためのメニューを表示します。

- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると、表示を戻せます。

6. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

> **！重要** プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

➡ 「受信文書が未処理のときの表示」210ページ

➡ 「ファクス設定メニューの説明」216ページ

受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）

受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。

> **！重要** 外部メモリーに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。一時保存の文書件数はホーム画面の に表示されます。

1. 受信文書保存用の外部メモリーをプリンターにセットします。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

4. ［条件保存・転送］の未登録ボックスの をタップします。

5. ［名称］を選択して、登録する名称を入力します。

6. ［条件］のボックスをタップして、条件を設定します。設定後［閉じる］をタップします。

   - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
     ［相手先電話番号一致］を選択し、［番号］のボックスをタップして、ファクス番号（最大20桁）を入力します。
   - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
     Fコード(SUB)完全一致を有効にし、［Fコード(SUB)］のボックスを選択して、パスワードを入力します。
   - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
     パスワード(SID)完全一致を有効にし、［パスワード(SID)］のボックスを選択して、パスワードを入力します。
   - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
     ［受信時間の設定］を有効にして、［適用開始時刻］と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

7. ［保存・転送先］のボックスを選択します。

8. ［外部メモリーに保存］を選択します。

9. ［外部メモリーに保存］をタップして［オン］にします。

10. メッセージを確認して［作成開始］を選択します。

セットした外部メモリーに、受信文書保存用のフォルダーが作成されます。

11. ［OK］ を3回タップして保存・転送設定画面に戻ります。

12. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

関連情報

➡ 「受信文書が未処理のときの表示」210ページ
➡ 「ファクス設定メニューの説明」216ページ

受信文書を転送する（条件保存・転送）

受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。

参考
- 他のファクス機に転送する場合、カラーの文書は転送できません。転送失敗文書として処理されます。
- 事前に操作パネルの［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることを確認してください。［設定］-［本体設定］-［基本設定］-［日付/時刻設定］の順にタップします。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［条件保存・転送］の未登録ボックスの › をタップします。

4. ［名称］を選択して、登録する名称を入力します。

5. ［条件］のボックスを選択して、条件を設定します。設定後［閉じる］をタップします。

- 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
  ［相手先電話番号一致］を選択し、［番号］のボックスをタップして、ファクス番号（最大20桁）を入力します。
- Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
  Fコード(SUB)完全一致を有効にし、［Fコード(SUB)］のボックスを選択して、パスワードを入力します。
- パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
  パスワード(SID)完全一致を有効にし、［パスワード(SID)］のボックスを選択して、パスワードを入力します。
- 受信時間の設定：指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
  ［受信時間の設定］を有効にして、［適用開始時刻］ と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

6. ［保存・転送先］のボックスを選択します。

7. ［転送］を選択します。

8. ［転送］をタップして［オン］にします。

9. ［宛先を追加］を選択します。

10. アドレス帳の一覧から転送先を選択します。

参考 転送先は1件のみ指定できます。

11. 宛先を指定したら ［閉じる］をタップします。

12. 転送先が正しいことを確認して［閉じる］を選択します。

13. ［転送失敗時の動作］で、転送に失敗した文書を印刷するか受信ボックスに保存するかを選択します。

！重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスの送受信ができません。転送失敗文書を速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の に表示されます。

14. ［OK］ を3回選択して保存・転送設定画面に戻ります。

15. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

16. 転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名が指定できます。［共通設定］を選択し、［転送設定］のボックスをタップしてから、メールの件名を入力します。

参考
- ネットワーク上のフォルダーや メールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から［スキャン］-［メール］、または［スキャン］-［フォルダー］の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンを開始します。
- ネットワーク上のフォルダーに受信文書が転送されたときに、コンピューター上で通知を出すよう設定できます（Windowsのみ）。設定はFAX Utilityで行います。詳しくはFAX Utilityのヘルプをご覧ください。

関連情報

- 「受信設定」218ページ
- 「アドレス帳を管理する」45ページ
- 「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件保存・転送）」192ページ
- 「受信文書が未処理のときの表示」210ページ
- 「スキャンした画像をメールに添付する」141ページ
- 「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」137ページ
- 「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」245ページ

受信文書を印刷する（条件保存・転送）

条件保存・転送した受信文書の印刷をします。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［条件保存・転送］の下にある未登録ボックスの › をタップします。

4. ［名称］を選択して、登録する名称を入力します。

5. ［条件］のボックスを選択して、条件を設定します。設定後［閉じる］をタップします。
   - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
     ［相手先電話番号一致］を選択し、［番号］のボックスをタップして、ファクス番号（最大20桁）を入力します。
   - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
     Fコード(SUB)完全一致を有効にし、［Fコード(SUB)］のボックスを選択して、パスワードを入力します。
   - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
     パスワード(SID)完全一致を有効にし、［パスワード(SID)］のボックスを選択して、パスワードを入力します。
   - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
     ［受信時間の設定］を有効にして、［適用開始時刻］ と［適用終了時刻］に時刻を設定します。

6. ［OK］を選択して［閉じる］をタップします。

7. 保存・転送先のボックスを選択します。

8. ［印刷］をタップして［オン］にします。

9. ［OK］ を2回選択して保存・転送設定画面に戻ります。

10. 条件を登録したボックスを選択して、［有効］を選択します。

関連情報

➡ 「印刷設定」220ページ

受信文書の処理結果を通知する（条件保存・転送）

受信したファクスの処理結果をメールで通知します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［条件保存・転送］の下の › をタップして登録済みボックスを選択します。

4. ［メール通知設定］を選択します。

5. 目的に応じて以下のオプション設定を有効にします。

参考 以下は全て同時に処理することもできます。

- ［受信終了通知］：ファクス受信が完了したときに宛先にメールで通知します。
- ［印刷終了通知］：受信文書の印刷が完了したときに宛先にメールで通知します。
- ［外部メモリー保存終了通知］：受信したファクスのメモリーへの保存が完了したときに宛先にメールで通知します。
- ［転送終了通知］：受信したファクスの転送が完了したときに宛先にメールで通知します。

6. ［送信先］のボックスをタップします。

7. アドレス帳から宛先を選択します。

参考 宛先は1件のみ指定できます。

8. 宛先を指定したら ［閉じる］をタップします。

9. ［OK］ を2回選択して保存・転送設定画面に戻ります。

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターからのファクス送信は、FAX Utilityで行います。

参考 FAX Utilityは、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター） を使用してインストールします。
更新用のソフトウェアのインストール方法は、関連リンクを参照ください。

関連情報

➡ 「ソフトウェアの更新ツール（Software Updater）」248ページ
➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

アプリケーションソフトで作成した文書を送信する（Windows）

Microsoft WordやExcelなどの［印刷］メニューから、ご使用のファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます 。

Windows用のFAX Utilityはバージョンによって操作方法が異なります。バージョンの確認方法は、タイトルバーを右クリックして［バージョン情報］をクリックしてください。

参考 ここでは、Microsoft Wordを例に説明します。ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。

2. アプリケーションソフトの印刷画面を表示します。

   ［ファイル］メニューの［印刷］（または［プリント］など）をクリックしてください。

3. ［プリンター（プリンター名）］でご使用のプリンター名（FAX）を選択し、印刷設定を確認して ［OK］をクリックします。

   - ［印刷部数］では、［1］を入力してください。［2］以上を入力すると正常に送信できないことがあります。
   - ［ファイルへ出力］など、出力ポートを変更する機能は使用できません。
   - 1回のファクス送信につき、送付状を含めて100ページまで送信できます。

   参考
   - ［プロパティ］をクリックすると、［用紙サイズ］、［用紙方向］、［色］、［画質］、［文字の濃さ］を設定できます。詳しくは PC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。
   - お使いのコンピューターで初めて送信するとき、発信者（ご自分）の情報を登録する画面が表示されます。必要事項を入力して、［OK］をクリックしてください。
   - 登録名は、FAX Utilityで管理するための名前です。 送付状には表示されません。

4. 送付先を指定して、［次へ］をクリックします。

   - 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：
     ［直接入力］タブをクリックし、必要事項を入力して［追加］をクリックしてください。画面上部の［送付先一覧］に追加されます。また、［電話帳に登録］をクリックすると、［電話帳］タブの一覧に登録されます。

     参考
     - 接続回線の設定を構内交換機（PBX）にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、「ファクス設定メニューの説明」-「基本設定」-「接続回線」の説明をご覧ください。
     - ［PC-FAXの設定］（FAX Utility Ver.1.XX）またはFAX Utility（メイン画面）の［オプション設定］（FAX Utility Ver.2.XX）で［送信時にファクス番号を2回入力する］の設定を有効にしている場合は、［追加］または［次へ］をクリックした後、もう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

   - 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
     送付先が電話帳に登録されているときは、［電話帳］タブをクリックし、一覧から送付先を選択して［追加］をクリックしてください。画面上部の［送付先一覧］に追加されます。

     参考 接続回線の設定を構内交換機（PBX）にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、「ファクス設定メニューの説明」ー「基本設定」ー「接続回線」の説明をご覧ください。

5. 送付状の内容を設定します。

   送付状を付けるときは、［送付状］で送付状のデザインを選択し、［件名］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックしてください。送付状のデザインを追加したり作成したりすることはできません 。
   送付状が不要のときは、［送付状］で［送付状なし］を選択して、［次へ］をクリックしてください。

参考
- ［送付状書式設定］をクリックすると、送付状に表示される項目の並び順を変更できます。［用紙サイズ］で送付状の用紙サイズを選択できます。送信する文書と異なる用紙サイズを選択することもできます。
- ［フォント］をクリックすると、送付状に表示される文字のフォントを変更できます。
- ［発信元設定］をクリックすると、発信元情報を変更できます。
- ［詳細プレビュー］をクリックすると、件名やコメントが反映された送付状のイメージを確認できます。

6. 送信内容を確認して［送信］をクリックします。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。［プレビュー］をクリックすると、送付状と送信する文書のイメージを確認できます。
送信が始まると、送信状態を確認できる画面が表示されます。

参考
- 送信を中止するときはデータを選択して［中止］ をクリックしてください。プリンターのパネル操作で中止することもできます。
- 送信中にエラーになると［通信エラー］画面が表示されます。エラー内容を確認して再送信してください。
- ［PC-FAXの設定］（FAX Utility Ver.1.XX）またはFAX Utility（メイン画面）の［オプション設定］（FAX Utility Ver.2.XX）で画面の［送信時にファクス送信モニターを表示］をチェックしていないとき、［ファクス送信モニター］画面（上記の送信状態を確認できる画面）は表示されません。

アプリケーションソフトで作成した文書を送信する（Mac OS X）

市販アプリケーションソフトの［印刷］メニューからファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。

参考 ここでは、Mac OS X標準添付のテキストエディットを例に説明します。アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。

2. ご使用のアプリケーションソフトのプリント画面を表示します。

［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）をクリックしてください。

3. ［プリンタ］で［FAX XX-XXXX］（ご使用のプリンター名）を選択し、［▼］をクリックして詳細設定を表示します。

4. 各項目を設定します。

- ［部数］では［1］を入力してください。［2］以上を入力しても、実際に送信されるのは1部のみです。
- 1回のファクス送信につき、100ページまで送信できます。

参考 ファクスできる文書のページサイズは、プリンターからファクスできる用紙のサイズと同じです。

5. ポップアップメニューで［ファクス設定］を選択して、各項目を設定します。

各設定項目の説明はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。
PC-FAXドライバーのヘルプは、画面左下の［?］をクリックします。

6. ポップアップメニューで［送付先設定］を選択して、送付先を設定します。

- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合
  ［追加］項目に必要事項を入力して［+］をクリックしてください。画面上部の［送付先一覧］に追加されます。
  PC-FAXのドライバー設定で「送信時にファクス番号を2回入力する」が有効になっている場合は、［+］をクリックするともう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。
  ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、［外線発信番号］を入力します。

参考 接続回線の設定を構内交換機（PBX）にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、「ファクス設定メニューの説明」-「基本設定」-「接続回線」の説明をご覧ください。

- 連絡先（またはアドレスブック）から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合
  送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、をクリックします。一覧から送付先を選択して［追加］をクリックし、［OK］をクリックしてください。
  ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、［外線発信番号］を入力します。

参考 接続回線の設定を構内交換機（PBX）にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、「ファクス設定メニューの説明」-「基本設定」-「接続回線」の説明をご覧ください。

7. 送付先設定を確認して［ファクス］をクリックします。

［ファクス］をクリックすると、送信が始まります。
送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

参考
- ［Dock］内のプリンターアイコンをクリックすると送信状況確認画面が表示されます。送信を中止するときは、送信データをクリックして［削除］をクリックしてください。
- 送信中にエラーになると「送信失敗」というメッセージが表示されます。［ファクス送信記録］画面で送信記録を確認してください。
- 用紙サイズの異なるページが混在するドキュメントは、正常に送信できないことがあります。

コンピューターでファクスを受信する

プリンターで受信したファクス文書を、プリンターに接続したコンピューターにPDF形式で保存できます。保存はFAX Utilityで行います。保存先フォルダーの指定なども、FAX Utilityから行います。

参考 FAX Utilityは、以下からインストールします。
- ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター） を使用
- 付属のソフトウェアディスクを使用(Windowsをお使いのときのみ)

！重要
- コンピューターで受信するときは、プリンターのファクス受信設定を［自動］または［ファクス/電話自動切替］に設定にしてください。
- 保存先のコンピューターは起動しておいてください。受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されるため、電源を切ったままにしておくと、プリンターのメモリーが不足して送受信できなくなります。
- 一時保存の文書件数はホーム画面のに表示されます。
- 受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

関連情報

➡「ソフトウェアの更新ツール（Software Updater）」248ページ
➡「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

受信ファクスをコンピューターに保存する（Windows）

Windows用のFAX Utilityはバージョンによって操作方法が異なります。ここでは Version 1.XXの操作手順を説明しています。FAX Utility Version 2.XXの操作方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本操作」をご覧ください。バージョンの確認方法は、タイトルバーを右クリックして［バージョン情報］をクリックしてください。

1. プリンターに接続しているコンピューターでFAX Utility を起動します。

   FAX Utilityの設定画面が開きます。

2. ［プリンターのファクス設定］-［受信ファクスの出力設定］の順に選択します。

   プリンター選択画面が表示されたら、お使いのプリンターを選択して［OK］をクリックします。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. ［このコンピューターで保存する］をクリックして保存先フォルダーの指定をします。

4. 必要に応じてその他の設定をします。

   参考
   - 設定項目の説明や詳細な手順は設定画面のヘルプをご覧ください。
   - ［通知設定］で新着ファクスの通知の設定ができます。

5. ［OK］をクリックします。

   設定情報がプリンターに送信されます。
   コンピューターへの保存と同時に自動で印刷をしたいときは次の手順に進みます。

6. プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順にタップします。

7. ［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］を［オン(印刷もする)］にします。

   参考 コンピューターへの保存をやめるときは、［PC-FAXで受信］を［オフ］にします。FAX Utilityからも変更できますが、コンピューターに保存されていない受信文書があるときは変更できません。

関連情報

➡「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」245ページ

新着ファクスを確認する（Windows）

受信ファクスを保存する設定をしたコンピューターでは、Windowsのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。ファクス受信を通知する設定にすると、デスクトップ画面右下に受信通知ウィンドウが表示され新着ファクスを確認できます。

参考
- コンピューターに受信文書が保存されると、プリンターの内部メモリーからは削除されます。
- 受信ファクスの閲覧はPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

タスクバーのファクスアイコンを使う （Windows）

受信ファクスを保存するコンピューターのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。

1. アイコンを確認します。
   - ：待機中
   - ：新着ファクスの有無を確認中
   - ：新着ファクスの取り込みが完了した状態
2. アイコンを右クリックして［保存フォルダーを開く］をクリックします。

   保存フォルダーが開きます。ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。
   待機中のときは、［新着ファクスの確認］を選択します。新着ファクスがあるかどうかがすぐに確認できます。

   参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
   YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）

受信通知ウィンドウを使う （Windows）

新着ファクスをコンピューターに通知する設定にすると、新着ファクスがあるたびに画面右下に受信通知ウィンドウが表示されます。

1. 表示された受信通知ウィンドウを確認します。

   参考 何もせずに一定時間が経過すると、受信通知ウィンドウは非表示になります。受信通知ウィンドウの表示時間や通知の有無は設定できます。

2. 受信通知ウィンドウの、 ボタン以外の場所をクリックします。

   新着ファクスを保存したフォルダーが開きます。ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

   参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
   YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）

関連情報

➡ 「受信ファクスをコンピューターに保存する（Windows）」201ページ

受信ファクスをコンピューターに保存する（Mac OS X）

操作方法の詳細は、FAX Utility ヘルプのトップページを開いて「ファクス受信」をご覧ください。

！重要 ［ファクス受信モニター］が起動しているときのみ、受信ファクスを保存できます。

1. プリンターに接続しているコンピューターでFAX Utilityを起動します。

2. ［ファクス受信モニター］をクリックして、お使いのプリンターを選択します。

3. ［受信ファクスの出力設定］-［"ファクス保存”（このコンピューターで保存する）］の順にクリックして、保存先フォルダーの指定をします。

4. 必要に応じてその他の設定をします。

   参考 設定項目の説明や詳細な手順は設定画面のヘルプをご覧ください。

5. ［送信］をクリックします。

   設定情報がプリンターに送信されます。
   コンピューターへの保存と同時に自動で印刷をしたいときは次の手順に進みます。

6. プリンターの操作パネルで［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］の順にタップします。

7. ［保存・転送設定］-［条件なし保存・転送］-［PC-FAXで受信］を［オン（印刷もする）］にします。

   参考 コンピューターへの保存をやめるときは、［PC-FAXで受信］を［オフ］にします。FAX Utilityからも変更できますが、コンピューターに保存されていない受信文書があるときは変更できません。

関連情報

➡「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」245ページ

新着ファクスを確認する（Mac OS X）

新着ファクスは、以下の方法で確認できます。［"ファクス保存" (このコンピューターで保存する)］を設定したコンピューターのみ可能です。

- 保存フォルダー（［受信ファクスの出力設定］で指定）を開く
- ファクス受信モニターを開き、［新着ファクスの確認］をクリックする
- ファクスの新着通知を受け取る
  FAX Utilityの［ファクス受信モニター］-［環境設定］で［ファクス受信をDockで通知する］をチェックするとDockのファクス受信モニターアイコンがジャンプして新着ファクスを知らせます。

ファクス受信モニターから保存フォルダーを開く　（Mac OS X）

［"ファクス保存" (このコンピューターで保存する)］を設定したコンピューターでは、ファクス受信モニターから保存フォルダーを開けます。

1. Dockのファクス受信モニターアイコンをクリックして［ファクス受信モニター］を開きます。

2. プリンターを選択して［保存フォルダーを開く］をクリックするか、プリンター名をダブルクリックします。

3. ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn　（年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
送信元番号は送信元から送られた情報が表示されます。送信元によっては番号がないこともあります。

ファクスボックスを使用する

ファクスボックスは5つのボックスで構成されています。

- 受信ボックス：受信文書を保存します。
- 親展ボックス：受信文書を保存します。条件保存・転送機能での文書保存先として指定することで、親展受信機能を提供します。
- 待機文書送信ボックス：待機文書を蓄積します。
- ポーリング送信ボックス：ポーリング送信文書を蓄積します。
- 掲示板ボックス：選択ポーリング送信文書を蓄積します。

関連情報

➡ 「受信ボックスを使用する」204ページ
➡ 「親展ボックスを使用する」205ページ
➡ 「待機文書送信ボックスを使用する」206ページ
➡ 「ポーリング送信ボックスを使用する」207ページ
➡ 「掲示板ボックスを使用する」208ページ

受信ボックスを使用する

受信文書を受信ボックスに保存できます。受信ボックスと親展ボックスに合わせて200件まで保存できます。この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。

参考 保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

➡ 「受信ボックスの文書を確認する」204ページ
➡ 「受信ボックスを設定する」205ページ

受信ボックスの文書を確認する

受信ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

2. ［受信/親展］を選択します。

3. ［受信ボックス］のボックスを選択します。

4. 確認するジョブを選択します。

   文書の内容が表示されます。

受信ボックスを設定する

受信ボックスに文書が保存されていると、その文書の印刷の他に、外部メモリーへの保存や削除、受信ボックスのパスワード設定ができます。受信ボックスに文書が保存されていないときにできるのは、パスワード設定のみです。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

2. ［受信/親展］を選択します。

3. ［受信ボックス］のボックスを選択します。

4. Menuをタップします。

5. 使いたい機能を選択して画面の指示に従います。

親展ボックスを使用する

受信文書を親展ボックスに保存できます。受信ボックスと親展ボックスに合わせて200件まで保存できます。

参考　保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

➡「親展ボックスの文書を確認する」205ページ
➡「親展ボックスを設定する」206ページ

親展ボックスの文書を確認する

親展ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

2. ［受信/親展］を選択します。

3. 確認する親展ボックスを選択します。

4. 確認するジョブを選択します。

   文書の内容が表示されます。

親展ボックスを設定する

親展ボックスに文書が保存されていると、その文書の印刷の他に、外部メモリーへの保存や削除、親展ボックスのパスワード設定、設定のクリアができます。親展ボックスに文書が保存されていないときにできるのは、パスワード設定とボックスの削除です。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

2. ［受信/親展］を選択します。

3. 設定する親展ボックスを選択します。

4. Menuをタップします。

5. 使いたい項目を選択して画面の指示に従います。

待機文書送信ボックスを使用する

待機文書送信ボックスに100ページまでのモノクロ文書を10件まで保存できます。

参考 保存した文書のファイルサイズなどにより、10件まで保存できないことがあります。

関連情報

➡ 「待機文書送信ボックスの文書を確認する」206ページ
➡ 「待機文書送信ボックスを設定する」207ページ

待機文書送信ボックスの文書を確認する

待機文書送信ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

2. ［待機文書送信］を選択します。

3. 確認するジョブを選択します。

   文書の内容が表示されます。

待機文書送信ボックスを設定する

待機文書保存ボックスに保存された文書の印刷、外部メモリーへの保存、削除や、待機文書保存ボックスのパスワード設定ができます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。
2. ［待機文書送信］を選択します。
3. Menuをタップします。
4. 使いたい機能を選択して画面の指示に従います。

ポーリング送信ボックスを使用する

100ページまでの1つのモノクロ文書を、ポーリング送信用に蓄積できます。

関連情報

- 「ポーリング送信/掲示板ボックスを設定する」177ページ
- 「ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する」178ページ
- 「ポーリング送信ボックスの文書を確認する」207ページ
- 「ポーリング送信ボックスを設定する」207ページ

ポーリング送信ボックスの文書を確認する

ポーリング送信ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。
2. ［ポーリング送信/掲示板］を選択します。
3. ［ポーリング送信］のボックスを選択します。
4. ［文書を確認する］をタップします。

   文書の内容が表示されます。

ポーリング送信ボックスを設定する

ポーリング送信ボックスに保存した文書を削除できます。ポーリング送信ボックスのパスワード設定や、ポーリング送信後に自動で文書を削除したり送信結果を通知したりする設定ができます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。
2. ［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

3. ［ポーリング送信］のボックスを選択します。

4. Menuをタップします。

5. 使いたい機能を選択して画面の指示に従います。

掲示板ボックスを使用する

掲示板ボックス1つにつき、100ページのモノクロ文書を1件保存できます。掲示板ボックスは10個あるので、最大10件の文書を保存できます。

参考 保存した文書のファイルサイズなどにより、10件まで保存できないことがあります。

関連情報

- 「ポーリング送信/掲示板ボックスを設定する」177ページ
- 「ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する」178ページ
- 「掲示板ボックスの文書を確認する」208ページ
- 「掲示板ボックスを設定する」208ページ

掲示板ボックスの文書を確認する

掲示板ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

2. ［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

3. 設定する掲示板をタップします。

4. ［文書を確認する］をタップします。

   文書の内容が表示されます。

掲示板ボックスを設定する

掲示板ボックスにFコードやパスワード設定ができます。掲示板ボックスのパスワード設定、ポーリング送信後に自動で文書を削除、送信結果の通知、文書削除、設定のクリアなどができます。

1. ホーム画面で［ファクスボックス］を選択します。

2. ［ポーリング送信/掲示板］を選択します。

3. 設定する掲示板をタップします。

4. Menuをタップします。

5. 使いたい機能を選択して画面の指示に従います。

その他のファクス機能を使う

各種ファクスレポートやリストを印刷する

手動でファクスレポートを印刷する

1. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

2. (応用)をタップします。

3. ［ファクスレポート印刷］を選択します。

4. 項目を選択して画面の指示に従います。

参考 レポート形式は変更できます。ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］の順に選択して、［レポート内画像添付］または［レポート形式］を設定してください。

関連情報

➡「応用」215ページ
➡「レポート設定」222ページ

ファクスレポートの自動印刷設定をする

以下のレポートを自動で印刷できます。

参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

通信結果レポート印刷

ホーム画面で［ファクス］-［ファクス設定］-［通信結果レポート印刷］の順に選択して、［オン］または［エラー時のみ］を選択します。

転送結果レポート

ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［転送結果レポート］の順に選択して、［オン］または［エラー時のみ］を選択します。

通信管理レポート

ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［通信管理レポート］の順に選択して、［オン(30件毎)］または［オン(指定時刻)］を選択します。

関連情報

➡「レポート設定」222ページ
➡「ユーザー設定メニューの説明」225ページ

ファクスのセキュリティーを設定する

ファクスの誤送信や受信ファクスの紛失や漏えいを防ぐためのセキュリティーが設定できます。またバックアップデータの削除方法も選択できます。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］-［ファクス設定］-［セキュリティー設定］の順に選択します。

   参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 項目を選択して、設定します。

関連情報

➡「セキュリティー設定」224ページ

ファクスジョブを確認する

受信文書が未処理のときの表示

未処理の受信文書があると、ホーム画面の に未処理件数が表示されます。未処理とは下表で示す状態です。

受信文書の処理設定	未処理状態
印刷する*1	印刷待ちまたは印刷中の受信文書がある。
受信ボックスまたは親展ボックスに保存する	受信ボックスまたは親展ボックスに未読の受信文書がある
外部メモリーに保存する	受信文書保存専用フォルダーを作成した外部メモリーがプリンターに接続されていないなどの原因により、保存されていない受信文書がある。
コンピューターに保存する	保存先のコンピューターが起動していないなどの原因により、保存されていない受信文書がある。
転送する	転送されていない、または転送に失敗した受信文書*2がある。

*1　保存や転送の処理を設定していないとき、または外部メモリーやコンピューターへの保存と同時に印刷する設定にしているとき。

*2　転送失敗文書を受信ボックスに保存する設定にしているときは未読状態。転送失敗文書を印刷する設定にしているときは印刷されていない状態。

参考　受信文書の処理を複数設定していると、1つの受信文書の未処理件数が2件や3件など複数になることがあります。例えば、受信ボックスとコンピューターの両方に保存する設定の場合、1つの受信文書が両方とも処理されなかったときは未処理件数が2になります。

関連情報

- 「受信文書を受信ボックスに保存する （条件なし保存・転送）」185ページ
- 「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」190ページ
- 「受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）」187ページ
- 「受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）」193ページ
- 「受信文書を転送する（条件なし保存・転送）」188ページ
- 「受信文書を転送する（条件保存・転送）」194ページ
- 「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）」186ページ
- 「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件保存・転送）」192ページ
- 「実行中のファクスジョブを確認する」211ページ

実行中のファクスジョブを確認する

処理が完了していないファクスのジョブを画面に表示して確認できます。確認画面に表示されるジョブは以下です。この確認画面から、印刷前のファクスの印刷や送信失敗文書の再送信もできます。

- 受信ファクス
  - 印刷前のファクス（印刷する設定の場合）
  - 未保存のファクス（保存先が設定されている場合）
  - 未転送のファクス（転送先が設定されている場合）
- 送信に失敗したファクス文書（［送信失敗文書保存］を有効にしてある場合）

確認画面を表示する手順は以下です。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。

2. ［ジョブ状態］タブをタップして、［実行中］をタップします。

3. 確認するファクスジョブを選択します。

ファクスジョブ履歴の確認、受信文書の再印刷をする

ファクスの送受信履歴を確認できます。印刷履歴から、印刷した受信文書を再印刷できます。ただし送信文書の再印刷や再送信はできません。

1. ホーム画面で［ジョブ/状態］をタップします。

2. ［ジョブ状態］タブをタップして、［履歴］をタップします。

3. 画面右上の［全て］をタップします。
   - ［送信］または［受信］を選択すると、ファクスの送受信履歴が表示されます。ジョブを選択すると、詳細が表示されます。
   - ［印刷］をタップして、［受信ファクス印刷］を選択します。［送信先］をタップすると再印刷できます。

参考 印刷した受信文書もメモリーには一時保存されています。メモリーがいっぱいになると、古いものから順に自動的に削除されていきます。

ファクスメニューの説明

宛先

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］-［宛先］

直接入力：

宛先のファクス番号を直接入力します。

アドレス帳：

アドレス帳から宛先を選択します。宛先の新規登録や変更もできます。

宛先履歴：

発着信履歴から宛先を選択します。着信履歴はナンバーディスプレイ機能を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

ファクス設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］-［ファクス設定］

パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

クイック操作ボタン：

［通信履歴表示］や［原稿種類］など使用頻度の高い項目を3つまで表示できます。すばやく簡単に設定できるようになります。
事前に［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［クイック操作ボタン］の項目を指定する必要があります。
［クイック操作ボタン］は3つあります。
初期設定は、［クイック操作ボタン1］は［通信履歴表示］、［クイック操作ボタン2］と［クイック操作ボタン3］は非表示です。

読み取り設定：

- 原稿サイズ(原稿台)
  原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。
  初期設定は［自動検知］です。

- 原稿種類
  原稿の種類を選択します。
  初期設定は［文字］です。

- カラーモード
  カラーまたはモノクロのどちらでスキャンするか選択します。
  初期設定は［モノクロ］です。

- 画質
  送信する文書の画質を選択します。画質を優先するとデータのサイズが大きくなり、送信に時間が掛かります。
  初期設定は［精細］です。

- 濃度
  送信する文書の濃度を設定します。＋にすると濃くなり、－にすると薄くなります。

- 背景除去
  ［自動］にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。

- シャープネス
  画像の輪郭を設定します。＋にすると輪郭が鮮明になり、－にするとぼやけます。

- ADF自動両面
  モノクロ送信時に、ADFにセットした原稿の両面をスキャンします。
  初期設定は［オフ］です。

- ADF連続読込
  通常、ADFで複数枚の原稿をスキャンする場合、途中で原稿を追加することはできません。サイズが異なる原稿を混在させてADFにセットすると、一番大きな原稿サイズとして全ての原稿が送信されてしまうため、サイズは混在しないでください。この設定を有効にすると、セットした原稿のスキャンが終わるたびに追加原稿の有無を確認するメッセージが表示されます。サイズごとに分けて原稿をセットすれば、サイズごとにスキャンされるため、原稿と同じサイズでまとめて一度に送信できます。
  初期設定は［オフ］です。

送信設定：

- ダイレクト送信
  宛先（1件のみ）につながってから原稿をスキャンしてモノクロで送信します。スキャンしながら同時に送信するのでメモリーを使いません。通常のモノクロ送信は、スキャンした文書をメモリーに保存してから送信するため（メモリー送信）、大量の原稿をスキャンするとメモリーが不足して送信できなくなります。この設定を有効にすると、時間はかかりますが送信可能になります。ただし、宛先が複数のときやADF自動両面を有効にしているときは使えません。
  初期設定は［オフ］です。

- 優先送信
  送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。
  初期設定は［オフ］です。

- 時刻指定送信
  指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。
  初期設定は［オフ］です。

- 発信元情報の付加
  - 発信元情報の付加
    発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置、または、入れずに送信するかを選択します。
    付加しない：発信元情報を入れずに送信します。
    原稿外：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
    原稿内：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報がかぶって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。
  - 発信元名
    宛先に合わせて発信元情報を選択します。あらかじめ発信元情報を複数登録しておく必要があります。
  - 追加情報
    追加したい情報を、［発信元番号］と［宛先情報］から1つ選択できます。

  初期設定は［発信元情報の付加］が［原稿外］、［追加情報］が［発信元番号］です。
  パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

- 送信結果メール通知
  ファクス送信後に、送信結果を通知します。
  初期設定は［オフ］です。
  パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

- 通信結果レポート印刷
  エラー時のみ：受信ファクスを保存したり転送したときにエラーが起こると、結果レポートを印刷します。［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［レポート内画像添付］を設定しておくと、結果のレポートと一緒に、エラーとなったファクス文書も印刷されます。
  オン：ファクスを送信すると、結果レポートを印刷します。
  オフ：ファクス送信しても、結果レポートは印刷されません。
  初期設定は［エラー時のみ］です。
  パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

- バックアップ送信設定
  スキャンしてプリンターのメモリーに保存された送信ファクスのバックアップを保存します。
  初期設定は［オフ］です。
  パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

応用

操作パネルで以下の順に選択します。
［ファクス］- Menu (応用)

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

通信履歴表示：

ファクスの送受信履歴が確認できます。

ファクスレポート印刷：

- 通信結果レポート
  最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。
- 通信管理レポート
  送受信結果を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。
  ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］-［通信管理レポート］
- 蓄積文書リスト
  未完了のジョブなど、プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書のリストを印刷します。
- ファクス機能設定リスト
  現状のファクス設定を印刷します。
- 条件保存・転送リスト
  条件保存・転送リストを印刷します。
- プロトコルログ
  最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

拡張ファクス：

- ポーリング受信
  相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積されたポーリング用文書を受信します。ファクス情報サービスなどからファクスで情報を入手できます。
  初期設定は［オフ］です。
- ポーリング送信/掲示板
  ポーリング送信/掲示板は、ポーリング送信ボックス1つと掲示板ボックス10個で構成されています。100ページまでの1つの文書をモノクロでポーリング送信ボックスに蓄積します。蓄積した文書は、ポーリング受信機能付きの受信側ファクス機からの操作で送信されます。各々の掲示板ボックスは1つの文書をモノクロで蓄積します。蓄積した文書は、ポーリング受信機能およびFコード機能付きの受信側ファクス機からの操作で送信されます。
  初期設定は［オフ］です。
- 待機文書蓄積
  100ページまでの文書をモノクロで10件まで蓄積します。同じ文書を何度も送信するときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。
  初期設定は［オフ］です。

ファクスボックス：

［ファクスボックス］機能にアクセスします。詳しくは、ファクスボックスの設定を説明しているページをご覧ください。

ファクス設定：

［ファクス設定］機能にアクセスします。詳しくは、ファクス設定の設定を説明しているページをご覧ください。
パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

関連情報

➡「ファクスボックスメニューの説明」225ページ
➡「ファクス設定メニューの説明」216ページ

ファクス設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］

クイック操作ボタン

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［クイック操作ボタン］

参考　パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

クイック操作ボタン1、

クイック操作ボタン2、

クイック操作ボタン3：

ファクス送信時によく使う項目を3つまで登録できます。
登録した項目は、以下のメニューの先頭に表示されます。
［ファクス］-［ファクス設定］
初期設定は、［クイック操作ボタン1］は［通信履歴表示］、［クイック操作ボタン2］と［クイック操作ボタン3］は［オフ］（非表示）です。

送信設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［送信設定］

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

回転送信：

ADFまたは原稿台に、A4サイズの原稿の長辺を左側にして縦置きにセットすると、通常はA3サイズの文書として送信されます。この設定を有効にすると、A4サイズの文書になるように回転させて送信できます。
初期設定は［オン］です。

クイックメモリー送信：

クイックメモリー送信は1ページ目の原稿のスキャンが完了した時点で、ファクスの送信を開始します。この設定を無効にすると、すべてのページをスキャンしてメモリーに保存した後にファクス送信します。この設定を有効にすると、スキャンとファクス送信を並行して行うので、全体の操作時間を短縮できます。
初期設定は［オン］です。

バッチ送信：

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。
初期設定は［オフ］です。

自動リダイヤル回数：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数を選択します。
初期設定は［3］です。

自動リダイヤル間隔：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤルする間隔を選択します。
初期設定は［5］です。

送信失敗文書保存：

送信に失敗した文書をメモリーに保存します。［ジョブ/状態］から再送信できます。

初期設定は［オフ］です。

受信設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

保存・転送設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］

条件なし保存・転送

受信文書を受信ボックスや外部メモリー、コンピューターに保存したり、転送したりする設定をします。

受信ボックスに保存する：

受信した文書をプリンターの受信ボックスに保存します。
初期設定は［オフ］です。

PC-FAXで受信：

受信した文書をPDFに変換して、プリンターに接続されているコンピューターに保存します。
初期設定は［オフ］です。

外部メモリーに保存：

受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。
初期設定は［オフ］です。

転送：

受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。
初期設定は［転送］が［オフ］で、［転送失敗時の動作］が［印刷する］です。

メール通知設定：

ファクスの受信、外部メモリーへの保存、転送が完了したことをメールで通知します。
初期設定は全て［オフ］です。

条件保存・転送

あらかじめ設定しておいた条件に従って、保存や転送、印刷をします。

設定した条件を有効または無効にするには、ボックスの › 以外の場所をタップします。

› をタップすると、条件を設定できます。
初期設定は［無効］です。

名称：

条件名を入力します。

条件：

条件を選択して設定します。

- 相手先電話番号一致
  相手方のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
  初期設定は［オフ］です。
- Fコード(SUB)完全一致
  Fコードが完全に一致した場合、受信文書を保存・転送します。
  初期設定は［オフ］です。
- パスワード(SID)完全一致
  パスワードが完全に一致した場合、受信文書を保存・転送します。
  初期設定は［オフ］です。
- 受信時間の設定
  指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
  初期設定は［オフ］です。

保存・転送先：

条件に一致した受信文書を保存・転送するための保存先を選択します。

- ボックスに保存
  受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存します。
  初期設定は［オフ］です。
- 外部メモリーに保存
  受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。
  初期設定は［オフ］です。
- 転送
  受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。
  初期設定は［転送］が［オフ］で、［転送失敗時の動作］が［印刷する］です。
- 印刷
  印刷するかどうかを選択します。
  初期設定は［オフ］です。

メール通知設定：

ファクスの受信、外部メモリーへの保存、転送が完了したことをメールで通知します。
初期設定は全て［オフ］です。

結果レポート印刷：

ーエラー時のみ：受信ファクスを保存したり転送したりしたときにエラーが起こると、結果レポートを印刷します。
ーオン：受信ファクスを保存したり転送したりするごとに結果レポートを印刷します。
ーオフ：受信ファクスを保存したり転送したりしても結果レポートを印刷しません。
初期設定は［エラー時のみ］です。

共通設定

受信ボックス設定：

- 容量限界時の動作
  受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。［受信して印刷する］は、受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。［受信しない］は、相手側からの呼び出しに応答しません。
  初期設定は[受信しない]です。
- パスワード設定
  誰でも簡単に受信ボックスを開いて見ることができないように受信ボックスにパスワードを設定します。設定したパスワードを変更するときは［変更］を、パスワード設定を解除するときは［設定クリア］を選択します。変更や初期化をするときも現在設定されているパスワードの入力が必要です。

転送設定：

転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名が指定できます。

メニュー

条件保存・転送リスト印刷

画面右上の Menu をタップします。条件保存・転送リストを印刷します。

印刷設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［印刷設定］

自動縮小印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙サイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。
初期設定は［オン］です。

ページ分割設定：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページ分割方法を指定します。
初期設定は［分割後の印刷破棄］が［下を破棄］で、［分割時の重ねあわせ］が［オン］です。

代行印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法の設定をします。
初期設定は［オフ］です。

自動回転印刷：

A5、B5、A4またはLetterサイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転して最適なサイズの用紙に印刷します。ファクスで使用する給紙装置いずれかの［用紙サイズ］が A5、B5、A4またはLetterのときに適用されます。ファクスで使用する給紙装置は、［設定］-［本体設定］-［給紙装置設定］-［給紙口自動選択］で、用紙サイズは［設定］-［本体設定］-［給紙装置設定］-［用紙設定］で確認できます。
初期設定は［オン］です。

受信情報の付加：

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID（#001など）やページ番号（P1など）が含まれます。［ページ分割設定］を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。
初期設定は［オフ］です。

両面設定：

複数ページの受信文書を、両面印刷します。
初期設定は［両面印刷］が［オフ］で、［印刷とじ位置］が［長辺］です。

印刷開始設定：

受信文書の印刷を開始するタイミングを設定します。
全ページ受信後：全ページを受信後に、1ページ目から印刷を開始します。［正順印刷］機能が有効なときは、最後のページから印刷を開始して、正しいページ順に並べます。
最初のページ受信後：1ページ目を受信したところで印刷を開始します。他のジョブを印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷可能になったところでまとめて印刷を開始します。
初期設定は［全ページ受信後］です。

正順印刷：

受信文書を最後のページから印刷して、正しいページ順に並べます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。
初期設定は［オン］です。

印刷停止時間の設定：

指定の時間帯に受信した文書を印刷せずにメモリーに保存します。再開時刻になると自動で印刷されます。夜間の騒音防止や不在時の機密漏洩防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。再開時刻前でも、［ジョブ/状態］から個別に確認して印刷できます。
初期設定は［オフ］です。

動作音低減モード：

ファクス印刷時の動作音が静かになります。印刷速度が遅くなることがあります。
初期設定は［オフ］です。

レポート設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［レポート設定］

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

転送結果レポート：

受信文書が転送されたときのレポートを印刷します。
初期設定は[エラー時のみ]です。

バックアップエラーレポート：

［バックアップ先］が有効のとき、送信した文書をバックアップできなかったときにレポートを印刷します。［バックアップ先］は、［ファクス］-［ファクス設定］-［バックアップ送信設定］で設定できます。
初期設定は［オン］です。

通信管理レポート：

通信管理レポートを自動で印刷します。［オン(30件毎)］を選択すると、通信履歴が30件に達したときに印刷されます。［オン(指定時刻)］を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が30件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。
初期設定は［オフ］です。

レポート内画像添付：

［通信結果レポート印刷］に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。［添付する(画像大)］を選択すると、ページの一部（冒頭部分）を縮小せずに印刷します。［添付する(画像小)］を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。
初期設定は［添付しない］です。

レポート形式：

［プロトコルログ］以外のファクスレポートの表示形式を選択します。［詳細情報］にするとエラーコードも印刷されます。
初期設定は［簡易情報］です。

レポート出力先：

ファクスレポートの出力先を選択します。
初期設定は［印刷］です。

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

通信モード：

通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは［9.6kbps(G3)］ をお勧めします。
初期設定は[33.6kbps（スーパーG3）]です。

エラー訂正(ECM)：

回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します（ECM機能）。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。
初期設定は［オン］です。

ダイヤルトーン検出：

ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX（構内交換機）やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は［接続回線］を［構内交換機(PBX)］にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。
初期設定は［オン］です。

ダイヤル種別:

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパ」と音がするときは、プッシュ回線です。「ジージージ」または「カタカタカタ」と音がするときは、ダイヤル回線です。回線が分からないときは［プッシュ］→［ダイヤル(20PPS)］→［ダイヤル(10PPS)］の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してください。
初期設定は［プッシュ］です。

ナンバー・ディスプレイ対応:

ナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは、ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定を説明しているページをご覧ください。
初期設定は［オフ］です。

接続回線:

プリンターを接続した回線を選択します。内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、［構内交換機(PBX)］］を選択して外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに＃を入力します。ADSLモデムやターミナルアダプターなどを使用している環境でも ［構内交換機(PBX)］に設定することをお勧めします。
初期設定は［一般回線（PSTN）］です。

発信元設定:

発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。発信元名は40文字、発信元番号は20文字まで入力できます。

受信モード:

受信モードを選択します。
初期設定は［自動］です。

呼び出し回数:

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます（無鳴動着信）。

電話呼び出し回数:

［受信モード］が［ファクス/電話自動切替］になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。

リモート受信:

外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。
初期設定は［オフ］です。

着信・ファクス受信拒否:

迷惑ファクス拒否の設定をします。
初期設定は全て［オフ］です。

受信紙宣言:

受信可能な最大用紙サイズとして、ファクスを受信する際に送信側に通知される用紙サイズを選択します。送信側では、受信可能な最大用紙サイズよりも大きな原稿を縮小して送信することができます。［自動］に設定すると、以下で選択している用紙カセットのなかで最大の用紙サイズを送信側に通知します。
［設定］-［本体設定］-［給紙装置設定］ -［給紙口自動選択］-［ファクス］。
初期設定は［自動］です。

セキュリティー設定

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［セキュリティー設定］

参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

直接ダイヤル制限：

・オフ：ファクス番号を直接入力できます。
・オン：ファクス番号を直接入力できません。宛先は、アドレス帳かクイックダイヤル、または履歴から選択できます。
・2回入力：ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要です。誤送信のリスクを軽減させられます。
初期設定は［オフ］です。

宛先一覧確認：

送信開始前に宛先確認画面を表示します。
初期設定は［オフ］です。

バックアップデータ自動消去：

停電や誤操作による電源オフに備えて、送受信文書のバックアップデータがメモリー内に一時保存されています。この設定を有効にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になったときに、自動でバックアップデータが消去されます。
初期設定は［オフ］です。

バックアップデータを消去：

メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに実行してください。

ファクス診断

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス診断］

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断し、結果をA4サイズの普通紙に印刷します。

ファクス設定ウィザード

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス設定ウィザード］

参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

ファクスの送受信に必要な最低限の設定を画面に従って設定します。詳しくは、ファクスの基本設定を説明しているページをご覧ください。

ユーザー設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
［設定］-［ユーザー設定］-［ファクス］

ここでの設定をファクス送信時のユーザー設定値として表示します。設定項目の説明は［ファクス］メニューの ［ファクス設定］をご覧ください。

関連情報

➡ 「ファクス設定」213ページ

ファクスボックスメニューの説明

操作パネルのホーム画面から［ファクスボックス］を選択してメニューを表示します。

- 受信/親展
- 待機文書送信

- ポーリング送信/掲示板

詳しくは、ファクスボックスの設定を説明しているページをご覧ください。

関連情報

➡ 「ファクスボックスを使用する」204ページ

インクパックなど消耗品の交換

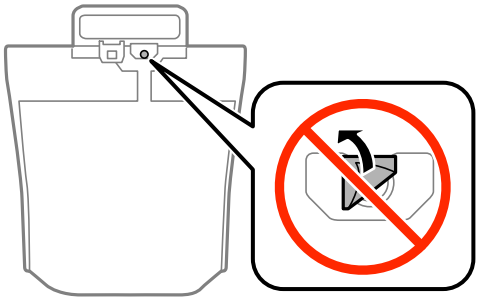
インクパック取り扱い上のご注意 228
インクパックを交換する 229
メンテナンスボックス取り扱い上のご注意 232
メンテナンスボックスの交換 233
消耗品の回収 233

インクパック取り扱い上のご注意

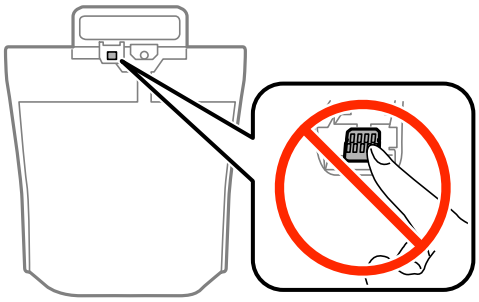
インクパックを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

取り扱い上のご注意

- インクパックは常温で直射日光を避けて保管してください。
- インクパックは個装箱の底面を下にして保管してください。
- インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、12時間以上室温で放置してからお使いください。
- インク供給孔部の透明なシールを剥がさないでください。インクパックが使えなくなるおそれがあります。



- イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



- インクパックは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクパックを取り外した状態でプリンターを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中で取り外したインクパックは、インク供給孔部にホコリが付かないように、プリンターと同じ環境で保管してください。ただし、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクパックはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内にインクが残ります。
- インクパックに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクパックの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

- インクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクパックからインクが漏れることがあります。

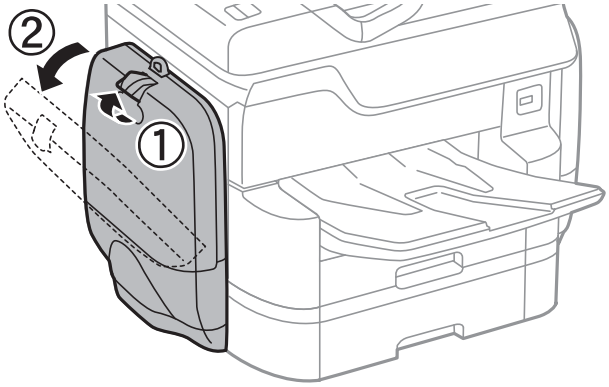
インクの消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で、インクパックのインクを全色消費します。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクパックよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

インクパックを交換する

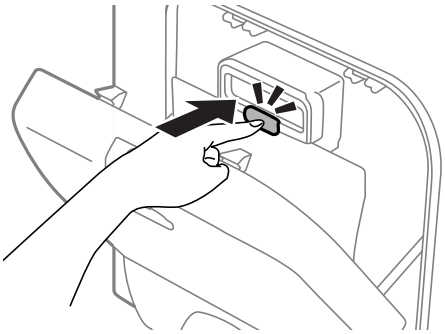
1. インクケースを開けます。

   ブラックのインクパックを例に説明します。カラーのインクパックを交換するには、反対側のインクケースを開けてください。以降の交換手順は同じです。



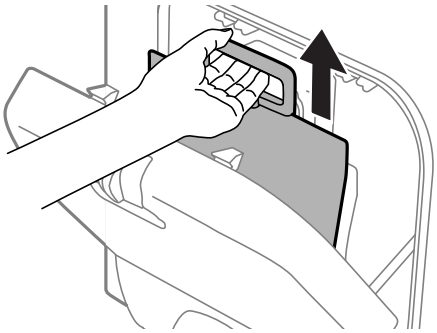
2. 交換するインクパックの取っ手部を押します。

   インクパックが少し飛び出します。

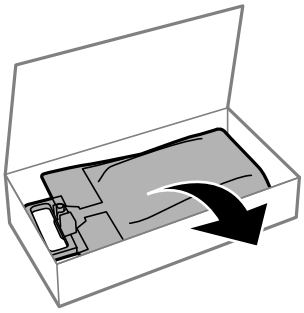


3. インクパックを引き出します。

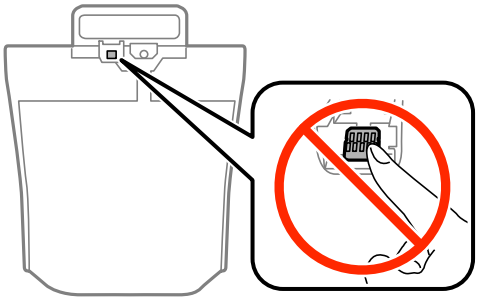
インクパックがスムーズに引き出せないときは、取っ手部を少し手前に引いてください。



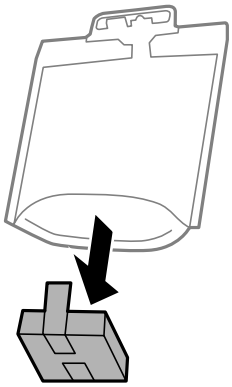
4. 新しいインクパックを箱から取り出します。



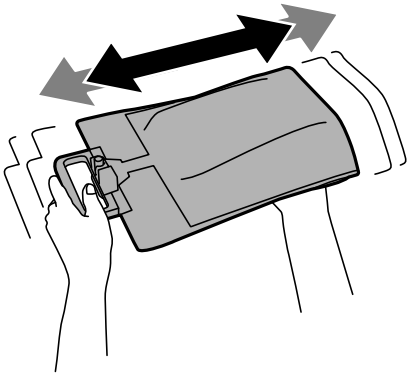
！重要 イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



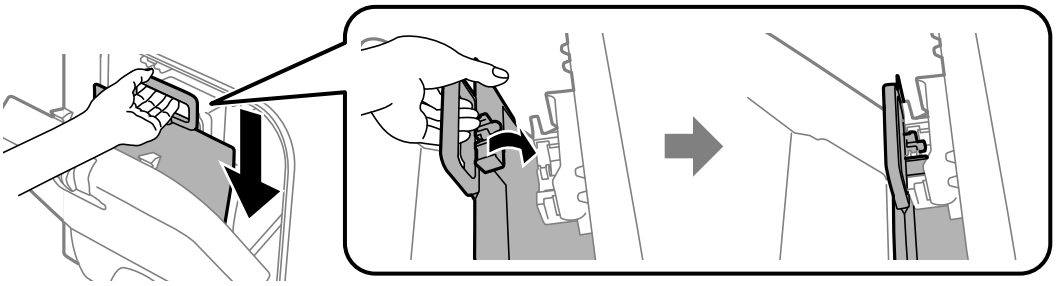
参考　インクパックに保護材がある場合は、全て取り外してください。保護材の形状や個数、貼付場所などは予告なく変更されることがあります。



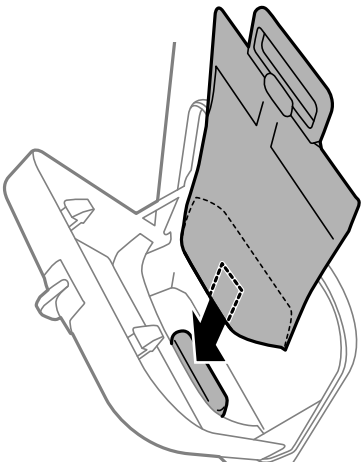
5.　インクパックを水平方向に14秒間（20回程度）、約6cm幅で振ります。



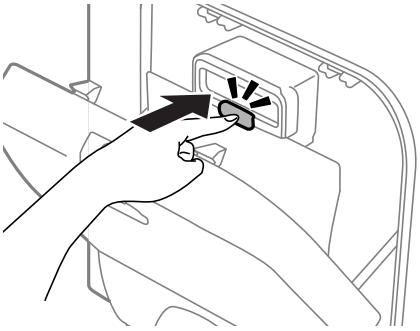
6.　インクパックをインクケース内に挿入して、はめ込むようにセットします。



参考
- インクパックを落とすなどして大きく変形した場合は、形状を整えてからセットしてください。変形したままだと正しくセットできず、インク残量が正常に表示されないことがあります。
- 底が広がるタイプのインクパックは、広げてからインクケース内の突起部にはめてください。インクパックは底が広がらないタイプもあります。



7. インクパックの取っ手部を、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



8. インクケースを閉めます。

関連情報

➡ 「インクパック取り扱い上のご注意」228ページ
➡ 「消耗品の回収」233ページ

メンテナンスボックス取り扱い上のご注意

メンテナンスボックスを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

- メンテナンスボックスのICチップに触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。
- 天面のフィルムは剥がさないでください。インクが漏れることがあります。
- メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 印刷中は交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。

- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。
- 交換時以外はメンテナンスボックスを取り外さないでください。インクが漏れることがあります。

メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。
メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

参考 インクあふれ防止のため、いっぱいになるとボックスを交換するまで印刷できませんが、ファクス送信や外部メモリーへのデータ保存などはできます。

メンテナンスボックスの交換手順は、『動画ガイド』の実写動画でわかりやすくご覧いただけます。以下のウェブサイトにアクセスしてください。
http://download2.ebz.epson.net/sec_pubs/vdog/px-m7070fx/ja/index.htm

関連情報

➡ 「メンテナンスボックス取り扱い上のご注意」232ページ
➡ 「消耗品の回収」233ページ

消耗品の回収

資源の有効活用と地球環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。
エプソンのスマートチャージで使用した消耗品（インクパックやメンテナンスボックス）は、「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。
http://www.epson.jp/recycle/

プリンターのメンテナンス

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする 235
罫線のズレを調整する 236
給紙経路をクリーニングする 237
ADFをクリーニングする 239
原稿台をクリーニングする 241

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック機能を使用してノズルの目詰まりを確認してください。ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。ノズルチェックとヘッドクリーニングは操作パネルまたはコンピューターから実行できます。

！重要 ヘッドクリーニング中は、電源を切ったり、インクケースを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

参考
- インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングできないことがあります。
- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に4回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご連絡ください。印刷しない状態で 6 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行すると改善される場合があります。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源が入ったまま電源プラグを抜かないでください。

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - 操作パネル

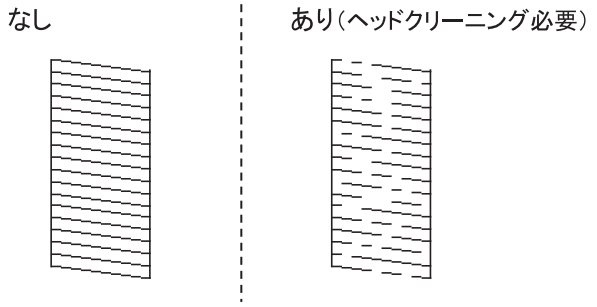
1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。

2. ホーム画面で［設定］をタップします。

3. ［プリンターのお手入れ］-［プリントヘッドのノズルチェック］の順にタップします。

4. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。

5. 印刷したパターンを見てノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。下の「あり」の図のように部分的に印刷されていなかったり、線が欠けたりしているときは目詰まりしています。次の手順に進んでください。「なし」の図のように全ての線が印刷されているときは目詰まりしていません。［OK］をタップしてノズルチェックを終了します。



6. ［NG］をタップし、画面の指示に従ってヘッドクリーニングを実行します。

7. クリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返します。

関連情報

➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Windows

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. プリンタードライバーの画面を表示させます。
3. ［ユーティリティー］タブの［プリントヘッドのノズルチェック］をクリックします。
4. 画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
➡ 「プリンタードライバーの開き方」62ページ

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Mac OS X

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. メニューの［システム環境設定］ - ［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
3. ［オプションとサプライ］ - ［ユーティリティ］ - ［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。
4. ［プリントヘッドのノズルチェック］をクリックします。
5. 画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ

罫線のズレを調整する

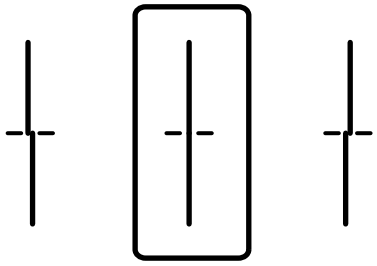
縦線がガタついて見えるようなときは罫線のズレを調整してください。

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で［設定］をタップします。

3. ［プリンターのお手入れ］-［縦罫線ずれの改善］の順にタップします。

4. 画面の指示に従って調整パターンを印刷します。

5. 画面の指示に従って罫線のズレを調整します。上下の線にズレがなく、直線に見えるパターンの番号を入力します。



関連情報

➡「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ

給紙経路をクリーニングする

印刷物に汚れがあるときや、印刷用紙が正しく給紙されないときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

！重要 プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）

1. A3サイズの普通紙をクリーニングしたい給紙装置にセットします。

2. ホーム画面で［設定］をタップします。

3. ［プリンターのお手入れ］-［内部ローラークリーニング］の順にタップします。

4. 給紙装置を選択して、画面の指示に従って給紙経路をクリーニングします。

参考 印刷物に汚れがなくなるまでこの作業を繰り返してください。それでも解決できないときは、他の給紙装置をクリーニングしてみてください。

関連情報

➡「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ

給紙経路をクリーニングする（背面MPトレイから正しく給紙されないとき）

背面MPトレイから印刷用紙が正しく給紙されないときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

！重要 プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

1. クリーニングシートを背面MPトレイにセットします。

   参考 クリーニングシートは以下からお買い求めいただけます。
   http://shop.epson.jp/supply/paper/
   商品名：PX/PM 用クリーニングシート

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［プリンターのお手入れ］-［内部ローラークリーニング］の順に選択します。

4. 背面MPトレイを選択して、画面の指示に従って給紙経路をクリーニングします。

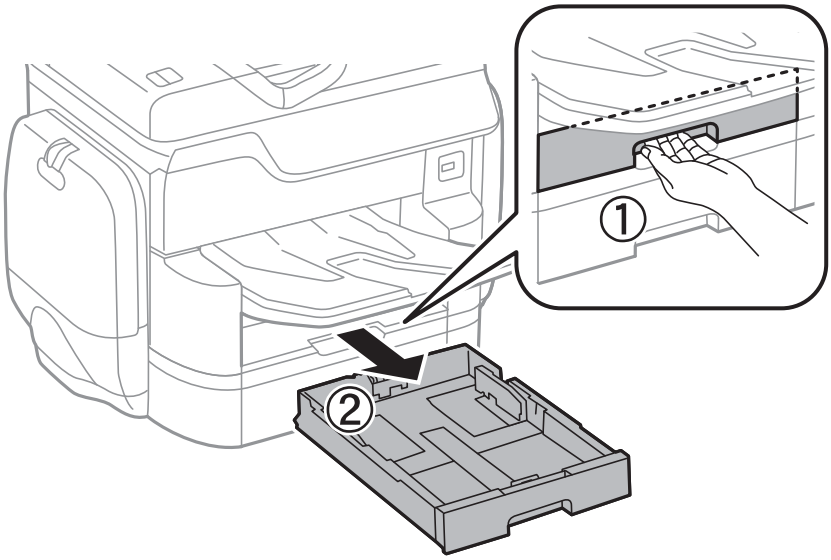
5. 手順の1～4を、2～3回繰り返します。

   参考 クリーニングシートは、3回程度の通紙で効果がなくなります。

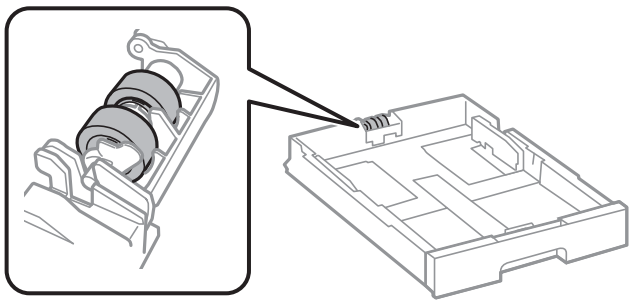
給紙経路をクリーニングする（用紙カセットから正しく給紙されないとき）

用紙カセットから印刷用紙が正しく給紙されないときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

1. 用紙カセットを引き抜きます。



2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞ってローラーを拭きます。



!重要 乾いた布で拭くと、表面に傷がつくおそれがあります。

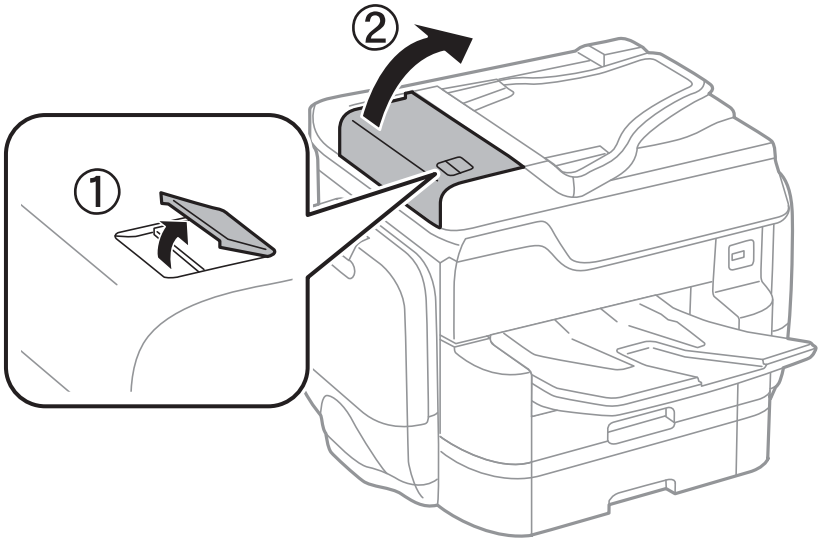
3. 用紙カセットをセットします。

ADFをクリーニングする

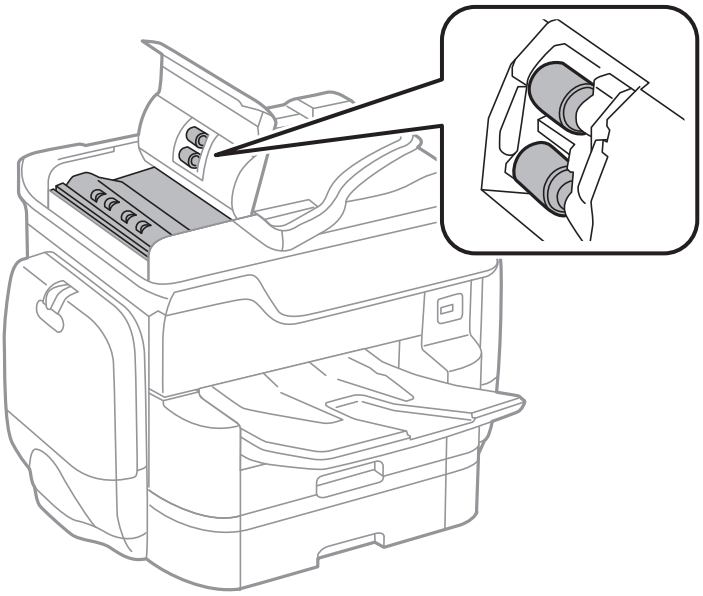
ADFからコピーやスキャンなどをすると汚れが出たり、原稿の給紙不良が発生したりするときは、ADFをクリーニングしてください。

!重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. ADFカバーを開けます。

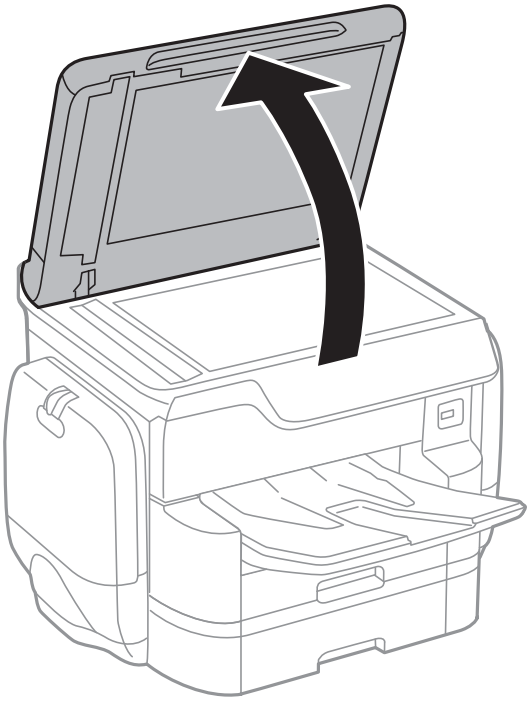


2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞って、ローラー部など内部に付着している紙粉やゴミ、ホコリなどを拭きます。

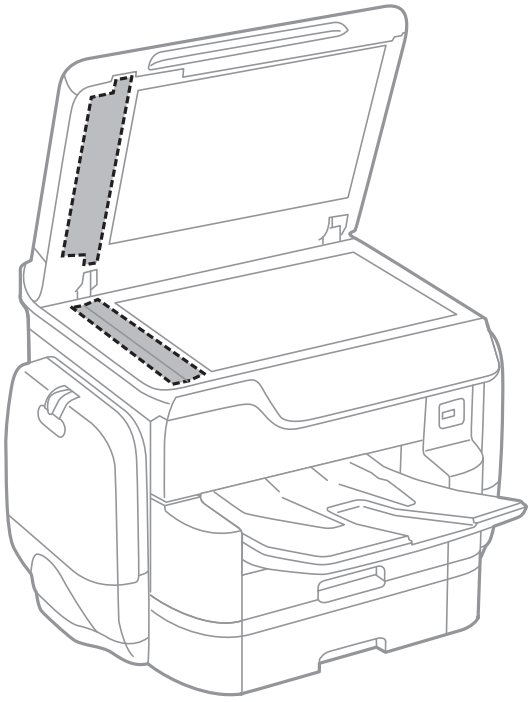


！重要 乾いた布で拭くと、表面に傷がつくおそれがあります。ローラーが乾いてからお使いください。

3. 原稿カバーを開けます。



4. イラストで示した部分を拭きます。



！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

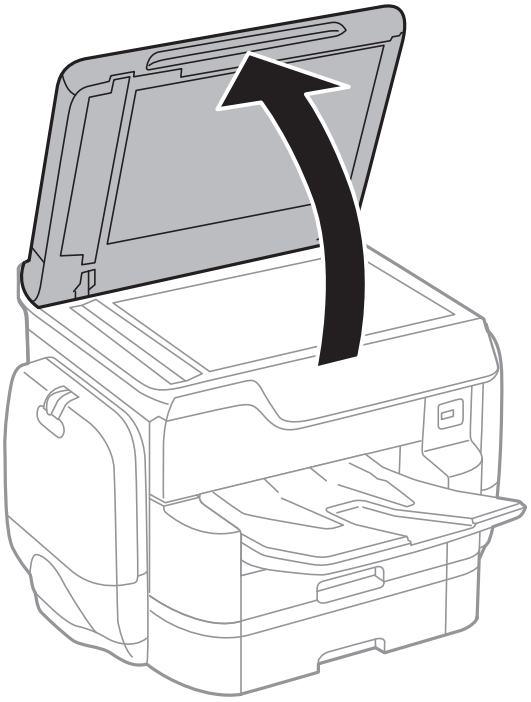
原稿台をクリーニングする

印刷物に汚れがあるときや、スキャンしたデータにムラやシミなどがあるときは、原稿台をクリーニングしてください。

⚠注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. 原稿カバーを開けます。



2. 原稿台のガラス面を、柔らかい布でから拭きします。

！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内

文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2） 244
コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Document Capture Pro） 245
ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility） 245
ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー） 246
ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config） 247
ソフトウェアの更新ツール（Software Updater） 248
最新のソフトウェアをインストールする 249
PostScriptプリンタードライバーをインストールする 250
ソフトウェアをアンインストール（削除）する 251
ネットワークサービスを使って印刷する 253

文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2）

Epson Scan 2（エプソン スキャン ツー） は、スキャナーを制御するドライバーで、画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。以下の起動方法の他、TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

参考 Windows Server OSをお使いの場合、［デスクトップエクスペリエンス］がインストールされていることを確認してください。

- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［Epson Scan 2］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または ［プログラム］）-［EPSON］-［Epson Scan 2］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

Mac OS Xでの起動方法

参考 Epson Scan 2はMac OS Xのファストユーザスイッチ機能には対応していません。この機能を無効にしてください。

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Scan 2］の順に選択します。

関連情報

➡「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ
➡「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

スキャナーの追加方法

Epson Scan 2を使用する前に、スキャナーを追加します。

1. ソフトウェアを起動させ、［スキャナーの設定］画面で［追加］をクリックします。

   参考
   - ［追加］がグレーアウトになっているときは、［編集を許可］をクリックします。
   - Epson Scan 2のメイン画面が表示されたときは、すでにスキャナーと接続されています。別のネットワークスキャナーと接続するときは、［スキャナー］-［設定］の順に選択して［スキャナーの設定］画面を表示します。

2. ネットワークスキャナーを追加します。以下の項目を入力、確認して、追加をクリックします。
   - ［機種］：接続したいスキャナーを選択します。
   - ［名前］：スキャナー名を入力します。32文字まで入力できます。

- ［ネットワークを検索］：お使いのコンピューターとスキャナーが同じネットワーク内にあればIPアドレスが表示されます。表示されない場合、ボタンをクリックします。IPアドレスが見つからなかったときは［アドレスを入力］を選択し、アドレス欄にIPアドレスを直接入力します。

3. ［スキャナーの設定］画面で追加されたスキャナー名を選択し、［OK］をクリックします。

コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Document Capture Pro）

Document Capture Pro（ドキュメント キャプチャー プロ）*は、コンピューターとネットワーク接続しているプリンターからのスキャンを、どのように処理するか設定するソフトウェアです。
スキャナーから原稿を読み込んで画像を確認した後、保存形式や保存先・転送先など、一連の動作をコンピューター上で設定できます。使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。
*：Windowsでの呼称。Mac OS XではDocument Capture、Windows ServerではDocument Capture Pro Serverです。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［Epson Software］-［Document Capture Pro］の順に選択します。

Mac OS Xでの起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Document Capture］の順に選択します。

関連情報

➡「コンピューターに登録した設定でスキャンする（Document Capture Pro）」144ページ
➡「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）

FAX Utility（ファクスユーティリティー）は、コンピューターを使ってファクスの送受信をするための設定をするソフトウェアです。送信時に使うアドレス帳の作成や管理、プリンターが受信した文書をPDFにしてコンピューターに保存する設定などができます。使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考
- Windows Server OSは非対応です。
- FAX Utilityをインストールする前に、プリンタードライバー（PostScriptプリンタードライバーを除く）がインストールされている必要があります。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［FAX Utility］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［Epson Software］-［FAX Utility］の順に選択します。

Mac OS Xでの起動方法

メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンター（FAX）を選択します。［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

関連情報

➡「コンピューターでファクスを受信する」200ページ
➡「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）

PC-FAXはアプリケーションソフトで作成した文書を、コンピューターからそのままファクス送信するソフトウェアです。FAX Utilityをインストールすると、一緒にインストールされます。使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考
- Windows Server OSは非対応です。
- アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

Windowsでの表示方法

アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューの［印刷］または［印刷設定］を選択します。
お使いのプリンター（FAX）を選択して、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

Mac OS Xでの表示方法

アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューの［プリント］（または［印刷］など）を選択します。［プリンタ］でお使いのプリンター（FAX）を選択して、ポップアップメニューから［ファクス設定］または［送付先設定］を選択します。

関連情報

➡「コンピューターからファクスを送信する」197ページ
➡「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」245ページ

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）

Web Config（ウェブ コンフィグ）は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からInternet ExplorerやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。
以下のブラウザーに対応しています。

OS	ブラウザー
Windows XP SP3以降	Microsoft Edge、Internet Explorer 8以降、Firefox*、Chrome*
Mac OS X v10.6.8以降	Safari*、Firefox*、Chrome*
iOS*	Safari*
Android 2.3以降	標準ブラウザー
Chrome OS*	標準ブラウザー

*：　最新バージョンでお使いください。

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

   ホーム画面でネットワークアイコンをタップして接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

   参考　IPアドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

   書式：
   IPv4： http://プリンターのIPアドレス/
   IPv6： http://[プリンターのIPアドレス]/
   例：
   IPv4：http://192.168.100.201/
   IPv6： http://[2001:db8::1000:1]/

   参考　スマートデバイスでは、Epson iPrintのプリンターのメンテナンス画面からもWeb Configを起動できます。

関連情報

➡「Epson iPrintを使う」113ページ
➡「ネットワーク設定」55ページ

WindowsからWeb Configを起動する

プリンターとWSDで接続しているときは、以下の方法でWeb Configを起動できます。

1. コンピューターでプリンターの一覧を表示します。
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］ -［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2
     スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
   - Windows Vista/Windows Server 2008
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。
2. プリンターのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
3. ［Webサービス］タブを選択して、URLをクリックします。

Mac OS XからWeb Configを起動する

1. メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. ［オプションとサプライ］-［プリンターのWebページを表示］をクリックします。

ソフトウェアの更新ツール（Software Updater）

EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター） は、インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認して、インストールまでできるソフトウェアです。プリンターのマニュアルも更新できます。

参考　Windows Server OSは非対応です。

インストール方法

付属のソフトウェアディスクからインストールするか、エプソンのウェブサイトからダウンロードします。
http://www.epson.jp/support/

Windowsでの起動方法

- Windows 10
  スタートボタンをクリックして、［Epson Software］-［EPSON Software Updater］の順に選択します。

- Windows 8.1/Windows 8
  検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
  スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［Epson Software］-［EPSON Software Updater］の順に選択します。

参考　EPSON Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、［ソフトウェアアップデート］を選択しても起動できます。また、コンピューターの起動時に、自動的に起動することがあります。

Mac OS X での起動方法

［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［EPSON Software Updater］の順に選択します。

最新のソフトウェアをインストールする

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

2. Software Updaterを起動します。

3. お使いの機種を選択し、をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。

4. インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

重要	更新中は、コンピューターやプリンターの電源を切らないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

参考

- 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
  http://www.epson.jp/support/
- Document Capture ProはEpson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。
- Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

関連情報

➡ 「ソフトウェアの更新ツール（Software Updater）」248ページ

PostScriptプリンタードライバーをインストールする

PostScript プリンタードライバーをインストールする - Windows

1. 以下のいずれかの方法でインストールを開始します。
   - **プリンター付属のソフトウェアディスクを使用する**
     ソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、以下のフォルダーパスにアクセスして、SETUP64.EXE（またはSETUP.EXE）を起動します。
     Driver\PostScript\WINX64 （または WINX86）\SETUP\SETUP64.EXE （ または SETUP.EXE）
   - **ウェブサイトを使用する**
     以下からお使いの機種のページにアクセスし、PostScript3プリンタードライバー（またはクライアントPPDファイル）をダウンロードして、実行ファイルを起動してください。
     http://www.epson.jp/support/
2. お使いの機種を選択します。
3. 画面の指示に従って操作します。
4. 接続方法を、ネットワーク接続またはUSB接続から選択します。
   - **ネットワーク接続の場合**
     同じネットワークに接続されているプリンターが表示されます。
     使いたいプリンターを選択してください。
   - **USB接続の場合**
     画面の指示に従ってプリンターとコンピューターを接続してください。
5. 以降は画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

ネットワーク接続でインストールする -Mac OS X

以下のウェブサイトからプリンタードライバーをダウンロードして、インストールします。

http://www.epson.jp/support/
インストール時にプリンターのIPアドレスが必要です。
ホーム画面でネットワークアイコンをタップし、接続可能なネットワークを選択して、IPアドレスを確認します。

プリンタードライバーを追加する（Mac OS Xのみ）

1. メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択します。

2. ［+］をクリックして、［プリンタまたはスキャナを追加］を選択します。

3. お使いのプリンターを選択し、［追加］をクリックします。

参考
- プリンター名がリストに表示されないときは、コンピューターとプリンターの接続状態が正しいか、プリンターの電源が入っているかを確認してください。
- USB接続やIP接続、Bonjour接続では、プリンタードライバーの追加後に増設カセットユニットの設定を手動で行ってください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。

3. ［コントロールパネル］を表示させます。
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］を選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］の順に選択します。
   - Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］を選択します。

4. ［プログラムのアンインストール］（または［プログラムの追加と削除］）を表示します。
   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
     ［プログラム］の［プログラムのアンインストール］を選択します。

- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

5. 削除するソフトウェアを選択します

   印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。

6. ソフトウェアをアンインストールします。

   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
     ［アンインストールと変更］または［アンインストール］をクリックします。
   - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     ［変更と削除］または［削除］をクリックします。

   参考　［ユーザーアカウント制御画面］が表示されたら、［続行］をクリックします。

7. 画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS X

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。

   一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。

2. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

3. プリンタードライバー、またはPC-FAXドライバーを削除するときは、メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャン］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。

4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。

5. ［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Uninstaller］の順に選択します。

6. 削除するソフトウェアをチェックして、［アンインストール］をクリックします。

   ！重要　Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製インクジェットプリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製インクジェットプリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

   参考　一覧に表示されないソフトウェアは、Uninstallerでは削除できません。［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ＆ドロップしてください。

ネットワークサービスを使って印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソンコネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷ができます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。
以下のサービスを利用できます。

- メールプリント
  Epson Connectに登録すると、プリンターにメールアドレスが割り当てられます。このメールアドレスに文書や写真を添付したメールを送信すると印刷ができます。
- Epson iPrint
  スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのアプリケーションです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ホームページなどを直接印刷できます。
- スキャン to クラウド機能（スキャンしてクラウドへ）
  プリンターのパネル操作でスキャンしたデータを、直接メールで別のプリンターに送信して印刷できます。また、対応しているクラウドサービスにもスキャンしたデータを保存できます。
- リモートプリントドライバー
  コンピューターとプリンターが同じネットワーク内になくても、メールプリント対応ならインターネット経由で印刷できます。

詳細はEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

関連情報

➡ 「Epson iPrintを使う」113ページ

困ったときは

プリンターの状態を確認する 255
ソフトウェアの状態を確認する 262
詰まった用紙を取り除く 263
正しく給紙、排紙ができない 263
電源、操作パネルのトラブル 267
コンピューターから印刷できない 268
iPhoneやiPadから印刷できない 270
印刷が中断される 270
印刷結果のトラブル 270
印刷時のその他のトラブル 278
PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル 279
スキャンできない 280
スキャン品質のトラブル 281
操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない 285
スキャン時のその他のトラブル 291
ファクス送受信のトラブル 292
ファクス時のその他のトラブル 298
その他のトラブル 299

プリンターの状態を確認する

プリンター画面のメッセージを確認する

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。エラーコード：XXXXXX	• プリンター内部や用紙カセットに用紙や保護材が入っていたら取り除いてください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、エラーコードを控えてから保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご連絡ください。 • 以下のエラーコードが表示されたときは、各給紙装置のセット可能枚数を確認してください。 000181、000184、000201、000204、000221、000224
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。印刷以外の機能は使用できます。	プリンターが故障している可能性があります。保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに修理を依頼してください。ただし、スキャンなど、印刷以外の機能は使用できます。
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンターが故障している可能性があります。保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに修理を依頼してください。
XXに用紙を補充してください。用紙サイズ：XX用紙種類：XX	用紙を補充して、用紙カセットを奥までセットしてください。
XXが故障したため､印刷できません。別の給紙装置からは印刷できます。	電源を入れ直して、用紙カセットをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに修理を依頼してください。
XXの給紙ローラーが交換時期に近付いています。	給紙ローラーは定期交換部品です。交換時期に達すると、背面MPトレイや表示された用紙カセットから正しく給紙できなくなります。お早めに保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに交換を依頼してください。
XXの給紙ローラーが交換時期に達しました。給紙ローラーを交換し、カウンターリセットを行ってください。	給紙ローラーの交換が必要です。保守サービス実施店またはスマートチャージセンターへ連絡してください。
インク量が限界値以下のためインクパック交換が必要です。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクパックと交換してください。
自動表示を[オフ]に設定します。サイズ/種類の設定など一部の機能が使えなくなります。詳しくはマニュアルをご覧ください。	［設定画面自動表示］設定が無効になっているとAirPrintは使用できません。

メッセージ	対処方法
ダイヤルトーンが検出できません。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［接続回線］の順にタップして、［構内交換機(PBX)］を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、［構内交換機(PBX)］を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに＃（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。 それでも同じメッセージが表示されるときは、［ダイヤルトーン検出］を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。
ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。ホーム画面下部の[ジョブ/状態]を押して確認してください。	以下の理由で処理が済んでいない受信文書を処理してください。 • プリンターのエラーなどで印刷されていない プリンターのエラーを解除してください。エラーの内容と対処方法は、ボタンを押して［プリンター状態］をタップすると確認できます。 • 保存先のコンピューターまたは外部メモリーに保存されていない 保存されていない受信文書は、ボタンを押して［ジョブ状態］をタップすると確認できます。保存するには、保存先のコンピューターを起動するか、または外部メモリーをプリンターに接続してください。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。
コンピューターでプリンターのポート設定(IPアドレスなど)やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	［プリンター］メニューの［プロパティ］-［ポート］で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB接続：［USBXXX］ ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］
コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態などを確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとプリンターをUSB 接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

関連情報

➡ 「お問い合わせ先」325ページ

➡ 「ソフトウェアの更新ツール（Software Updater）」248ページ

➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する

実行したジョブに何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。エラーの内容は操作パネルの[i]ボタンを押して、［ジョブ状態］をタップすると確認できます。エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

コード	状況	対処方法
001	停電でプリンターの電源が切れたため、ジョブがキャンセルされました。	-
101	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

102	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	• ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［内部メモリーデータ削除］-［PDLのフォントとマクロ］の順にタップして、ダウンロードしたフォントとマクロを削除してください。
		• 以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。
		  • 印刷品質または解像度を低くする
		  • 保存形式を変更する
		  • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

103	プリンターのメモリー不足で印刷品質を下げて印刷しました。	印刷品質を下げずに印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

104	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	• ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［内部メモリーデータ削除］-［PDLのフォントとマクロ］の順にタップして、ダウンロードしたフォントとマクロを削除してください。
		• 逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。
		  • 印刷品質または解像度を低くする
		  • 保存形式を変更する
		  • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

106	コンピューターからの印刷が制限されているため、印刷できません。	プリンターの管理者に問い合わせてください。

コード	状況	対処方法
107	ユーザー認証に失敗したため、ジョブがキャンセルされました。	• ユーザー名とパスワードが正しいか確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］-［利用者制限］の順にタップします。利用者制限を有効にして、認証情報がないジョブを許可してください。
108	プリンターの電源が切られたため、パスワード印刷データが破棄されました。	-
109	受信文書が削除されたため、再印刷できません。	-
110	両面印刷に対応していない用紙が設定されたため、片面で印刷しました。	両面で印刷したいときは、両面印刷対応の用紙をセットしてください。
111	プリンターのメモリー不足で、途中で排紙しました。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 • 印刷品質または解像度を低くする • 保存形式を変更する • 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
120	OpenPlatformで接続するサーバーと正常に通信できません。	サーバーとネットワークに問題がないか確認してください。
201	文書を送信または受信中にプリンターのメモリーが一杯になりました。	• ［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］で、印刷されていない受信文書を印刷してください。 • ［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。 • 1件の宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 • 複数枚の原稿は分割して送信してください。
202	文書を送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらくしてから再送信するか、相手先に確認してください。
203	ダイヤルトーンが検出できません。	• モジュラーケーブルが正しく接続され、回線が正しく動作することを確認してください。 • プリンターを構内交換機（PBX）またはターミナルアダプターに接続しているときは、［接続回線］設定を［構内交換機(PBX)］に変更してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ダイヤルトーン検出］の順にタップして、ダイヤルトーン検出を無効にしてください。
204	相手のファクス機が話し中です。	• しばらくしてから再送信してください。 • 送信先のファクス番号を確認してください。 それでも送信できない場合は、［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［ダイヤル種別］を選択して、ダイヤル種別を変更してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらくしてから再送信してください。

コード	状況	対処方法
206	モジュラーケーブルがLINEポートとEXT.ポートに正しく接続されていません。	プリンターのLINEポートとEXT.ポートの接続を確認してください。
207	プリンターが電話回線に接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先に文書を送信できませんでした。	ファクスモードの［ファクスレポート印刷］で［通信管理レポート］か、直前のジョブの場合は［通信結果レポート］を印刷して送信できなかった宛先を確認してください。［送信失敗文書保存］設定を有効にしていると、［ジョブ/状態］の［ジョブ状態］から再送信できます。
301	外部メモリーの容量が不足しています。	• 外部メモリーの容量を増やしてください。 • 原稿の枚数を減らしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
302	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
303	スキャンした画像を保存するために必要なフォルダーが外部メモリーに作成できません。	他の外部メモリーを挿入してください。
304	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
305	スキャンした画像の保存中に何らかのエラーが発生しました。	コンピューターから外部メモリーにアクセスしているときは、しばらく待ってから再度実行してください。
306	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
311	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
312	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
313	通信エラーが発生しました。	• プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 • 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。［オフ］を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。

コード	状況	対処方法
314	スキャンした画像のサイズが、メールに添付できるサイズを超えています。	• スキャン設定の［添付最大ファイルサイズ］を大きくしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
315	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了してから再度実行してください。
321	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
322	認証エラーが発生しました。	［保存先］の設定を確認してください。
323	通信エラーが発生しました。	• ［保存先］の設定を確認してください。 • プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
324	保存先フォルダーに同じ名前のファイルが存在しています。	• 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 • ［ファイル設定］でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。
325 326	保存先フォルダーの容量が不足しています。	• 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 • 原稿の枚数を減らしてください。 • スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
327	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
328	保存先フォルダーが見つかりません。	［保存先］の設定を確認してください。
331	通信エラーが発生しました。	プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
332	スキャンした画像のサイズが、サーバーに送信できるサイズを超えています。	原稿の枚数を減らしてください。
333	選択した宛先の情報がサーバー上で変更されたため、宛先が見つかりません。	宛先を選択し直してください。
334	スキャンした画像の送信中に何らかのエラーが発生しました。	-
341	通信エラーが発生しました。	• プリンターとコンピューターの接続を確認してください。ネットワークで接続しているときは、プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • Document Capture Proがインストールされているか確認してください。

コード	状況	対処方法
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
405	受信文書保存中に書き込みエラーが発生しました。	• 外部メモリーを再度挿入してください。 • ［保存専用フォルダーの作成］でフォルダーを作成した、別の外部メモリーを挿入してください。
411	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
412	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
413	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［メールサーバー］-［サーバー設定］の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 • 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。［オフ］を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 • プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
421	DNSエラーが発生しました。	• ［設定］-［本体設定］-［ネットワーク設定］-［詳細設定］-［TCP/IP］の順にタップして、DNS設定を確認してください。 • サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
422	認証エラーが発生しました。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順にタップして、［転送先］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
423	通信エラーが発生しました。	• プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 • ［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順にタップして、［転送先］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しています。	転送先フォルダーの容量を増やしてください。

コード	状況	対処方法
428	転送先フォルダーが見つかりません。	［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［受信設定］-［保存・転送設定］の順にタップして、［転送先］で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

関連情報

- 「電話回線に接続する」160ページ
- 「ネットワーク設定」55ページ
- 「ネットワークサービスを使って印刷する」253ページ
- 「ファクス設定メニューの説明」216ページ
- 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
- 「操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない」285ページ

プリンターの状態を確認する - Windows

1. プリンタードライバーの画面を表示させます。

2. ［ユーティリティー］タブの［EPSON プリンターウィンドウ!3］をクリックして、［詳細表示］をクリックします。

   プリンターの状態、インク残量、エラーの状況を確認できます。

   参考 ［EPSON プリンターウィンドウ!3］が無効になっているときは、［ユーティリティー］タブの［拡張設定］をクリックして［EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する］をチェックしてください。

関連情報

- 「プリンタードライバーの開き方」62ページ

プリンターの状態を確認する - Mac OS X

1. メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。

2. ［オプションとサプライ］-［ユーティリティ］-［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックします。

3. ［EPSONプリンターウィンドウ］をクリックします。

   プリンターの状態、インク残量、エラーの状況を確認できます。

ソフトウェアの状態を確認する

ソフトウェアを最新のバージョンに更新すると、問題が解決することがあります。ソフトウェアの状態を確認するには、ソフトウェア更新ツールを使用してください。

関連情報

➡ 「ソフトウェアの更新ツール（Software Updater）」248ページ
➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

詰まった用紙を取り除く

プリンターの画面の指示に従い、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。プリンターの画面に、詰まった用紙を取り除く方法の動画が表示されます。

⚠注意　内部に手を入れるときは、操作パネルのボタンには触らないでください。プリンターが動作してけがをするおそれがあります。また、突起などでけがをしないように注意してください。

！重要　用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張るとプリンターが故障することがあります。

参考　紙片が内部に残ってしまったときは、エラー解除後に、［設定］-［プリンターのお手入れ］-［紙片取り除き］をタップしてください。紙片が取り除きやすくなります。

正しく給紙、排紙ができない

以下を確認してから、現象に応じた対処方法をお試しください。

- プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。
- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- 印刷用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
- 印刷用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。
- プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。
- プリンター内部のローラーをクリーニングしてください。

関連情報

➡ 「動作時と保管時の環境仕様」311ページ
➡ 「印刷用紙取り扱い上のご注意」28ページ
➡ 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
➡ 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
➡ 「給紙経路をクリーニングする（用紙カセットから正しく給紙されないとき）」238ページ

印刷用紙が詰まる

- 印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
- 印刷中に背面カバーを開けないでください。用紙が詰まる原因になります。

関連情報

➡ 「詰まった用紙を取り除く」263ページ
➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
➡ 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ

斜めに給紙される

印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

関連情報

➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
➡ 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ

重なって給紙される

手動両面印刷で用紙が重なって給紙されるときは、給紙装置内にセットしてある印刷用紙を取り除いてから、裏面をセットしてください。

増設カセットユニットから給紙できない

カセットユニットを増設したときは、プリンタードライバーで給紙装置追加の設定をしてください。プリンタードライバーを更新すると、増設カセットユニットの設定が初期化されてしまうため、設定し直してください。

関連情報

➡ 「プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Windows」264ページ
➡ 「プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Mac OS X」265ページ

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Windows

参考　管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. コンピューターでプリンターの一覧を表示します。
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。

- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。

2. お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、［プリンターのプロパティ］または［プロパティ］を選択して、［環境設定］タブをクリックします。

3. ［プリンターから取得］を選択して［取得］をクリックします。

   ［現在のプリンター情報］に［オプション給紙装置］が表示されます。

4. ［OK］をクリックします。

プリンタードライバーで増設カセットユニットを設定する - Mac OS X

1. メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。

2. 用紙カセットの段数に合わせて［用紙カセット］を設定します。

3. ［ＯＫ］をクリックします。

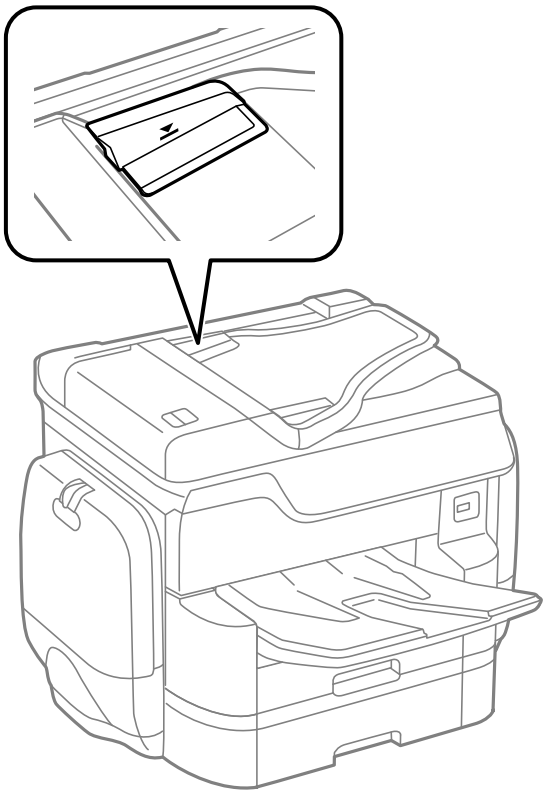
用紙なしのエラーが発生する

背面MPトレイに印刷用紙をセットしているのに用紙なしのエラーが発生するときは、用紙を背面MPトレイの中央にセットし直してください。

ADFから給紙できない

- ADFに対応している原稿を使用してください。
- 原稿を正しい方向でセットして、原稿の側面にADF原稿ガイドを合わせてください。
- ADFの内部をクリーニングしてください。

- ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



- プリンターの画面下のADFアイコンが点灯しているか確認してください。点灯していないときは、原稿をセットし直してください。

関連情報

➡ 「ADFにセットできる原稿」39ページ
➡ 「ADFに原稿をセットする」39ページ
➡ 「ADFをクリーニングする」239ページ

用紙が順番通りにならない、バラバラに重なる

排紙トレイの中央のレバーを手前に引くと、問題が解決することがあります。ただし、排紙容量は少なくなります。

排紙の向きが思い通りにならない

横長のページと縦長のページが混在したり、両面印刷と片面印刷が混在したりすると、排紙の向きが思い通りにならないことがあります。このようなときは、プリンタードライバーの［ファイリングしやすい方向に排紙する］設定を有効にしてください。用紙を同じ向きに排紙してファイリングしやすくできます。

- Windows
  ［ユーティリティー］タブの［拡張設定］で［ファイリングしやすい方向に排紙する］を選択します。

- Mac OS X
  メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］ - ［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。［ファイリングしやすい方向に排紙する］で［オン］を選択します。

電源、操作パネルのトラブル

電源が入らない

- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
- ⏻ボタンを少し長めに押してください。

電源が切れない

⏻ ボタンを少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直して、⏻ ボタンで切ってください。

使用中に電源が切れてしまう

電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでから電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご連絡ください。

プリンターの画面が暗くなった

スリープモードになっています。画面をタップすると元の明るさに戻ります。

プリンターの画面が反応しない

- プリンターの画面にフィルムを貼ると、光学タッチパネルのため反応しなくなります。
- 電源を切って、プリンターの画面を乾いた柔らかい布で拭いてください。画面が汚れていると反応しなくなります。

それでも解決しないときは、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご連絡ください。

操作パネルから操作できない

利用者制限されたプリンターでは、ユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

コンピューターから印刷できない

接続状態をチェック（USB）

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。
- USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- USB接続のプリンターが印刷できなくなった場合は、以下をお試しください。
  USBケーブルを取り外します。コンピューターに表示されているプリンターのアイコンを右クリックして、［デバイスの削除］を選択します。その後、USBケーブルを接続して印刷をお試しください。
  それでも印刷ができない場合はプリンターの接続設定をやり直してください。

接続状態をチェック（ネットワーク）

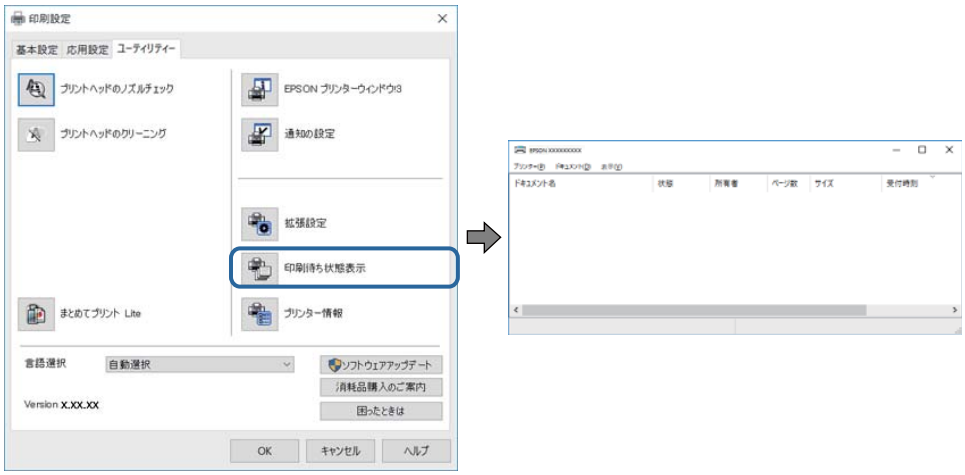
ネットワークに接続できなかったり、ネットワーク経由で印刷できなかったりする場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ソフトウェアやデータをチェック

- プリンタードライバーをインストールしてください。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。

コンピューターでプリンターの状態をチェック （Windows）

プリンタードライバーで［ユーティリティー］タブの［印刷待ち状態表示］をクリックして以下を確認してください。



- 印刷待ちのジョブがないこと
  不要な印刷データが残っている場合は、［プリンター］メニューで［すべてのドキュメントの取り消し］を選択してください。
- 一時停止やオフラインになっていないこと
  一時停止またはオフラインになっているときは、［プリンター］メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。

- ［プリンター］メニューでお使いのプリンターが通常使うプリンターに設定されている（チェックが付いている）こと
  設定されていないときは、通常使うプリンターに設定してください。［コントロールパネル］-［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）にアイコンが複数ある場合は、以下を参考にして選んでください。
  例）
  USB ケーブルで接続： EPSON XXXX Series
  ネットワークで接続： EPSON XXXX Series（ネットワーク）
  何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、［デバイスの削除］をクリックしてください。
- ［プリンター］メニューの［プロパティ］-［ポート］で、以下の正しいポートが選択されていること
  USB接続：［USBXXX］、ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］
  ポートを変更できない場合は、［プリンター］メニューの［管理者として開く］を選択してください。［管理者として開く］が表示されないときは、システム管理者に確認してください。

コンピューターでプリンターの状態をチェック（Mac OS X）

- 利用者制限されたプリンターでは印刷できないことがあります。管理者に問い合わせてください。

- プリンターのステータスが［一時停止］になっていないか確認してください。
  メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。［一時停止］になっているときは、［再開］をクリックしてください。

その他の内容をチェック

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生するポート以外のSuperSpeed USBポートに接続する

関連情報

➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

iPhoneやiPadから印刷できない

- iPhoneやiPadをプリンターと同じネットワーク（SSID）に接続してください。
- 操作パネルの以下のメニューで［設定画面自動表示］を有効にしてください。
  ［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［設定画面自動表示］
- Web ConfigでAirPrintの設定を有効にしてください。

関連情報

➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」247ページ

印刷が中断される

印刷中にカバー類を開けたまま放置すると印刷が中断されます。カバー類を開けたらすぐに閉めてください。

印刷結果のトラブル

印刷トラブルを解決する

印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたりぼやけたような印刷結果になったり、横縞模様のようなものが出たりするときは、印刷品質を調整してください。

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。

2. ホーム画面で［設定］をタップします。

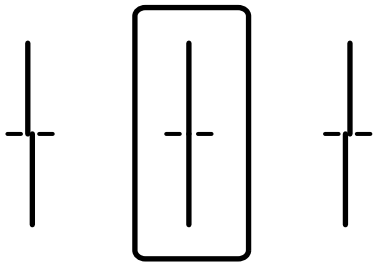
3. ［プリンターのお手入れ］-［印刷トラブル解決］の順にタップします。

4. 画面の指示に従ってきれいに印刷できるか診断します。

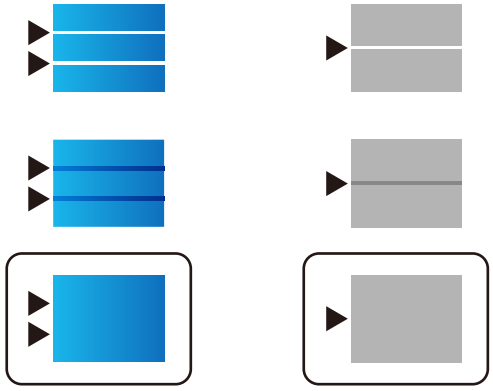
   ヘッドクリーニングを促すメッセージが表示されたら実行してください。

5. 画面の指示に従ってプリントヘッドの位置調整パターンを印刷し、位置を調整します。

   - このパターンは、縦線がガタついて見えるときや、印刷結果がぼやけているようなときに調整します。
     上下の線にズレがなく、直線に見えるパターンの番号を入力します。



   - このパターンは、一定間隔で横縞模様のようなものが出るときに調整します。
     隙間や重なりのより少ないパターンの番号を入力します。



関連情報

➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ

用紙ごとに印刷トラブルを解決する

［印刷トラブル解決］機能を使っても印刷品質が改善されないときは、用紙種類ごとに印刷品質を調整できます。詳しくは『システム管理者ガイド』をご確認ください。

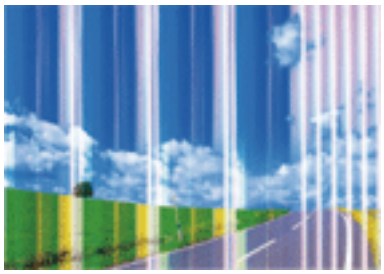
印刷結果がかすれる、出ない色がある

長期間プリンターを使用していないと、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。ノズルチェックして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

➡ 「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」235ページ

印刷結果にスジ（線）が入る、色合いがおかしい

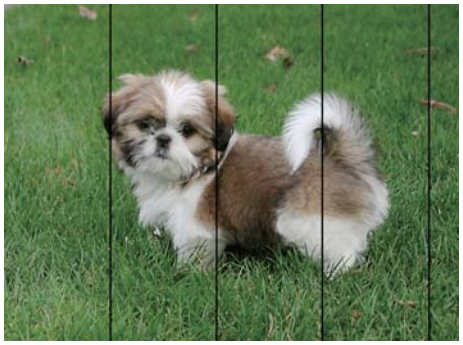


プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

➡ 「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」235ページ

約3.3cm間隔で色の付いたスジが入る

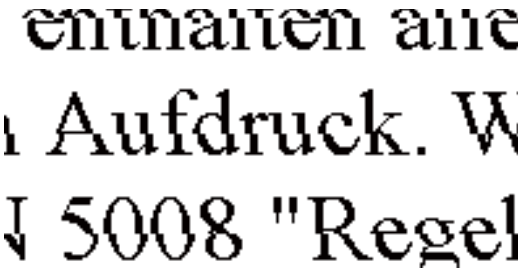


- 用紙種類の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。
- ［印刷トラブル解決］でプリントヘッドの位置を調整してください。
- 普通紙に印刷しているときは、きれいモードで印刷してください。

関連情報

➡ 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
➡ 「印刷トラブルを解決する」270ページ

印刷結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



［印刷トラブル解決］でプリントヘッドの位置を調整してください。

関連情報

➡ 「印刷トラブルを解決する」270ページ

プリントヘッドの位置を調整しても印刷品質が改善されない

双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷位置が左右で異なると罫線がずれたりぼやけたりすることがあります。印刷品質が悪いときは、双方向印刷設定を無効にしてください。ただし、この設定を無効にすると、印刷速度が遅くなります。

- 操作パネル
  ［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］で［双方向印刷］を無効にします。
- Windows
  プリンタードライバーの［応用設定］タブで［双方向印刷］のチェックを外します。
- Mac OS X
  メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］ - ［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。［双方向印刷］で［オフ］を選択します。

関連情報

➡ 「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」110ページ

印刷品質が悪い

印刷結果がかすれる、スジや線が入る、色合いがおかしい、ぼやける、文字や罫線がガタガタになるなど、印刷品質が悪いときは以下を確認してください。

プリンターをチェック

［印刷トラブル解決］機能を使ってみてください。

- ノズルチェックして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。
- プリントヘッドの位置を調整してください。

用紙をチェック

- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- 湿ったり、傷んだり、古過ぎたりする用紙に印刷しないでください。
- 印刷用紙が反っていたり、封筒が膨らんでいたりするときは、平らにしてください。
- 印刷後すぐに用紙を重ねないでください。
- 十分に乾燥させてから保管、展示してください。乾燥させるときは、直射日光に当てたり、ドライヤーを使ったり、印刷した面を触ったりしないでください。
- 写真などの印刷は、普通紙ではなくエプソン製専用紙（純正品）に印刷することをお勧めします。エプソン製専用紙のおもて面に印刷してください。

印刷設定をチェック

- 用紙種類の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。
- 印刷設定で印刷品質を上げて印刷してください。

インクパックをチェック

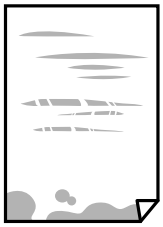
インクパックは純正品のご使用をお勧めします。本製品は純正インクパックを前提に色調整されているため、純正品以外を使用すると印刷品質が低下することがあります。

関連情報

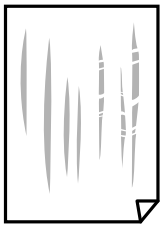
➡ 「印刷トラブルを解決する」270ページ
➡ 「対応用紙とセット可能枚数」24ページ
➡ 「セットした用紙の種類を設定する」37ページ
➡ 「印刷用紙取り扱い上のご注意」28ページ

印刷用紙が汚れる、こすれる

- 横方向にスジが入ったり、印刷用紙の上下が汚れたりするときは、用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。



- 縦方向にスジが入ったり、印刷用紙が汚れたりするときは、給紙経路をクリーニングしてください。



- 平らな場所に用紙を置いて、反りがあれば平らにしてください。
- 厚手の用紙に印刷すると、プリントヘッドが印刷面と近くなり、用紙表面をこすって汚れが発生することがあります。その場合は、こすれ軽減機能を有効にしてください。ただし、印刷品質や印刷速度が低下することがあります。
  - 操作パネル
    ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］の順にタップして、［こすれ軽減］を有効にします。
  - Windows
    プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［拡張設定］をクリックして、［印刷こすれを軽減する］をチェックします。
    ［印刷こすれを軽減する］をチェックしても印刷用紙がこすれるときは、プリンタードライバーの［拡張設定］画面で［再生紙の印刷こすれを軽減する］をチェックしてください。
  - Mac OS X
    メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。［こすれ軽減］で［オン］を選択します。
- 手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
- ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

関連情報

➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
➡ 「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ
➡ 「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」237ページ

自動両面印刷すると印刷用紙が汚れる

画像やグラフなど高密度のデータを自動両面印刷するときは、印刷濃度を薄く、乾燥待ち時間を長く設定してください。

関連情報

➡ 「プリンター設定」51ページ

写真印刷するとインクがベタベタする

写真用紙の裏面に印刷した可能性があります。用紙のセット向きを確認し、おもて面に印刷し直してください。
裏面に印刷した場合は、給紙経路をクリーニングしてください。

関連情報

➡ 「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」237ページ

画像や写真が意図しない色合いになる

操作パネルの購入時の設定、またはWindowsプリンタードライバーの初期設定では、用紙種類によってはエプソンの自動画質補正が有効になっています。設定を変更してから印刷してみてください。

- 操作パネル
  ［自動画質補正］で［オートフォトファイン!EX(自動)］以外を選択します。効果がない場合は、［自動画質補正］で［自動補正なし］を選択してください。
- Windowsプリンタードライバー
  ［応用設定］タブの［色補正］で［ユーザー設定］を選択して［設定］をクリックします。［補正モード］で［標準（自動）］以外を選択します。効果がない場合は、［カラー調整］で［オートフォトファイン!EX］以外の補正方法を選択してください。

関連情報

➡「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」110ページ
➡「色を補正して印刷する」77ページ

ハガキに縦長の写真を印刷すると宛名面と上下が逆になる

縦長写真のデータは撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって上下（天地）が異なります。セットの向きを上下逆にしてください。

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない

- 印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。コピー結果の端が切れたときは、原稿を原点マークから少し離してセットしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。
- コピー設定の［原稿サイズ］を正しく設定してください。
- 印刷用紙のサイズを正しく設定してください。
- アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

関連情報

➡「用紙カセットに印刷用紙をセットする」29ページ
➡「背面MPトレイに印刷用紙をセットする」31ページ
➡「原稿台に原稿をセットする」42ページ
➡「原稿台をクリーニングする」241ページ
➡「印刷領域」303ページ

文字が正しく印刷されない、文字化けする

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。
- 待機中のジョブがあるときに印刷すると、文字化けすることがあります。
- 印刷中はコンピューターを手動で［休止状態］または［スリープ］にしないでください。次回コンピューター起動時に、文字化けしたデータが印刷されることがあります。

- 以前使用していたプリンタードライバーを使うと、文字化けすることがあります。お使いのプリンタードライバーがこのプリンター用のものか確認してください。プリンタードライバー画面上部のプリンター名を確認してください。

画像が反転する

プリンタードライバーやアプリケーションソフトで、左右反転設定を解除してください。

- Windows
  プリンタードライバーの［応用設定］タブで［左右反転］のチェックを外します。
- Mac OS X
  プリント画面の［印刷設定］メニューで［左右反転］のチェックを外します。

モザイクがかかったように印刷される

画像や写真は、解像度の高いデータで印刷してください。Webページの画像は解像度の低いことが多く、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られないことがあります。

コピー結果にムラやシミ、斑点、線が出る

- 通紙（給排紙）をして、給紙経路をクリーニングしてください。
- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿や原稿カバーを強く押さえ付けないでください。
- 印刷用紙が汚れるときは、コピー濃度を下げてください。

関連情報

➡ 「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」237ページ
➡ 「原稿台をクリーニングする」241ページ
➡ 「ADFをクリーニングする」239ページ
➡ 「コピー時の基本設定メニュー」120ページ

コピー結果にモアレ（網目状の陰影）が出る

拡大縮小の設定を変えるか、原稿の角度を少し変えてセットしてください。

関連情報

➡ 「コピー時の基本設定メニュー」120ページ

コピーすると裏写りする

- 薄手の原稿は、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて原稿台にセットしてください。
- 操作パネルでコピー濃度を薄くしてください。

関連情報

➡ 「コピー時の基本設定メニュー」120ページ

印刷結果のトラブルが解決しない

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。

関連情報

➡ 「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」251ページ
➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

印刷時のその他のトラブル

印刷速度が遅い

- 不要なアプリケーションソフトを終了させてください。
- 印刷品質を下げて印刷してください。印刷品質が高いと印刷速度が遅くなります。
- 双方向印刷設定を有効にしてください。双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷速度が速くなります。
  - 操作パネル
    ホーム画面で［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］の順にタップして、［双方向印刷］を有効にします。
  - Windows
    プリンタードライバーの［応用設定］タブで［双方向印刷］をチェックします。
  - Mac OS X
    メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。［双方向印刷］で［オン］を選択します。

- 動作音低減モードを無効にしてください。動作音低減動作中は印刷速度が遅くなります。
  - 操作パネル

    ホーム画面で をタップして、［動作音低減モード］を無効にします。
  - Windows

    プリンタードライバーの［基本設定］タブで［動作音低減モード］を［オフ］にします。
  - Mac OS X

    メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。［動作音低減モード］で［オフ］を選択します。
- 両面印刷では、用紙の片面を印刷して乾燥した後でもう片面を印刷します。乾燥時間は温度や湿度などの環境により変わるため、印刷速度が遅くなることがあります。

連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった

高温によるプリンター内部の損傷を防ぐための機能が働いていますが、印刷は継続できます。印刷速度を回復させるには、電源を入れたまま印刷しない状態で30分以上放置してください。電源を切って放置しても回復しません。

Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない

コンピューターから印刷を中止できるようにしたいときは、以下に従ってください。

Web Configを起動して［AirPrint設定］で［最優先プロトコル］を［Port9100］にします。その後、メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを削除してから、再度同じプリンターを追加します。

PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル

参考　コンピューターの環境によって、プリンタードライバーの表示内容が異なります。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない

- 操作パネルで［印刷言語］を［Auto］または［PS3］に設定してください。
- 操作パネルで［Text Detection］を有効にしても文字を印刷できないときは、［印刷言語］を［PS3］に設定してください。
- Windowsの場合、大量のジョブを送信すると印刷できないことがあります。プリンターのプロパティーの［詳細設定］タブで、［プリンターに直接印刷データを送る］を選択してください。

関連情報

➡ 「プリンター設定」51ページ

PostScriptプリンタードライバー使用時に正しく印刷できない

- Adobe Photoshopなどのデータ形式を変更できるアプリケーションソフトでデータを作成したときは、プリンタードライバーの設定を作成したデータ形式と合わせてください。
- バイナリー形式で作成したEPSファイルは正常に印刷できないことがあります。アプリケーションソフトでEPSファイルを作成するときはASCII形式にしてください。
- Windowsの場合、USB接続時にはバイナリー形式のデータが印刷できません。プリンターのプロパティーの［デバイスの設定］タブで、［出力プロトコル］を［ASCII］または［TBCP］に設定してください。
- Windowsの場合、プリンターのプロパティーの［デバイスの設定］タブで、適切な代替フォントを選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷品質が悪い

プリンタードライバーの［用紙/品質］タブでは色の設定ができません。［詳細設定］をクリックして、［カラーモード］を設定してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷速度が遅い

プリンタードライバーで、［印刷品質］を［はやい］に設定してください。

スキャンできない

- 利用者制限されているプリンターでは、スキャン時にユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- Mac OSの場合、プリンターが利用者制限されているときはスキャンできないことがあります。管理者に問い合わせてください。
- ADFからのスキャン時は、原稿カバーやADFカバーが閉まっているか確認してください。
- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- コンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB 2.0ケーブルでプリンターを接続すると、通信できないことがあります。以下の方法で接続し直してください。
  - USB 3.0ケーブルを使用する
  - コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
  - 通信できないポート以外のSuperSpeed USBポートに接続する
- ネットワーク接続しているときに高解像度でスキャンすると、通信エラーが発生することがあります。解像度を下げてスキャンしてください。
- Epson Scan 2で選択しているスキャナーが正しいことを確認してください。

プリンターがコンピューターに認識されているか確認する（Windows）

Windowsの場合、［スキャナーとカメラ］でお使いのプリンター（スキャナー）が表示されていることを確認してください。プリンター（スキャナー）は「EPSON XXXXX（プリンター名）」と表示されます。表示されないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。［スキャナーとカメラ］を表示させる手順は以下です。

- Windows 10
  スタートボタンをクリックし、［Windows システムツール］-［コントロールパネル］の順に選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。［スキャナーとカメラの表示］をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
  ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。［スキャナーとカメラの表示］をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］を選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。［スキャナーとカメラの表示］をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［スキャナとカメラ］の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［スキャナとカメラ］の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。

関連情報

➡ 「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」251ページ
➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

スキャン品質のトラブル

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる

- 原稿台をクリーニングしてください。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。
- 原稿や原稿カバーを強く押さえ付けないでください。強く押さえ付けると、ムラ、シミ、斑点が出ることがあります。

関連情報

➡ 「原稿台をクリーニングする」241ページ

ADFからスキャンするとき直線が現れる

- ADFをクリーニングしてください。
  ADFに付いているゴミや汚れが原因で、画像に直線が出ることがあります。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。

関連情報

➡ 「ADFをクリーニングする」239ページ

画質が粗い

- Epson Scan 2の［拡張設定］タブで、画像を補正してからスキャンしてください。
- 解像度を低く設定しているときは、解像度を上げてスキャンしてください。

関連情報

➡ 「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ

原稿の裏面が写る

原稿の裏面の画像も読み取られ、スキャンした画像に写ることがあります。

- Epson Scan 2で［拡張設定］タブを選択し、［明るさ］を調整します。
  ［基本設定］タブでの［イメージタイプ］の設定、または［拡張設定］タブでの設定内容によっては、この機能は設定できません。
- Epson Scan 2で、［拡張設定］タブの［イメージオプション］で［文字くっきり］を選択してください。
- 原稿台からスキャンするときは、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねてセットしてください。

関連情報

➡ 「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ
➡ 「原稿のセット」38ページ

文字がぼやける

- Epson Scan 2で、［拡張設定］タブの［イメージオプション］で［文字くっきり］を選択してください。
- Epson Scan 2で、［基本設定］タブで［イメージタイプ］が［モノクロ］のときは、［拡張設定］タブで［しきい値］を調整してください。［しきい値］を上げると、黒色の領域が増えます。
- 解像度を低く設定しているときは、解像度を上げてスキャンしてください。

関連情報

➡ 「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ

モアレ（網目状の陰影）が現れる

原稿が印刷物のとき、スキャンした画像にモアレ（網目状の陰影）が現れることがあります。

- Epson Scan 2の［拡張設定］タブで、［モアレ除去］を設定してください。

- 解像度を変更してスキャンし直してください。

関連情報

➡ 「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ

原稿台で正しい範囲でスキャンできない

- 原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。
- スキャンした画像の端が切れたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。
- 操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

関連情報

➡ 「原稿のセット」38ページ
➡ 「原稿台をクリーニングする」241ページ

検索可能PDFに保存するとき、文字が正しく認識されない

- Epson Scan 2の［保存形式の設定］画面で、［テキスト］タブの［テキスト言語］が正しく設定されているか確認してください。
- 原稿がまっすぐセットされているか確認してください。
- 文字がくっきりしている原稿を使用してください。以下のような原稿は、認識率が下がることがあります。
  - 何度もコピーした原稿
  - ファクスで受信した原稿（解像度が低い原稿）
  - 文字間や行間が狭すぎる原稿
  - 文字に罫線や下線がかかっている原稿
  - 手書き文字の原稿
  - 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、小さな文字が使われている原稿
  - 折り跡やしわがある原稿

- Epson Scan 2で、［基本設定］タブで［イメージタイプ］が［モノクロ］のときは、［拡張設定］タブで［しきい値］を調整してください。［しきい値］を上げると、黒色の領域が増えます。
- Epson Scan 2で、［拡張設定］タブの［イメージオプション］で［文字くっきり］を選択してください。

関連情報

➡「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ

スキャン品質のトラブルが解決しないときは

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2 ユーティリティーを使ってEpson Scan 2の設定を初期化します。

参考 Epson Scan 2 ユーティリティーは、Epson Scan 2に付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2 ユーティリティーを起動します。
   - Windows 10
     スタートボタンをクリックして、［EPSON］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
   - Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     スタートボタンをクリックして、［すべてのプログラム］または［プログラム］-［EPSON］-［Epson Scan 2］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
   - Mac OS X
     ［移動］-［アプリケーション］-［Epson Software］-［Epson Scan 2 ユーティリティー］の順に選択します。
2. ［その他］タブを選択します。
3. ［初期化］をクリックします。

   参考 初期化してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。

関連情報

➡「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」251ページ
➡「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

プリンターのメッセージを確認

エラーが発生したときは、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。 DNS設定を確認してください。	• プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 • コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳を登録し直してください。 • コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 例）\\EPSON02\scan → \\192.168.xxx.xxx\scan • 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認をしてください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 • 保存先のコンピューターのファイヤーウォール、セキュリティソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティソフトの設定を確認してください。 • ネットワークの場所が［パブリックネットワーク］になっているとき、共有フォルダーに保存できません。ポートの解放設定などを個別に設定してください。 • IPアドレスがDHCPのとき、保存先コンピューターをモバイルコンピューターにしていると、社外に持ち出したり、長時間電源をオフにしたりするなど、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスが変わったとき、ルーターと装置の電源を入れたり切ったりして、宛先アドレスの取得をやり直してください。 • DNSの設定に問題がないか、同一ネットワークのコンピューターの設定内容と一致しているかなどを確認してください。DNSの設定値は、ネットワーク管理者に問い合わせてしてください。 • DNSサーバーの管理テーブルが更新されてないとき、コンピューター名とIPアドレスが一致してないことがあります。DNSサーバーの管理者に問い合わせてください。
認証エラーが発生しました。 認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。	• フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。 また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。 • Everyoneが登録されているときは、保存先コンピューターに登録されているユーザーのいずれかと相違がないか確認してください。

メッセージ	対処方法
通信エラーが発生しました。 ネットワーク接続状態を確認してください。	• Web Configなどで、［Microsoft ネットワーク共有を使用する］が無効になっていないかを確認してください。 Web Configでは、［ネットワーク設定］-［利用サービス］-［MS Network］から確認できます。 • プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 • アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの［共有］タブと［セキュリティ］タブの両方に追加されていて、変更の許可にチェックが入っている必要があります。
同じ名前のファイルがあります。 ファイル名を変更してスキャンし直してください。	ファイル名の設定を変更してください。または、共有フォルダーのファイルを移動したり、名前を変更したり、削除したりしてください。
スキャンしたファイルが大きすぎます。 XXページが送信済みです。 保存先を確認してください。	コンピューターにファイルを保存できる容量がありません。コンピューターの空き容量を増やしてください。

エラーの発生箇所を確認する

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、どの時点でエラーになっているか、どこまでが正常に動作しているかを判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	プリンターから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。
コンピューターへのログオン	保存先コンピューターへの接続後、ユーザー名とパスワードを入れてログオンする。	認証エラーが発生しました。
保存場所の確認	保存先コンピューターへログオン後、共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。
ファイル名の確認	保存先コンピューターの共有フォルダーのネットワークパスを確認後、フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。
ファイルの作成	フォルダー内に同じファイル名がないかを確認後、新しくファイルを作成する。	通信エラーが発生しました。
ファイルの書き込み	新しくファイルを作成後、書き込みをする。	スキャンしたファイルが大きすぎます。

保存に時間がかかる

以下の設定を確認してください。

- DNS設定に問題がないか、同一ネットワークのコンピューターの設定内容と一致しているか
- Web Configで確認するとき、各DNSの設定が正しくされているか
- DNSドメイン名が正しく設定されているか

プライベートネットワークとパブリックネットワークを切り替える

Windows 7以降のバージョンでは、ネットワーク接続に対するプロファイルとして「ネットワークの場所」が設定されています。それに応じて共有の設定やファイヤーウォールが構成されています。
インターネットとルーターで分けられたホーム/社内ネットワークに接続するときは、［プライベートネットワーク］、［ホームネットワーク］、または［社内ネットワーク］を使用します。空港や駅など、公共の場所で公衆無線LAN（Wi-Fi）を使って接続するときは、安全性の高い［パブリックネットワーク］を使用します。
スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、［プライベートネットワーク］、［ホームネットワーク］、または［社内ネットワーク］を使用します。

参考　環境によっては［ドメインネットワーク］を使用しています。

初めてネットワークに接続するときに、ネットワークの場所を選びます。ホーム/社内ネットワークに接続した後、ネットワークの場所でパブリックネットワークを選んだとき、そのままでは共有フォルダーに保存できません。ネットワークの場所を設定し直してください。
Windows 10/Widows 8.1/Windows 8とWindows 7では、ネットワークの場所の名称が変更されています。

Windows 10/Widows 8.1/Windows 8	プライベートネットワーク
	パブリックネットワーク
Windows 7	ホームネットワーク
	社内ネットワーク
	パブリックネットワーク

現在のネットワークの設定は［コントロールパネル］ - ［ネットワークと共有センター］で確認できます。

ネットワークの場所を変更

ネットワークの場所の変更方法はOSごとに異なります。

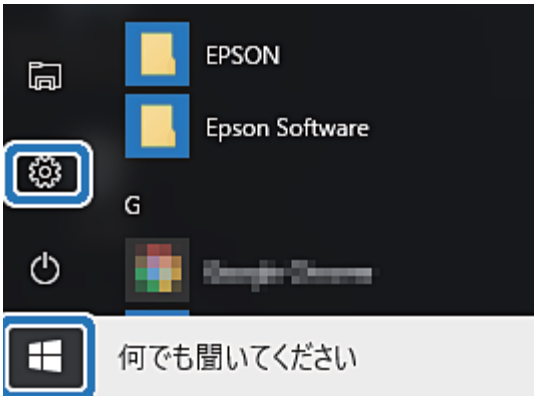
関連情報

- 「ネットワークの場所を変更する - Windows 10」288ページ
- 「ネットワークの場所を変更する - Windows 8.1」290ページ
- 「ネットワークの場所を変更する - Windows 8」290ページ
- 「ネットワークの場所を変更する - Windows 7」291ページ

ネットワークの場所を変更する - Windows 10

参考　管理者権限でサインインしてください。

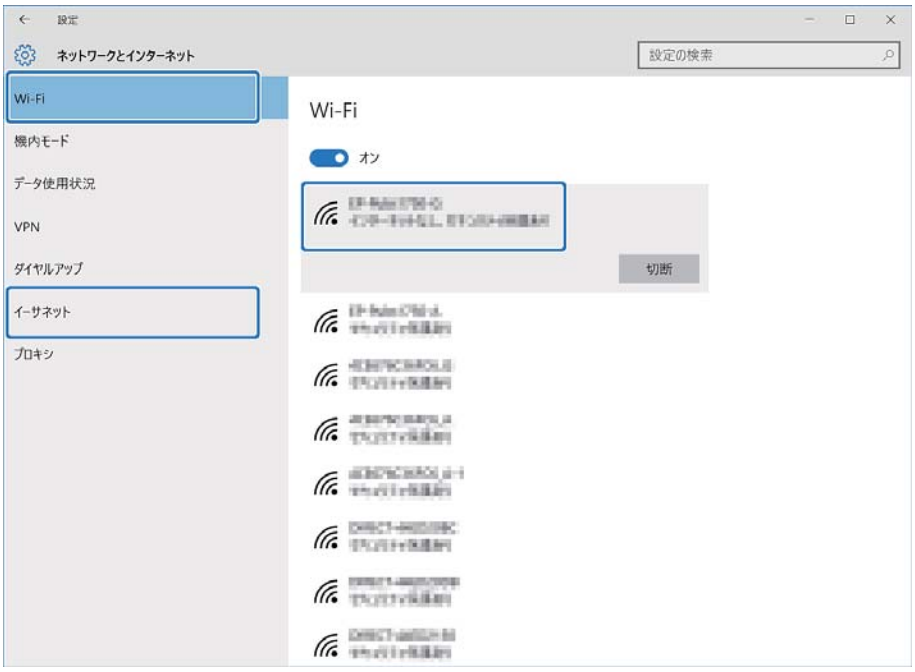
1. Windowsマークをクリックしてスタートメニューを表示させ、設定アイコンをクリックします。



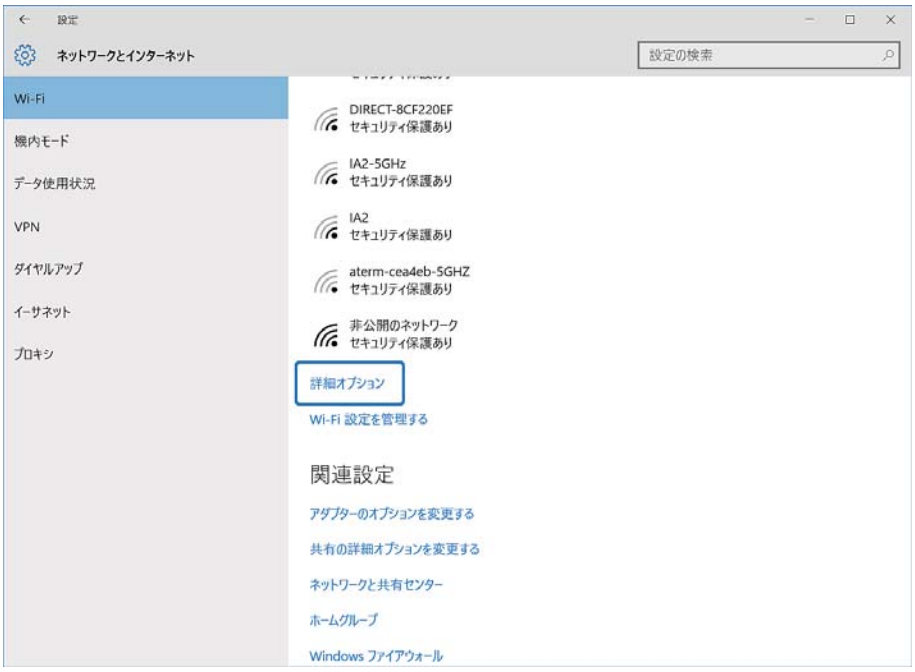
2. ［設定］の画面で［ネットワークとインターネット］をクリックします。

3. ［ネットワークとインターネット］の画面で、接続済みのネットワーク名をクリックします。
   - Wi-Fi接続のときは、［Wi-Fi］を選択します。

- 有線LAN接続のときは、［イーサーネット］を選択します。



4. 表示されているSSIDが多いときは画面を下にスクロールして、［詳細オプション］をクリックします。



5. ［このPCを検出可能にする］を設定します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、［オン］を選択します。
   - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは［オン］（プライベートネットワーク）を選択します。
   - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは［オフ］（パブリックネットワーク）を選択します。

参考　変更したネットワークの場所の設定は、［ネットワークと共有センター］で確認できます。

ネットワークの場所を変更する - Windows 8.1

参考　管理者権限でサインインしてください。

1. 画面右下の角にマウスポインターを移動してチャームを表示させ、［設定］をクリックします。

2. ［設定］の画面で［PC設定の変更］をクリックします。

3. ［PC設定の変更］の画面で［ネットワーク］をクリックします。

4. ［ネットワーク］の画面で［接続］をクリックし、接続済みのネットワークをクリックします。

5. ［デバイスとコンテンツの検索］を設定します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、［オン］を選択します。
   - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは［オン］（プライベートネットワーク）を選択します。
   - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは［オフ］（パブリックネットワーク）を選択します。

参考
- ［デバイスとコンテンツの検索］は、管理者権限でサインインすると表示されます。
- 変更したネットワークの場所の設定は、［ネットワークと共有センター］で確認できます。

ネットワークの場所を変更する - Windows 8

参考　管理者権限でサインインしてください。

1. 画面右下の角にマウスポインターを移動してチャームを表示させ、［設定］をクリックします。

2. ［設定］の画面で、接続済みのネットワークアイコンをクリックします。

3. ［ネットワーク］の画面で接続済みのネットワークを右クリックし、表示されるメニューから［共有のオン/オフを切り替える］をクリックします。

4. ［PCの共有をオンにしてこのネットワークのデバイスに接続しますか？］と表示されたら、ネットワークの場所に合わせて回答を選択します。 スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、［はい］を選択します。
   - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは［はい］（プライベートネットワーク）を選択します。
   - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは［いいえ］（パブリックネットワーク）を選択します。

   参考 変更したネットワークの場所の設定は、［ネットワークと共有センター］で確認できます。

ネットワークの場所を変更する - Windows 7

参考 管理者権限でログオンしてください。

1. スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］をクリックします。

2. 表示方法に合わせて進めます。
   - ［カテゴリ表示］の場合：［ネットワークとインターネット］ - ［ネットワークと共有センター］をクリックします。
   - ［小さいアイコン］の場合：［ネットワークと共有センター］をクリックします。

3. ［アクティブなネットワークの表示］のネットワークの場所をクリックします。

4. ネットワークの場所を設定します。
   - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは、［ホームネットワーク］または［社内ネットワーク］を選択します。
   - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは、［パブリックネットワーク］を選択します。

   参考 変更したネットワークの場所の設定は、［ネットワークと共有センター］で確認できます。

5. 内容を確認して閉じるをクリックします。

スキャン時のその他のトラブル

スキャン速度が遅い

- 解像度を下げて、もう一度スキャンしてください。解像度が高いとスキャンに時間がかかります。

- Epson Scan 2の画質調整機能によっては、スキャン速度が遅くなることがあります。
- Epson Scan 2で⚙ボタンをクリックすると表示される［環境設定］画面で、［スキャン］タブの［動作音低減モード］が選択されていると、スキャン速度が遅くなることがあります。

関連情報

➡「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ

スキャンした画像をメールで送信できない

メールサーバーが設定されていることを確認してください。

PDF/Multi-TIFF形式でスキャンすると動作が止まる

- Epson Scan 2では、PDF形式でスキャンできる原稿は999枚、Multi-TIFF形式では200枚までです。操作パネルでは、ADFからの片面原稿の場合は50ページまで、ADFからの両面原稿および原稿台からの場合は100ページまでです。
- 大量のスキャンは、モノクロでのスキャンをお勧めします。
- コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。十分な空き容量がないと、スキャンが止まることがあります。
- 解像度を下げてスキャンしてください。総データの容量が制限を超えるとスキャンが止まります。

関連情報

➡「コンピューターで画質を調整してスキャンする（Epson Scan 2）」152ページ

ファクス送受信のトラブル

ファクスの送信も受信もできない

- 操作パネルで［ファクス診断］を選択してください。電話回線との接続を自動でチェックしますので、結果レポートを印刷し、レポートに従って対処してください。
- 送受信ができなかったファクスジョブのエラーコードを確認し、エラーコード一覧にある対処方法をお試しください。
- ［接続回線］の設定を確認してください。［構内交換機(PBX)］に設定すると通信できることがあります。また、外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に#を付けて送信してみてください。
- 通信エラー発生時は、操作パネルで［通信モード］を［9.6kbps(G3)］にしてみてください。
- 電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

- ADSL接続時は、スプリッター内蔵のADSLモデムをお使いになるか、内蔵されていない場合は別途スプリッターを取り付ける必要があります。ご契約のADSLの回線事業者に問い合わせてください。
- ADSL接続時は、プリンターを電話回線に直接接続して送信ができるか確認してください。正常に送信できれば、プリンターではなくスプリッターに問題がある可能性があります。ご契約のADSLの回線事業者に問い合わせてください。
- 構内交換機（PBX）タイプのISDN回線専用環境下では、ご契約の回線事業者へ問い合わせてください。
- 電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。
- 操作パネルで［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。
- コンピューターからのファクス送受信は、プリンターとコンピューターがUSBまたはネットワークで接続され、コンピューターにPC-FAXドライバーがインストールされていることを確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。
- Windowsの場合、［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）で、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認してください。プリンター（ファクス）は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）フォルダーを表示させる手順は以下です。
  - Windows 10
    スタートボタンを右クリックまたは長押しして、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
  - Windows 8.1/Windows 8
    ［デスクトップ］-［設定］-［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］または［ハードウェア］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
  - Windows 7
    スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］または［ハードウェア］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
  - Windows Vista
    スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順に選択します。
  - Windows XP
    スタートボタンをクリックし、［設定］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］の順に選択します。
- Mac OS Xの場合、以下を確認してください。
  - メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、［+］をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。
  - メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。［一時停止］になっているときは、［再開］をクリックしてください。

関連情報

➡ 「ファクス診断」225ページ

➡ 「基本設定」222ページ

➡ 「ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する」257ページ

➡ 「構内交換機（PBX）を設定する」166ページ

➡ 「プリンターを電話回線に接続する」160ページ
➡ 「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」251ページ
➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」249ページ

ファクスを送信できない

- 利用者制限されているプリンターではユーザー名とパスワードの入力が要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- プリンターの利用者制限設定がされているときにコンピューターからファクスを送信すると、プリンタードライバーで設定してあるユーザー名とパスワードで認証が行われます。認証に失敗して送信ができないときは管理者に問い合わせてください。
- 操作パネルでダイヤル種別の設定が正しいか確認してください。
- 操作パネルで発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けないことがあります。
- 非通知設定を解除してください。送信先によっては電話番号を通知することで受信できることがあります。
- 送信先のファクス番号が正しいか、送信先のファクスが受信できる状態か、送信先に確認してください。
- 意図せずにFコードを使った送信になっていないか確認してください。アドレス帳でFコード設定した宛先を選ぶと、Fコードを使った送信になります。
- Fコードを使った送信の場合、送信先のファクスがFコード受信に対応しているかを確認してください。
- Fコードを使った送信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが一致しているか、送信先に確認してください。

関連情報

➡ 「基本設定」222ページ
➡ 「ファクスの送信も受信もできない」292ページ
➡ 「Fコード(SUB)とパスワード(SID)でファクスを送信する」177ページ
➡ 「受信側の操作で送信する（ポーリング送信/掲示板ボックス）」177ページ

特定送信先にファクスを送信できない

特定の送信先に送信できず、毎回エラーが表示されるときは以下を確認してください。

- ダイヤル終了後、送信先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。（［オンフック］）機能を使うか、外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。ポーズは－をタップして入れます。タップするとポーズマークとしてハイフンが入力されます。1ポーズにつき約3秒、ファクスの送信開始が遅くなります。ポーズの数で調整してください。
- 送信先をアドレス帳から選択したときは、アドレス帳の登録内容が間違っていないか確認してください。間違っていないときはアドレス帳からその送信先を選択し、［編集］で［通信モード］を［9.6kbps(G3)］にして再送信してみてください。

関連情報

➡ 「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」173ページ

➡ 「外付け電話機からダイヤルして送信する」172ページ
➡ 「アドレス帳を管理する」45ページ
➡ 「ファクスの送信も受信もできない」292ページ

指定時間にファクスを送信できない

操作パネルで日付と日時を正しく設定してください。

関連情報

➡ 「指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）」175ページ
➡ 「基本設定」49ページ

ファクスを受信できない

- ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。
- 外付け電話機をプリンターに接続して1回線を共有して使うときは、操作パネルで ［受信モード］を［ファクス/電話自動切替］に設定してください。
- 外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで［受信モード］を［自動］に設定してください。
- 呼び出し回数を少なく設定してください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。
- 以下の状態ではプリンターのメモリー不足のため受信できません。メモリー不足のメッセージが表示されたときの対処方法をご覧ください。
  - 受信ボックスと親展ボックスの受信文書の合計が200件になっている
  - プリンターのメモリー使用率が100%になっている
- Fコードを使った受信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが一致しているか、送信元に確認してください。
- 送信元のファクス番号が 拒否番号リストに載っていないか確認してください。 ［ファクス受信拒否］-［拒否番号リスト］の設定を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。
- 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されているか確認してください。［ファクス受信拒否］-［アドレス帳未登録］の設定を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。
- 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されているか確認してください。［ファクス受信拒否］-［非通知］の設定を有効にしているときは、アドレス帳に登録されていない番号からのファクスは受信拒否されます。
- 構内交換機（PBX）接続で、内線呼び出し（SIR）になっているときは、外線呼び出し（IR）に設定すると解決することがあります。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。
- ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者に問い合わせてください。
- Fネット（1300Hz呼び出し）には対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者に問い合わせてください。
- 接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

関連情報

- 「基本設定」222ページ
- 「ファクスの送信も受信もできない」292ページ
- 「メモリー不足のメッセージが表示された」296ページ
- 「掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）」183ページ

外部メモリーに受信文書を保存できない

外部メモリーがプリンターに挿入されていることと、［受信設定］を確認してください。

関連情報

- 「受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）」187ページ
- 「受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）」193ページ

メモリー不足のメッセージが表示された

- 受信文書を受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定にしているときは、既読などで不要になった文書を受信ボックスまたは親展ボックスから削除してください。
- 受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動させてください。受信文書がコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。
- 受信ファクスを外部メモリーに保存する設定にしているときは、保存フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに挿入してください。受信文書が外部メモリーに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。外部メモリーの空き容量が不足していないか、書き込み禁止になっていないかも確認してください。
- プリンターのメモリーが不足しているときでも以下の方法で送信できます。
  - モノクロファクス送信の場合は［ダイレクト送信］を有効にして送信する
  - 外付け電話からダイヤルして送信する
  - （［オンフック］）機能を使って送信する
  - 原稿を小分けして送信する
- 受信時に紙詰まりなどのエラーが発生していると、受信文書が印刷されないため、メモリー不足になることがあります。プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

関連情報

- 「受信文書を受信ボックスに保存する （条件なし保存・転送）」185ページ
- 「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」190ページ
- 「受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）」187ページ
- 「受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）」193ページ
- 「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」174ページ
- 「外付け電話機からダイヤルして送信する」172ページ
- 「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」173ページ
- 「詰まった用紙を取り除く」263ページ

きれいに送信できない

- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 操作パネルで［原稿種類］を調整してください。文字と写真が混在した原稿は ［写真］の設定で送信してください。
- 操作パネルで［濃度］を調整してください。
- 相手機の性能が分からないときは、ダイレクト送信をするか、 ［画質］を［精細］にして送信してください。
  ［高精細］や［超高精細］で、［ダイレクト送信］を無効にしてモノクロで送信すると、低い解像度に変更されて送信されることがあります。
- 操作パネルで［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。

関連情報

➡ 「ファクス設定」213ページ
➡ 「基本設定」222ページ
➡ 「原稿台をクリーニングする」241ページ
➡ 「ADFをクリーニングする」239ページ

原稿サイズと違うサイズで送信された

- A3サイズで送信するときは、事前に相手機がA3サイズに対応しているか確認してください。通信結果レポートに［OK(縮小)］と表示されていたら相手側はA3サイズに対応していません。
- 原稿台からファクス送信するときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。操作パネルで原稿のサイズを正しく設定してください。
- 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、その位置まで読み取り範囲が拡張されるため、位置が大きくずれたり、画像が小さくなったりします。

関連情報

➡ 「ファクス設定」213ページ
➡ 「原稿のセット」38ページ
➡ 「原稿台をクリーニングする」241ページ

きれいに受信できない

- 操作パネルで［エラー訂正(ECM)］を有効にしてください。
- 送信元に、より画質の高いモードで送信できないか確認してください。
- 受信文書を再度印刷してみてください。［ジョブ/状態］の［履歴］から印刷できます。

関連情報

➡ 「基本設定」222ページ
➡ 「ファクスジョブ履歴の確認、受信文書の再印刷をする」212ページ

A3ファクスを受信できない

- A3サイズの用紙を入れている給紙装置の用紙サイズ設定がA3になっているか、またそのA3用紙が入った給紙装置をファクスで使う設定にしているか確認してください。［設定］-［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［給紙口自動選択］-［ファクス］の順に選択して、有効になっている給紙装置を確認します。
- ［受信紙宣言］でA3サイズを選択しているか確認してください。［設定］-［本体設定］-［ファクス設定］-［基本設定］-［受信紙宣言］の順に選択して、A3サイズが選択されていることを確認します。

関連情報

➡ 「プリンター設定」51ページ
➡ 「基本設定」222ページ

受信ファクスが印刷されない

- 紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生していると印刷できません。プリンターを確認してください。
- 受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定になっていると受信ファクスの自動印刷はされません。［受信設定］を確認してください。

関連情報

➡ 「プリンターの状態を確認する」255ページ
➡ 「詰まった用紙を取り除く」263ページ
➡ 「受信文書を受信ボックスに保存する （条件なし保存・転送）」185ページ
➡ 「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」190ページ

受信ファクスの2ページ目が白紙または数行だけ印刷される

［ページ分割設定］で［分割後の印刷破棄］をすると、印刷を1ページだけに抑えることができるようになります。
［分割後の印刷破棄］設定で、［上を破棄］または［下を破棄］を選択して［しきい値］を調整してください。しきい値を大きくすると印刷破棄される量が増えるため、印刷を1ページに抑えられる可能性が高くなります。

関連情報

➡ 「印刷設定」220ページ

ファクス時のその他のトラブル

プリンターに接続した外付け電話機で通話できない

プリンターのEXT.ポートに外付け電話機を接続し、受話器を上げてダイヤルトーン（ツー音）が聞こえるかを確認してください。ダイヤルトーンが聞こえないときは、モジュラーケーブルを正しく接続してください。

関連情報

➡ 「電話機とプリンターを接続する」163ページ

留守番電話が応答しない

- 操作パネルで、ファクスを受信するまでの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- ［受信モード］が［ファクス/電話自動切替］になっているときは、［自動］に変更してください。

関連情報

➡ 「基本設定」222ページ
➡ 「留守番機能付き電話接続時の設定」181ページ

ナンバーディスプレイ機能が働かない

- かかってきた相手先のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示させるには、ナンバーディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。
- 操作パネルで、［ナンバー・ディスプレイ対応］設定を変更してください。
- 1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。並列接続（ブランチ接続）をしているとナンバーディスプレイ機能が使えません。

関連情報

➡ 「ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定」181ページ
➡ 「電話機とプリンターを接続する」163ページ

受信文書に相手先のファクス番号が表示されない、またはファクス番号が間違って表示される

送信元のファクス機に発信元番号が設定されていないか、登録が間違っている可能性があります。送信元に確認してください。

その他のトラブル

プリンターに触れたときに電気を感じる

多数の周辺機器をコンピューターに接続していると、プリンターに触れたときに電気を感じることがあります。プリンターを接続しているコンピューターからアース（接地）を取ってください。

動作音が大きい

動作音が大きいときは［動作音低減モード］を有効にしてください。ただし、動作速度が遅くなります。

- 操作パネル
  ホーム画面で を選択して、［動作音低減モード］を有効にします。
- Windowsプリンタードライバー
  ［基本設定］タブで［動作音低減モード］を有効にします。
- Mac OS Xプリンタードライバー
  メニューの［システム環境設定］-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサプライ］ - ［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。［動作音低減モード］で［オン］を選択します。
- Epson Scan 2
  ボタンをクリックして、［環境設定］画面を開きます。［スキャン］タブで［動作音低減モード］の設定をします。

動作音が気になる場合は、違う場所に設置することをお勧めします。

日時、時刻がずれている

操作パネルで日付と時刻を正しく設定してください。落雷などで停電したり、電源を切ったまま長時間放置したりすると、プリンターの設定時刻がずれることがあります。

関連情報

➡ 「基本設定」49ページ

外部メモリーが認識されない

操作パネルの［外部メモリー設定］で外部メモリーを有効にしてください。

関連情報

➡ 「プリンター設定」51ページ

外部メモリーにデータを保存できない

- 外部メモリーが書き込み禁止になっていないか確認してください。
- 外部メモリーの空き容量が十分にあるか確認してください。残量が少ないと保存できません。

関連情報

➡ 「外部記憶装置の仕様」309ページ

パスワードを忘れた

管理者のパスワードを忘れたときは、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご相談ください。サービスマンによる対応が必要となります。

関連情報

➡ 「お問い合わせ先」325ページ

ソフトウェアがセキュリティーソフトにブロックされる（Windowsのみ）

［コントロールパネル］のセキュリティー設定で、Windows ファイアウォールで許可するプログラムに対象のソフトウェアを追加してください。

写真の選択画面で「！」と表示される

本製品に対応していない画像ファイルは「！」で表示されます。

関連情報

➡ 「対応ファイルの仕様」309ページ

付録

プリンターの仕様 303
フォント情報 313
規格と規制 315
製品のご注意 316
プリンターの移動 319
商標 322
サービスとサポートのご案内 324

プリンターの仕様

以下は2016年11月現在の情報です。

プリンター部の仕様

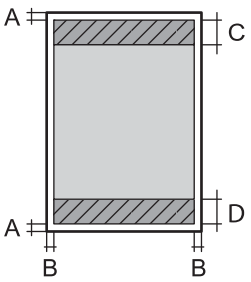
ノズル配列		黒インク： 800 カラーインク：各色800列ノズル
用紙厚*	普通紙	64～90g/m²
	厚紙	91～256g/m²
	封筒	長形3号、4号：75～90g/m² 洋形1号、2号、3号、4号：75～100g/m² 角形2号、20号 :80～100g/m²

*： 範囲内の厚みの用紙であっても、紙の特性や品質などよって給紙できないことがあります。また、印刷結果に影響が出ることもあります。

印刷領域

定形紙の印刷領域

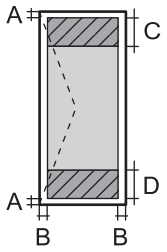
プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。



A	3.0mm
B	3.0mm
C	49.0mm
D	54.0mm

封筒の印刷領域

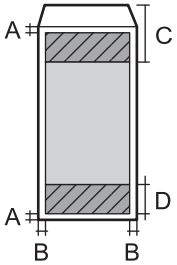
プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

	A	3.0mm
	B	5.0mm
	C	54.0mm
	D	49.0mm

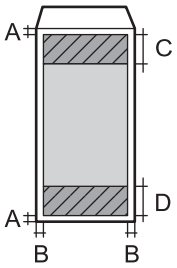
封筒（長形3、4号、角形2、20号）の印刷領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

宛名面

	A	3.0mm
	B	長形3、4号、角形2号： 5.0mm 角形20号： 9.5mm
	C	54.0mm
	D	49.0mm

裏面

	A	3.0mm
	B	長形3、4号、角形2号： 5.0mm 角形20号： 9.5mm
	C	54.0mm
	D	49.0mm

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

スキャナー部の仕様

スキャナータイプ	フラットベッド

センサー	CIS
有効画素数	14040×20400 pixels（1200 dpi）
最大原稿サイズ	297×431.8mm A3,Ledger
スキャン解像度	1200dpi（主走査） 2400dpi（副走査）
出力解像度	50～9600 dpi（1 dpiで設定可能）
階調	カラー • 30bit入力（RGB各色10bit入力） • 24bit出力（RGB各色8bit出力） グレースケール • 16bit入力 • 8bit出力 白黒 • 16bit入力 • 1bit出力
光源	LED

インターフェイスの仕様

コンピューター接続用	SuperSpeed USB
外部記憶装置接続用	Hi-Speed USB

ファクス部の仕様

ファクス型式	送受信兼用デスクトップ（スーパーG3、カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN）、構内交換機（PBX）
通信速度	最大33.6kbps
解像度	モノクロ • 普通：8 pel/mm×3.85line/mm • 精細：8 pel/mm×7.7line/mm • 高精細：8 pel/mm×15.4line/mm • 超高精細：16 pel/mm×15.4line/mm カラー 200×200dpi

受信ファクス最大保存ページ数	約550ページ（ITU-T標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）
再ダイヤル回数	0 ～15回（0～15分間隔）
コネクター形状	回線ライン（RJ-11）、外部電話機接続ライン（RJ-11）

ネットワーク機能一覧

機能			対応	備考
ネットワークインターフェイス	有線LAN		✓	-
	無線LAN	インフラストラクチャー	✓	-
		アドホック	-	-
		Wi-Fi Direct（シンプルAP）	✓	-
同時接続	有線LANとWi-Fi Direct（シンプルAP）		✓	-
	無線LAN（インフラストラクチャー）とWi-Fi Direct（シンプルAP）		✓	-
操作パネルで設定できる機能	無線LAN設定	手動設定	✓	-
		プッシュボタン自動設定(AOSS、WPS)	✓	-
		PINコード自動設定	✓	-
		カンタン自動設定	✓	-
		Epson iPrint接続	-	-
		Wi-Fi Direct設定	✓	-
	ネットワーク基本設定（デバイス名、TCP/IPアドレス、DNSサーバー、プロキシーサーバー）		✓	-
	ネットワーク接続診断		✓	-
	ネットワーク情報の確認		✓	-
	ネットワークステータスシートの印刷		✓	-
	無線LANを無効にする		✓	-
	ネットワーク設定の初期化		✓	-
	ファイル共有設定		✓	外部記憶装置のみ

機能			対応	備考
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print（Windows）	IPv4	✓	-
	Standard TCP/IP（Windows）	IPv4、IPv6	✓	-
	WSD印刷（Windows）	IPv4、IPv6	✓	Windows Vista以降
	Bonjour印刷（Mac OS X）	IPv4、IPv6	✓	-
	IPP印刷（Windows、Mac OS X）	IPv4、IPv6	✓	-
	UPnP印刷	IPv4	-	情報家電機器
	PictBridge印刷（無線LAN）	IPv4	-	デジタルカメラ
	Epson Connect（メールプリント）	IPv4	✓	-
	AirPrint（iOS、Mac OS X）	IPv4、IPv6	✓	iOS 5以降、Mac OS X v10.7以降
	Googleクラウドプリント	IPv4、IPv6	✓	-
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6	✓	-
	Event Manager	IPv4	-	-
	Document Capture Pro（Win）/ Document Capture（Mac）	IPv4	✓	-
	Epson Connect（スキャン to クラウド機能）	IPv4	✓	-
	AirPrint（スキャン機能）	IPv4、IPv6	✓	Mac OS X v10.9以降
	ADF（自動両面）		✓	-
ファクス機能	PC送信	IPv4	✓	-
	PC受信	IPv4	✓	-
	AirPrint（ファクス機能）	IPv4、IPv6	✓	Mac OS X v10.8以降

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11b/g/n*1

周波数範囲	2.4 GHz
接続モード	インフラストラクチャー、 Wi-Fi Direct（シンプル AP）*2
無線セキュリティー	WEP（64/128bit）、WPA2-PSK（AES）*3、WPA2-Enterprise

*1： IEEE802.11nはHT20のみ
*2： IEEE802.11bは非対応
*3： WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i（10BASE-T）*1 IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3ab（1000BASE-T）*1 IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet）*2
通信モード	Auto、10Mbps Full duplex、10Mbps Half duplex、100Mbps Full duplex、100Mbps Half duplex
コネクター	RJ-45

*1： 社団法人 VCCI 協会の技術基準への適合および電磁障害のリスク低減のため、カテゴリー 5e 以上の STP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること
*2： IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

セキュリティーのプロトコル

IEEE802.1X*	
IPsec/IPフィルタリング	
SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）
	IPPS
SMTPS（STARTTLS、SSL/TLS）	
SNMPv3	

*： IEEE802.1Xに対応した接続機器が必要

PostScript Level 3との互換性

このプリンターのPostScriptはPostScript Level 3の互換です。

対応している他社サービス

AirPrint	印刷	iOS 5以降、Mac OS X v10.7.x以降
	スキャン	Mac OS X v10.9.x以降
	ファクス	Mac OS X v10.8.x以降
Google クラウド プリント		

外部記憶装置の仕様

外部記憶装置	サポートする最大容量
USBフラッシュメモリー	2TB（FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの）

以下の外部記憶装置は使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの

全ての動作を保証するものではありません。

対応ファイルの仕様

ファイルフォーマット	DCF*1Version 1.0または2.0*2規格準拠のデジタルカメラで撮影した、JPEG形式の画像データ TIFF6.0準拠の以下の画像 • RGBフルカラー（非圧縮） • 2値（非圧縮もしくは2値CCITT2値エンコーディング） PDF1.7 準拠のデータファイル
有効画像サイズ	横：80～10200ピクセル 縦：80～10200ピクセル
有効ファイルサイズ	2GB未満
最大ファイル数	JPEG：9990個*3 TIFF： 999 PDF： 999

*1： 社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称

*2： デジタルカメラの内蔵メモリーに保存されている画像には非対応

*3： 一度に表示できるファイル数は999 個まで（999 個を越えるとグループ単位で表示）

参考 プリンターで認識できない画像ファイルは、プリンターの画面上に「！」と表示されます。複数面レイアウト（自動配置）では、空白（印刷されない）になります。

外形寸法、質量の仕様

プリンター本体のみ

外形寸法	収納時 • 幅：787mm • 奥行き：758mm • 高さ：621mm 印刷時 • 幅：787mm • 奥行き：866mm • 高さ：699mm
質量*	約64.1kg

*：　インクパック、電源コードは含まず

プリンター本体＋増設カセットユニット2段＋キャビネット

外形寸法	収納時 • 幅：787mm • 奥行き：873mm • 高さ：1162mm 印刷時 • 幅：787mm • 奥行き：873mm • 高さ：1240mm
質量*	約111.5kg

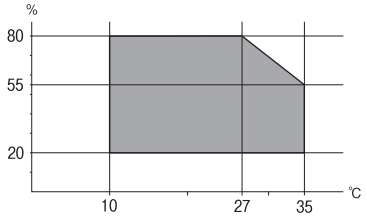
*：　インクパック、電源コードは含まず

電気的仕様

定格電圧	AC100-240V
定格周波数	50～60Hz
定格電流	1.3～0.7A

消費電力（USB接続時）	コピー時：約40W（ISO/IEC24712印刷パターンコピー） レディー時：約20W スリープモード時：約1.6W 電源オフ時：約0.45W

動作時と保管時の環境仕様

動作時	グラフで示した範囲で使用してください。  温度：10～ 35゜C 湿度：20～80%（非結露）
保管時	温度：-20～40゜C* 湿度：5～85%（非結露）

*：　40℃では1ヵ月間保管可能

設置場所と設置スペース

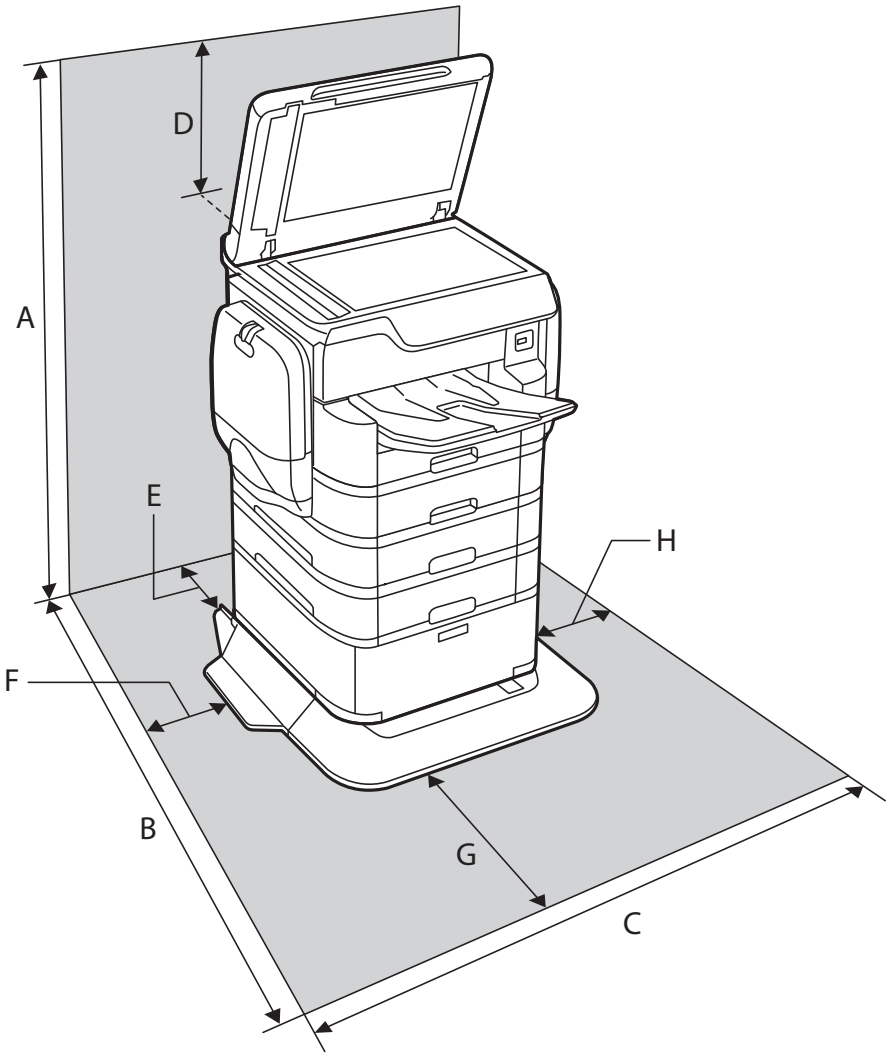
以下の条件を満たす場所に設置してお使いください。

- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 風通しのよい場所
- 本製品の通気口を塞がない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 本書『動作時と保管時の環境仕様』を満たす場所

!重要 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因になります。

- 直射日光の当たる場所
- 温度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 揮発性物質のある場所
- 振動の多い場所
- テレビ・ラジオに近い場所
- ホコリや塵の多い場所
- 湿度変化の激しい場所
- 水に濡れやすい場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 加湿器に近い場所

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。
また、本製品をお使いいただくために必要なスペースを確保してください。



A	1507mm

B	1378mm
C	1090mm
D	345mm
E	179mm
F	164mm
G	523mm
H	154mm

関連情報

➡ 「動作時と保管時の環境仕様」311ページ

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのホームページをご覧ください。
http://www.epson.jp/support/taiou/os/

- Windows 10（32-bit、64-bit）/Windows 8.1（32-bit、64-bit）/Windows 8（32-bit、64-bit）/Windows 7（32-bit、64-bit）/Windows Vista（32-bit、64-bit）/Windows XP SP3以降（32-bit）/Windows XP Professional x64 Edition SP2以降/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003 SP2以降
- Mac OS X v10.11.x/Mac OS X v10.10.x/Mac OS X v10.9.x/Mac OS X v10.8.x/Mac OS X v10.7.x/Mac OS X v10.6.8

参考
- Mac OS Xでは一部のアプリケーションソフトや機能が対応していないことがあります。
- Mac OS XのUNIXファイルシステム（UFS形式）には非対応です。

フォント情報

対応フォント（PostScript 3）

フォント名	ファミリー	HP互換
Nimbus Mono	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Courier
Letter Gothic	Medium、Bold、Italic	Letter Gothic
Nimbus Mono PS	Regular、Bold、Oblique、Bold Oblique	CourierPS
Nimbus Roman No4	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	CG Times

フォント名	ファミリー	HP互換
URW Classico	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	CG Omega
URW Coronet	-	Coronet
URW Clarendon Condensed	-	Clarendon Condensed
URW Classic Sans	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Univers
URW Classic Sans Condensed	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Univers Condensed
Antique Olive	Medium、Bold、Italic	Antique Olive
Garamond	Antiqua、Halbfett、Kursiv、Kursiv Halbfett	Garamond
Mauritius	-	Marigold
Algiers	Medium、Extra Bold	Albertus
NimbusSansNo2	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Arial
Nimbus Roman No9	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Times New Roman
Nimbus Sans	Medium、Bold、Oblique、Bold Oblique	Helvetica
Nimbus Sans Narrow	Medium、Bold、Oblique、Bold Oblique	Helvetica Narrow
Palladio	Roman、Bold、Italic、Bold Italic	Palatino
URW Gothic	Book、Demi、Book Oblique、Demi Oblique	ITC Avant Garde
URW Bookman	Light、Demi、Light Italic、Demi Italic	ITC Bookman
URW Century Schoolbook	Roman、Bold、Italic、Bold Italic	New Century Schoolbook
Nimbus Roman	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Times
URW Chancery Medium Italic	-	ITC Zapf Chancery Italic
Symbol	-	Symbol
URW Dingbats	-	Wingdings
Dingbats	-	ITC Zapf Dingbats
Standard Symbol	-	SymbolPS

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電波障害自主規制

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピューター、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

外部記憶装置に関するご注意

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、外部記憶装置内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

譲渡と廃棄

外部記憶装置を譲渡、廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、外部記憶装置内のデータを完全に消去することをお勧めします。コンピューター上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、外部記憶装置を物理的に破壊することもお勧めします。

液晶ディスプレイの特性

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

タッチパネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。

- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- パネルを強く押さえ付けたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご連絡ください。

揮発性物質の放散

本製品はRAL-UZ171およびエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：WLU6320-D69 (RoHS)
- 認証番号： 204-330030

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.497GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。
本製品の使用上の注意
本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業、科学、医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本製品の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターまでお問い合わせください。

参考

- 本製品はWi-Fi Allianceの承認を受けた無線機器です。他メーカーのWi-Fi承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi対応製品の詳細はWi-Fi Allianceのホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。
- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS、OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS/OF 4

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティーに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。
セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

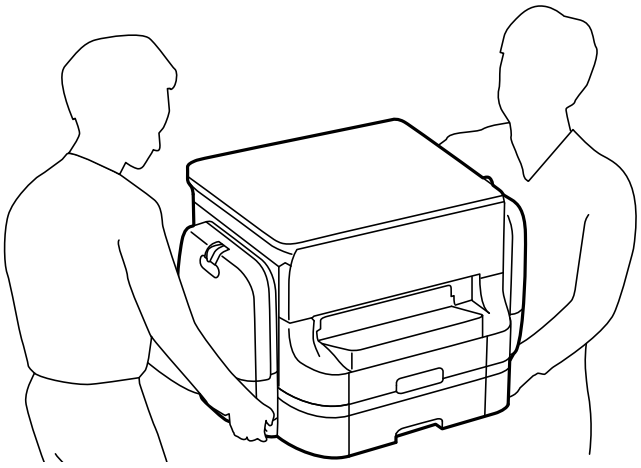
本製品の保存情報の消去

本製品の利用環境を変更する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（ネットワーク設定、ファクス搭載機の電話番号や宛先名称など）を消去してください。
操作パネルで［設定］メニューの［管理者用設定］-［初期設定に戻す］-［全て初期化］の順に選択して行ってください。

プリンターの移動

⚠注意

- プリンターを持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。移動の際は2人以上で運んでください。
- プリンターを持ち上げる際は、下図で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



- プリンターを移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

プリンターを移動する

⚠注意　不安定で危険なため、ADFの上に排紙トレイを置かないでください。移動の途中でプリンターが傾き排紙トレイが落下した場合、けがをするおそれがあります。

1. ⏻ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

2. 電源ランプの消灯を確認して、電源プラグをコンセントから抜きます。

   !重要　電源プラグは電源ランプの消灯時に抜いてください。点灯時に抜くと、プリントヘッドがホームポジション（待機位置）に戻らず、乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

3. 電源コードやUSBケーブルなどのケーブル類を取り外します。

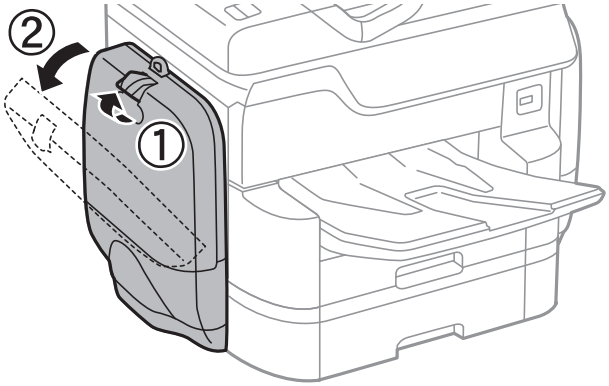
4. 排紙トレイを取り外します。

5. セットされている全ての印刷用紙を取り除きます。

6. 原稿がないことを確認します。

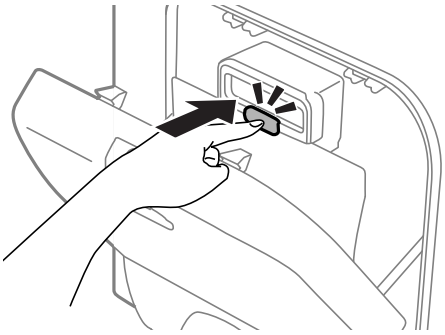
7. 用紙サポートを収納します。

8. インクケースを開けます。

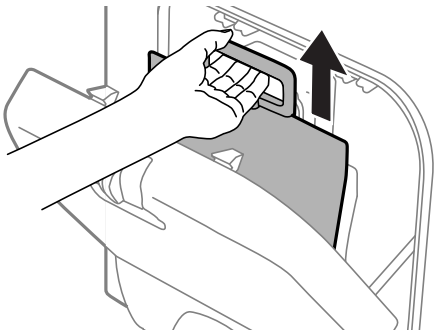


9. インクパックの取っ手部を押します。

   インクパックが少し飛び出します。



10. インクパックを引き出します。



参考
- インクパックがスムーズに引き出せないときは、取っ手部を少し手前に引いてください。
- インクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクが漏れることがあります。

11. インクケースを閉めます。

12. 反対側も同様にインクケースを開けて、全てのインクパックを取り外します。

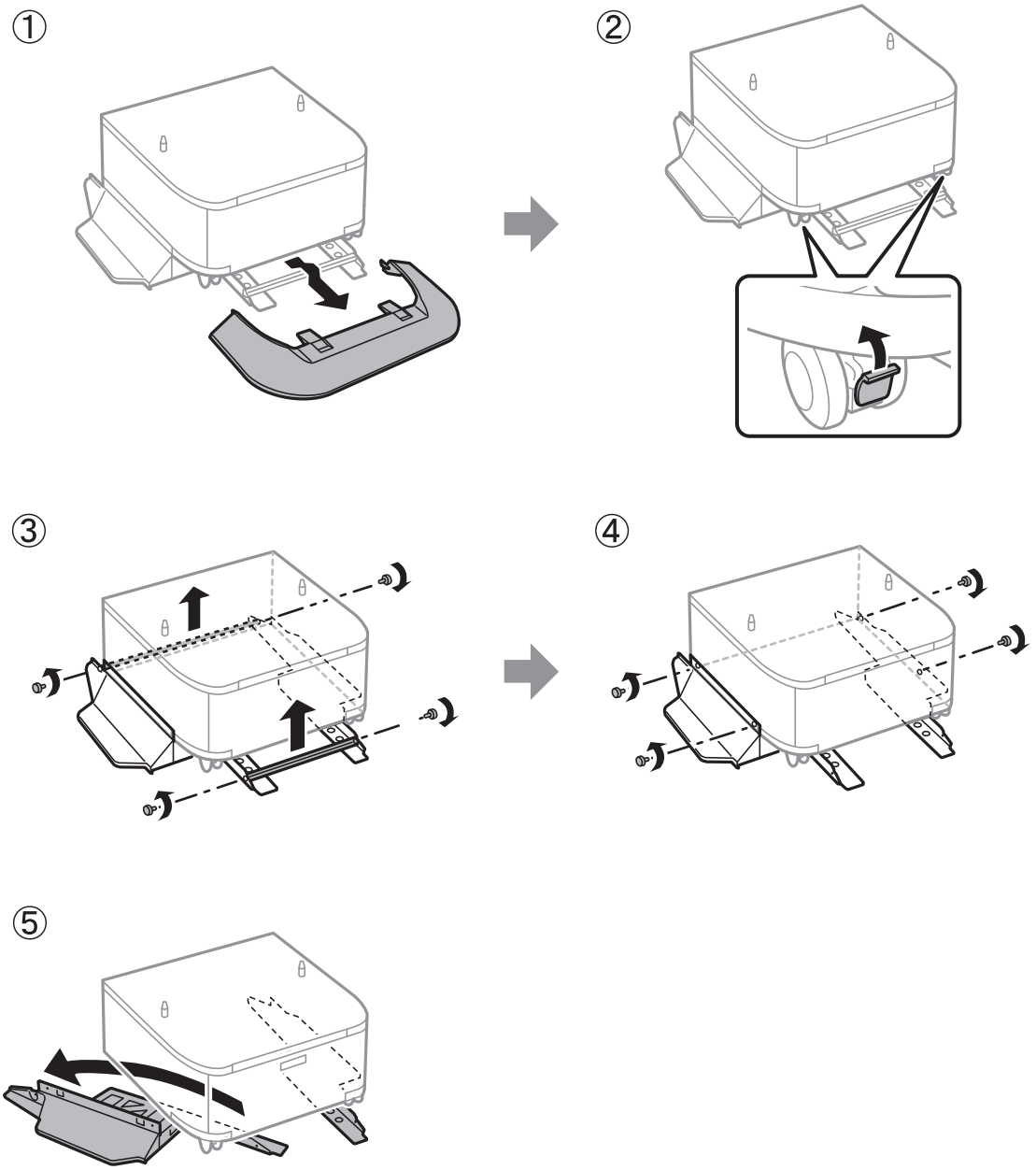
プリンターを移動できます。

関連情報

➡ 「各部の名称と働き」13ページ

キャビネット付きのプリンターの移動

まず、プリンターを移動させるための手順を参考にしてインクパックを取り外します。続いて、以下の手順でキャビネットの転倒防止脚を取り外してから移動させます。



関連情報

➡ 「プリンターを移動する」320ページ

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

- Epson Scan 2 software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- libtiff
  Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
  Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
  Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.
  THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
  IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac OS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、iPad、iPhone、iPod touch、iTunesおよびTrueTypeは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。AirPrint、AirPrintのロゴはApple Inc.の商標です。
- Chrome™、Chrome OS™、Android™はGoogle Inc.の商標です。
- Albertus, Arial, Coronet, Gill Sans, Joanna and Times New Roman are trademarks of The Monotype Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, Lubalin Graph, Mona Lisa, ITC Symbol, Zapf Chancery and ZapfDingbats are trademarks of International Typeface Corporation registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Clarendon, Eurostile and New Century Schoolbook are trademarks of Linotype GmbH registered in the U.S.Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Wingdings is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- CG Omega, CG Times, Garamond Antiqua, Garamond Halbfett, Garamond Kursiv, Garamond Halbfett Kursiv are trademarks of Monotype Imaging, Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
- Antique Olive is a trademark of M. Olive.
- Marigold and Oxford are trademarks of AlphaOmega Typography.
- Helvetica, Optima, Palatino, Times and Univers are trademarks of Linotype Corp. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions in the name of Linotype Corp. or its licensee Linotype GmbH.
- PCL is the registered trademark of Hewlett-Packard Company.
- Adobe、Adobeロゴ、Photoshop、PostScriptおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- The N-Mark is a trademark or registered trademark of NFC Forum, Inc. in the United States and in other countries.
- SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

- Arcfour
  This code illustrates a sample implementation of the Arcfour algorithm.
  Copyright © April 29, 1997 Kalle Kaukonen. All Rights Reserved.
  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice and disclaimer are retained.
  THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KALLE KAUKONEN AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KALLE KAUKONEN OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
- microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  Note: microSDHC is built into the product and cannot be removed.
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

サービスとサポートのご案内

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

保守サービスの提供について

本製品で故障が発生した場合は、スマートチャージ契約に基づき修理いたします。
修理のお申し込みは、製品本体に記載された保守サービス実施店にて承ります。
保守サービス実施店が不明な場合は、スマートチャージセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ

http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

●保守サービス実施店

サービス担当者　連絡先
販売店 電話番号 担当部門 担当者

●スマートチャージセンター

スマートチャージ全般に関するお問い合わせ先

050-3155-8655

お問い合わせ先の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp）にてご確認ください。

エプソン販売株式会社
〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社
〒392-8502　長野県諏訪市大和三丁目3番5号

スマートチャージ 2016.03